ESET Endpoint Encryption
ユーザーズマニュアル

■本書について

○ 本書は、ESET Endpoint Encryption の操作運用ガイドです。

○ ESET Endpoint Encryption のインストール手順については、製品付属のスタートアップガイドをご参照ください。

■お断り

○ 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能が異なっている場合があります。また本書の内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。

○ 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。

○ 本書の著作権は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社に帰属します。

○ ESET Endpoint Encryption は ESET, spol. s r.o. の商標であり、ESET は ESET, spol. s r.o. の商標です。

○ Windows、Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

改定日　2019/5/31

目　次

Chapter 1
本プログラムの主な機能と動作環境

1.1　本プログラムの主な機能 4
1.2　動作環境 9

Chapter 2
ESET Endpoint Encryption の利用方法

2.1　ESET Endpoint Encryption メニューを起動する 11
2.2　ESET Endpoint Encryption の画面構成 13
2.3　フルディスク暗号化を行う 15
2.4　ファイルやフォルダーを暗号化する 30
2.5　リムーバブルメディアを暗号化する 39
2.6　Outlook のメールを暗号化する 61
2.7　テキストおよびクリップボードを暗号化する 77
2.8　暗号化アーカイブを利用する 82
2.9　暗号化仮想ディスクを利用する 86
2.10　ファイルのセキュアな削除を行う 94

Chapter 3
ESET Endpoint Encryption の運用とメンテナンス

3.1　他のユーザーと暗号化データをやり取りする①―暗号化キーマネージャーの利用方法 96
3.2　他のユーザーと暗号化データをやり取りする②―暗号化キーの共有（キーの転送） 101
3.3　暗号化キーのバックアップを行う 110
3.4　暗号化キーのリストアを行う 113
3.5　ESET Endpoint Encryption を新しい PC に移行する 116
3.6　ESET Endpoint Encryption Reader を利用する 118
3.7　プリブート認証用のパスワードの変更、ユーザー追加と削除 123
3.8　ESET Endpoint Encryption の各種設定を行う 134
3.9　ESET Endpoint Encryption のログインパスワードを変更する 142
3.10　ESET Endpoint Encryption をアンインストールする 144
3.11　バージョン情報を確認する 146
3.12　トラブルシューティング 148
3.13　ライセンスを更新する 162
3.14　サポートサービスについて 166

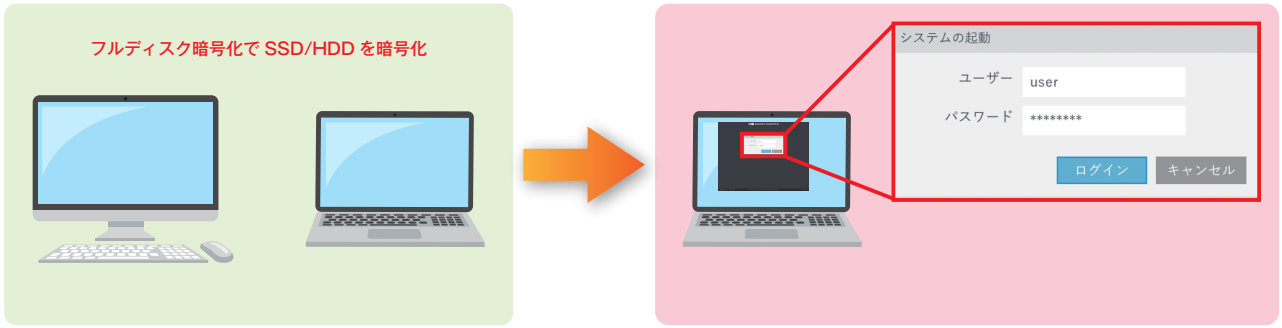
Chapter 1 本プログラムの主な機能と動作環境

1.1　本プログラムの主な機能

ESET Endpoint Encryption は、ストレージ内のデータを暗号化しておくことで第三者への大切な情報の漏洩を防ぐソフトウェアです。HDD や SSD などの Windows の起動に利用するストレージ内の情報（データ）を暗号化できるだけでなく、ファイルやフォルダー、USB メモリーや USB 接続の HDD、DVD や Blu-ray などの光学メディア内の情報（データ）も暗号化できます。

■フルディスク暗号化

フルディスク暗号化は、HDD や SSD などの Windows の起動に利用しているストレージ全体またはストレージ内のパーティションを暗号化する機能です。また、フルディスク暗号化を実行すると Windows の起動前に「プリブート認証」と呼ばれる認証画面が表示され、Windows はこの認証にパスした場合のみ起動します。これによって、コンピューターを紛失したり、盗まれたりした場合に第三者への情報流出を防ぐことができます。

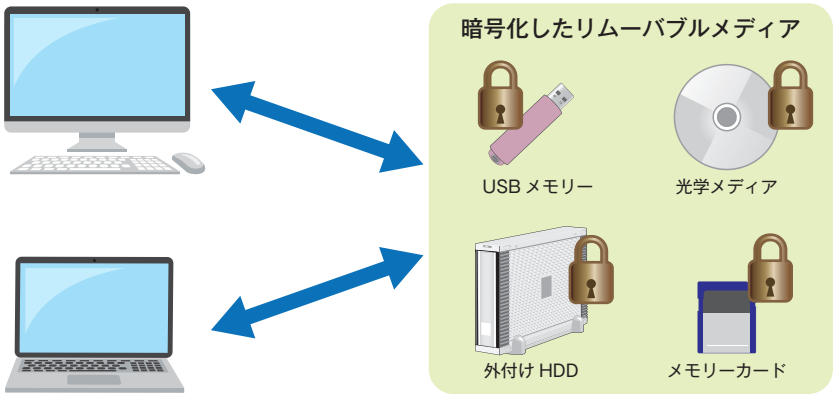


パソコンの電源をオンにすると……

認証画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力すると、Windows が起動します。

■リムーバブルメディア暗号化

USB メモリー、USB 接続の HDD、SSD、SD メモリーカードなどの各種メモリーカード、CD、DVD、Blu-ray などの光学メディア内の情報（データ）を丸ごと暗号化できます。各種リムーバブルメディア全体を暗号化しておけば、リムーバブルメディアを紛失したり、盗まれたりした場合に、大切な情報を流出させません。暗号化したリムーバブルメディアを利用して情報（データ）の交換を行うことで第三者への情報の流出を防ぐことができます。



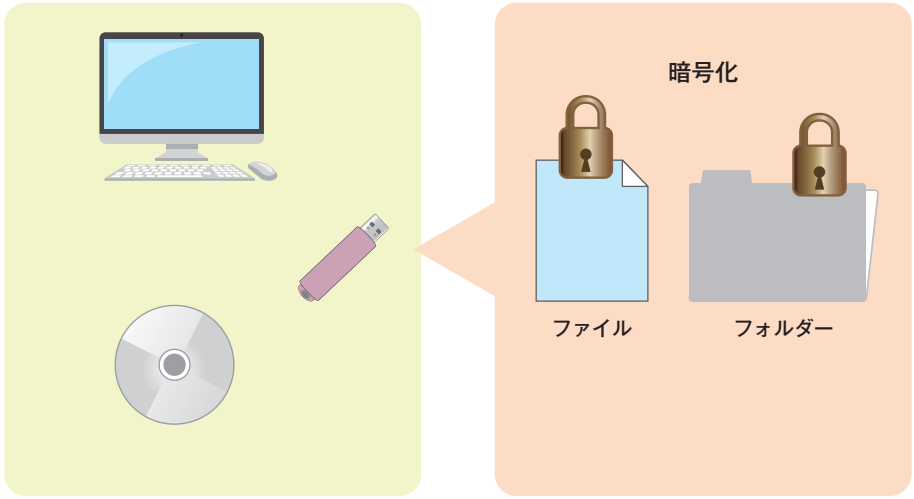
■ファイルやフォルダーの暗号化

HDD、SSD、USB メモリー、CD/DVD/Blu-ray などの光学ディスクに保存された特定のファイルやフォルダーを暗号化できます。

フォルダーの暗号化では、フォルダー内の情報（ファイルやフォルダーなど）すべてを暗号化できます。暗号化したフォルダー内の情報は、ESET Endpoint Encryption にログインしていれば、暗号化していることを意識することなくエクスプローラーから利用できます。

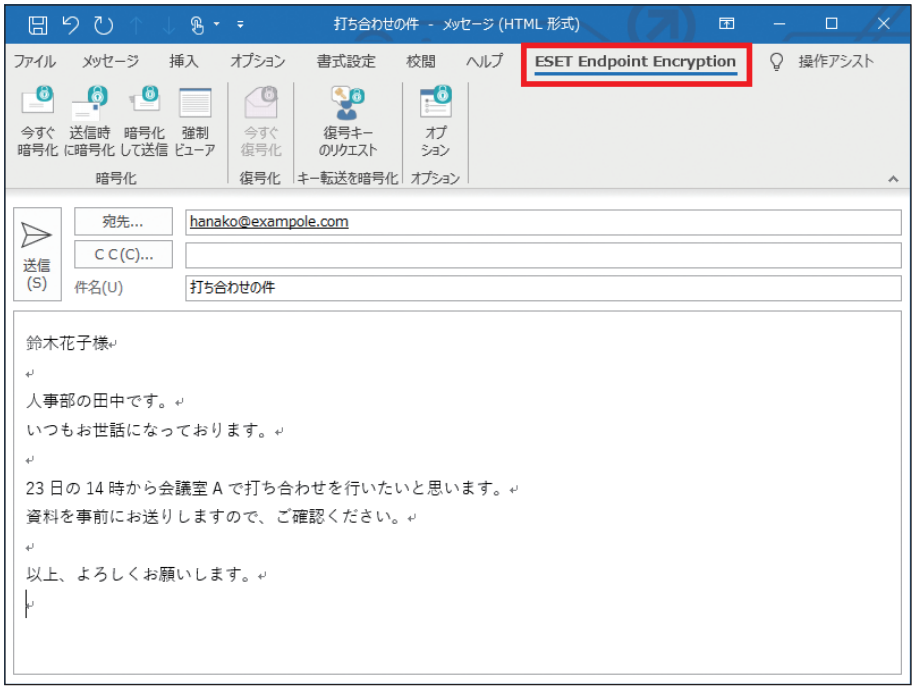
また、暗号化したフォルダー内の情報を編集したり、新しいファイルやフォルダーを追加すると、それらの情報も自動的に暗号化されます。

ファイルの暗号化では、選択したファイルのみを暗号化できます。また、暗号化されたファイルは、ESET Endpoint Encryption にログインしていれば、ファイルをダブルクリックするだけで復号できます。



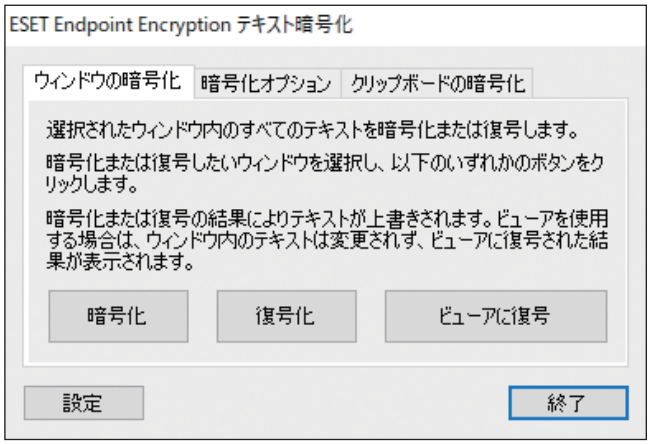
■メールの暗号化

メールソフトに「Outlook」を利用している場合は、暗号化メールを送信できます。メールは、本文と添付ファイルを同時に暗号化できるほか、本文のみ、または添付ファイルのみを暗号化できます。重要なメールを暗号化して送信することで、メールからの情報漏洩を防止できます。

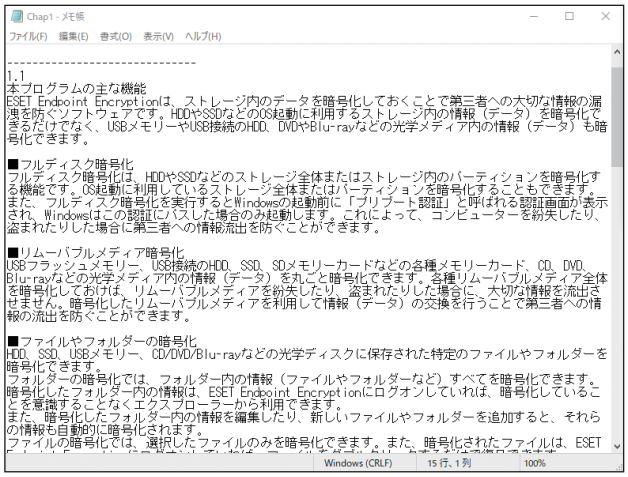


■テキスト及びクリップボードの暗号化

選択したウィンドウ内の文字情報の一部またはすべてを暗号化できます。この機能を利用すると、Microsoft Word などで作成中の文書内の文字を暗号化できます。重要な部分のみを暗号化することや、クリップボード内の文字情報を暗号化することもできます。



●暗号化前

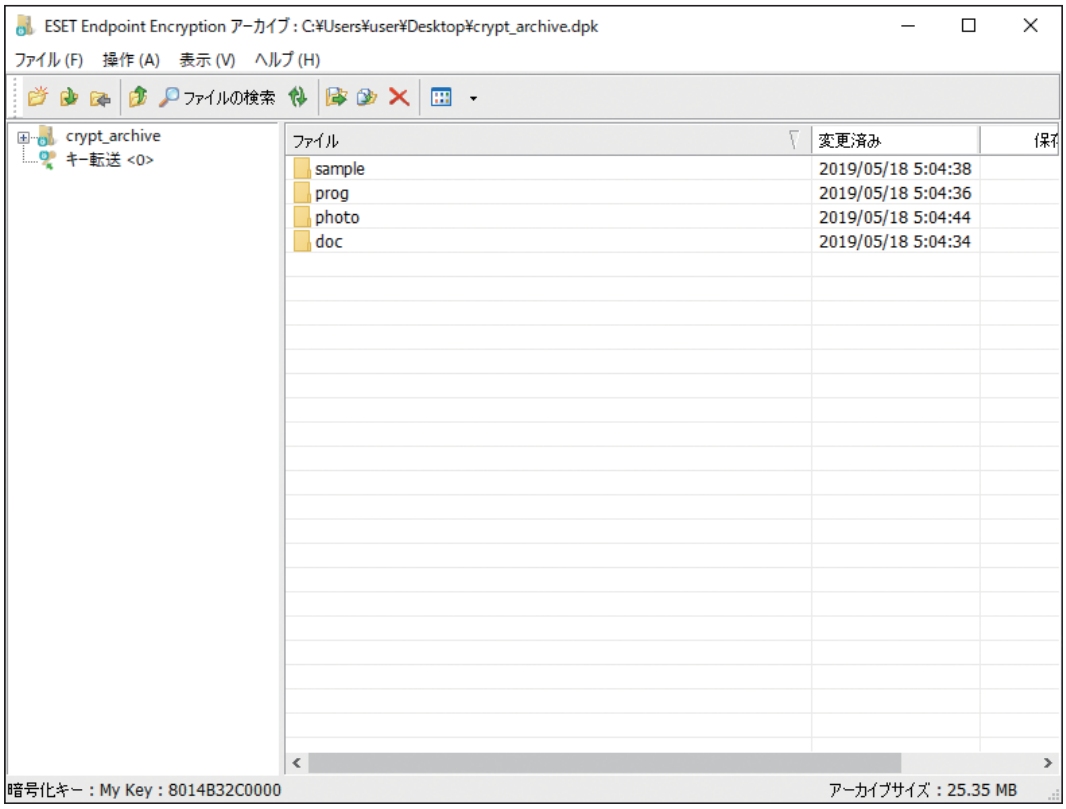


●暗号化後



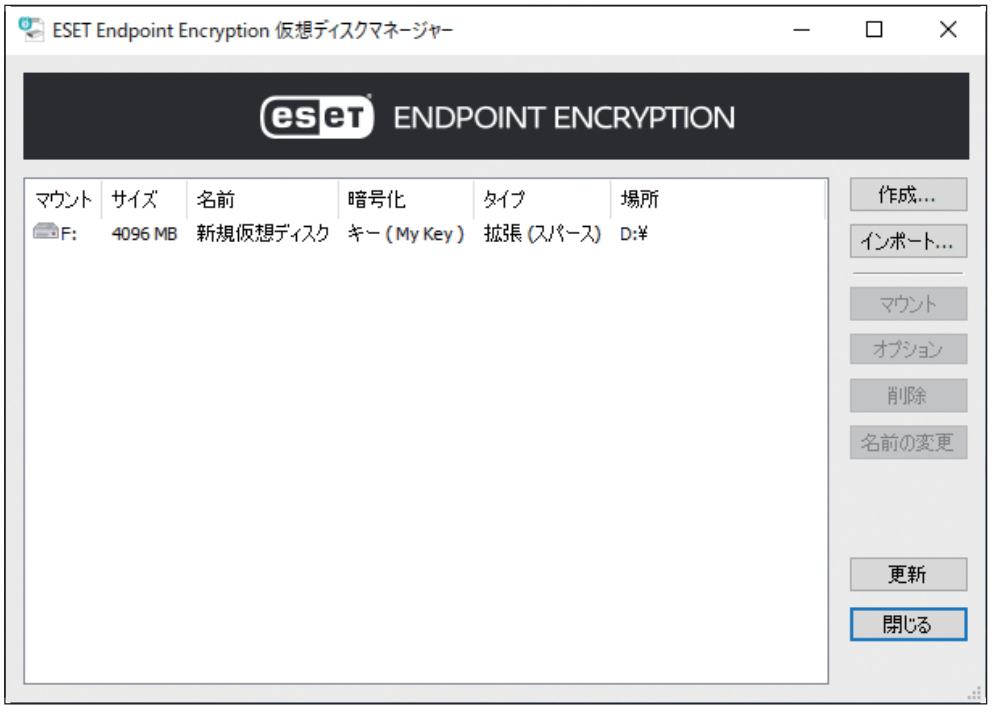
■暗号化アーカイブ

アーカイブ中に格納されたすべての情報（データ）を暗号化するだけでなく、圧縮を行ってファイルサイズを小さくした暗号化アーカイブを作成できます。暗号化アーカイブは、一般的なファイル圧縮ソフトなどでは解凍できません。



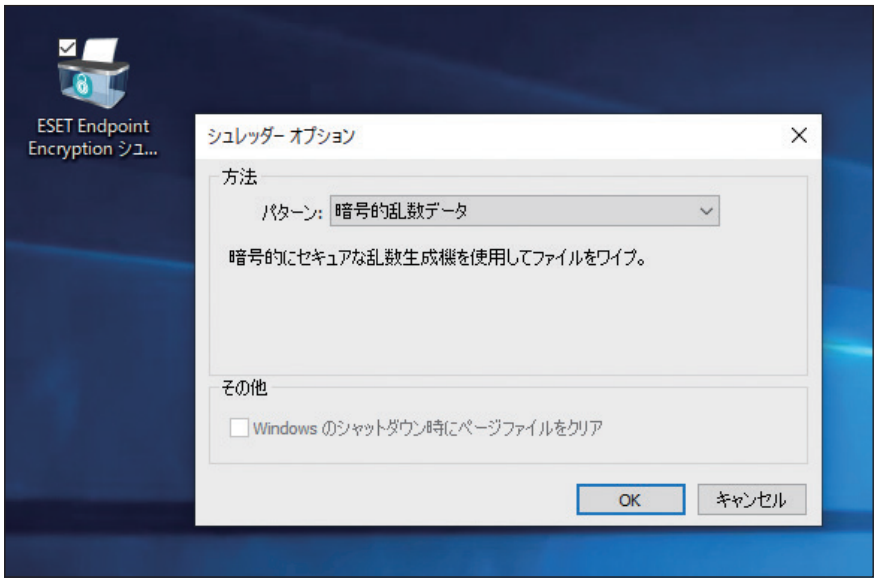
■暗号化仮想ディスクの作成

「暗号化仮想ディスク」を利用できます。他人に中身を参照させたくない機密ファイルなどを安全に保管できます。



■ファイルのセキュアな削除

ファイルやフォルダーを復元不可能な形で削除できます。この機能を利用すると、市販のファイル復元ソフトなどを利用しても削除データの復元を行えなくなり、廃棄したストレージからの情報漏洩を防止できます。



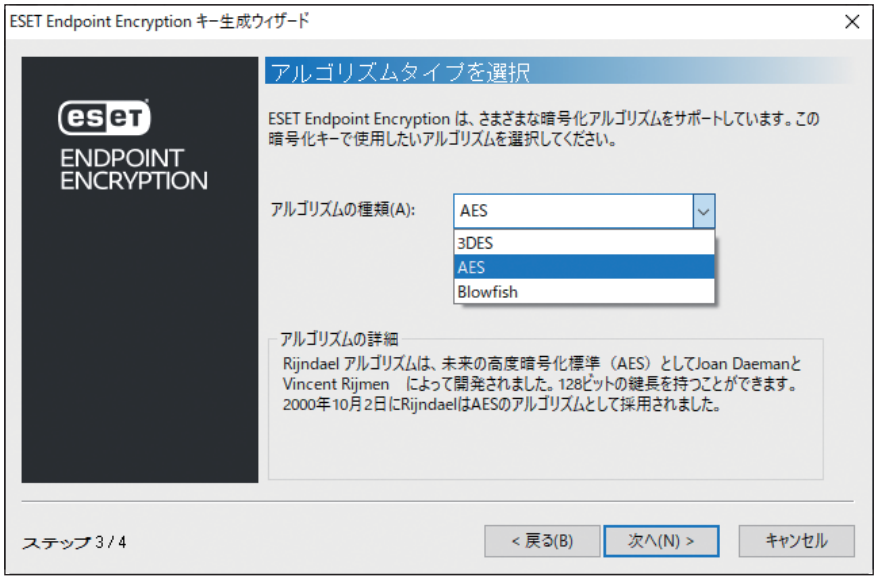
■複数の暗号化アルゴリズムに対応

ESET Endpoint Encryption は AES、Blowfish、3DES の 3 種類の暗号化アルゴリズムに対応しています。AES（Advanced Encryption Standard）は現在主流の暗号化アルゴリズムです。ESET Endpoint Encryption では、鍵長 128 ビットまたは 256 ビットの暗号鍵でデータの暗号化を行います。

Blowfish はブロック暗号の一種です。ESET Endpoint Encryption では鍵長 128 ビットの暗号鍵でデータの暗号化を行います。

3DES（トリプル DES）は DES と呼ばれる暗号化方式を 3 回適用する暗号化アルゴリズムです。ESET Endpoint Encryption では 2 つの 56 ビット鍵を使用し、鍵長 112 ビットとしてデータの暗号化を行います。

また、ESET Endpoint Encryption は米国連邦標準規格である FIPS 140-2 Level 1 認定を受けています。



1.2 動作環境

●オペレーティングシステム

Windows 7 Starter
Windows 7 Home Premium
Windows 7 Professional
Windows 7 Enterprise
Windows 7 Ultimate
Windows 8
Windows 8 Pro
Windows 8 Enterprise
Windows 8.1
Windows 8.1 Pro
Windows 8.1 Enterprise
Windows 8.1 with Bing
Windows 10 Home
Windows 10 Pro
Windows 10 Education
Windows 10 Enterprise

●その他

64MB 以上のハードディスクや SSD の空き領域
1GHz 以上の 32bit ／ 64bit プロセッサー
メモリー 1GB 以上
Internet Explorer 8 以降
（本製品の製品登録、次年度更新時にインターネット接続が必要になります。）
物理キーボード
（ハードディスクのフルディスク暗号化後の PC の起動時に表示されるプリブート認証は、タッチスクリーン等の仮想キーボードには対応していません。）

■対応 OS を使用しても導入できない環境について

- ARM アーキテクチャおよび IA-64 を使用したプロセッサを搭載しているクライアント PC
- マルチブートで構成されたクライアント PC
- クライアント PC 内のストレージがソフトウェア RAID で構成されている場合
- クライアント PC 内のストレージにダイナミックディスクを利用している場合
- Windows が標準で備えているドライブ圧縮機能や EFS を利用しているクライアント PC
- HDD/SSD の MBR/GPT 領域や EFI システムパーティションに書き込みを行うソフトウェア（パーティション操作やマルチブート管理ソフト）を導入しているクライアント PC
- クライアント PC に IT 資産管理ソフト SS1（System Support best1）が導入されている場合
- インテル® スマート・レスポンス・テクノロジーを使用してストレージを構成している場合（インテル® スマート・レスポンス・テクノロジーは SSD と HDD の両方を搭載した PC で SSD をキャッシュメモリーとして設定できる機能です。この機能を使用して構成されている PC については ESET Endpoint Encryption を導入できません）

■注意が必要な環境について

- クライアント PC で BitLocker および Bitlocker 機能を利用したデバイスの暗号化機能を利用している環境に本製品を導入する場合、BitLocker による暗号化の復号を行う必要があります。
- クライアント PC で他社製暗号化ソフトウェアを利用している場合、他社製暗号化ソフトウェアによる暗号化を復号を行う必要があります。また、他社製暗号化ソフトウェアはアンインストールを行ってください。
- クライアント PC が仮想キーボードもしくは無線キーボードのみ搭載している場合、HDD/SSD のフルディスク暗号化後の PC の起動時に表示されるプリブート認証は、タッチスクリーン等の仮想キーボードには対応していません。フルディスク暗号化をご利用になる場合は、USB 接続形式の物理キーボードが利用できる必要があります。
- クライアント PC で自己暗号化機能付の内蔵ストレージを利用している場合、OPAL 対応の内蔵ストレージを利用するには、ESET Endpoint Encryption Server を利用する必要があります。
- CD/DVD などの光学ドライブが内蔵されていない PC で、かつ外付けの光学ドライブも用意できない場合、Windows が起動しなくなったなどのトラブル発生時に、HDD/SSD の復号を行うユーリティティは、ISO 形式で提供されます。光学ドライブが利用できない場合、USB メモリーから Windows の起動が行える必要があります。

■相性問題が確認されているソフトウェアについて

以下のソフトウェアが導入されている環境へは、ESET Endpoint Encryption を導入できないもしくは暗号化できない、といった現象を確認しております。

・HP Drive Encryption

ESET Endpoint Encryption をインストールできません。

・HP Protect Tools

ESET Endpoint Encryption で PC 内蔵の HDD/SSD を暗号化できません。

・IBM Trusteer Rapport

Microsoft Word 2010/2013 で作成したファイルが正常に保存されません。

■ Windows のアップグレードについて

- ESET Endpoint Encryption で HDD/SSD が暗号化された PC では、Windows 8 から Windows 8.1、Windows 7/8.1 から Windows 10 へアップグレードできません。一旦、HDD/SSD を復号してからアップグレードを行ってください。
- Windows 10 の大型アップデートへの対応につきましては、下記参考ページをご参照ください。

https://canon-its.jp/eset/edp/faq/001/

■キーファイルパスワードについて

キーファイルパスワードにマルチバイト文字列を指定した場合、ESET Endpoint Encryption にログインできなくなります。パスワードは、必ず半角英数字記号で指定してください。
キーファイル パスワードにマルチバイト文字列を指定した場合は、キーファイル パスワードをリセットしてください。
リセット方法は、148 ページの「3.12.1　ログインパスワードを忘れてしまったときは？」の「●キーファイルをリセットする」を参照してください。

Chapter 2 ESET Endpoint Encryption の利用方法

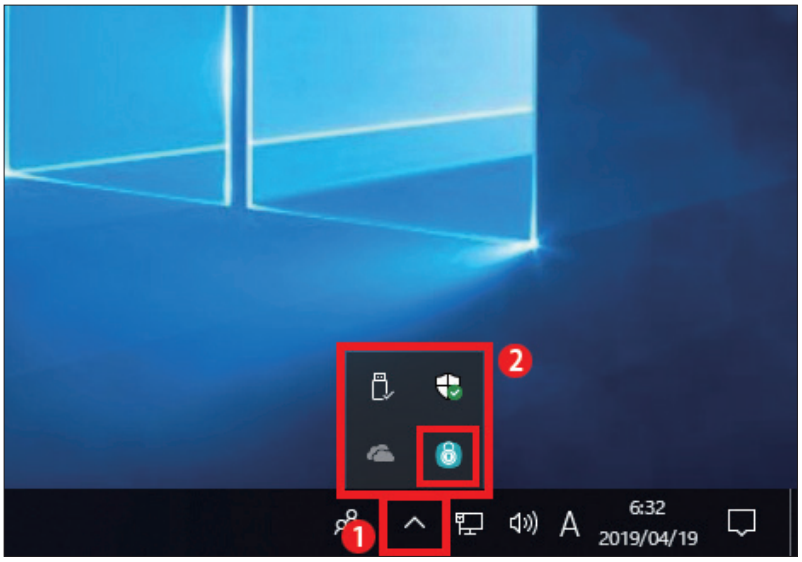
2.1　ESET Endpoint Encryption メニューを起動する

ESET Endpoint Encryption は、Windows が起動するとデスクトップの通知領域にアイコンを表示します。このアイコンを右クリックすると、メニューが表示され、各種操作が行えます。

!重　要

本マニュアルでは、ESET Endpoint Encryption がインストール済みであることを前提に解説を行っています。ESET Endpoint Encryption のインストール手順については、「ESET Endpoint Encryption スタートアップガイド」をご参照ください。また、ESET Endpoint Encryption Server を利用して ESET Endpoint Encryption をインストールしたパソコンの管理を行う場合は、「ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアル」の「2　運用方法」をご参照ください。

1 デスクトップの通知領域に ESET Endpoint Encryption のアイコンが表示されていないときは、❶［隠れているインジケーターを表示します］ボタンをクリックすると、❷隠れていたアイコンが表示されます。

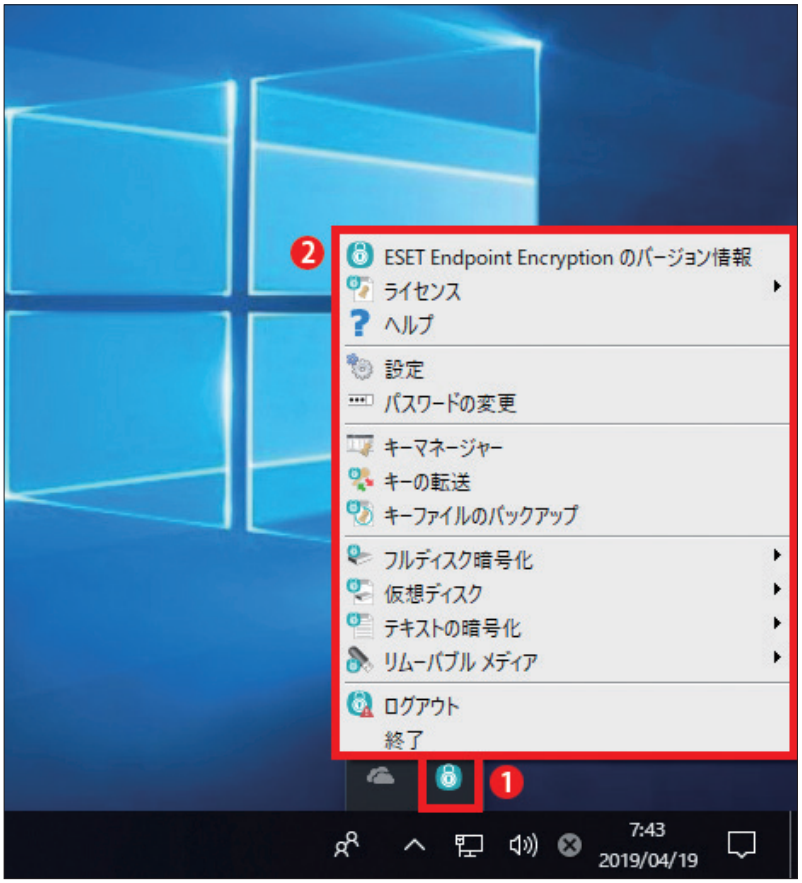


ワンポイント

通知領域に ESET Endpoint Encryption のアイコンが表示されていたときは、そのアイコンを右クリックします。

続く

❷ ❶ ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックすると、❷メニューが表示されます。



ワンポイント

既定の設定では、ESET Endpoint Encryption にログインしている状態で通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンをダブルクリックすると、ログアウトします。
また、ESET Endpoint Encryption にログインしていないときに、通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンをダブルクリックするとログインダイアログが表示されます。通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンをダブルクリックしたときの動作は、設定画面の［設定］タブ→［トレイアイコンをダブルクリック］で設定を行えます。

2.2 ESET Endpoint Encryption の画面構成

ここでは、ESET Endpoint Encryption のメニューの画面構成を説明します。ESET Endpoint Encryption の各種操作は、ESET Endpoint Encryption のメニューを表示することで選択できます。

! 重 要

ESET Endpoint Encryption Server によってクライアント PC に導入した ESET Endpoint Encryption の管理を行っている場合、表示するメニュー項目を ESET Endpoint Encryption Server で設定できます。このため、表示されるメニュー項目が異なる場合があります。

●ESET Endpoint Encryption Server で管理されていない ESET Endpoint Encryption のメニュー一覧



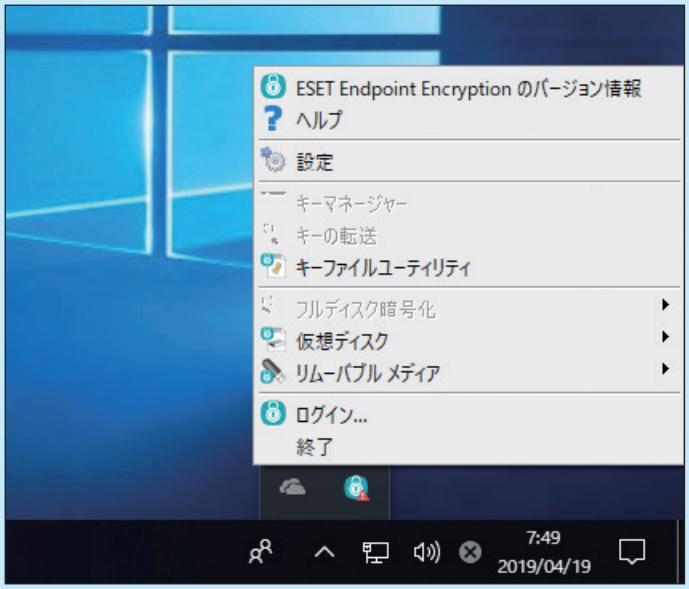
●ESET Endpoint Encryption Server で管理された ESET Endpoint Encryption のメニュー一覧の一例



❶	ESET Endpoint Encryption のバージョン情報やライセンス登録画面、ヘルプなどを表示します。
❷	ESET Endpoint Encryption へのログインパスワードの設定や ESET Endpoint Encryption の動作に関する基本的な設定が行えます。
❸	暗号化キーの設定やキーファイルのバックアップなど、暗号化キーに関する各種設定が行えます。
❹	ファイルやフォルダーの暗号化、フルディスク暗号化、リムーバブルメディアの暗号化、仮想ディスクなどの各種暗号化が行えます。
❺	ESET Endpoint Encryption Server と即時に同期を行います。

ワンポイント

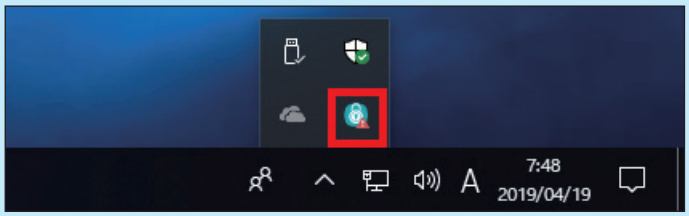
ESET Endpoint Encryption にログインしているときとしていないときで、通知領域に表示される ESET Endpoint Encryption のアイコンのデザインが異なります。また、ESET Endpoint Encryption にログインしていないときは、一部の項目がメニューに表示されません。



ESET Endpoint Encryption にログインしていないときのメニュー画面



ESET Endpoint Encryption にログインしているときのアイコン



ESET Endpoint Encryption にログインしていないときのアイコン



ESET Endpoint Encryption からログアウトしたときのアイコン

2.3 フルディスク暗号化を行う

ここでは、「フルディスク暗号化」の利用手順を説明します。フルディスク暗号化は、Windows の起動に利用している HDD/SSD 全体を暗号化できるだけでなく、HDD/SSD 内に作成されたパーティション単位での暗号化を行えます。また、複数の HDD/SSD が接続されている場合、選択した任意のドライブ／パーティションを暗号化できます。

! 重 要

ESET Endpoint Encryption Server によってクライアント PC に導入した ESET Endpoint Encryption の管理を行っている場合、フルディスク暗号化の利用手順が異なります。詳細は、「ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアル」の「B6 ESET Endpoint Encryption Server から HDD/SSD の暗号化を行う」をご参照ください。ここでは、ESET Endpoint Encryption Server によって管理されていない ESET Endpoint Encryption で、フルディスク暗号化を行う手順を解説しています。

2.3.1 フルディスク暗号化の利用イメージ

フルディスク暗号化は、パソコンに常時接続されている HDD/SSD を暗号化することで、大切な情報（データ）の漏洩を防ぐ機能です。暗号化は、HDD/SSD などのドライブ全体または HDD/SSD 内に作成されたパーティション単位で行えます。また、フルディスク暗号化を行うと、Windows の起動前に必ず、「プリブート認証」画面が表示されるように設定され、ユーザー名とパスワードの入力を行わない限り Windows の起動が行えません。これによって、パソコンを紛失したり、盗難にあったりした場合でも情報の流出を防ぐことができます。

なお、フルディスク暗号化は、いつでも暗号化を復号して元の状態に戻せます。フルディスク暗号化を行ったことによって、Windows が起動しなくなった場合や、動作が不安定になった場合は、暗号化を解除してください。フルディスク暗号化の解除の詳細については、27 ページの「2.3.4 フルディスク暗号化を復号する」を参照してください。

! 重 要

ESET Endpoint Encryption Server で管理されていない ESET Endpoint Encryption のフルディスク暗号化の解除には、暗号化実行時に表示される「管理者パスワード」の入力が必要になります。管理者パスワードは、USB メモリーなどの外付けドライブに保存できるほか、印刷することもできます。また、ESET Endpoint Encryption Server によって ESET Endpoint Encryption の管理を行っていない場合、管理者パスワードを紛失または失念するとフルディスク暗号化の復号を行えなくなります。管理者パスワードは、大切に保管しておいてください。なお、ESET Endpoint Encryption Server で管理されている ESET Endpoint Encryption では、暗号化 / 復号の管理を ESET Endpoint Encryption Server で行います。クライアント PC にインストールされた ESET Endpoint Encryption で HDD/SSD の暗号化 / 復号の管理を行うことはできません。

2.3.2 フルディスク暗号化を行う

フルディスク暗号化を行うと、HDD/SSD 内のデータはすべて暗号化されます。万が一に備えて、HDD/SSD 内のデータのバックアップを行ってから作業を行ってください。また、Windows の起動が行えなくなるなどのトラブル発生に備えて、パソコンを工場出荷時の状態に戻すリカバリディスクの作成も行っておいてください。リカバリディスクの作成方法については、ご利用のパソコンに付属する取扱説明書などを参照してください。

! 重 要

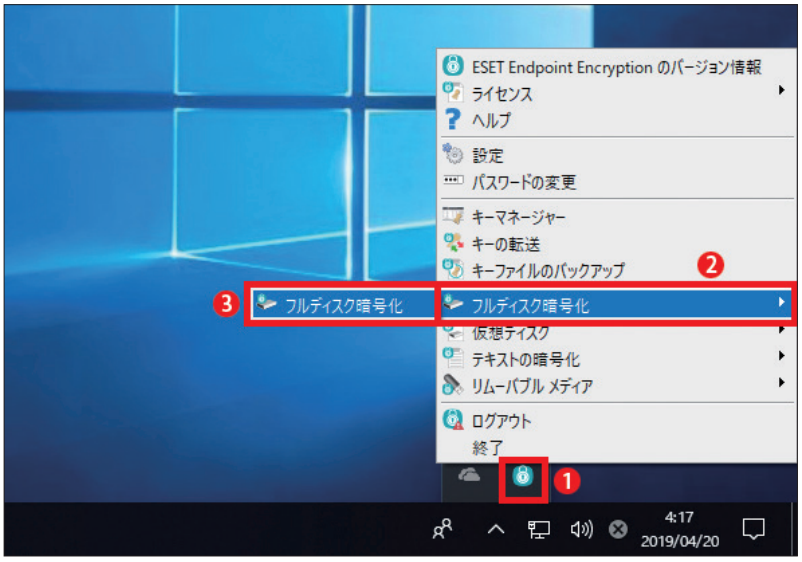
Windows に標準で備わっているドライブの暗号化機能「BitLocker」や他社製のドライブの暗号化ソフトによって HDD/SSD の暗号化を行っている場合、暗号化の復号を行ってから作業を行う必要があります。また、他社製の暗号化ソフトは、アンインストールしてください。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server によってクライアント PC に導入した ESET Endpoint Encryption の管理を行っている場合、フルディスク暗号化の利用手順が異なります。詳細は、「ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアル」の「B6　ESET Endpoint Encryption Server から HDD/SSD の暗号化を行う」をご参照ください。

操作手順

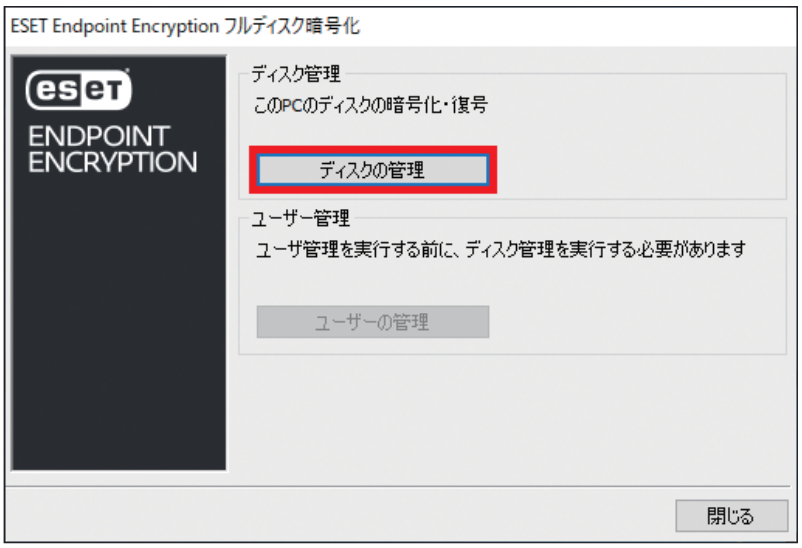
1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［フルディスク暗号化］→❸［フルディスク暗号化］とクリックします。



ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します]ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

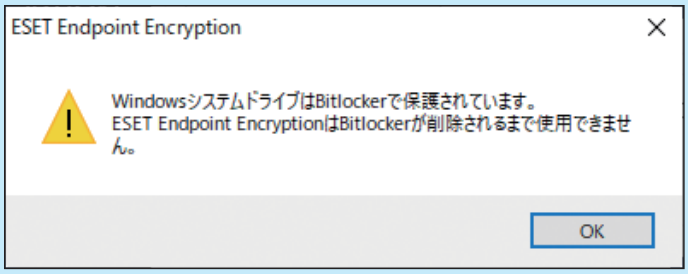
2 ［ディスクの管理］ボタンをクリックします。



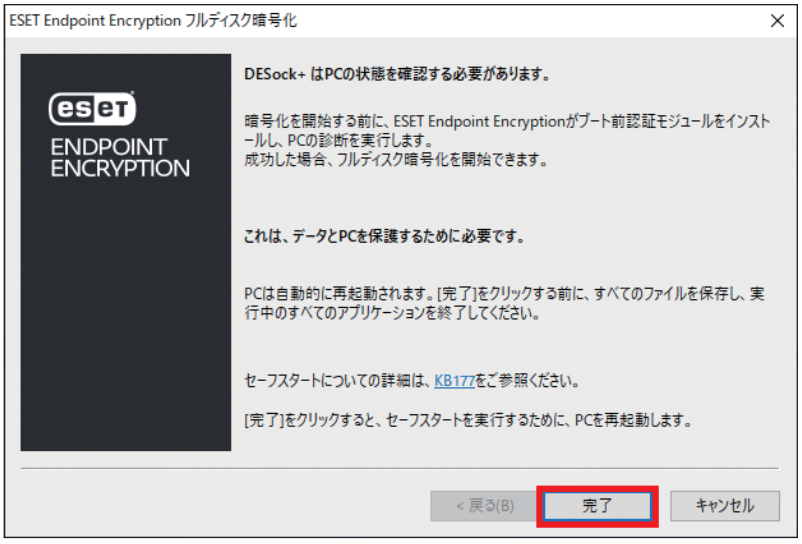
続く

ワンポイント

BitLocker や他社製の暗号化ソフトで HDD/SSD が暗号化されている場合、それを知らせる以下のようなダイアログボックスが表示されます。以下のダイアログボックスが表示されたときは、[OK] ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。続いて、手順❷の画面で［閉じる］ボタンをクリックして、フルディスク暗号化の画面を閉じ、BitLocker の無効化による HDD/SSD の暗号化の解除（復号）または他社製の暗号化ソフトによる HDD/SSD の暗号化の解除（復号）を行ってください。また、BitLocker 以外の他社製の暗号化ソフトのインストールしているときは、HDD/SSD の暗号化の解除（復号）を行った後に、そのソフトのアンインストールを行ってください。ESET Endpoint Encryption によるフルディスク暗号化は、BitLocker の無効化や他社製の暗号化ソフトのアンインストール後に再度、実施してください。



❸［完了］ボタンをクリックします。

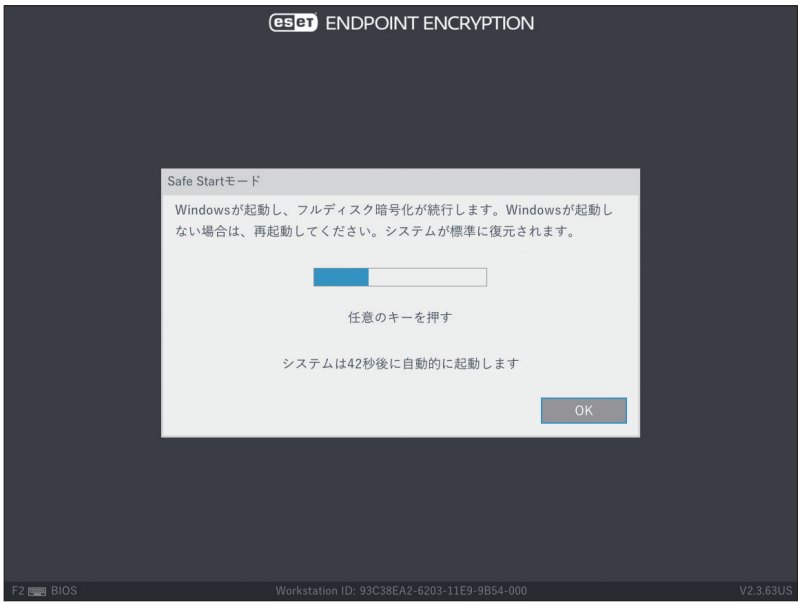


❹［OK］ボタンをクリックすると、パソコンが再起動され Safe Start モードによってフルディスク暗号化が利用できるかどうかの診断が実施されます。



続く

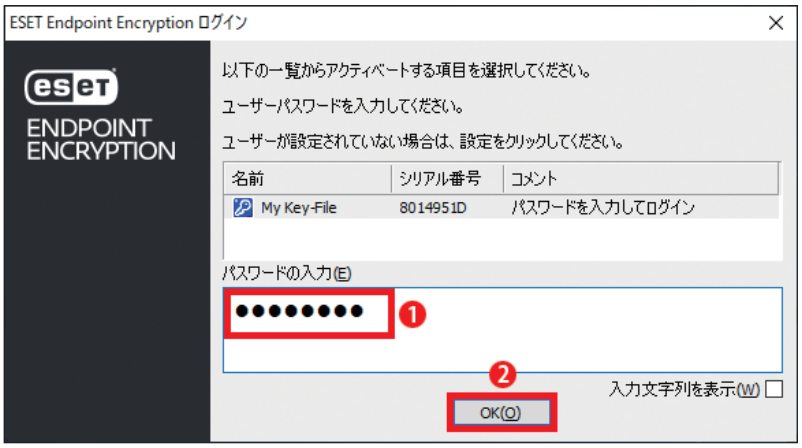
5 フルディスク暗号化を開始できる環境と診断された場合、プリブート診断画面が表示されます。［Enter］キーなど任意のキーを押すか、画面が表示されてから「60 秒」が経過すると Windows が起動します。



ワンポイント

フルディスク暗号化を開始できる環境と診断された場合に表示される画面は、ブートモードが BIOS か UEFI で異なります。また、再起動後、画面に何も表示されないときは、パソコンのリセットボタンを押すか、パソコンの電源のオン／オフを行うなどしてパソコンの再起動を行ってください。

6 「ESET Endpoint Encryption ログイン」画面が表示された場合、インストール時に設定した❶キーファイルパスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



！重　要

パスワードには半角英数字と記号のみ利用可能です。漢字やかな等のマルチバイト文字は利用できません。

ワンポイント

キーファイルパスワードの設定時に、「起動時に自動的にログイン」にチェックを入れた場合、「ESET Endpoint Encryption ログイン」画面は表示されません。

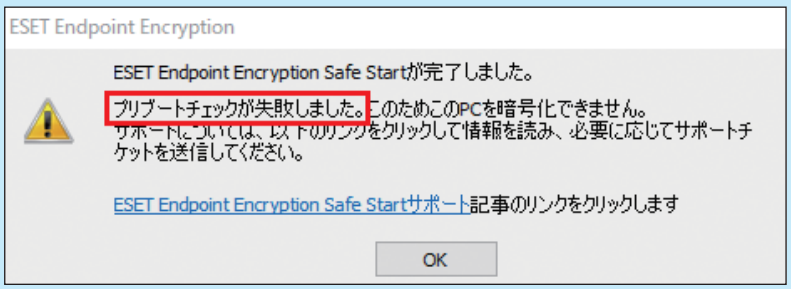
続く

7 ダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

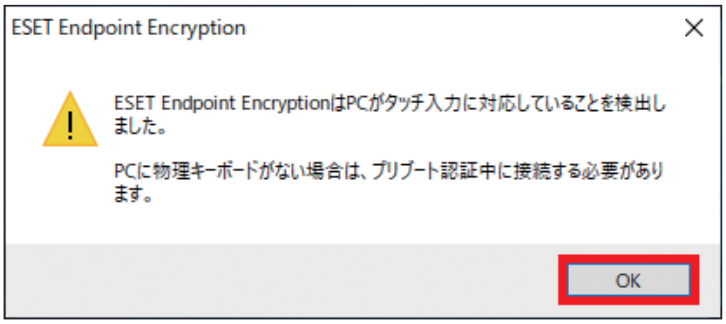


ワンポイント

Safe Start に成功し、フルディスク暗号化が行えるときは、手順7のダイアログボックスに「セーフスタートは正常に完了しました。フルディスク暗号化のセットアップウィザードに移動します。」と表示されます。また、フルディスク暗号化が行えないときは、ダイアログボックスに「プリブートチェックが失敗しました。」と表示されます。この場合、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。詳細は、166 ページの「3.14 サポートサービスについて」を参照してください。

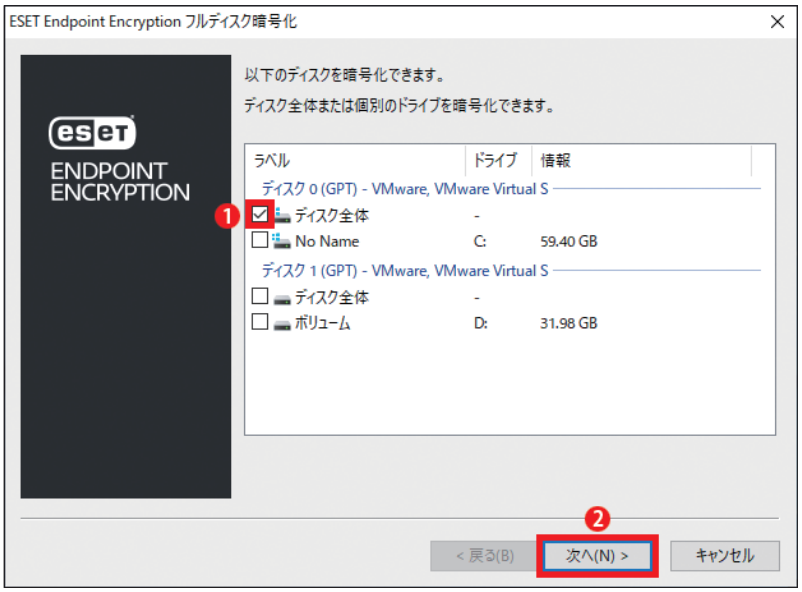


8 利用中のパソコンがタッチ入力対応であることを知らせるダイアログが表示されたときは、[OK] ボタンをクリックします。



続く

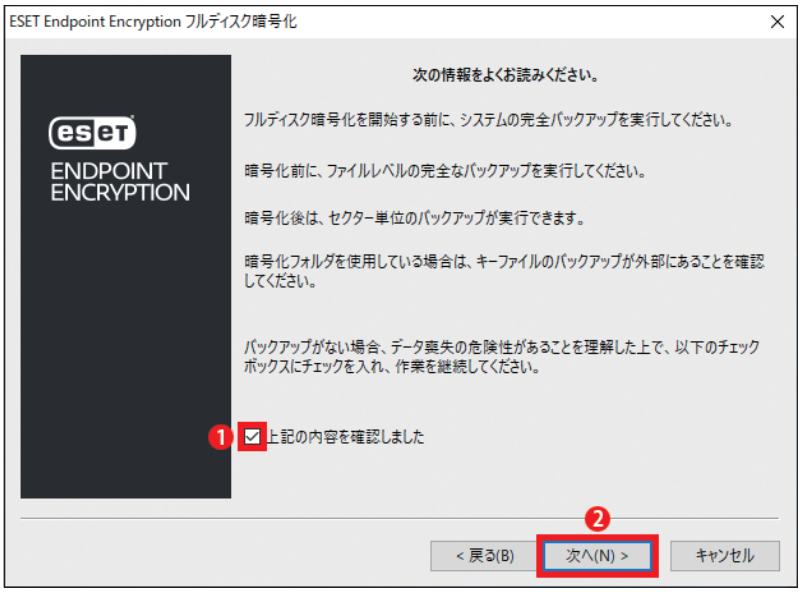
9 ❶暗号化を行いたいディスクやパーティション（ここでは、［ディスク全体］）のチェックをオンにし、❷［次へ］ボタンをクリックします。



ワンポイント

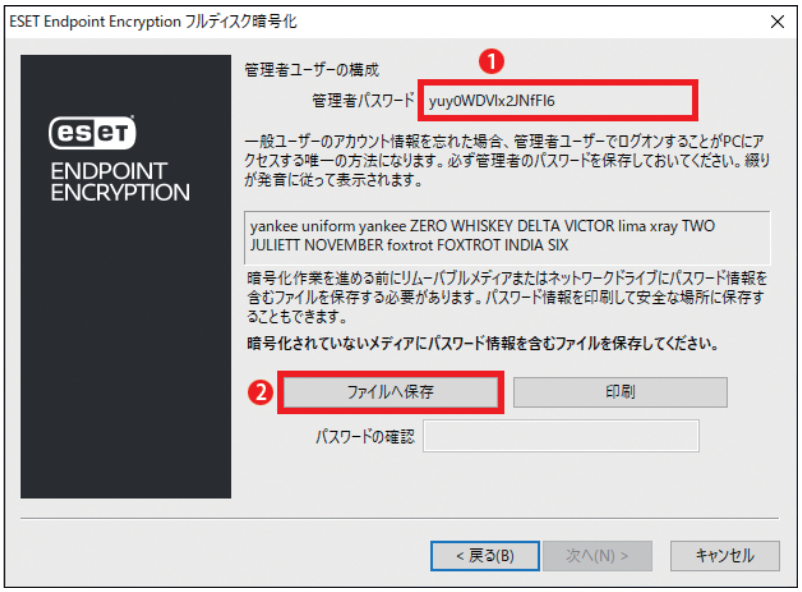
ここでは、HDD/SSD 全体を暗号化する「ディスク全体」を選択していますが、暗号化したい領域をパーティション単位で選択することもできます。 複数の HDD/SSD がパソコンに接続されているときは、複数の HDD/SSD を同時に選択することはできません。

10 ❶［上記の内容を確認しました］にチェックに入れ、❷［次へ］ボタンをクリックします。



続く

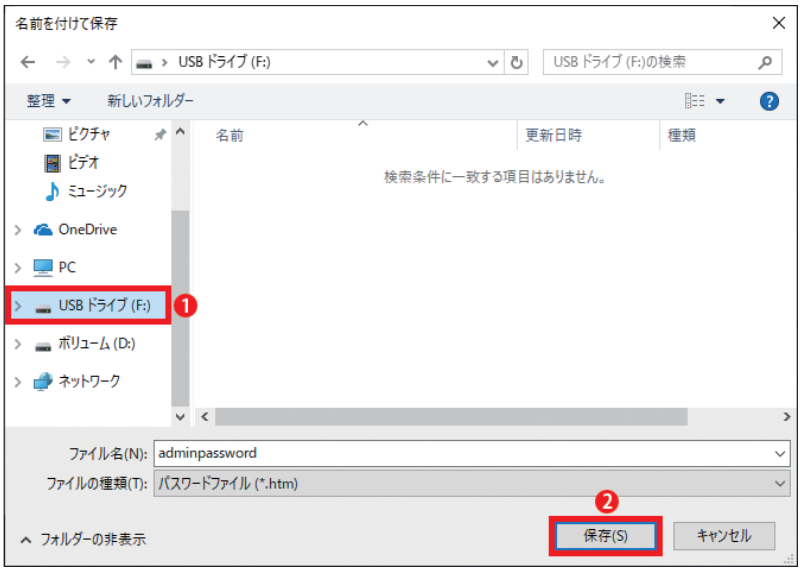
⓫ 管理者ユーザーの構成画面が表示され、❶管理者パスワードが表示されます。管理者パスワードをhtml 形式のファイルに保存します。❷［ファイルへ保存］ボタンをクリックします。



ワンポイント

手順⓫の管理者ユーザーの構成画面で［キャンセル］ボタンをクリックして、フルディスク暗号化の実行をキャンセルした後に、再度、フルディスク暗号化を実行すると、管理者パスワードが変更されます。必ず暗号化処理を完了させたときの管理者パスワードを保存してください。手順をキャンセルした際に保存したパスワードは不要です。

⓬ ❶管理者パスワードのバックアップ先を選択し、❷［保存］ボタンをクリックします。



!重　要

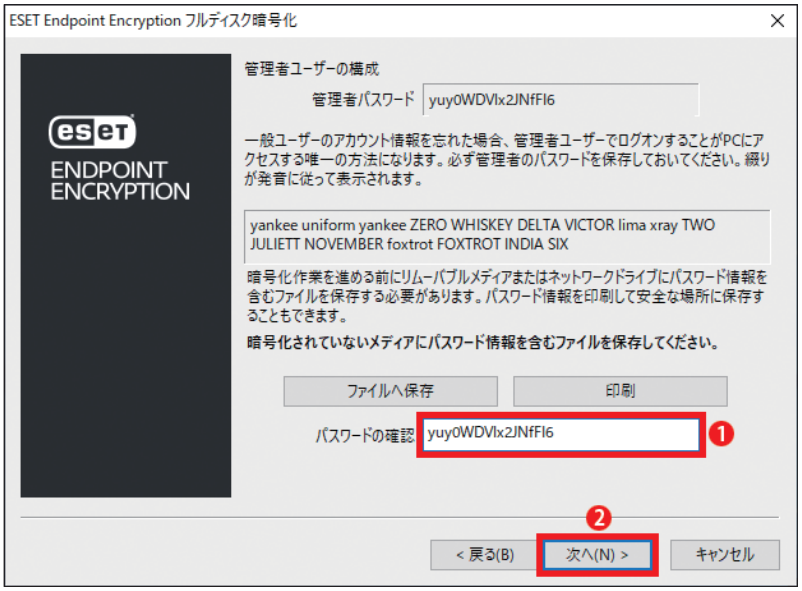
管理者パスワードは、フルディスク暗号化の復号を行う際に必要になる大切なパスワードです。管理者パスワードをなくすと、フルディスク暗号化を復号できなくなります。管理者パスワードは、ネットワーク上の共有フォルダーや USB メモリー、USB 接続の HDD など、暗号化する HDD/SSD とは別の外部ドライブに保存して大切に保管してください。

続く

⑬ 管理者パスワードが保存されるとダイアログが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



⑭ 画面上に表示されている管理者パスワードを❶［パスワードの確認］のテキストボックスに入力し、❷［次へ］ボタンをクリックします。



ワンポイント

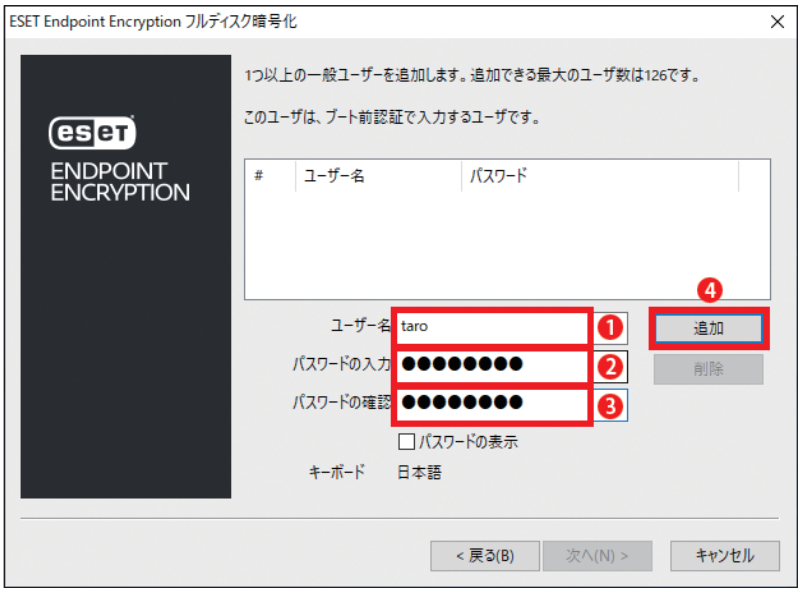
［印刷］ボタンをクリックすると、管理者パスワードを印刷できます。管理者パスワードは、ファイルに保存するだけでなく、印刷を行っておくことをお勧めします。

ワンポイント

手順⑭の画面の中央に表示されている英文の文字列は、パスワードを覚えやすいように単語を並べて文章化したものです。単語の頭文字がパスワードの該当文字を表しており、すべての文字が小文字の場合は、該当するパスワードの文字は小文字となります。また、数字の場合は、ZERO や ONE、TWO などのように表記されています。

続く

⓯ プリブート認証で入力する❶ユーザー名を入力し、❷任意のパスワードを入力します。❸❷で入力したパスワードを再入力します。❹［追加］ボタンをクリックします。



!重 要

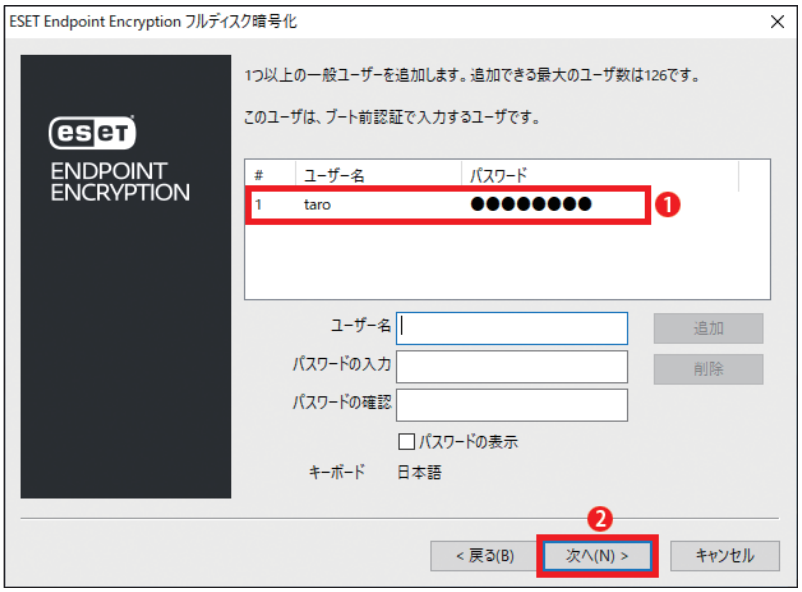
ユーザー名、パスワードには半角英数字と記号のみが利用できます。漢字やかな等のマルチバイト文字は利用できません。また、UEFI 環境で動作している OS で、日本語キーボードを使用している場合、UEFI の仕様上、プリブート認証時にユーザー名やパスワードにアンダースコア（_）、円マーク（¥）、縦パイプ（|）は、利用できません。

!重 要

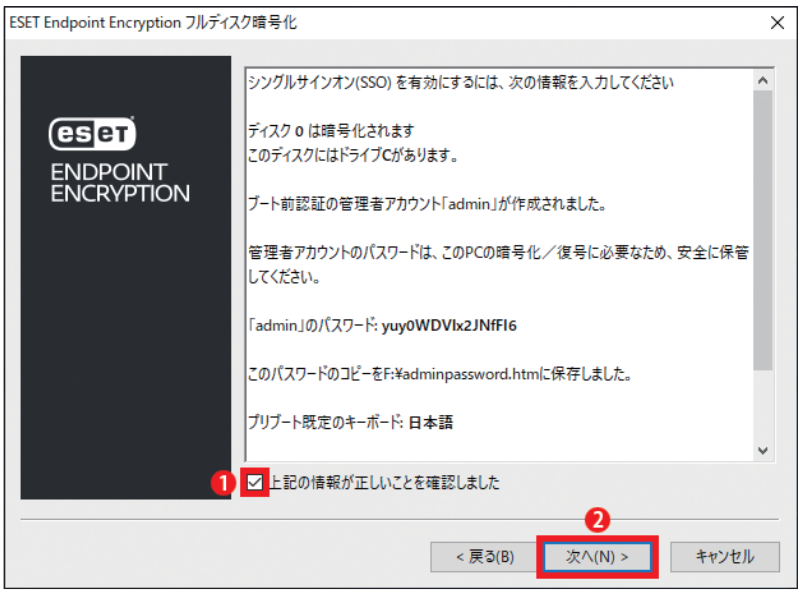
プリブート認証で利用するユーザーには、「管理者ユーザー」と「一般ユーザー」の 2 種類があります。管理者ユーザーは、一般ユーザーがユーザー名やパスワードなどのプリブート認証で利用するアカウント情報を忘れてしまった場合に Windows を起動する方法として用意されています。管理者ユーザーでプリブート認証を行うことで Windows を起動し、アカウント情報を忘れてしまった一般ユーザーの削除や追加などを行えます。また、Windows が起動しなくなった場合など、フルディスク暗号化の解除（復号）を行う場合にも管理者ユーザーは利用されます。手順⓯では、プリブート認証で利用する一般ユーザーの追加を行っています。ESET Endpoint Encyption Server を利用していない ESET Endpoint Encryption では、管理者ユーザー名として「admin」が予約されており、「admin」は一般ユーザーとして登録できません。

続く

16 ❶手順⓯で追加したユーザーが登録されます。❷［次へ］ボタンをクリックします。ユーザーを複数追加する場合は、手順⓯を再度繰り返し実施します。

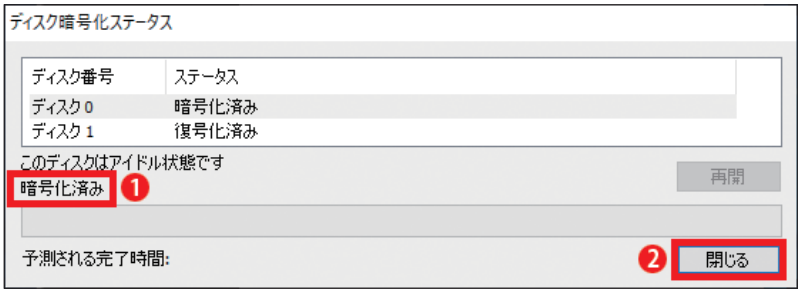


17 ❶［上記の情報が正しいことを確認しました］のチェックをオンにして、❷［次へ］ボタンをクリックします。 暗号化が開始されます。暗号化中は、進捗状況が表示されます。



続く

18 ❶暗号化が完了したら、❷［閉じる］ボタンをクリックします。



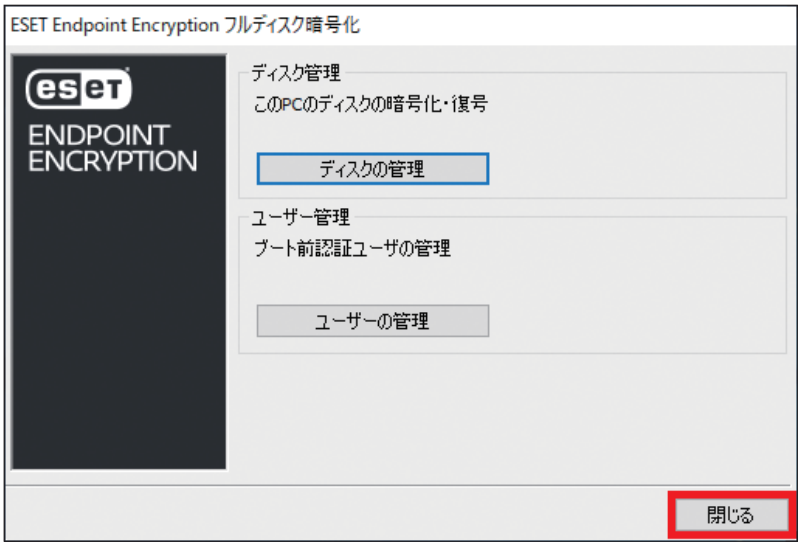
ワンポイント

暗号化完了までに要する時間は、HDD/SSD の性能や容量によって異なり、場合によっては数時間かかる場合があります。また、暗号化の処理中に Windows のシャットダウンや、再起動、スリープ、休止モードへの移行を行った場合、作業は自動的に中断され、Windows 起動後に暗号化が再開されます。ノート PC などでバッテリー駆動を行っている場合は、安全のため暗号化の処理が中断されます。ノート PC を AC 電源に接続すると暗号化の処理が再開されます。また、暗号化の処理が完了していない状態での復号や、ESET Endpoint Encryption のアンインストールを行うことはできません。これらの作業は、暗号化を完了後に、実施してください。

ワンポイント

暗号化中は暗号化処理をキャンセルできません。

19 フルディスク暗号化ダイアログが表示されている場合には、［閉じる］ボタンをクリックします。



! 重 要

ESET Endpoint Encryption をインストールした PC が暗号化中にパソコンの電源が突然切れたことなどにより、OS が起動しなくなった場合などの問題が発生したときは、弊社の以下の WEB サイトのサポート情報をご参照ください。

ESET Endpoint Encryption Server で管理していない場合
https://canon-its.jp/eset/dl-enc-recovery/

ESET Endpoint Encryption Server で管理している場合
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13692?site_domain=encryption

2.3.3　フルディスク暗号化を行った PC から起動する

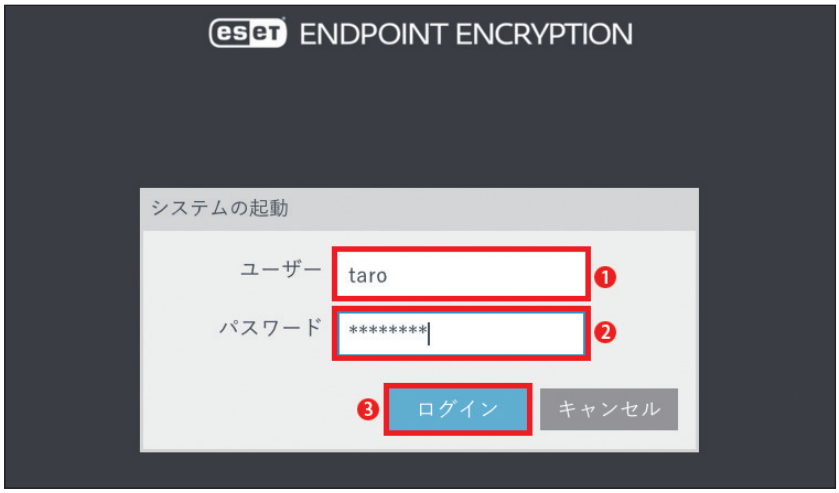
フルディスク暗号化を行ったパソコンの電源を入れるとプリブート認証画面が表示され、ユーザー名とパスワードでユーザー認証を行うと Windows が起動します。ユーザー認証に使用するユーザー名とパスワードは、15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓯で設定したユーザー名／パスワードを入力します。また、プリブート認証画面は、パソコンのブートモードが「BIOS」か「UEFI」で異なります。

！重　要

ESET Endpoint Encryption Server で管理を行っていてかつ、クライアント PC が TPM モジュールを備えている場合、ユーザー名とパスワードによる認証以外にも、プリブート認証なし、PIN コードでの認証を選択できます。詳細については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

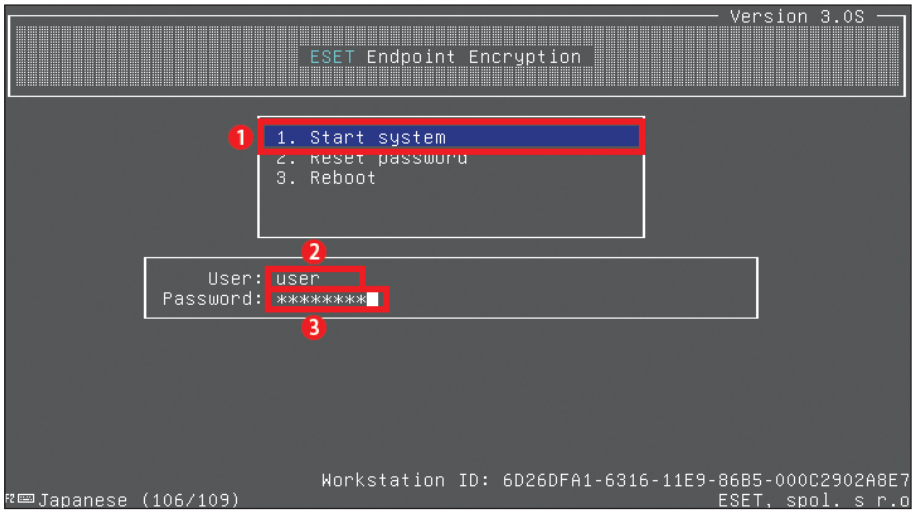
● UEFI の場合

❶ 15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓯で設定したユーザー名を入力し、❷パスワードを入力します。［Enter］キーを押すか、［Tab］キーで、❸［ログイン］ボタンまで移動し、［Enter］キーを押すと OS が起動します。



● BIOS の場合

❶［Start system］を選択して、［Enter］キーを押します。❷ 15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓯で設定したユーザー名を入力し、❸パスワードを入力します。［Enter］キーを押すと OS が起動します。



ワンポイント

プリブート認証で使用するユーザー名やパスワードを忘れたときは、15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓫～⓭で保存した管理者パスワードを利用して暗号化の復号を行います。詳細は、152 ページの「3.12.3.1 ESET Endpoint Encryption Recovery Utility で復号する」または156 ページの「3.12.3.2　Ubuntu で復号する」を参照してください。また、ESET Endpoint Encryption Server で ESET Endpoint Encryption の管理を行っているときは、ESET Endpoint Encryption Server でパスワードのリセットを行えます。詳細は、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルの「2.3　クライント PC のパスワードをリセットする（プリブート認証）」を参照してください。

2.3.4　フルディスク暗号化を復号する

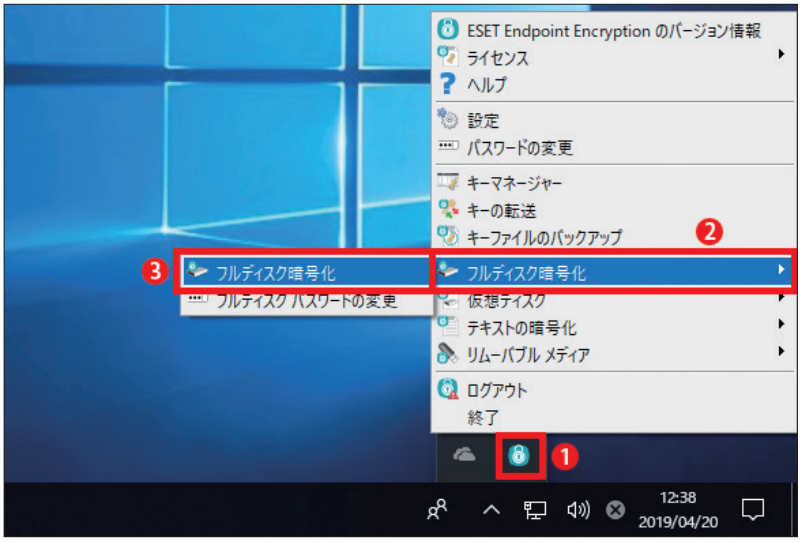
ここでは、ESET Endpoint Encryption Server を利用していない ESET Endpoint Encryption でフルディスク暗号化を行った HDD/SSD またはパーティションの暗号化を復号する手順を説明します。フルディスク暗号化の解除には、15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓫で表示されていた管理者パスワードが必要です。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用している ESET Endpoint Encryption の場合は、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

操作手順

1 ❶ 通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［フルディスク暗号化］→❸［フルディスク暗号化］とクリックします。

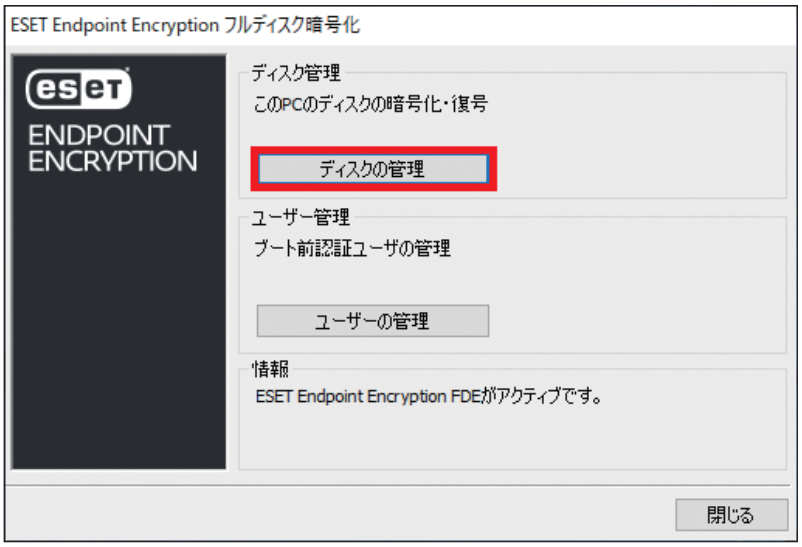


ワンポイント

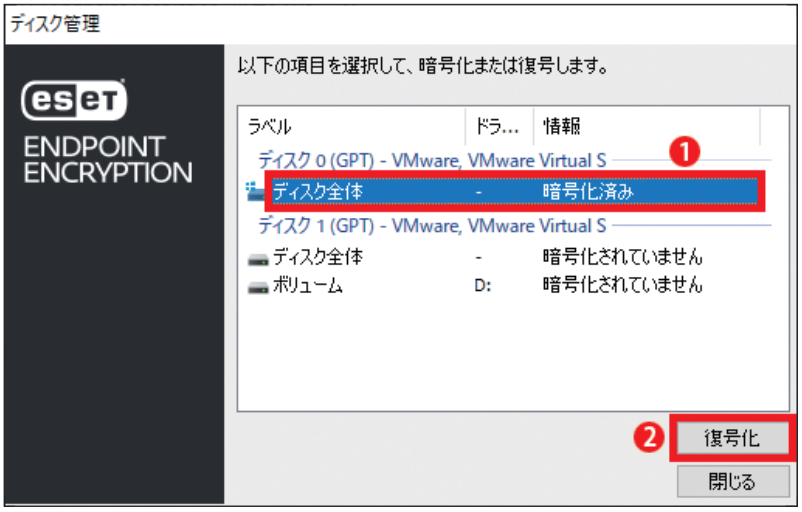
ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します] ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

2 ［ディスクの管理］ボタンをクリックします。



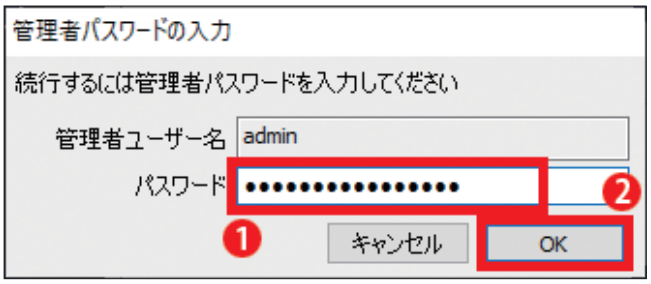
3 ❶復号したいディスクをクリックし、❷［復号化］ボタンをクリックします。



ワンポイント

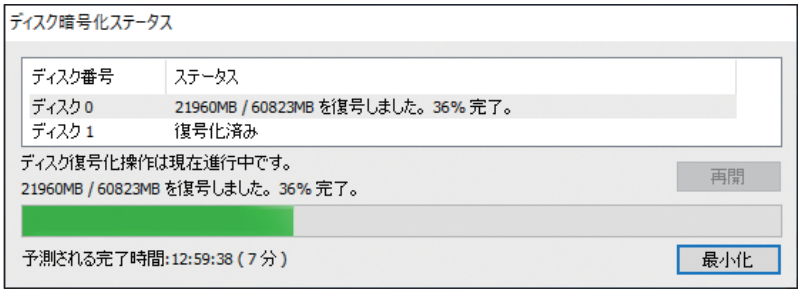
複数の HDD/SSD が暗号化されている場合、それぞれの HDD/SSD ごとに復号する必要があります。

4 ❶ 15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓫で表示されていた管理者パスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



続く

5 復号作業が始まります。復号中は、進捗状況が表示されます。



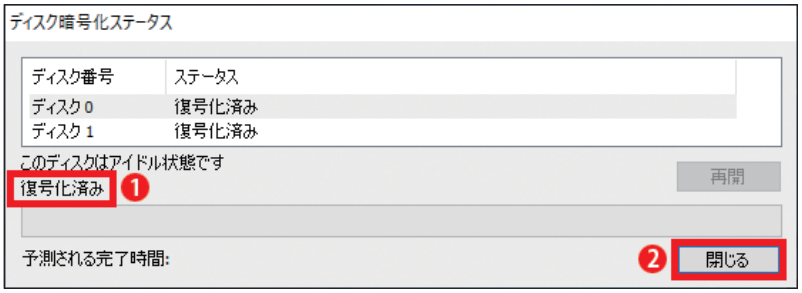
ワンポイント

暗号化の復号完了に要する時間は、HDD/SSD の性能や容量によって異なり、場合によっては数時間かかる場合があります。また、復号の処理中に Windows のシャットダウンや、再起動、スリープ、休止モードへの移行を行った場合、作業は自動的に中断され、Windows 起動後に復号が再開されます。ノート PC などでバッテリー駆動を行っている場合は、安全のため復号の処理が中断されます。ノート PC を AC 電源に接続すると復号の処理が再開されます。また、復号化の処理が完了していない状態で ESET Endpoint Encryption のアンインストールを行うことはできません。これらの作業は、復号を完了後に、実施してください。

ワンポイント

暗号化の復号中は復号処理をキャンセルできません。

6 ❶復号の完了後、❷［閉じる］ボタンをクリックします。



2.4 ファイルやフォルダーを暗号化する

ここでは、ファイルやフォルダーの暗号化と復号の手順を説明します。ファイルやフォルダーの暗号化は、クライアント PC 上のファイルやフォルダーだけでなく、USB メモリーや USB 接続の HDD などの外部ストレージに保存されているファイルやフォルダーについても同じ手順で暗号化や復号を行えます。

! 重 要

暗号化したフォルダーは、移動やコピーを行えません。また、以下パス内のフォルダーはフォルダーの暗号化機能で暗号化できません。

- C:¥Windows
- C:¥Program Files
- C:¥Program Files（x86）（ご利用の Windows が 64bit 版の場合）
- C:¥Users ※

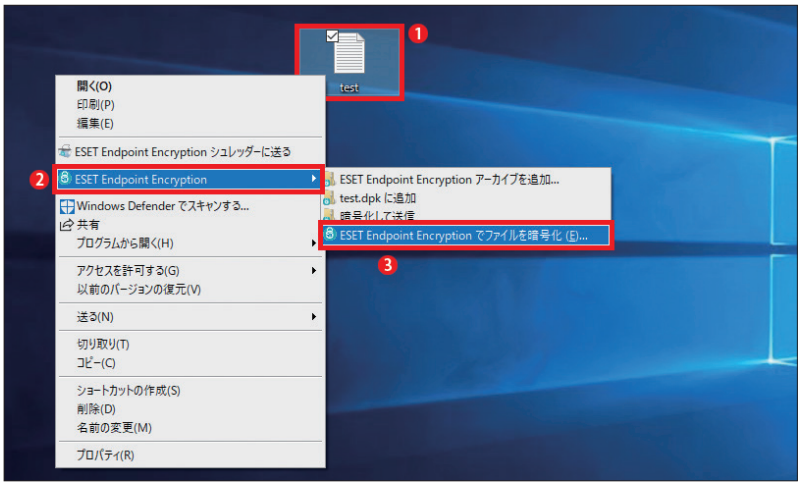
※「C:¥Users」については例外として、デスクトップ上に作成したフォルダーやマイドキュメント内に作成したフォルダーは暗号化できます。

- ネットワーク上の共有フォルダー

2.4.1 ファイルを暗号化する

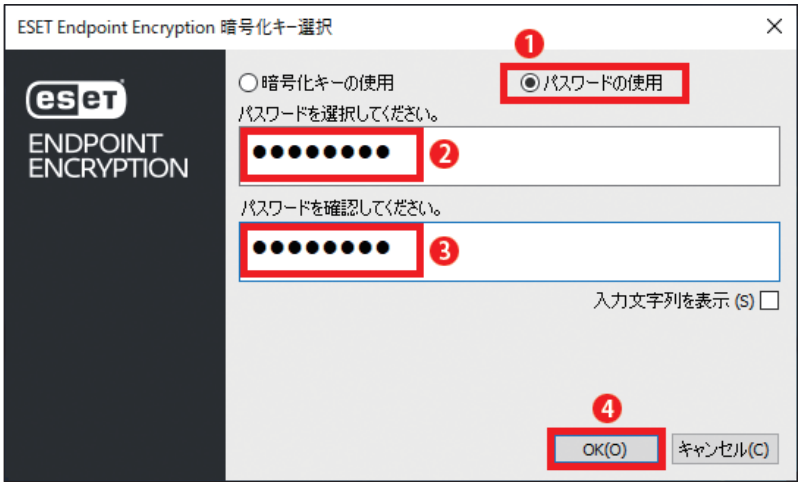
操作手順

1 ❶暗号化したいファイルを右クリックし、メニューから❷［ESET Endpoint Encryption］→❸［ESET Endpoint Encryption でファイルを暗号化］とクリックします。



続く

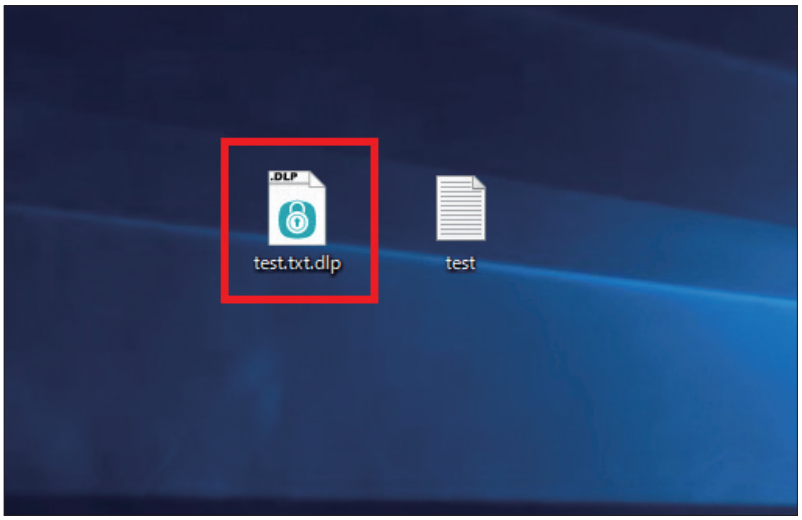
❷ 暗号化するために暗号化キーまたはパスワードを指定できます。ここでは、❶「パスワードの使用」をクリックし、❷ファイルを暗号化するためのパスワードを入力し、❸❷で入力したパスワードを再入力します。❹［OK］ボタンをクリックします。



ワンポイント

ファイルの暗号化は、暗号化キーまたはパスワードのいずれかで暗号化できます。ここの手順では、パスワードで暗号化を行っていますが、暗号化キーでファイルを暗号化する場合は、使用する暗号化キーを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

❸「拡張子を含む元のファイル名 +.dlp」のファイル名で同一フォルダー上に暗号化ファイルが作成されます。



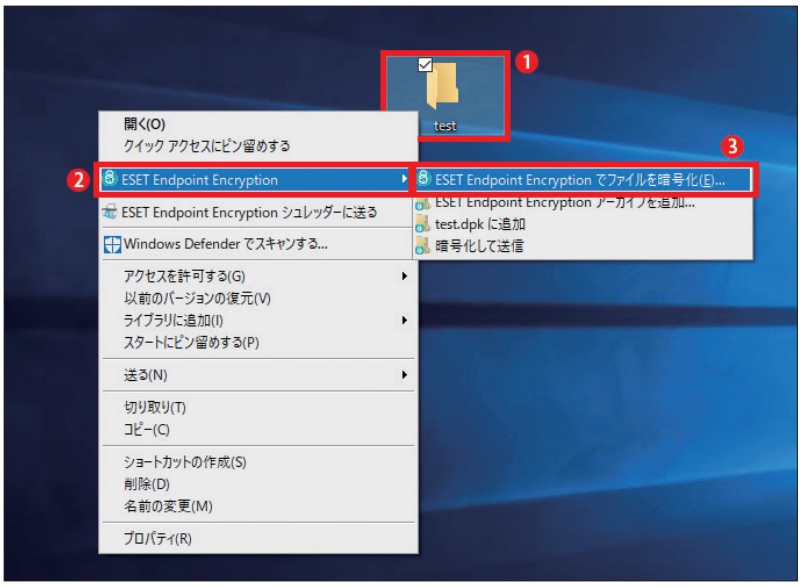
ワンポイント

パスワードで暗号化されたファイルは、無償提供している ESET Endpoint Encryption Reader を利用することで、復号できます。ESET Endpoint Encryption がインストールされていないユーザーとの間でファイルをセキュアにやり取りしたいときは、パスワードを利用した暗号化が便利です。ESET Endpoint Encryption Reader の利用方法の詳細については、118 ページの「3.6 ESET Endpoint Encryption Reader を利用する」を参照してください。

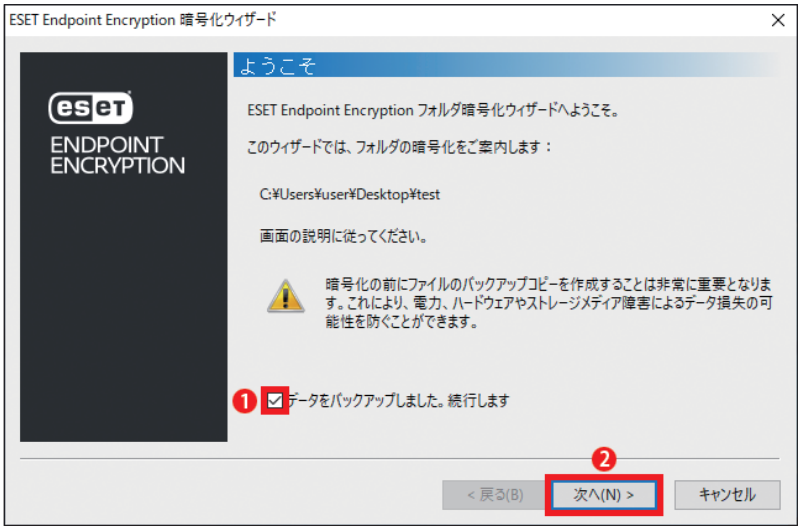
2.4.2 フォルダーを暗号化する

操作手順

1 ❶ 暗号化したいファイルやフォルダーを右クリックし、メニューから❷［ESET Endpoint Encryption］→❸［ESET Endpoint Encryption でファイルを暗号化］とクリックします。

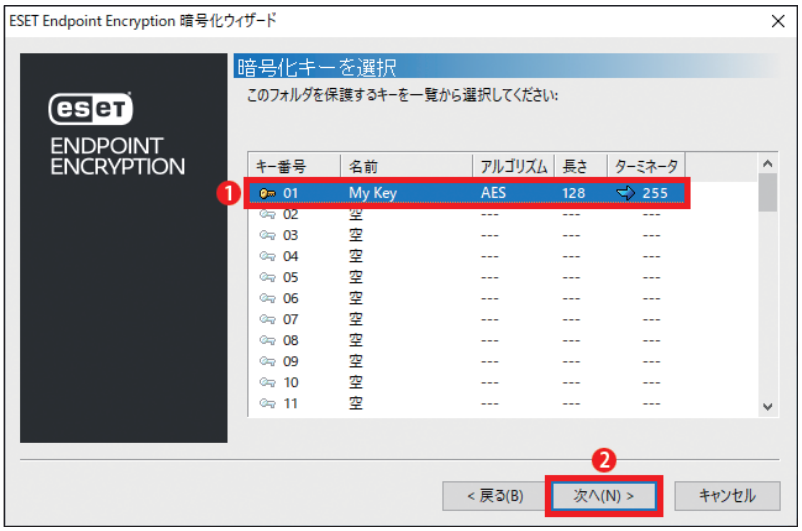


2 暗号化ウィザードが表示されます。❶［データをバックアップしました。続行します］にチェックを入れ、❷［次へ］ボタンをクリックします。



続く

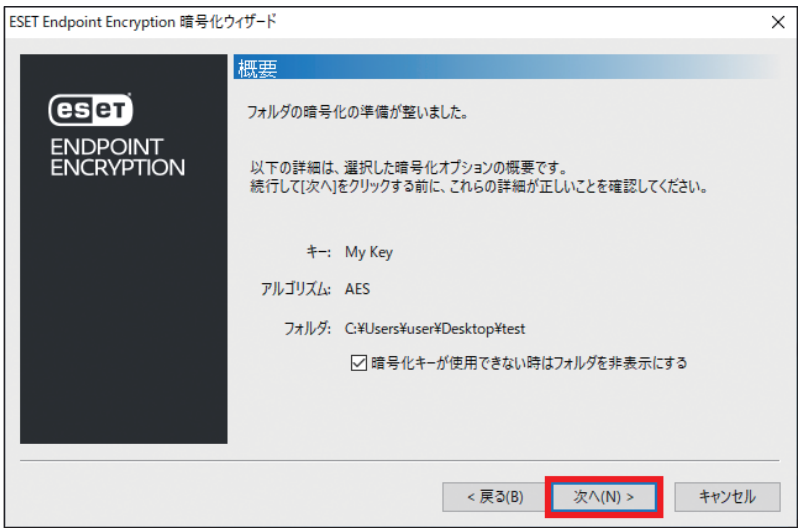
3 暗号化キーの選択画面が表示されます。❶暗号化に利用する暗号化キーをクリックし、❷［次へ］ボタンをクリックします。



ワンポイント

フォルダーの暗号化は、暗号化キーでのみ行えます。ファイルの暗号化では、パスワードによる暗号化も行えましたが、フォルダーの暗号化ではパスワードによる暗号化は行えません。

4 概要画面が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

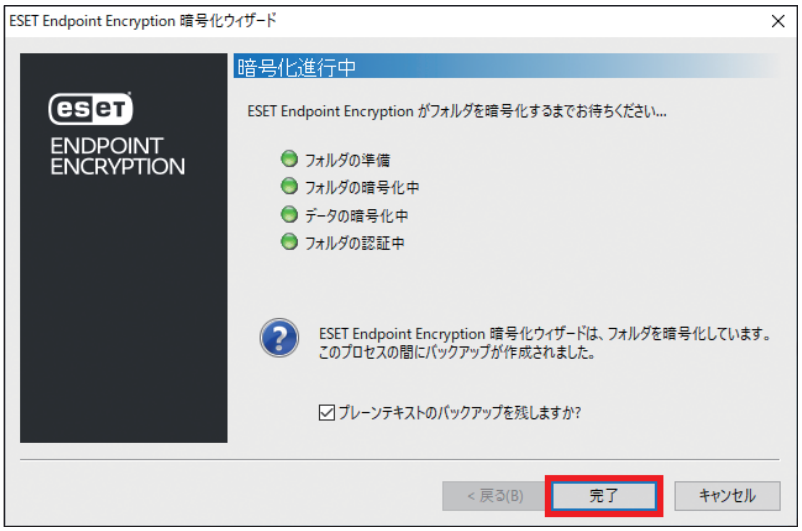


ワンポイント

［暗号化キーが使用できない時はフォルダーを非表示にする］にチェックが入っている場合、復号に必要な暗号化キーを所持しているユーザーが ESET Endpoint Encryption にログインしているときのみ暗号化フォルダーが表示されます。また、このチェックを外すと、暗号化キーの所持や ESET Endpoint Encryption へのログインに関係なく、暗号化フォルダーが表示されますが、フォルダー内のデータにアクセスはできません。

続く

5 同一フォルダー上に暗号化したいフォルダーのバックアップフォルダーと暗号化フォルダーが作成されます。［完了］ボタンをクリックします。



ワンポイント

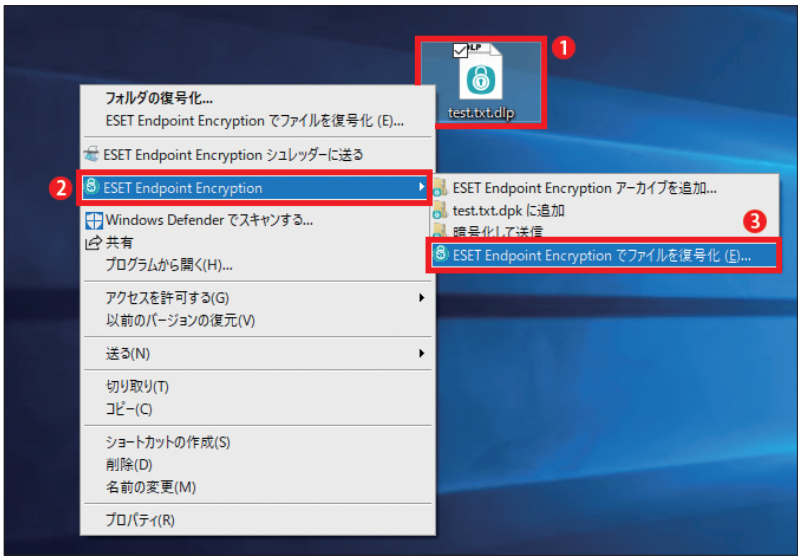
［プレーンテキストのバックアップを残しますか？］のチェックをオフにすると、元フォルダーのバックアップを作成しません。暗号化前の元フォルダーとそのフォルダー内のファイル／フォルダーを残しておきたいときは、このチェックをオンにしてください。

2.4.3　パスワードで暗号化されたファイルを復号する

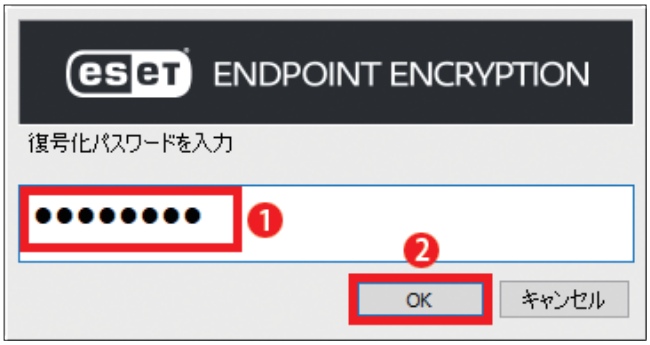
ここでは、パスワードで暗号化されたファイルを ESET Endpoint Encryption がインストールされた PC 上で復号する手順を説明します。ESET Endpoint Encryption がインストールされていない PC 上でパスワードにより暗号化されたファイルを復号するには、118 ページの「3.6　ESET Endpoint Encryption Reader を利用する」を参照し、ESET Endpoint Encryption Reader で復号してください。

操作手順

1 ❶復号したいファイルをダブルクリックするか、❶右クリックし、メニューから❷［ESET Endpoint Encryption］→❸［ESET Endpoint Encryption でファイルを復号化］とクリックします。

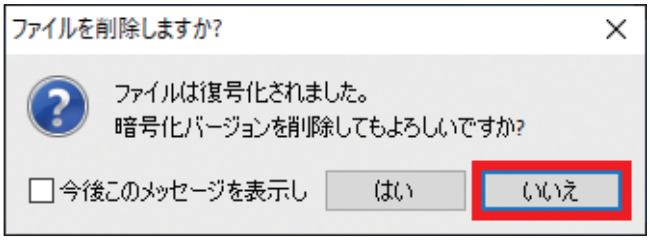


2 ❶パスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。

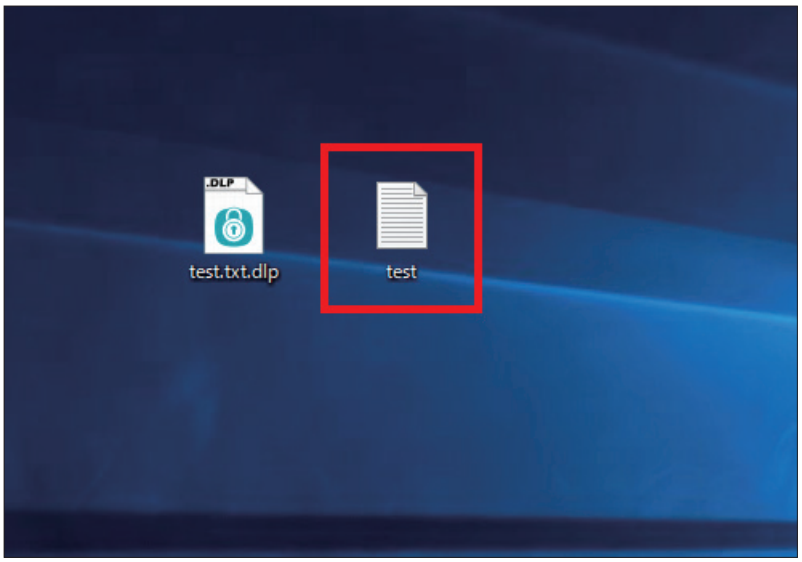


続く

3 暗号化ファイルが復号され、「ファイルを削除しますか？」ダイアログボックスが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、暗号化ファイルが削除されます。［いいえ］ボタンをクリックすると、暗号化ファイルは削除されずに残されます。



4 暗号化ファイルと同一フォルダー上に、復号されたファイルを確認できます。

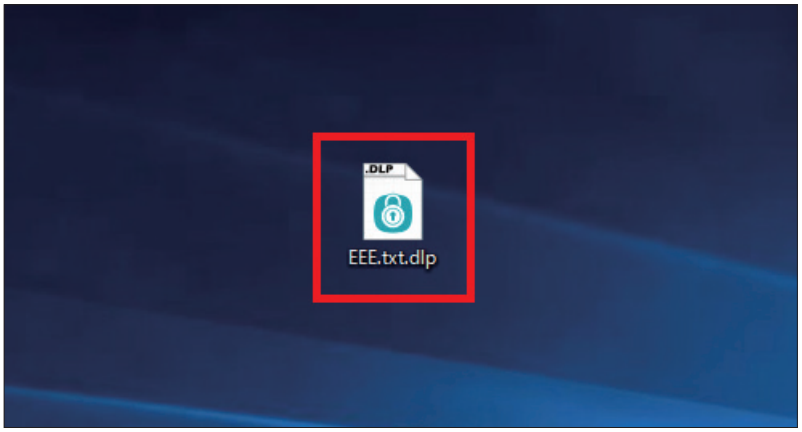


2.4.4　暗号化キーで暗号化されたファイルを復号化する

ここでは、暗号化キーで暗号化されたファイルの復号する手順を説明します。

操作手順

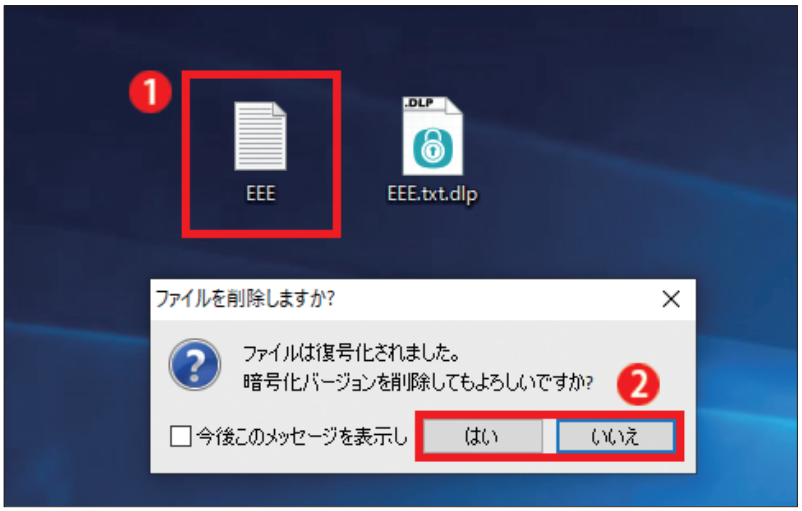
1 暗号化されたファイルをダブルクリックします。



ワンポイント

暗号化されたファイルの復号は、復号したいファイルを右クリックし、メニューから［ESET Endpoint Encryption］→［ESET Endpoint Encryption でファイルを復号化］とクリックすることでも行えます。

2 ❶ファイルが自動的に復号され、暗号化されたファイルを削除するかどうかのダイアログが表示されます。❷［はい］ボタンまたは［いいえ］ボタンをクリックします。［はい］ボタンをクリックすると、暗号化ファイルが削除されます。［いいえ］ボタンをクリックすると、暗号化ファイルは削除されずに残されます。



!重　要

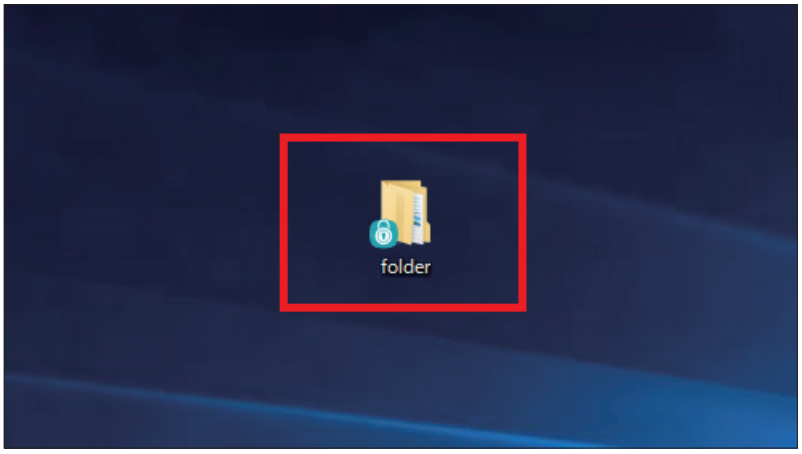
暗号化したファイルを読み出す（復号）ためには、暗号化キーを持ったユーザーで ESET Endpoint Encryption にログインしている必要があります。

2.4.5 暗号化キーで暗号化されたフォルダーを復号する

ここでは、暗号化キーで暗号化されたフォルダーを復号する手順を説明します。

操作手順

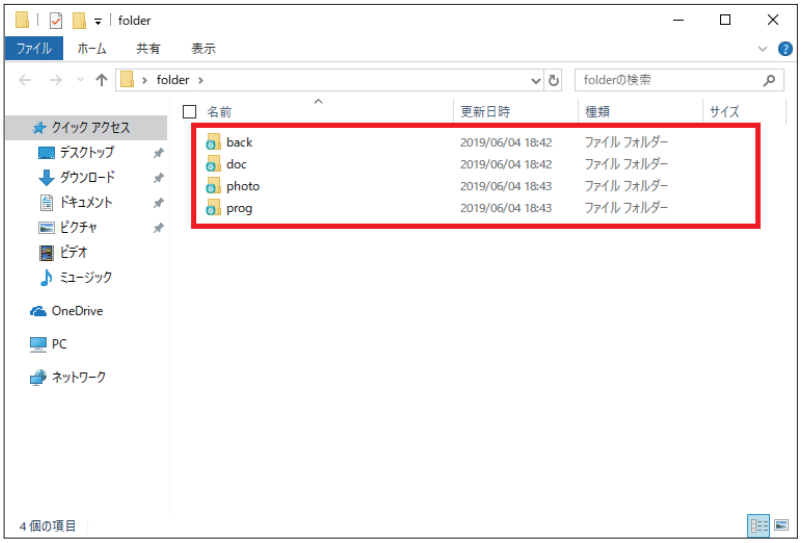
1. 暗号化されたフォルダーをダブルクリックします。



ワンポイント

暗号化されたファイル／フォルダーの復号は、復号したいフォルダーを右クリックし、メニューから［ESET Endpoint Encryption］→［ESET Endpoint Encryption でファイルを復号化］とクリックすることでも行えます。

2. 暗号化フォルダー内にあるファイルやフォルダーが表示されます。



!重　要

暗号化したフォルダーを読み出す（復号）ためには、暗号化キーを持ったユーザーで ESET Endpoint Encryption にログインしている必要があります。

2.5 リムーバブルメディアを暗号化する

ここでは、リムーバブルメディアを暗号化する「リムーバブルメディア暗号化」の利用手順を説明します。

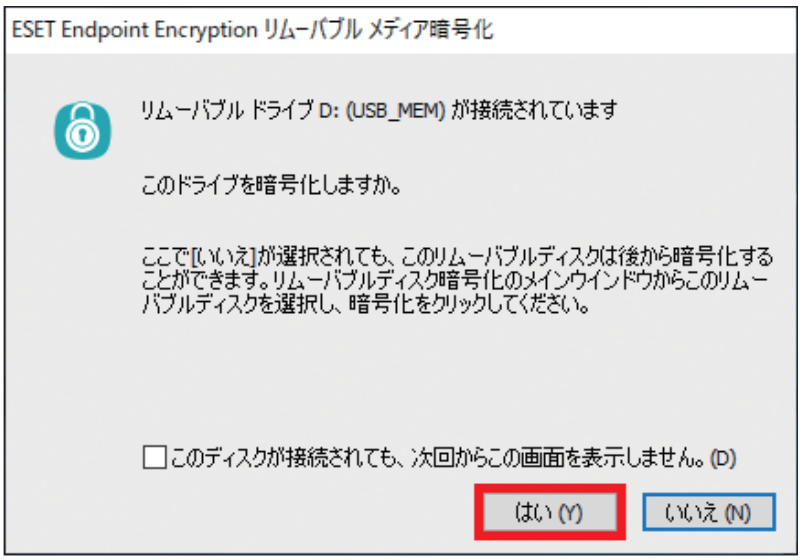
2.5.1 リムーバブルメディア暗号化の利用イメージ

リムーバブルメディアは、第三者とのデータのやり取りの手段として普及しています。リムーバブルメディア暗号化は、これらのリムーバブルメディアに保存されたデータを暗号化しておくことで、意図しない第三者から大切なデータを守り、情報（データ）の流出を防ぐ機能です。リムーバブルメディア暗号化には、ドライブ／ディスク全体を暗号化するフルディスク暗号化方式と、ドライブ内に専用の暗号化領域（ファイル）を作成する方式があります。
フルディスク暗号化方式は、リムーバブルメディア内のデータはすべて自動的に暗号化され、適切な暗号化キーなしではリムーバブルメディア内のデータを読み書きできないことがメリットです。
ドライブ内に専用の暗号化領域を作成する方式では、暗号化された領域と暗号化されていない領域の 2 つに分けられます。暗号化されていない領域は従来通り誰でもアクセスできます。一方、暗号化領域（ファイル）は、ESET Endpoint Encryption のインストールおよび適切な暗号化キーの登録がなされたパソコンでのみ表示され、暗号化領域の読み書きが行えます。この方式では、専用のリーダーソフト「ESET Endpoint Encryption Go」を暗号化されていない領域に書き込んでおくこともできます。ESET Endpoint Encryption がインストールされていないパソコンでは、ESET Endpoint Encryption Go を利用することで暗号化領域を読み書きできます。

2.5.2 USB メモリー全体を暗号化する

操作手順

1. 暗号化を行いたい USB メモリーをパソコンにセットします。ダイアログが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

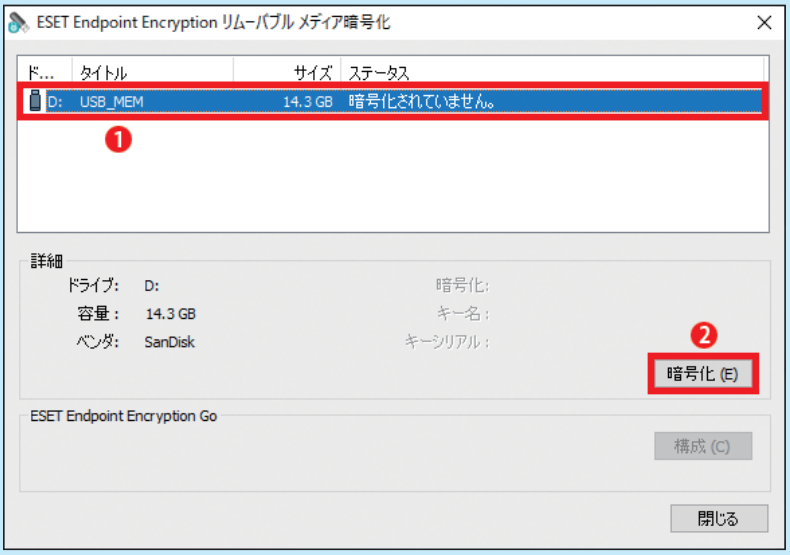


ワンポイント
自動再生ダイアログが表示されたときは、［閉じる］ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

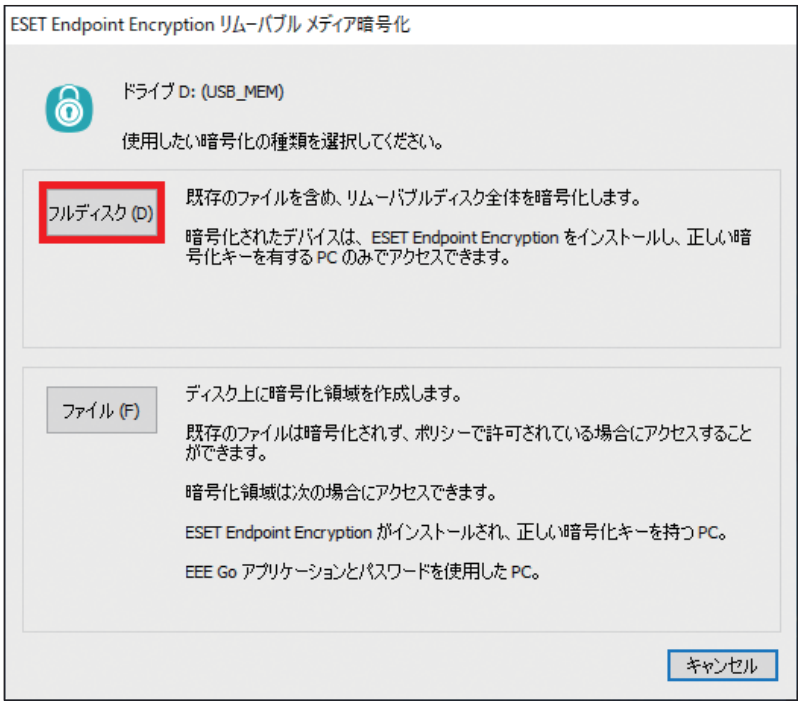
続く

ワンポイント

USB メモリーをパソコンにセットしたときに手順❶の画面が表示されなかったときは、ESET Endpoint Encryption のメニューから暗号化を行います。メニューから暗号化を行うときは、通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、メニューが表示されたら、［リムーバブルメディア］→［リムーバブルメディア暗号化］とクリックします。「リムーバブルメディア暗号化」画面が表示されるので、❶暗号化したいリムーバブルメディアをクリックし、❷［暗号化］ボタンをクリックすると、手順❷の画面が表示されます。



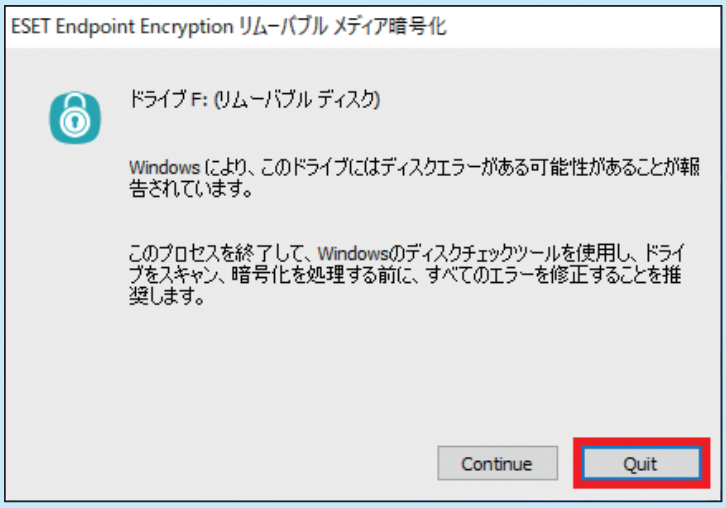
❷［フルディスク］ボタンをクリックします。



続く

ワンポイント

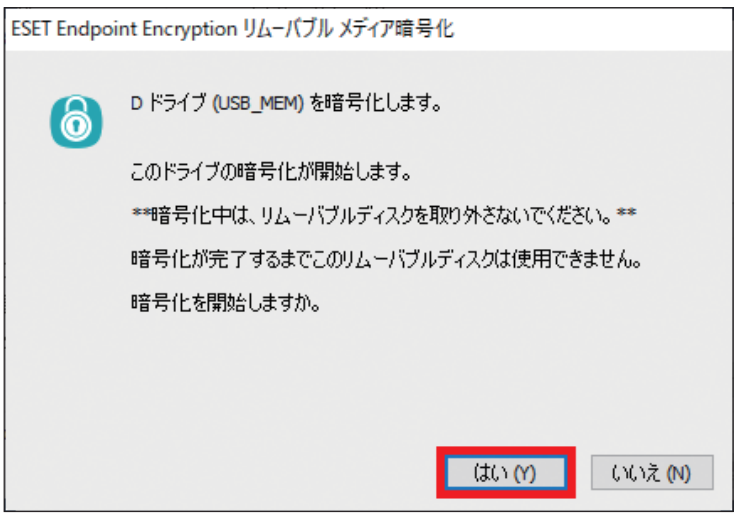
手順❷の後に右の画面が表示されたときは、セットした USB メモリーに記録されているデータにエラーが発生している場合があります。この画面が表示されたときは、［QUIT］ボタンをクリックし、作業を中止して、Windows のディスクチェックツールなどを使用してエラーがないかどうかを確認してください。



3 ❶暗号化に利用する暗号化キーをクリックし、❷［OK］ボタンをクリックします。

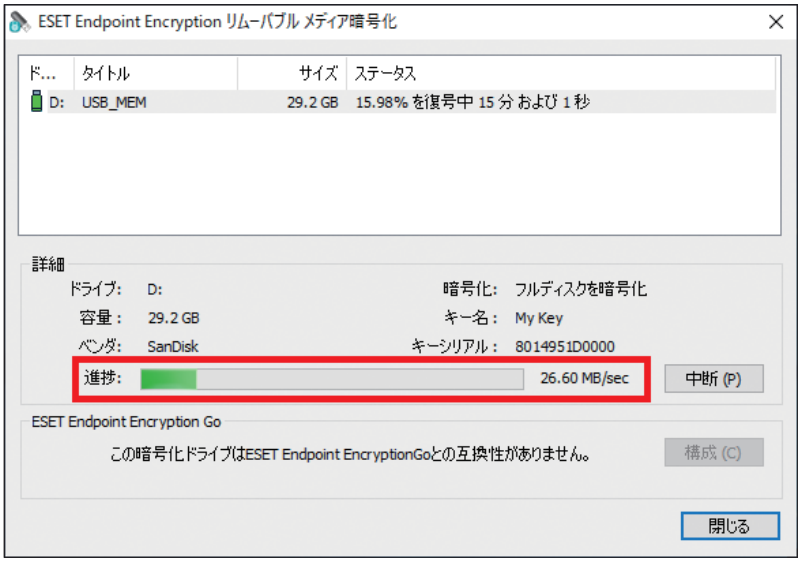


4 ［はい］ボタンをクリックします。



続く

5 暗号化作業が始まります。暗号化中は、進捗状況が表示されます。



ワンポイント

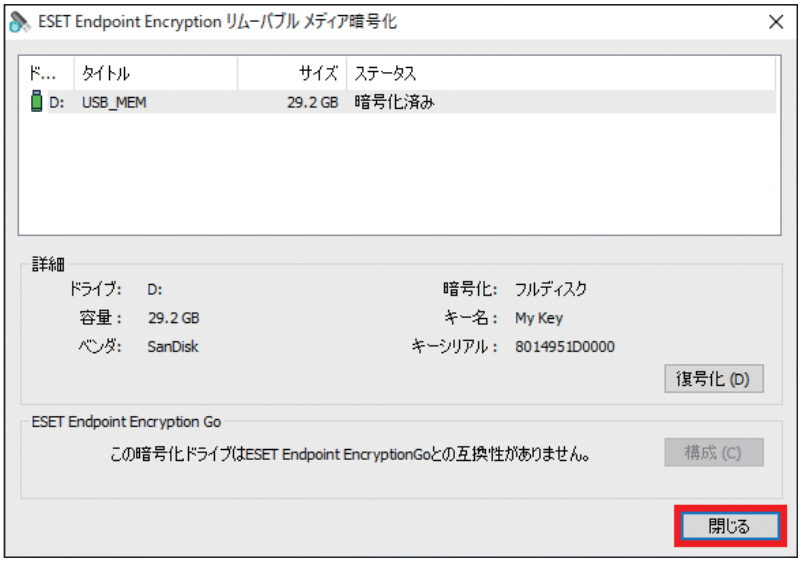
暗号化作業に要する時間は、接続した USB メモリーの記憶容量や速度などによって異なります。作業が終了するまでお待ちください。なお、［閉じる］ボタンをクリックすると、暗号化中の画面を閉じることができます。画面を閉じた場合でも暗号化作業は継続されています。再度、暗号化中の画面を表示したいときは、通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、［リムーバブルメディア］→［リムーバブルメディア暗号化］の順にクリックします。

6 暗号化が完了するとダイアログが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



続く

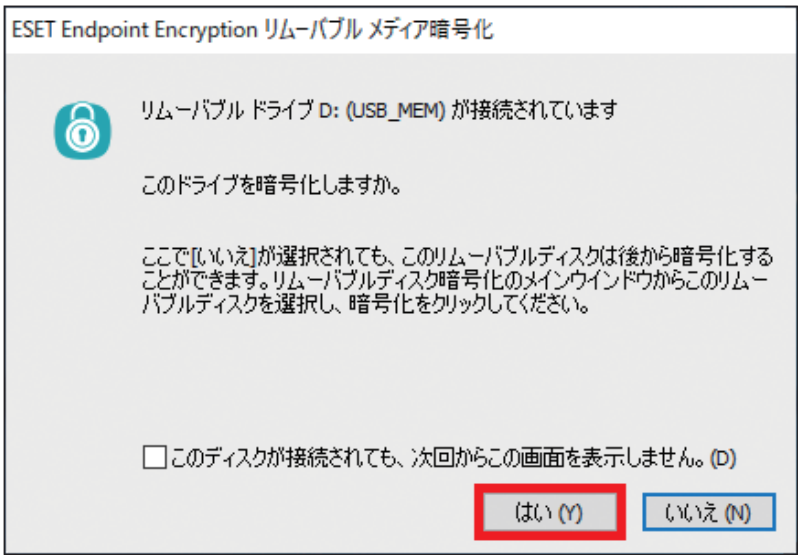
7 [閉じる] ボタンをクリックします。



2.5.3 USB メモリー内に専用の暗号化領域を作成する

操作手順

1 暗号化を行いたい USB メモリーをパソコンにセットします。ダイアログが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



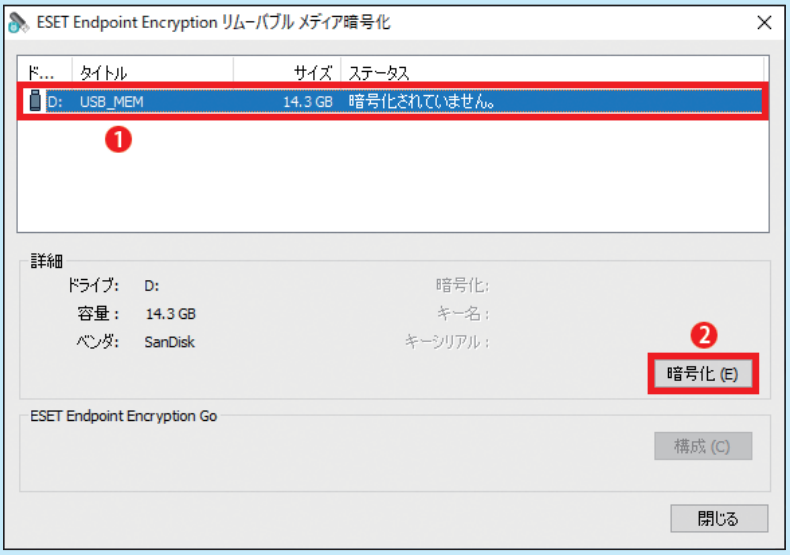
ワンポイント

自動再生ダイアログが表示されたときは、[閉じる] ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

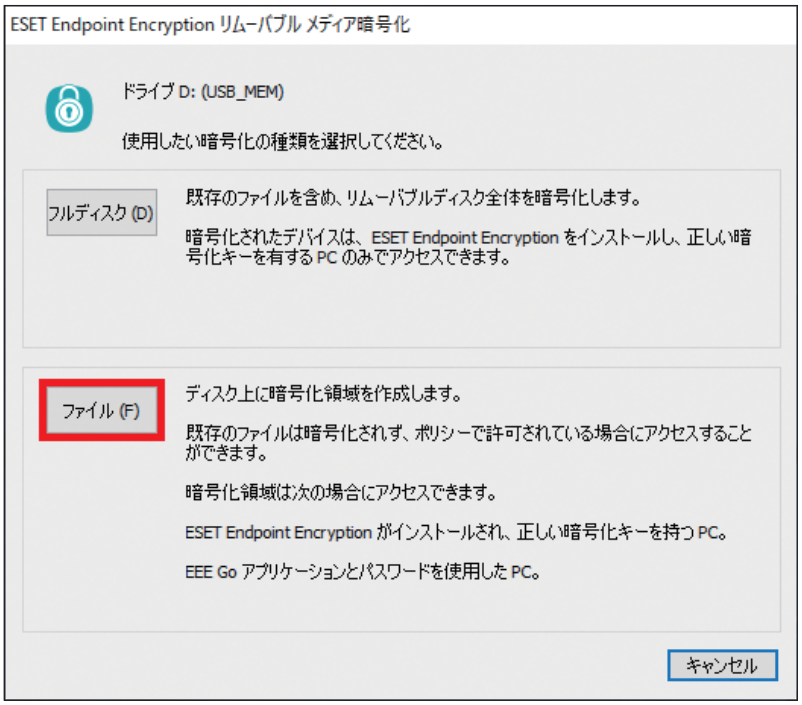
続く

ワンポイント

USB メモリーをパソコンにセットしたときに手順❶の画面が表示されなかったときは、ESET Endpoint Encryption のメニューから暗号化を行います。メニューから暗号化を行うときは、通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、メニューが表示されたら、［リムーバブルメディア］→［リムーバブルメディア暗号化］とクリックします。「リムーバブルメディア暗号化」画面が表示されるので、❶暗号化したいリムーバブルメディアをクリックし、❷［暗号化］ボタンをクリックすると、手順❷の画面が表示されます。



❷［ファイル］ボタンをクリックします。



続く

3 ❶暗号化に利用する暗号化キーをクリックし、❷［OK］ボタンをクリックします。



4 ダイアログが表示されます。［はい］ボタンまたは［いいえ］ボタン（ここでは、「ESET Endpoint Encryption Go」を有効にする［はい］ボタン）をクリックします。

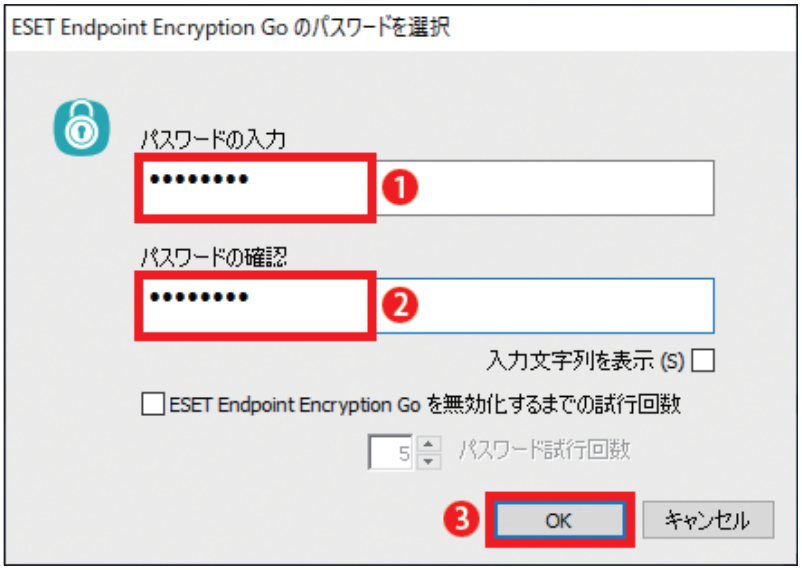


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Go は、ESET Endpoint Encryption がインストールされていない PC で暗号化領域を読み書き（復号）する機能です。手順4の画面で［はい］ボタンをクリックすると、ESET Endpoint Encryption Go を暗号化していない領域に保存します。［いいえ］ボタンをクリックすると、ESET Endpoint Encryption Go を暗号化していない領域に保存しません。この設定は、後から変更することができます。

続く

5 手順❹で［はい］ボタンをクリックしたときは、パスワードの設定画面が表示されます。❶暗号化を解除するときに利用するパスワードを入力し、❷❶で入力したパスワードを再入力します。❸［OK］ボタンをクリックします。



ワンポイント

手順❹で［いいえ］ボタンをクリックしたときは、手順❺のパスワードの設定画面は表示されません。手順❻に進んでください。

ワンポイント

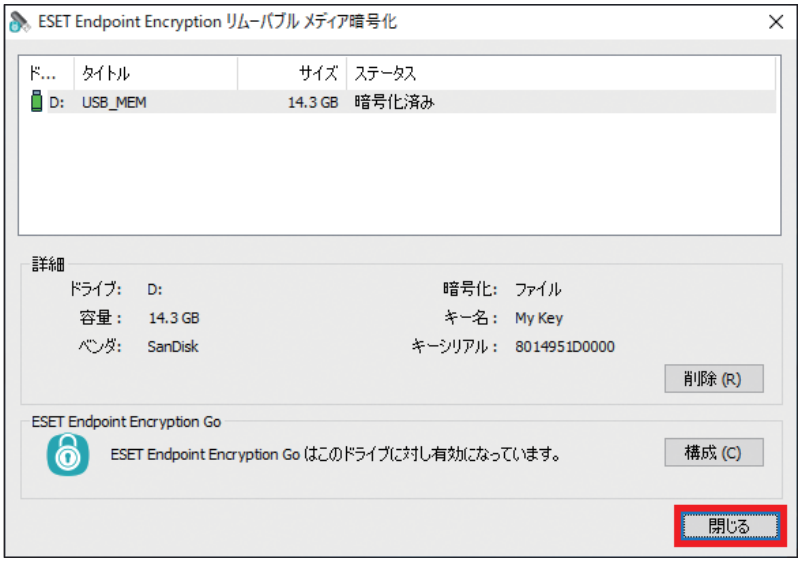
［ESET Endpoint Encryption Go を無効化するまでの試行回数］にチェックを入れると、パスワード入力の試行回数を設定できます。この設定を行うと、ここで設定した試行回数を超えてパスワードの入力ミスを行った場合に ESET Endpoint Encryption Go が無効化されます。

6 ESET Endpoint Encryption Go が暗号化されていない領域に保存され、暗号化領域が作成されます。［OK］ボタンをクリックします。



続く

7 ［閉じる］ボタンをクリックします。



ワンポイント

［構成］ボタンをクリックすると、ESET Endpoint Encryption Go の有効／無効の切り替えやパスワードの変更が行えます。

2.5.4 暗号化した USB メモリー内のデータを読み書きする

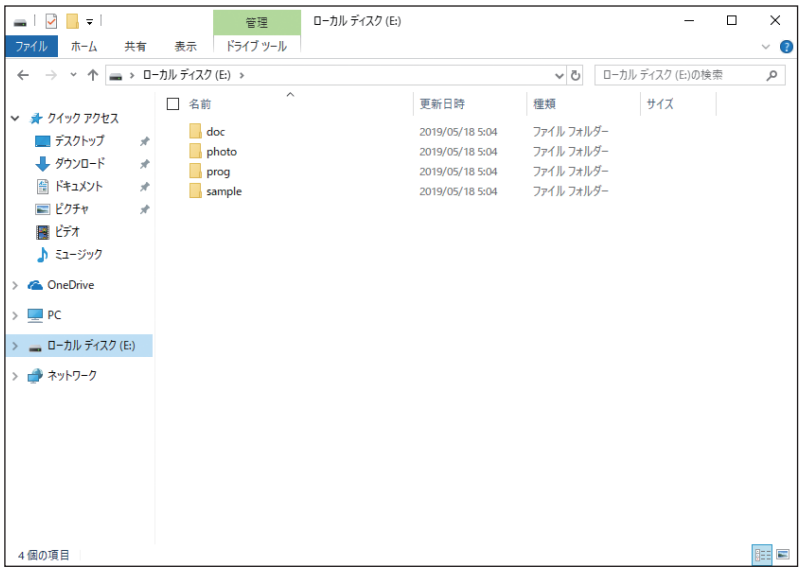
暗号化した USB メモリー内のデータは、以下の条件を満たした場合に読み書きが行えます。

● ESET Endpoint Encryption がインストールされており、正しい暗号化キーを登録しているユーザーの場合

この条件を満たしたときは、暗号化された USB メモリーをパソコンにセットするだけで自動的にデータの読み書きが行えます。

・USB メモリー全体を暗号化している場合

USB メモリー全体を暗号化している場合は、自動的に復号され通常の USB メモリーと同様に作業できます。

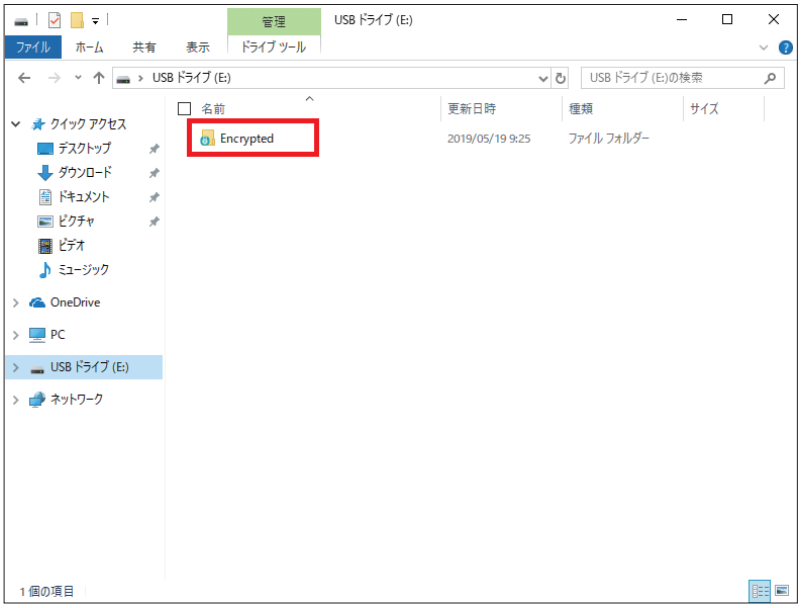


・暗号化領域を作成している場合

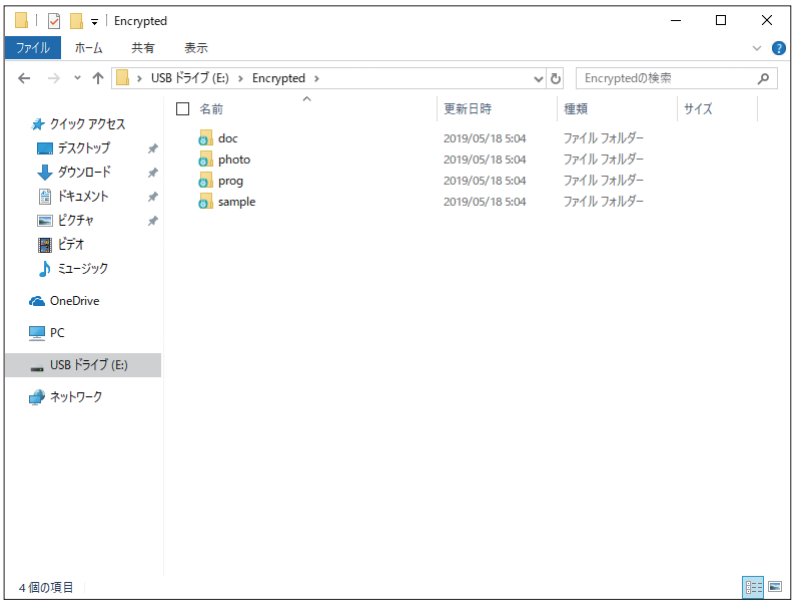
暗号化領域（ファイル）を作成しているときは、「Encrypted」というフォルダー内にデータが収められています。

操作手順

1 「Encrypted」フォルダーをダブルクリックします。



2 暗号化領域内にあるファイルやフォルダーが表示されます。通常のファイルやフォルダーと同じように操作できます。

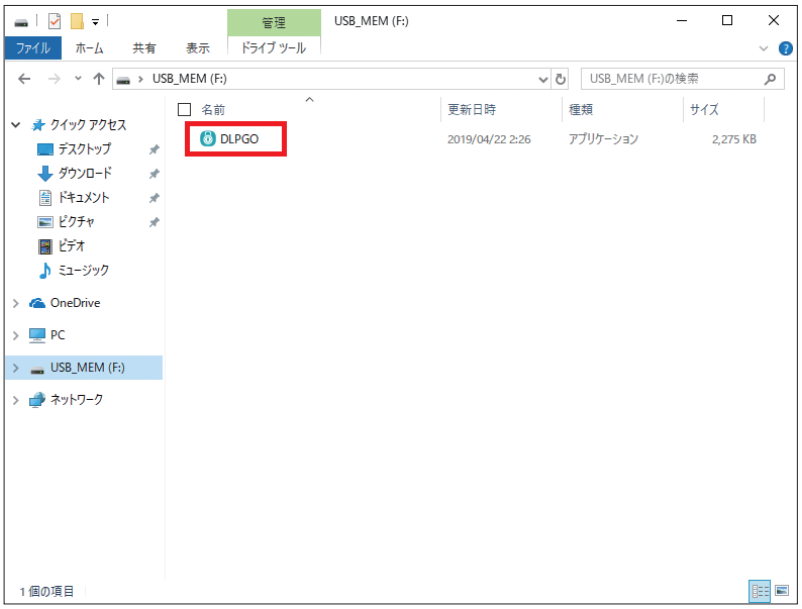


● ESET Endpoint Encryption Go を利用し、正しいパスワードを入力した場合

この方法は、USB メモリー内に専用の暗号化領域（ファイル）を作成した場合のみ利用できます。フルディスク暗号化が行われた USB メモリーは、ESET Endpoint Encryption Go で読み出すことはできません。ESET Endpoint Encryption Go を利用して USB メモリー内の専用の暗号化領域のデータの読み書きを行う場合は、以下の手順で作業します。

操作手順

1. USB メモリーをパソコンに接続し、USB メモリーをエクスプローラーで開きます。［DLPGO］アイコンをダブルクリックします。



2. ファイルサイズの制限に関するダイアログが表示されたときは、［無視］ボタンをクリックします。



ワンポイント

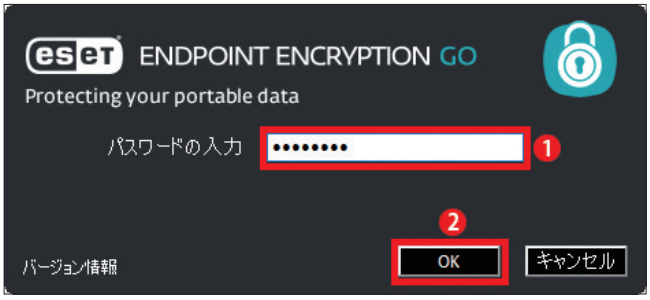
既定値では、暗号化領域から読み出せる最大ファイルサイズが、「47.7MB」に制限されています。この制限を最大 4GB まで拡大したいときは、手順❷の画面で［変更］ボタンをクリックし、パソコンを再起動して再度手順❶から作業をやり直してください。

続く

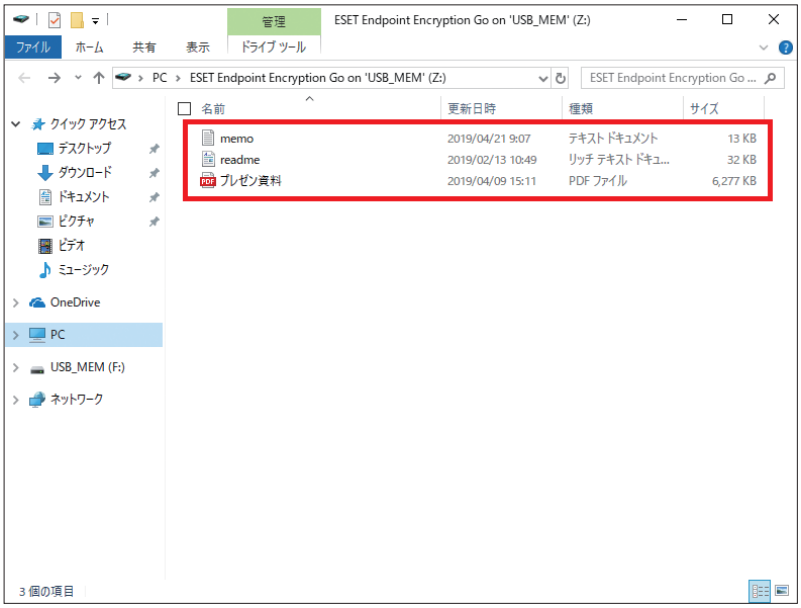
3 速度低下に関するダイアログが表示されたときは、［無視］ボタンをクリックします。［変更］ボタンをクリックすると、Windows の［コントロールパネル］→［インターネットオプション］→［接続］タブ→［LAN の設定］→［設定を自動的に検出する］がオフになります。



4 ❶ 43 ページの「2.5.3　USB メモリー内に専用の暗号化領域を作成する」の手順❺で設定したパスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



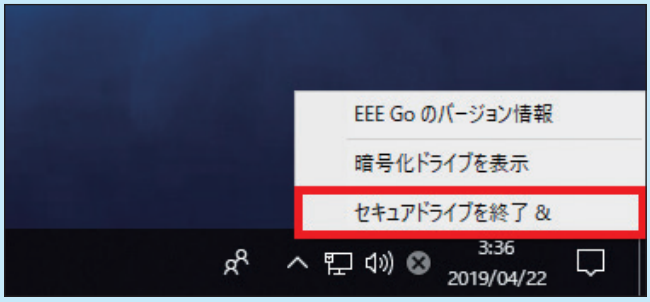
5 暗号化領域に保存されたファイルやフォルダーが表示され、読み出しや書き込みなどの操作を行えます。



続く

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Go を利用して USB メモリー内の専用の暗号化領域のデータの読み書きを行ったときは、セキュアドライブの終了処理を行ってから、USB メモリーの取り外しを行ってください。セキュアドライブの終了処理は、通知領域にある「ESET Endpoint Encryption Go 暗号化ドライブ」アイコンを右クリックし、[セキュアドライブを終了] をクリックすることで行います。その後、通常の手順で USB メモリーを取り外してください。



2.5.5　USB メモリーの暗号化を復号する

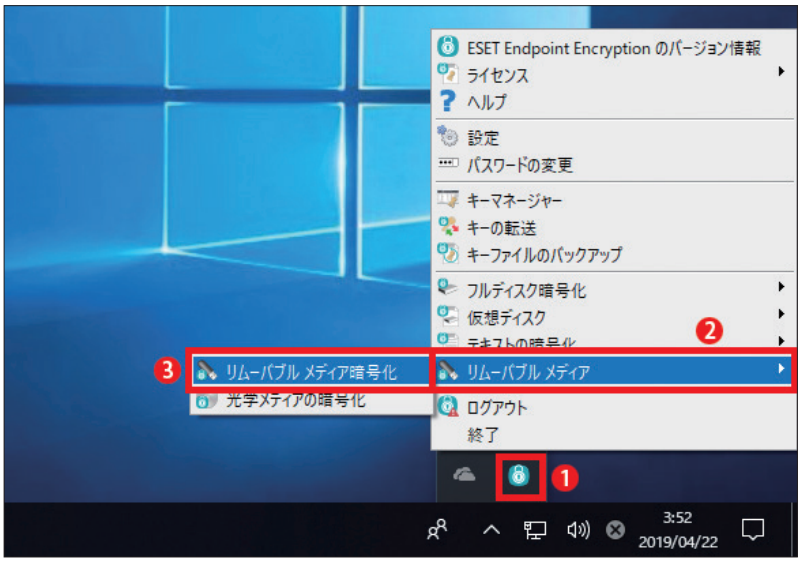
ここでは、39 ページの「2.5.2　USB メモリー全体を暗号化する」の手順で、暗号化されている USB メモリーの暗号化の復号手順を説明します。

! 重　要

USB メモリー内に暗号化領域を作成している場合は、その領域を復号することはできません。暗号化領域は、「削除」のみが行えます。

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［リムーバブルメディア］→❸［リムーバブルメディア暗号化］とクリックします。

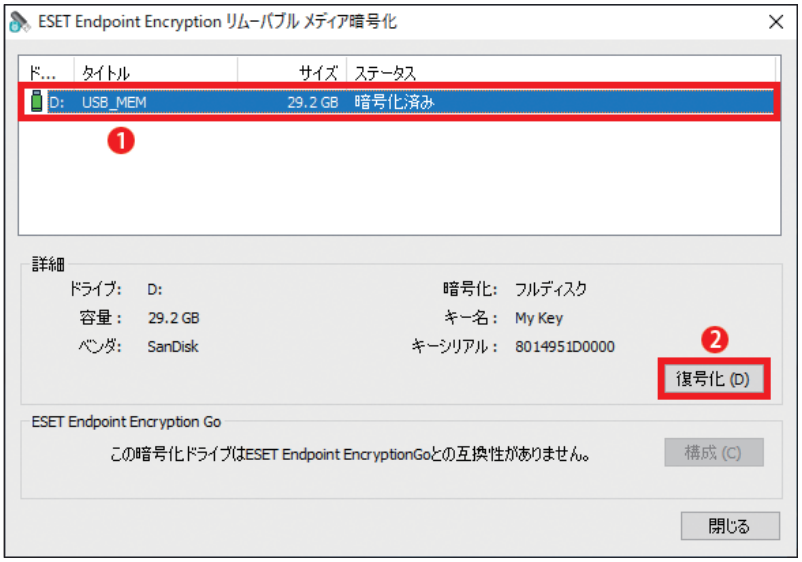


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します] ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

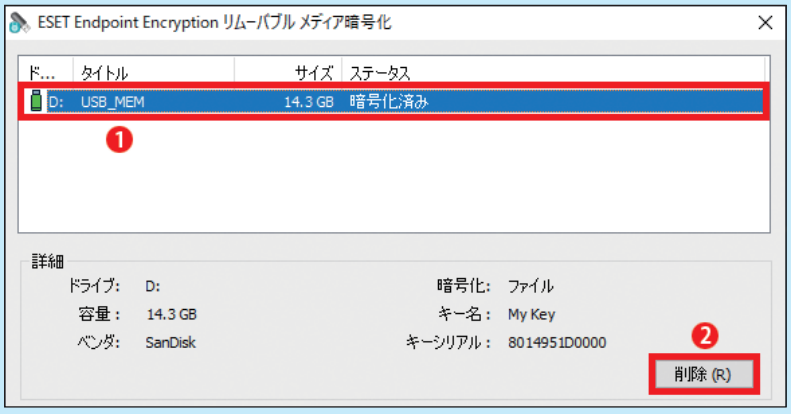
続く

❷ ❶暗号化を復号したい USB メモリーをクリックし、❷［復号化］ボタンをクリックします。

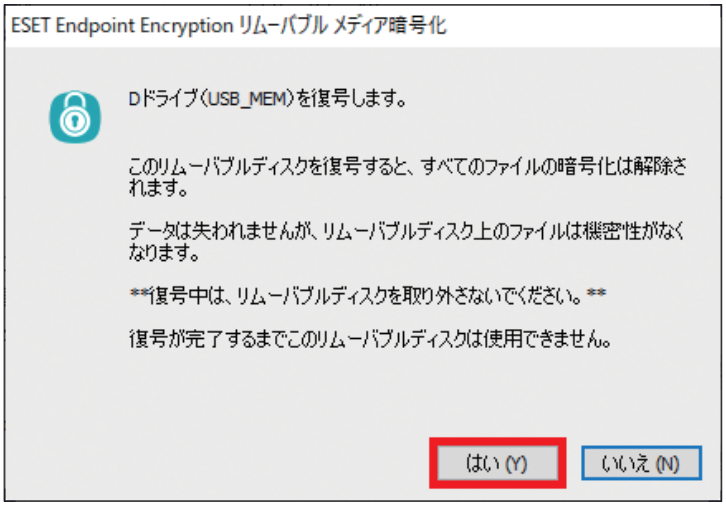


ワンポイント

USB メモリー内に暗号化領域を作成している場合は、手順❷で下の画面が表示されます。暗号化領域を削除したい USB メモリーを選択し、［削除］ボタンをクリックすると、暗号化領域を削除できます。

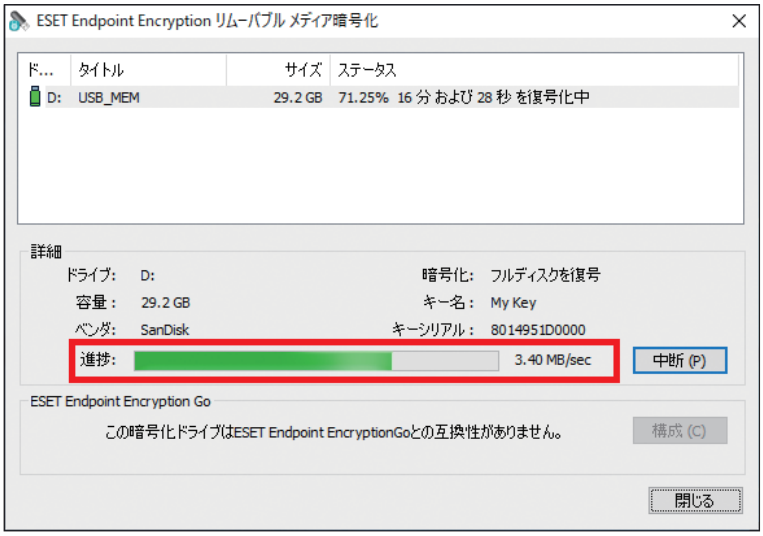


❸ ダイアログが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、復号作業がはじまります。



続く

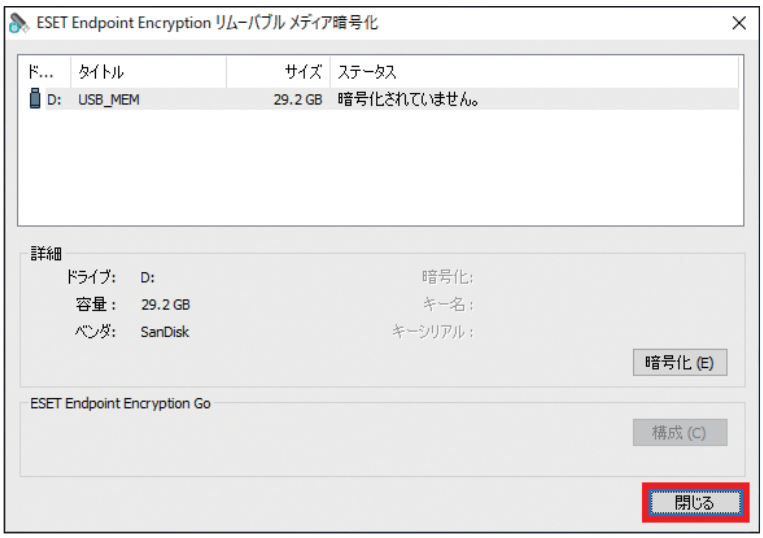
4 復号作業が始まります。復号中は、進捗状況が表示されます。



5 復号が終わるとダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



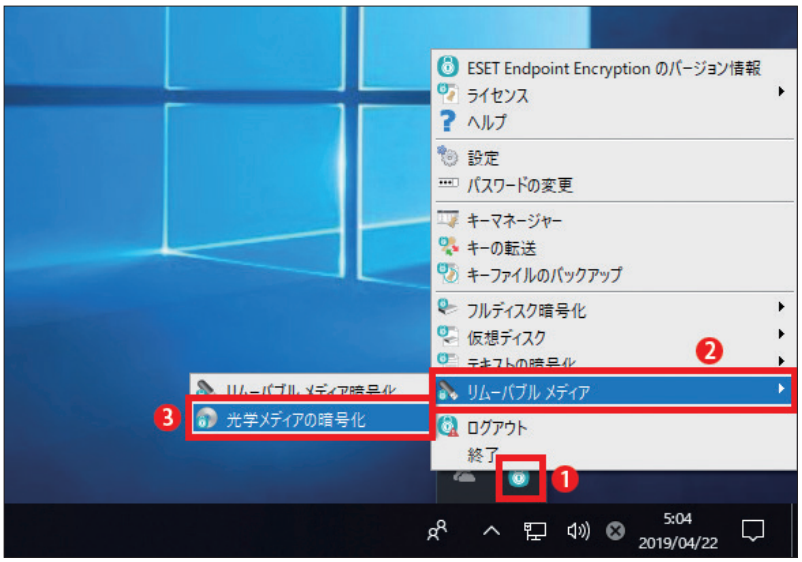
6 [閉じる] ボタンをクリックします。



2.5.6　暗号化したデータを光学メディアに書き込む

操作手順

1 光学メディアをセットして、❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［リムーバブルメディア］→❸［光学メディアの暗号化］とクリックします。



ワンポイント

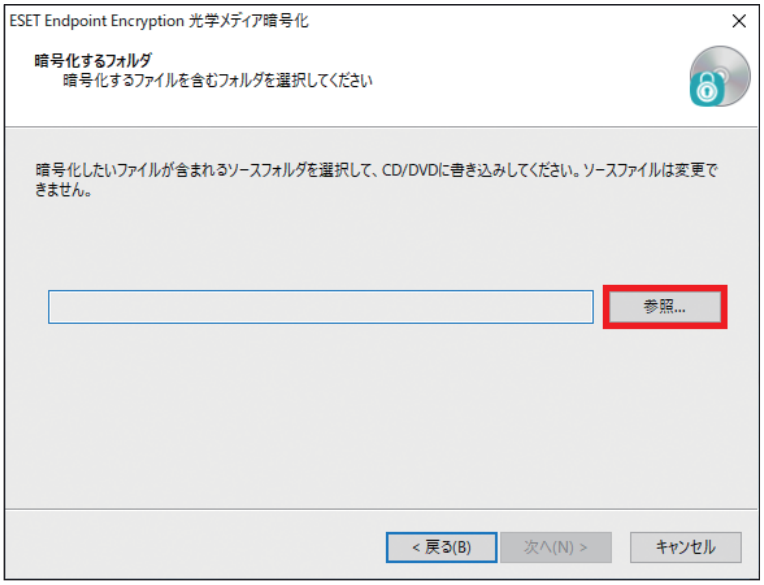
ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します] ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

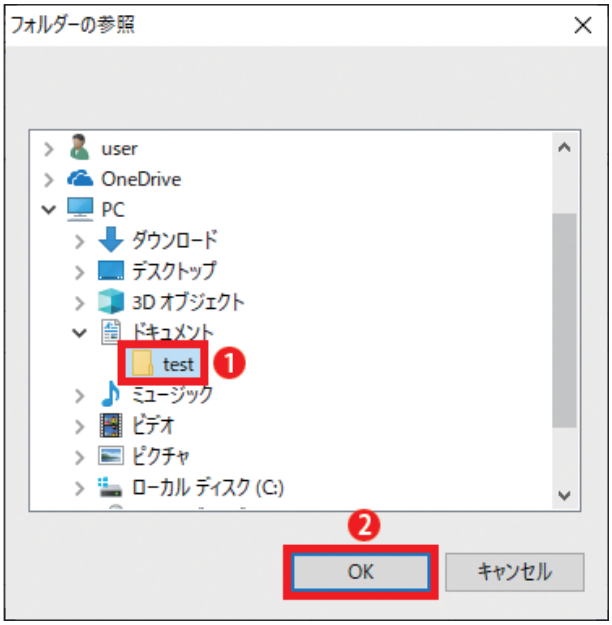


続く

3 ［参照］ボタンをクリックします。

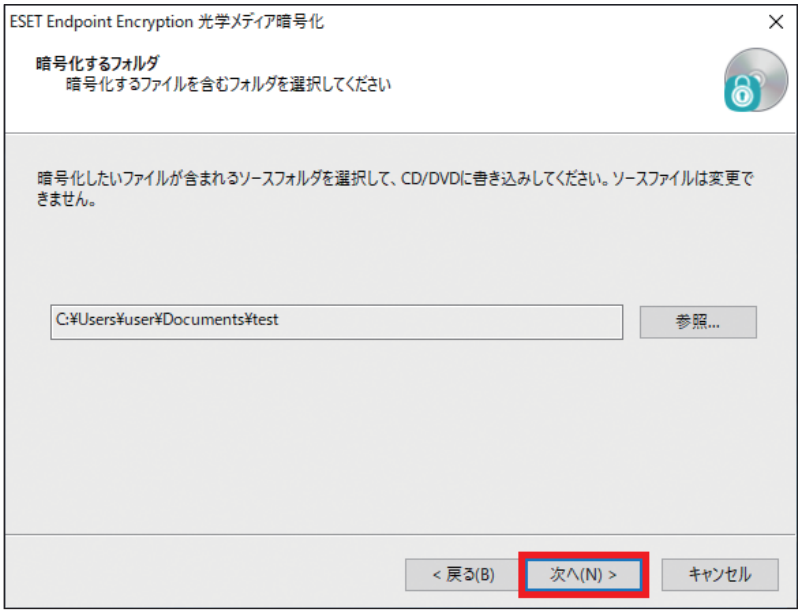


4 ❶書き込みたいフォルダーを選択して、❷［OK］ボタンをクリックします。

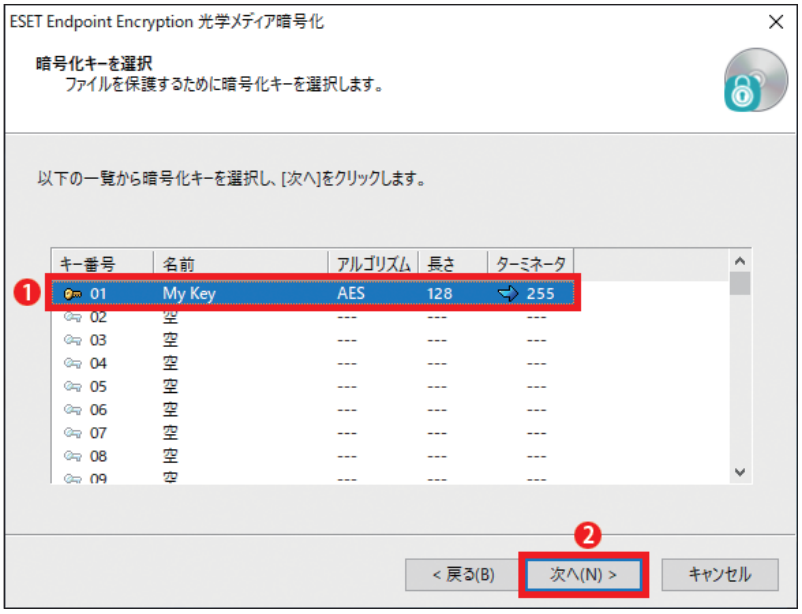


続く

5 ［次へ］ボタンをクリックします。

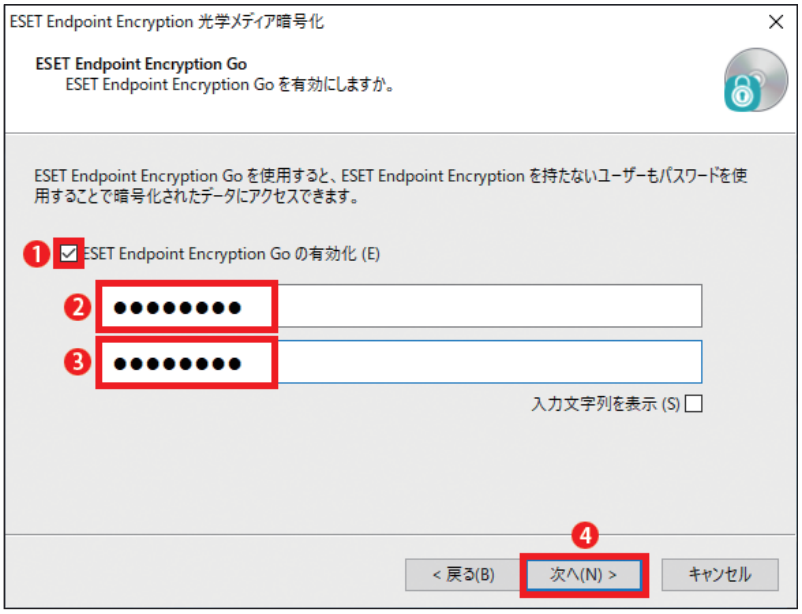


6 ❶暗号化に利用する暗号化キーをクリックし、❷［次へ］ボタンをクリックします。



続く

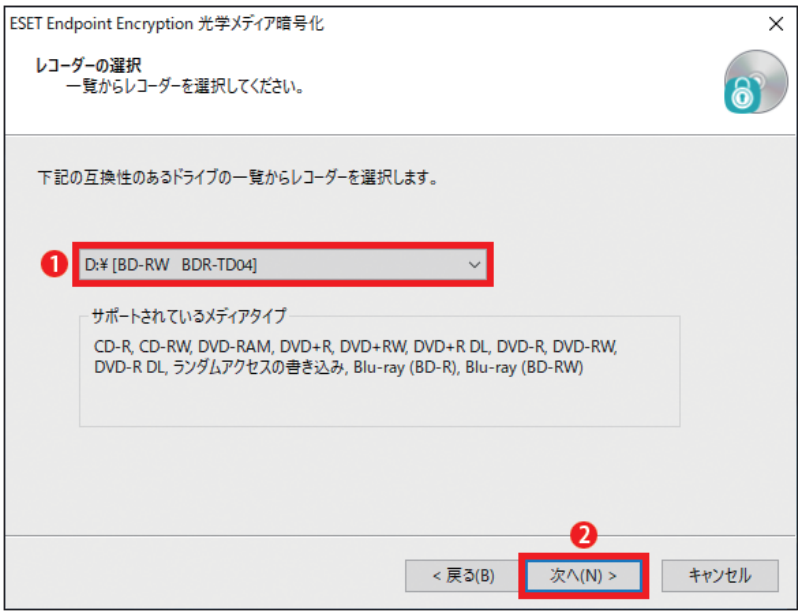
7 ESET Endpoint Encryption Go を有効化したいときは、❶［ESET Endpoint Encryption Go の有効化］のチェックをオンにし、❷任意のパスワードを入力して、❸❷で入力したパスワードを再入力します。❹［次へ］ボタンをクリックします。



ワンポイント

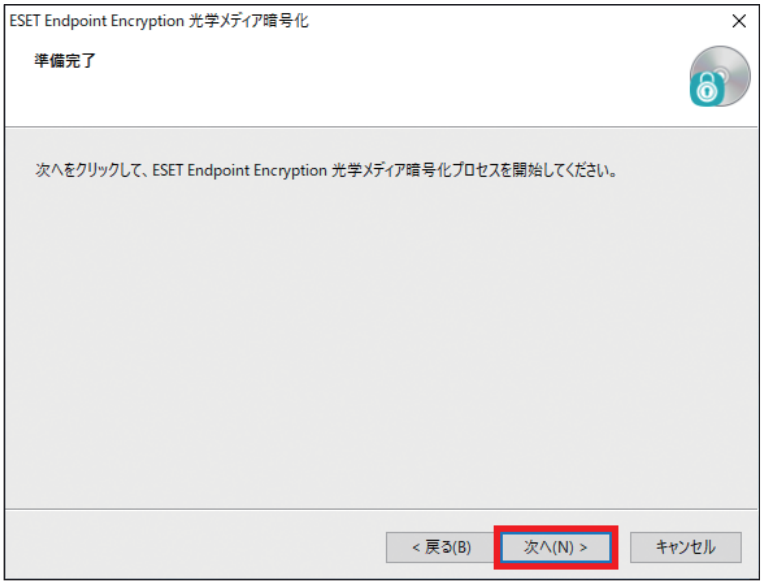
ESET Endpoint Encryption Go を有効化しないときは、［ESET Endpoint Encryption Go の有効化］のチェックをオフにして、［次へ］ボタンをクリックします。

8 ❶書き込みに利用する光学ドライブを選択し、❷［次へ］ボタンをクリックします。



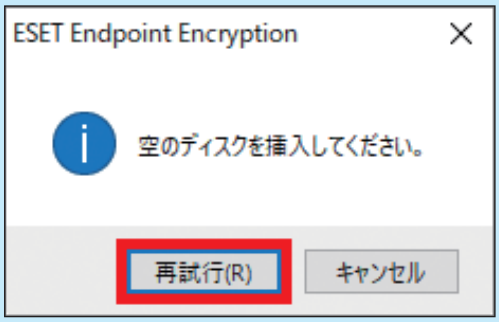
続く

9 ［次へ］ボタンをクリックします。

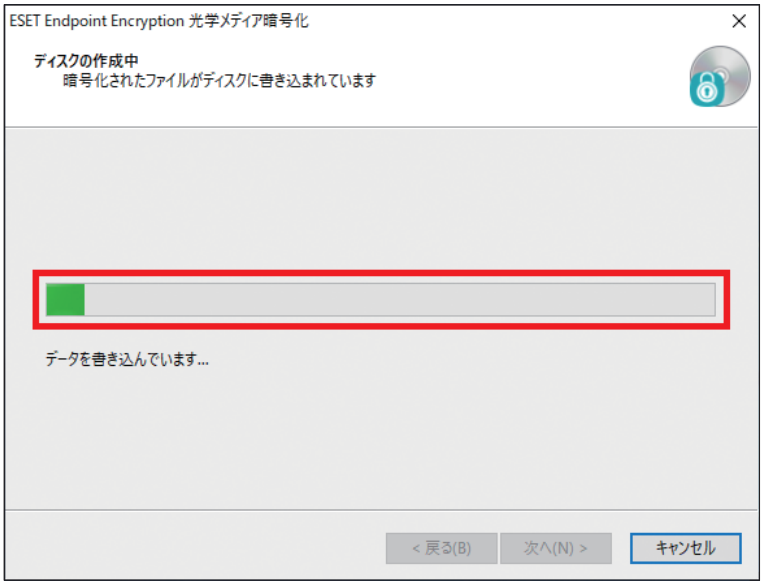


ワンポイント

光学ドライブに空の光学メディアが挿入されていない場合、ダイアログが表示されます。光学ドライブにメディアをセットして、［再試行］ボタンをクリックします。

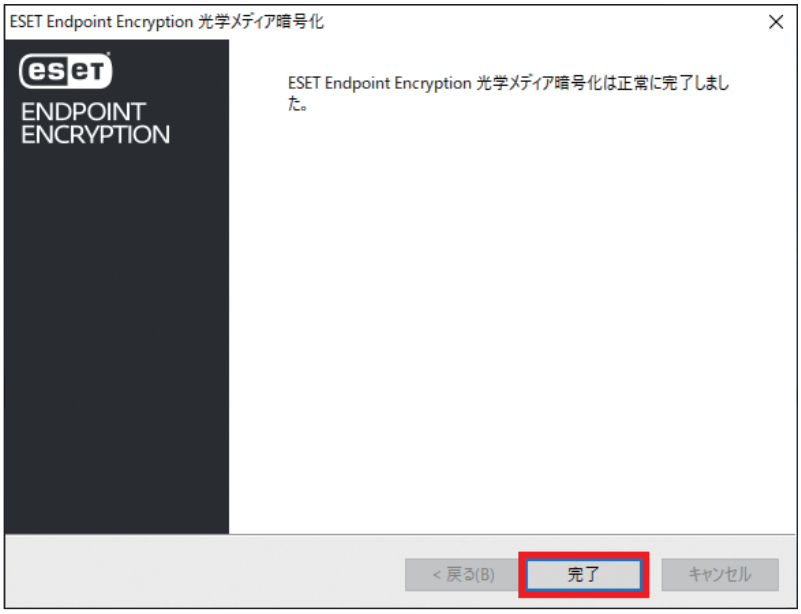


10 書き込みが始まります。書き込み中は進捗状況が表示されます。



続く

⑪ 書き込みの完了後、［完了］ボタンをクリックします。

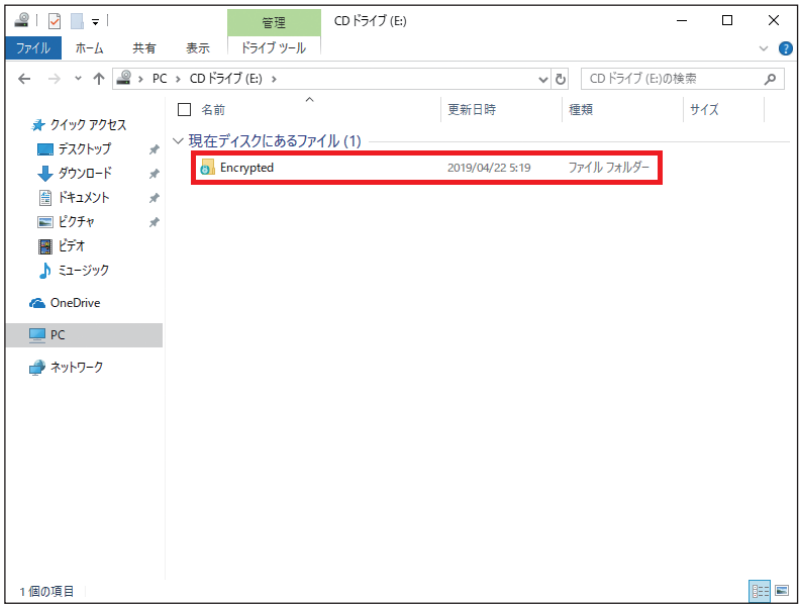


2.5.7 暗号化された光学メディア内のデータを読み出す

暗号化した光学メディア内のデータは、以下の条件を満たした場合に読み書きが行えます。

● ESET Endpoint Encryption がインストールされており、正しい暗号化キーを登録しているユーザーの場合

暗号化された光学メディアをパソコンにセットするだけで自動的にデータの読み書きが行えます。暗号化されたデータは、「Encrypted」というフォルダー内に収められています。

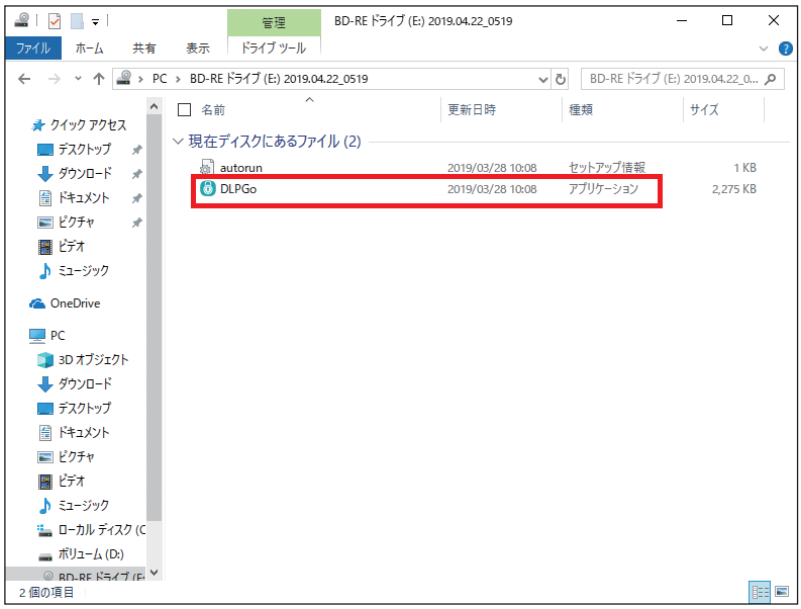


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption がインストールされているが、光学メディアを暗号化した暗号化キーを持たないユーザーや PC では、ESET Endpoint Encryption Go を利用し、暗号化された光学メディアを復号することができます。

● ESET Endpoint Encryption Go を利用し、正しいパスワードを入力した場合

この方法は、54 ページの「2.5.6　暗号化したデータを光学メディアに書き込む」の手順❼で ESET Endpoint Encryption Go を有効化しているときのみ利用できます。光学ディスクをセットし、エクスプローラーで光学メディアを開くと、「DLPGo」アイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックして、47 ページの「2.5.4　暗号化した USB メモリー内のデータを読み書きする」を参考にデータの読み出しを行います。



2.6 Outlook のメールを暗号化する

ここでは、メールを暗号化して送信する「メール暗号化」の利用手順を説明します。メール暗号化は、Microsoft Outlook をメールソフトとして利用しているユーザー向けの機能です。

! 重 要

暗号化メールの送信は、以下のメールアプリケーションでのみ利用できる機能です。また、メール本文の一部のみを暗号化したいときは、77 ページの「2.7 テキストおよびクリップボードを暗号化する」を参考にしてください。

Outlook 2010
Outlook 2013
Outlook 2016
Outlook 2019
Microsoft Office 365

2.6.1 メール暗号化の利用イメージ

メール暗号化は、第三者に閲覧されては困る重要なメールを暗号化して送信する機能です。この機能を利用してメールを送信すると、メール本文だけでなく、添付ファイルなども暗号化されたメールを送信できます。受信者側にメールの復号を行う環境がない限り、受信メールの内容や添付ファイルを開くことができないので、第三者へのメールの内容の漏洩を防ぐことができます。メールの暗号化方法には、暗号化キーを利用した方法とパスワードを利用した方法の 2 種類が用意されています。

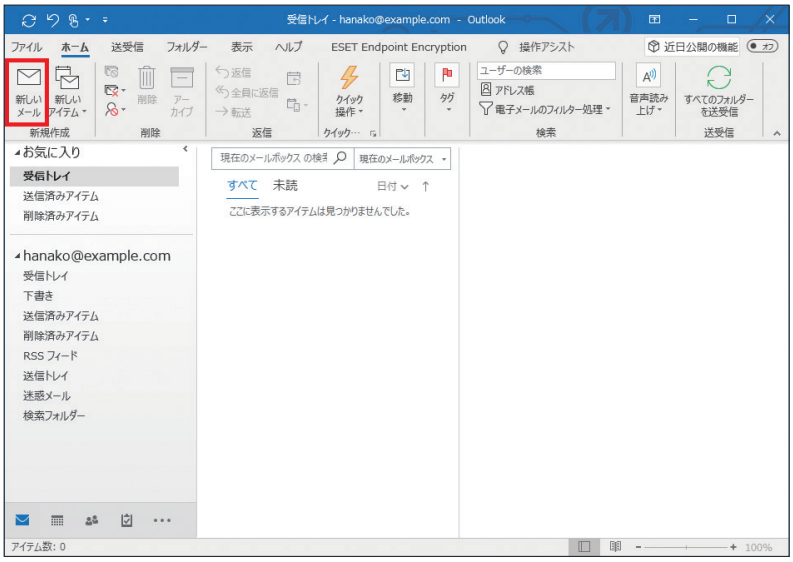
暗号化キーを利用した方法は、ESET Endpoint Encryption を利用しているユーザー同士でメールのやり取りを行うときに利用します。
暗号化キーを利用するので、ESET Endpoint Encryption ユーザー同士でもメールの暗号化に利用する暗号化キーをもっていないユーザーはメールの復号を行えません。この方法は、パスワードの入力などを行わなくても、秘匿性の高いメールのやり取りを行えます。ESET Endpoint Encryption には、暗号化キーのやり取りを簡単に行うための機能も搭載されています。この機能を利用することで、メールの暗号化／復号に利用する暗号化キーをセキュアにユーザー間でやり取りできます。

パスワードを利用した方法は、パスワードを利用して暗号化を行う方法です。暗号化に利用するパスワードを知っていれば、ESET Endpoint Encryption を利用していないユーザーでも「ESET Endpoint Encryption Reader」という専用ソフトウェアを利用することで受け取ったメールの復号を行えます。

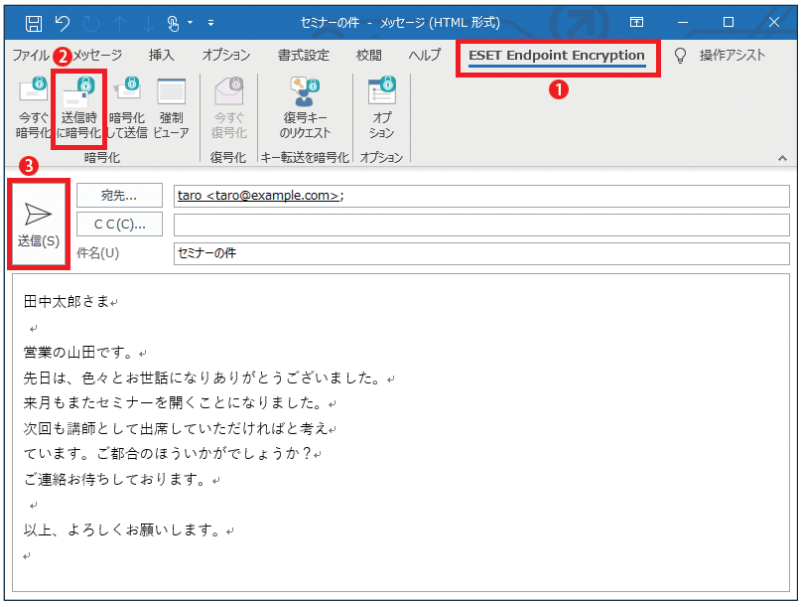
2.6.2 暗号化メールの送信

操作手順

1 Microsoft Outlook を起動して、［新しいメール］ボタンをクリックします。



2 宛先や件名、メール本文などの入力を行います。❶［ESET Endpoint Encryption］タブをクリックし、❷［送信時に暗号化］ボタンをクリックします。❸［送信］ボタンをクリックします。

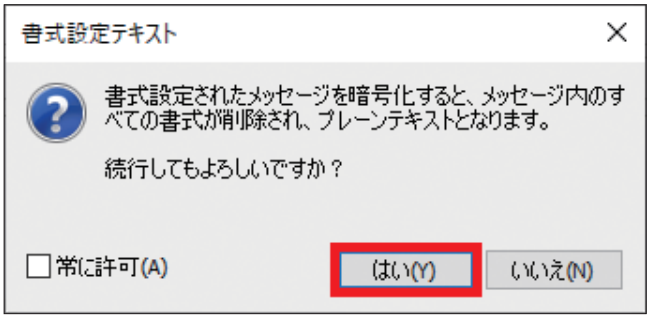


ワンポイント

［送信時に暗号化］ボタンをクリックすると、［送信］ボタンを押した後にメールの暗号化を行い、送信を行います。［今すぐ暗号化］ボタンをクリックすると、メールの暗号化がすぐに実行されます。［暗号化して送信］ボタンをクリックすると、メールの暗号化を行い、すぐに送信します。

続く

3 ダイアログが表示されます。［はい］ボタンをクリックします。



ワンポイント

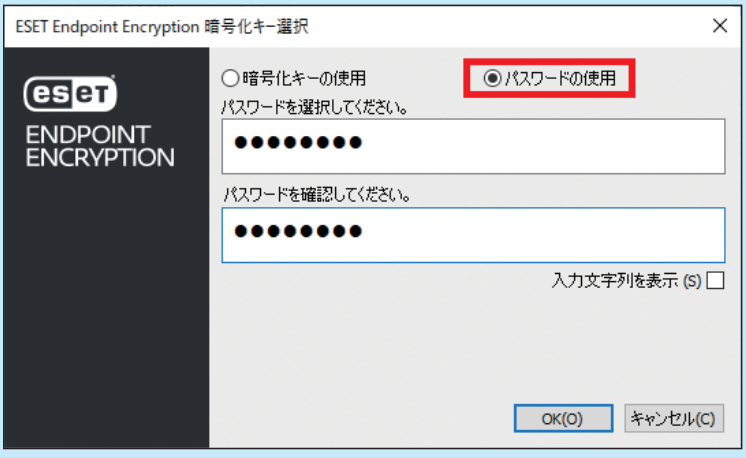
手順3のダイアログは、html 形式のメールを作成している場合に表示されます。テキスト形式のメールを作成している場合には表示されません。

4 ❶利用する暗号化の方式（ここでは、［暗号化キーの使用］）のチェックをオンにし、❷暗号化キーをクリックします。❸［OK］ボタンをクリックすると、メールが暗号化されて送信されます。



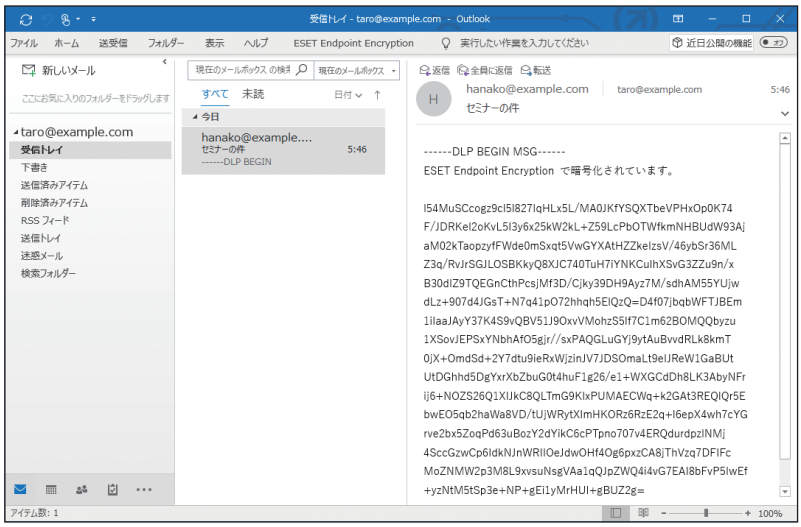
ワンポイント

手順4の画面で［パスワードの使用］のチェックをオンにすると、パスワードを利用した暗号化が行われます。暗号化に利用するパスワードを入力し、パスワードの確認入力を行って、［OK］ボタンをクリックすると、メールが暗号化され送信されます。なお、パスワードに利用できる文字種は、半角英数字と記号のみ利用できます。漢字やかな等のマルチバイト文字は利用できません。



2.6.3 暗号化メールの復号を行う―その①暗号化キーを利用した場合

暗号化キーを利用して暗号化が行われたメールを復号するときは、メールの暗号化に利用された「暗号化キー」が必要です。暗号化キーがない状態では、ESET Endpoint Encryption がインストールされていても暗号化メールを復号できません。ESET Endpoint Encryption には、暗号化されたメールを送信したユーザーとの間で、復号に利用する暗号化キーのやり取りを安全かつ簡単に行うための機能が搭載されています。この機能は、①復号（暗号化）キーのリクエストの送信、②復号キーの返信、③受け取った復号（暗号化）キーの登録、の順で作業を行います。受け取った復号（暗号化）キーを ESET Endpoint Encryption に登録すると、暗号化されたメールの復号が行えます。



2.6.3.1 復号（暗号化）キーのリクエストの送信

ここでは、復号（暗号化）キーのリクエストメールの送信手順を説明します。2 つのファイルを添付して送信するかたちになります。

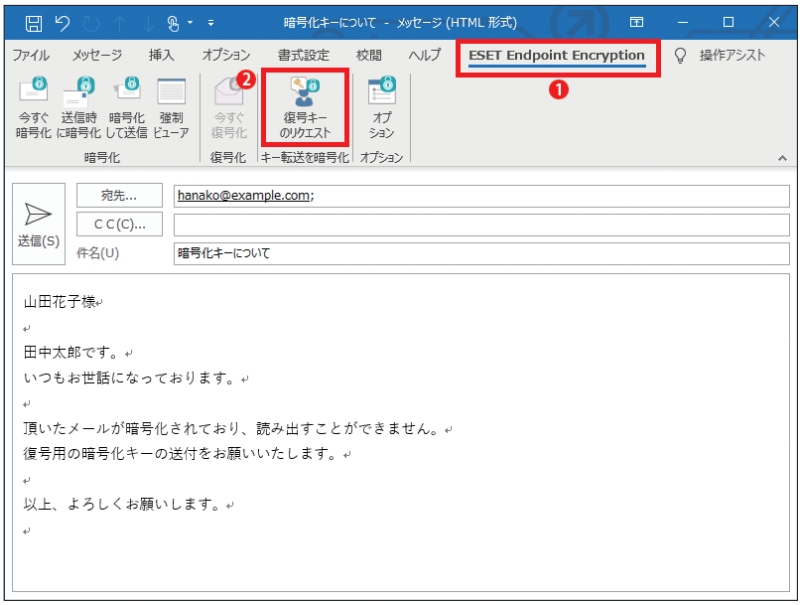
! 重 要

この作業は、暗号化メールを受け取った側で行います。また、この作業を行うには、ESET Endpoint Encryption をインストールしたパソコンで以下のメールアプリケーションを利用している必要があります。

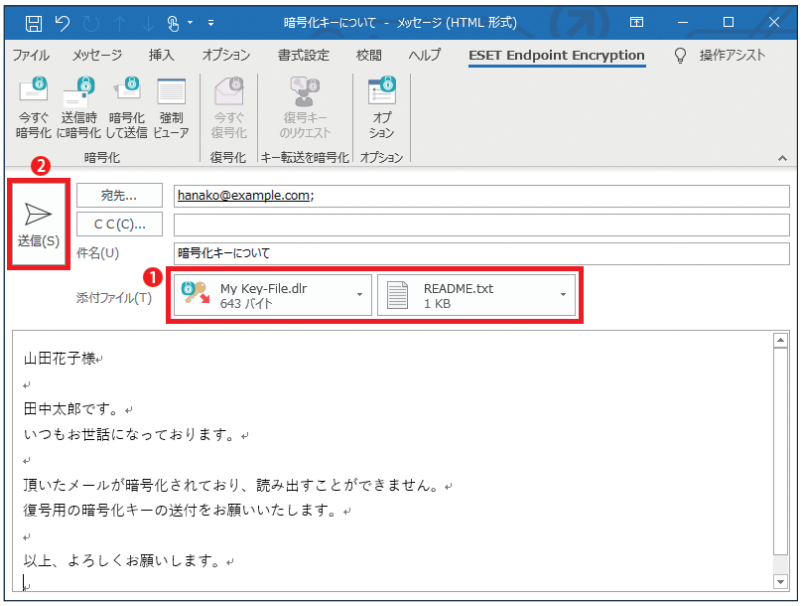
Outlook 2010
Outlook 2013
Outlook 2016
Outlook 2019
Microsoft Office 365

操作手順

1 暗号化メールの送信元に向けた新規メールを作成します。❶[ESET Endpoint Encryption]をクリックし、❷［復号キーのリクエスト］ボタンをクリックします。



2 ❶「My Key-File.dlr」と「README.txt」の 2 つのファイルが添付されます。❷［送信］ボタンをクリックすると、復号（暗号化）キーのリクエストメールが送信されます。



2.6.3.2 復号キーのリクエストへの返信

ここでは、復号キーのリクエストへの返信手順を説明します。キー転送ウィザードにしたがって操作を進めていきます。

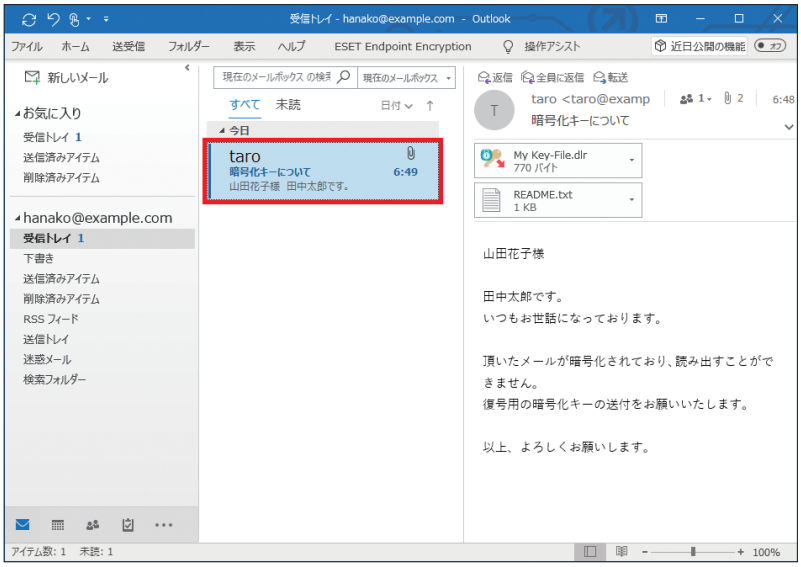
! 重 要

この作業は、復号キーのリクエストメールを受け取った側が行います。また、この作業を行うには、ESET Endpoint Encryption をインストールしたパソコンで以下のメールアプリケーションを利用している必要があります。

Outlook 2010
Outlook 2013
Outlook 2016
Outlook 2019
Microsoft Office 365

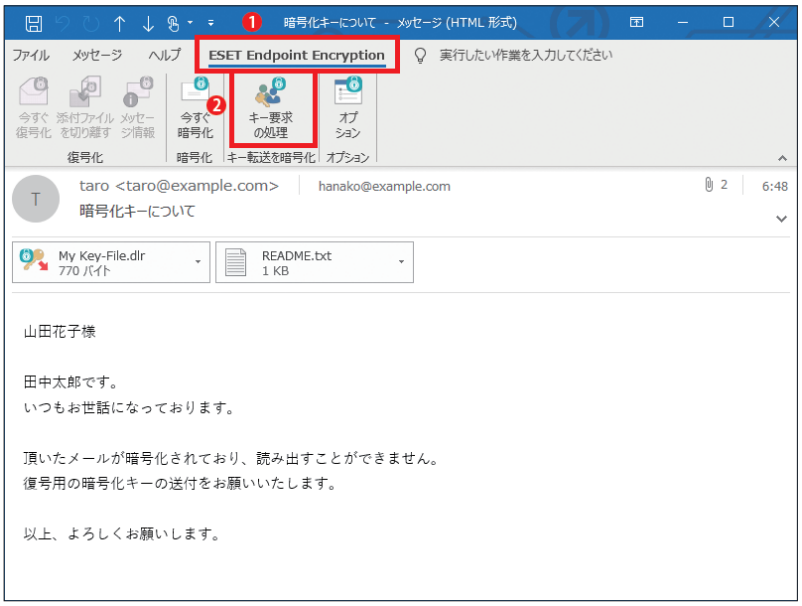
操作手順

1 「復号キーのリクエスト」メールをダブルクリックします。

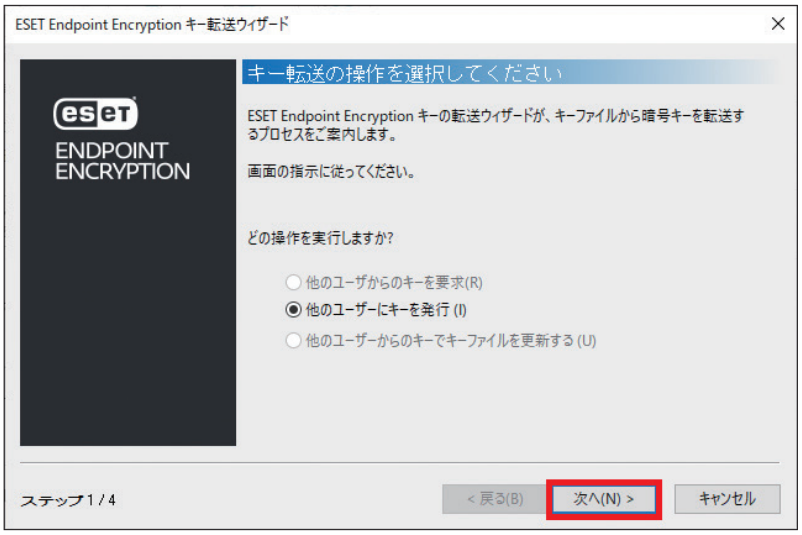


続く

2 メールが別ウィンドウで表示されます。❶［ESET Endpoint Encryption］をクリックし、❷［キー要求の処理］ボタンをクリックします。

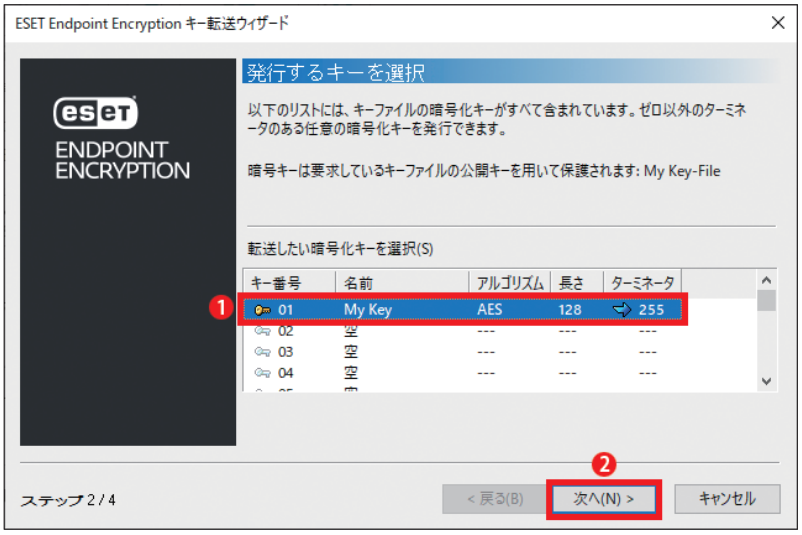


3 キー転送ウィザードが起動します。［次へ］ボタンをクリックします。

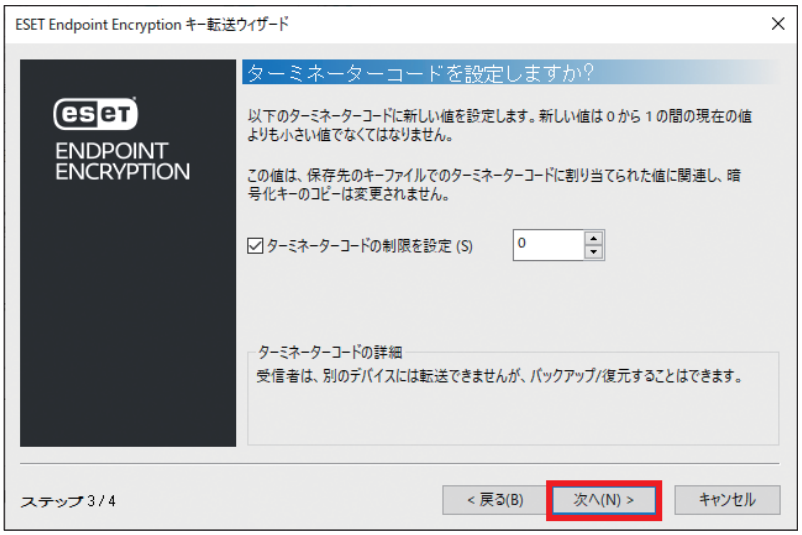


続く

4 ❶ メールの暗号化に利用している暗号化キーをクリックし、❷［次へ］ボタンをクリックします。

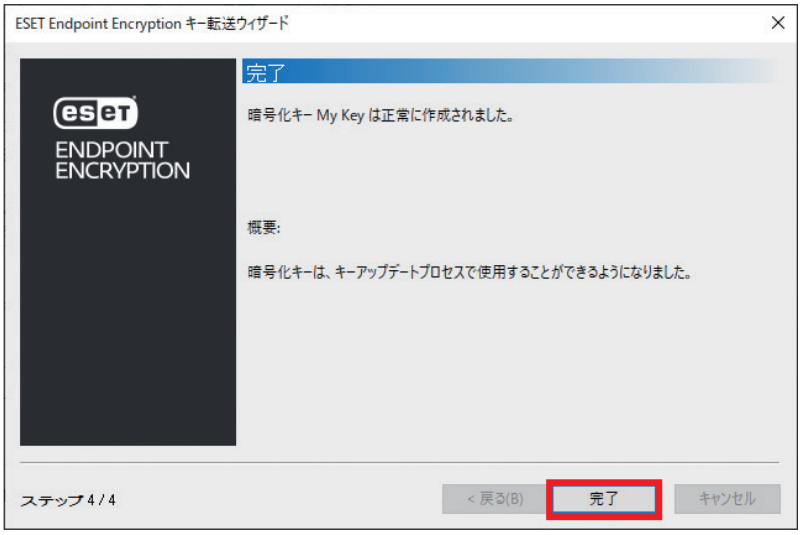


5 ［次へ］ボタンをクリックします。

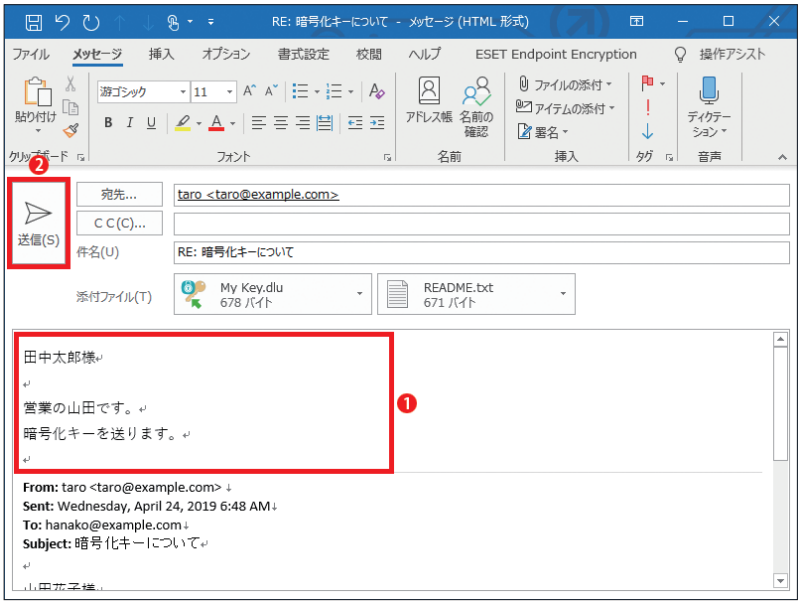


続く

6 ［完了］ボタンをクリックします。



7 「復号キーのリクエスト」メールに対しての返信メールが自動的に作成されます。❶メッセージを入力して、❷［送信］ボタンをクリックします。



2.6.3.3 復号（暗号化）キーの登録

ここでは、復号キーの登録手順を説明します。ここでもキー転送ウィザードにしたがって操作を進めていきます。

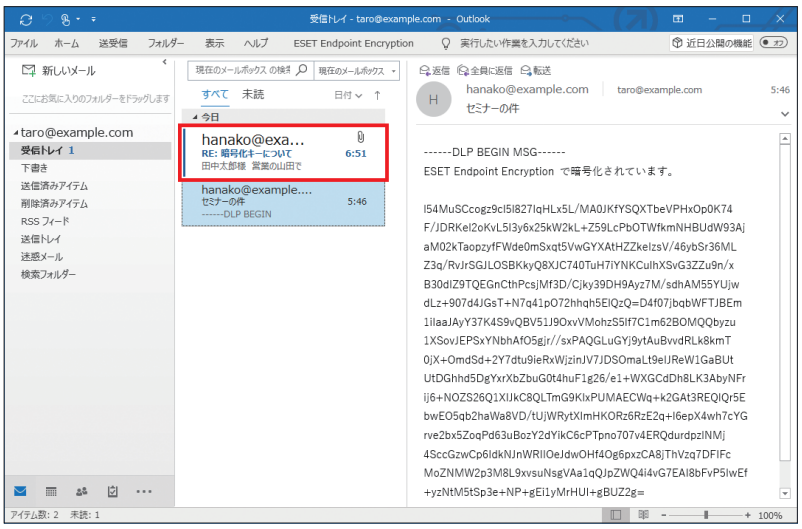
！重 要

この作業は、暗号化メールを受け取った側（復号キーのリクエストを行った側）で行います。この作業を行うには、ESET Endpoint Encryption をインストールしたパソコンで以下のメールアプリケーションを利用している必要があります。

Outlook 2010
Outlook 2013
Outlook 2016
Outlook 2019
Microsoft Office 365

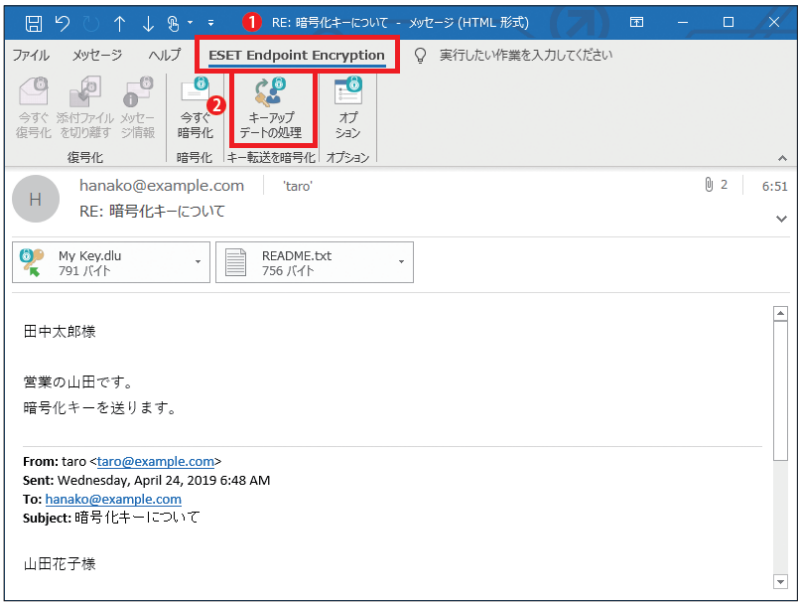
操作手順

1 「復号キーのリクエスト」メールに対しての返信メールをダブルクリックします。

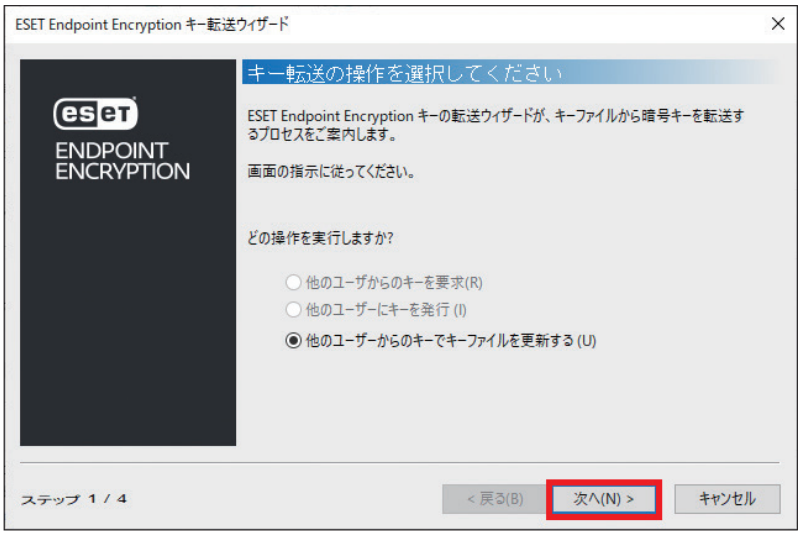


続く

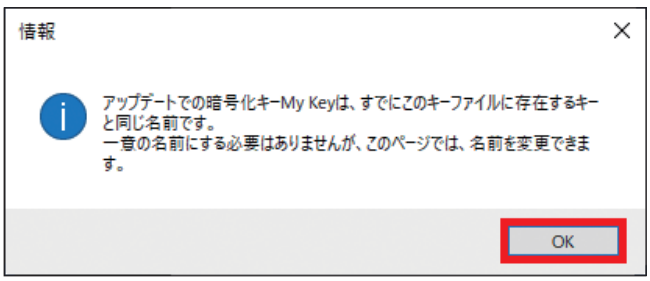
2 メッセージが別ウィンドウで表示されます。❶［ESET Endpoint Encryption］をクリックし、❷［キーアップデートの処理］ボタンをクリックします。



3 キー転送ウィザードが起動します。［次へ］ボタンをクリックします。

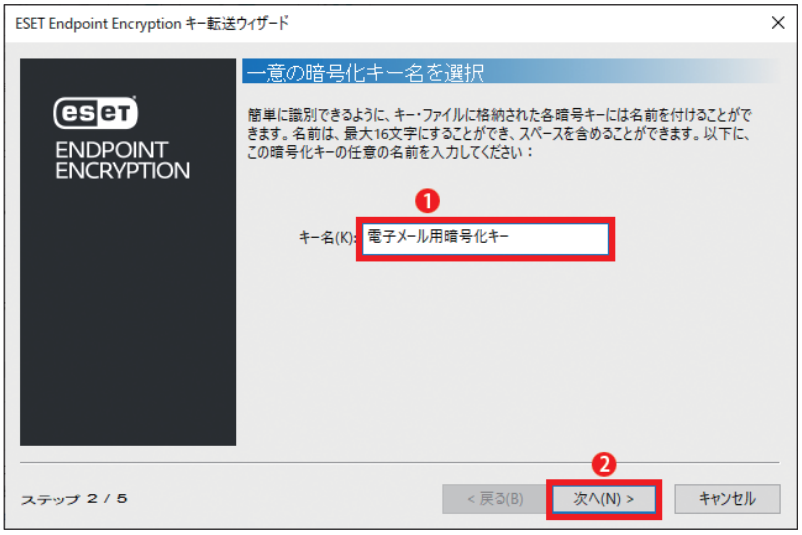


4 キーマネージャー上に同じキー名が登録済みの場合、以下のダイアログが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



続く

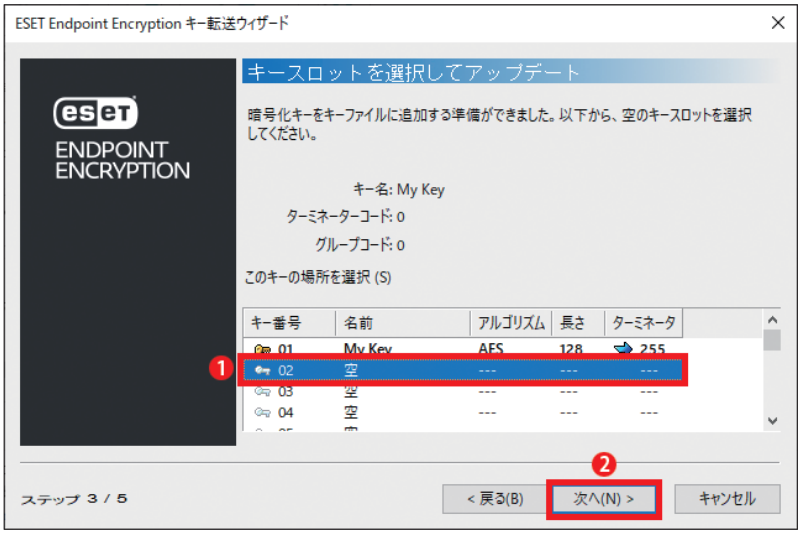
5 ❶登録する暗号化キーの「キー名」を入力し、❷［次へ］ボタンをクリックします。



ワンポイント

キー名には、漢字やかななどのマルチバイト文字を使用できます。

6 ❶受け取った暗号化（復号）キーを登録する場所をクリックし、❷［次へ］ボタンをクリックします。暗号化キーのインポートが行われます。

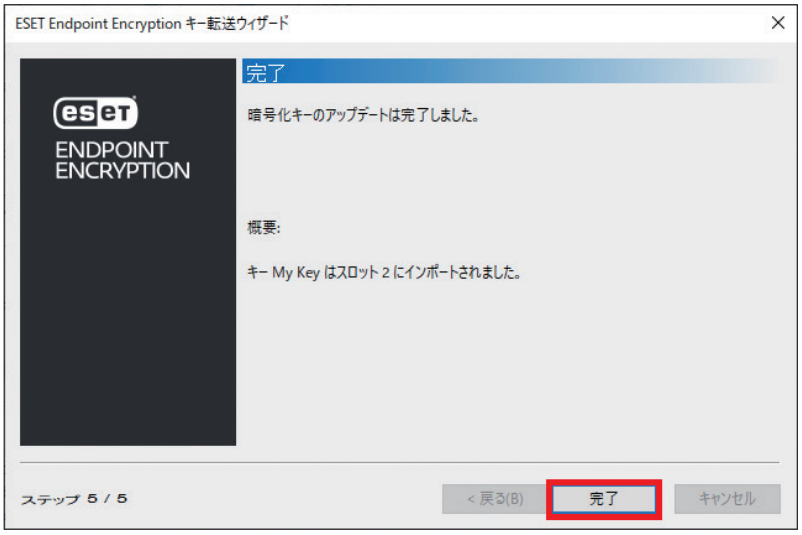


ワンポイント

暗号化キーを登録する場所は、必ず、「空」の場所を選択してください。すでに暗号化キーが登録済みの場所を選択すると、その暗号化キーが電子メールで受け取った暗号化キーに置き換えられます。暗号化キーが更新されると、前の暗号化キーで暗号化したデータの復号が行えなくなります。

続く

7 暗号化キーのインポート完了したら、［完了］ボタンをクリックします。



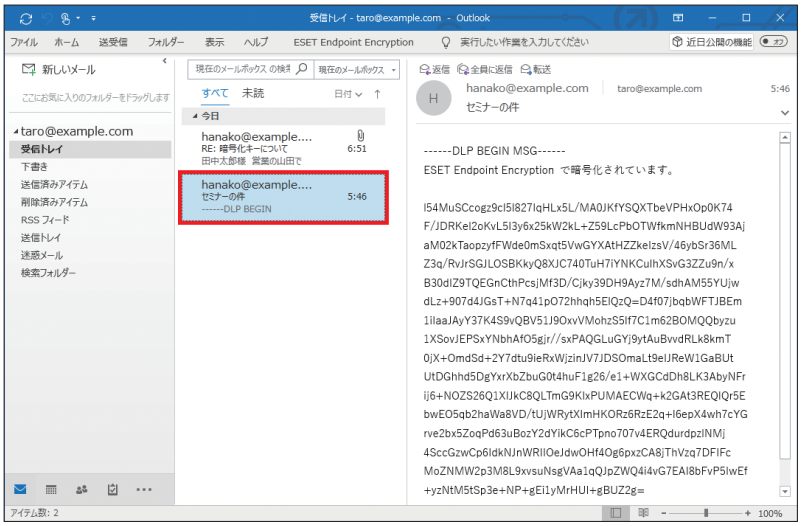
8 キーファイルバックアップ画面が表示されます。110 ページの「3.3 暗号化キーのバックアップを行う」の手順を参考に暗号化キーのバックアップを USB メモリーなどに保存します。



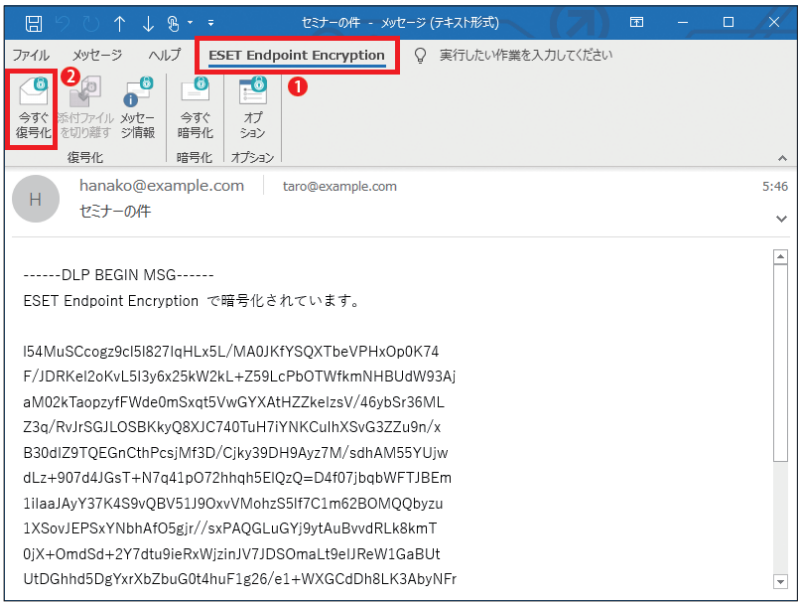
2.6.3.4 暗号化されたメールを復号する

操作手順

1 暗号化されたメールをダブルクリックします。

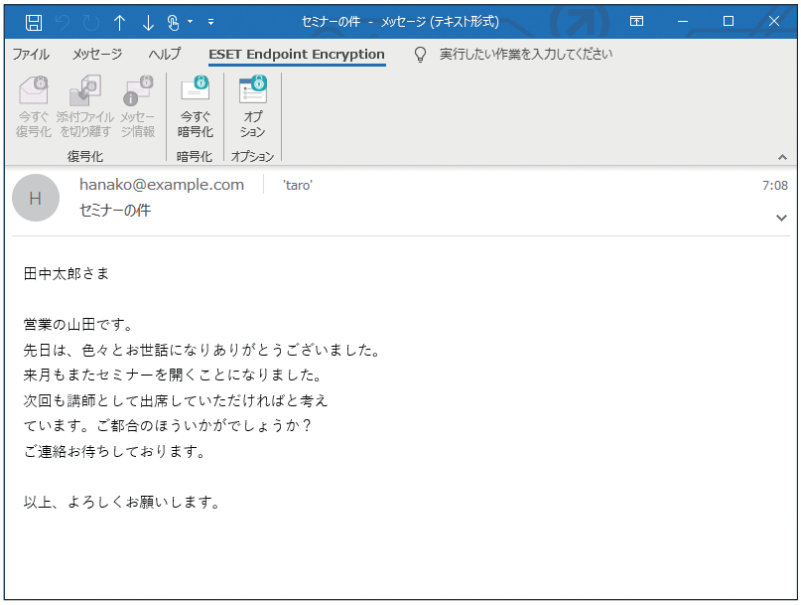


2 メールが別ウィンドウで表示されます。❶［ESET Endpoint Encryption］をクリックし、❷［今すぐ復号化］ボタンをクリックします。



続く

3 暗号化されていたメールが復号されます。



2.6.4 暗号化メールの復号を行う―その② パスワードを利用した場合

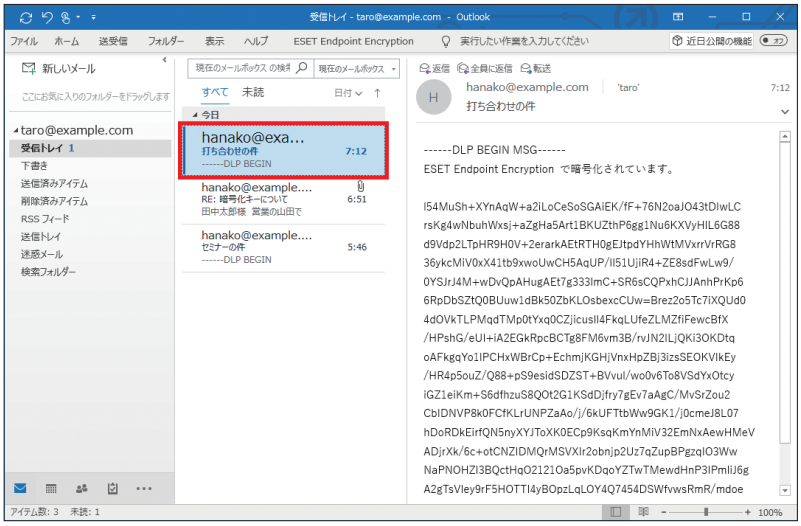
ここでは、ESET Endpoint Encryption をインストールしたパソコンでパスワードによって暗号化されたメールを復号する手順を説明します。

! 重 要

ESET Endpoint Encryption をインストールしてないパソコンで暗号化メールを復号する手順については、118 ページの「3.6 ESET Endpoint Encryption Reader を利用する」を参照してください。

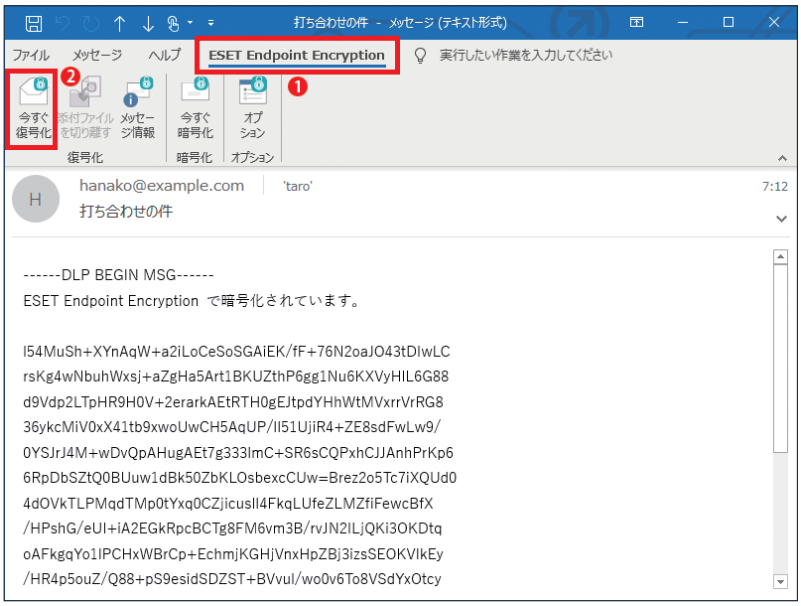
操作手順

1 暗号化されたメールをダブルクリックします。

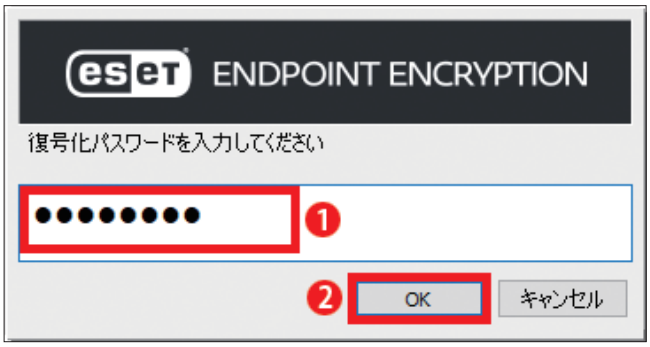


続く

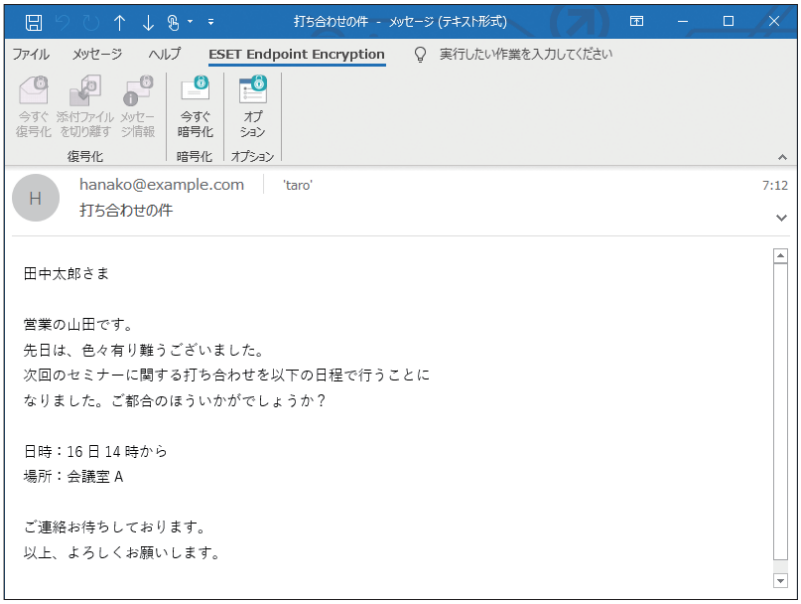
2 メールが別ウィンドウで表示されます。❶［ESET Endpoint Encryption］をクリックし、❷［今すぐ復号化］ボタンをクリックします。



3 パスワード入力画面が表示されます。❶パスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



4 暗号化されていたメールが復号されます。



2.7　テキストおよびクリップボードを暗号化する

ここでは、文字情報やクリップボードの内容を暗号化する「テキスト及びクリップボードの暗号化」の利用手順を説明します

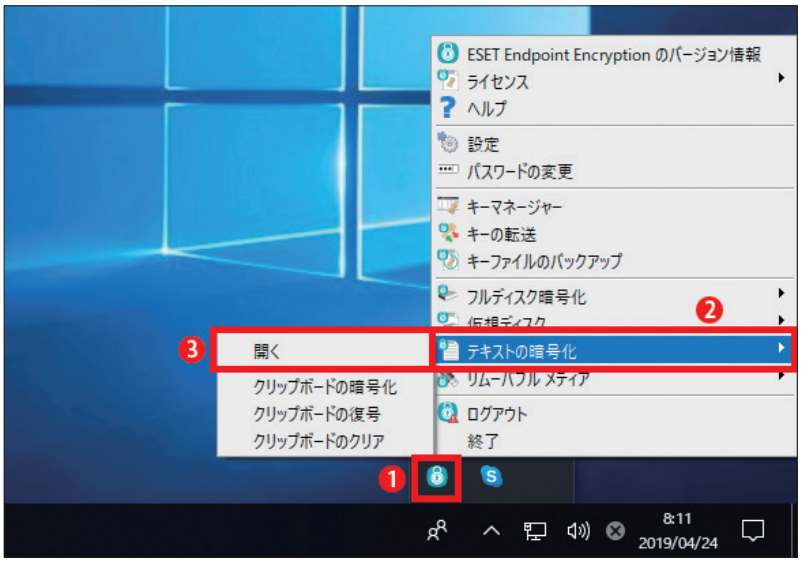
2.7.1　テキストおよびクリップボードの暗号化の利用イメージ

テキスト及びクリップボードの暗号化では、Microsoft Word やメモ帳などで作成中の文書（テキスト）の内容を暗号化したり、クリップボードの内容を暗号化したりできます。文書の暗号化は、文書全体を暗号化できるだけでなく、選択した文字情報のみを暗号化することもできます。この機能を利用すると、第三者に閲覧されても問題ない部分は、そのままにしておき、見られては困る部分のみを暗号化して秘匿するという使い方ができます。

2.7.2　テキストおよびクリップボードの暗号化を利用する

操作手順

1 暗号化したい文書（ここでは、メモ帳で作成中の文書）を開いておきます。❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［テキストの暗号化］→❸［開く］とクリックします。

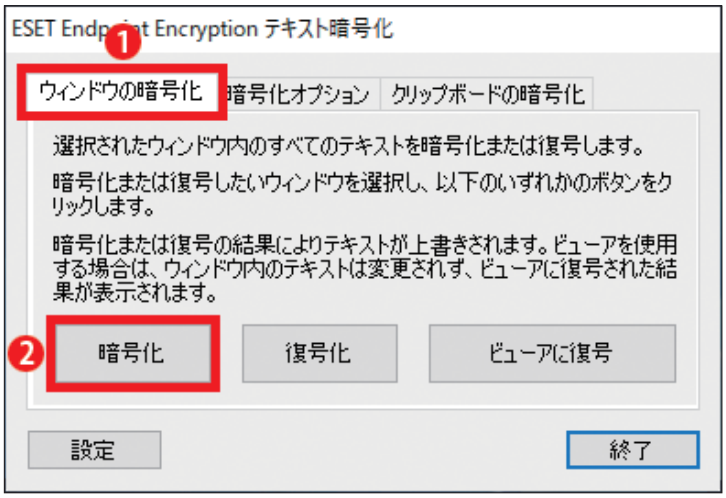


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します] ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

❷ テキスト暗号化ダイアログが開きます。文書全体を暗号化したいときは、メモ帳をアクティブにして、❶［ウィンドウの暗号化］をクリックし、❷［暗号化］ボタンをクリックします。



ワンポイント

クリップボード上の文字列を暗号化したいときは、［クリップボードの暗号化］をクリックします。暗号化対象は、文字列だけです。写真や画像データなどのデータは暗号化できません。

❸ ❶暗号化に利用する暗号化キーをクリックし、❷［OK］ボタンをクリックします。

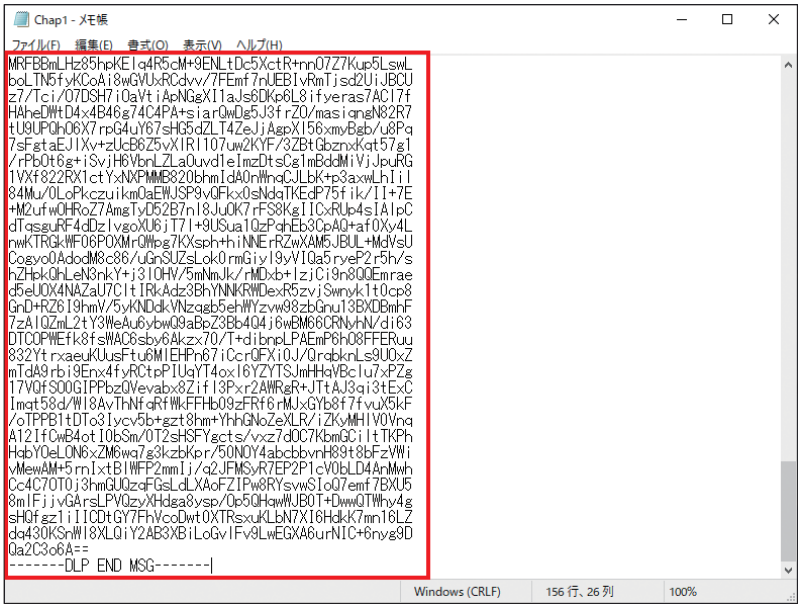


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption がインストールされてない相手や暗号化キーを共有していないユーザーに暗号化された文字列を送る場合は、「パスワードの使用」を選択して暗号化を行ってください。パスワードによって暗号化された文字列は、ESET Endpoint Encryption Reader で復号できます。ESET Endpoint Encryption Reader による復号の手順については、118 ページの「3.6　ESET Endpoint Encryption Reader を利用する」を参照してください。

続く

4 作成中の文書の内容がすべて暗号化されます。

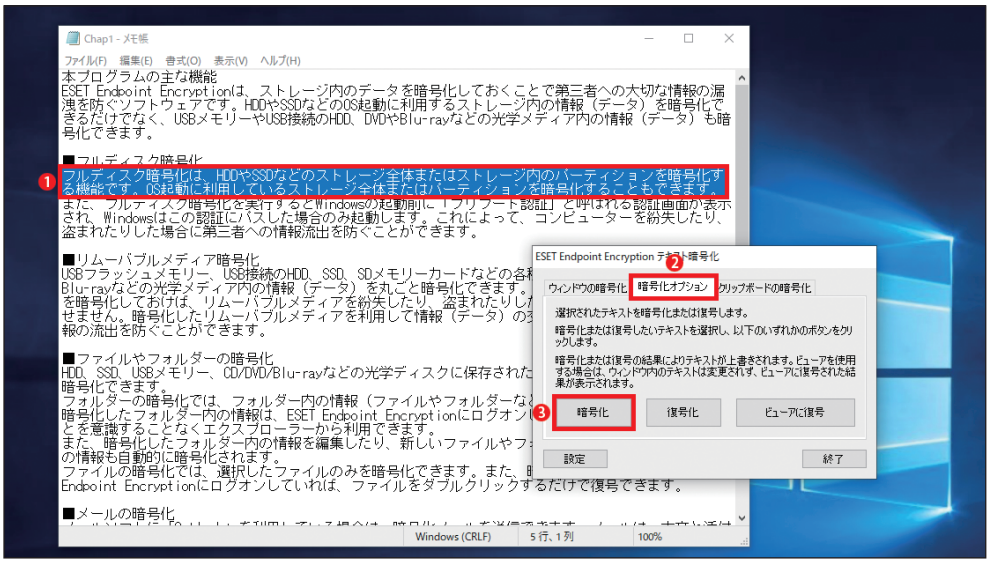


ワンポイント

［復号化］ボタンをクリックすると、暗号化された文書が復号され元の状態に戻ります。［ビューアに復号］ボタンをクリックすると、専用ビューアに暗号化された文字情報を復号します。

選択した文字情報のみを暗号化する

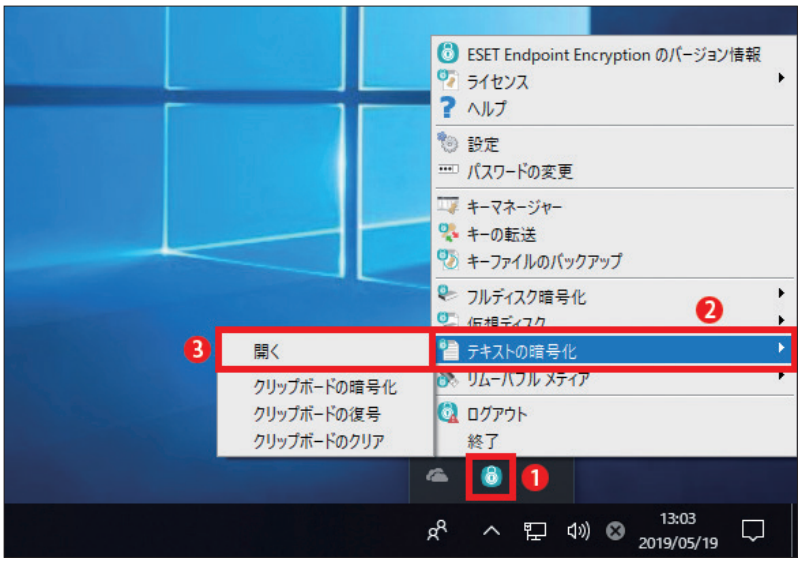
文書内の特定の文字情報のみを暗号化したいときは、❶暗号化したい文字情報を選択し、❷テキスト暗号化ダイアログの［暗号化オプション］をクリックします。❸［暗号化］ボタンをクリックします。



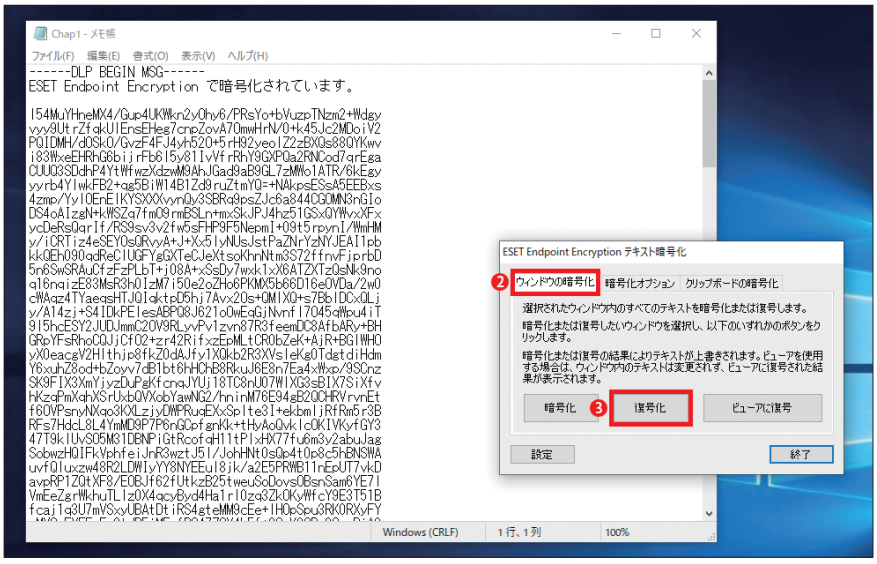
2.7.3 暗号化されたテキストを復号する

操作手順

1 復号したい文書を開いておきます。❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［テキストの暗号化］→❸［開く］とクリックします。

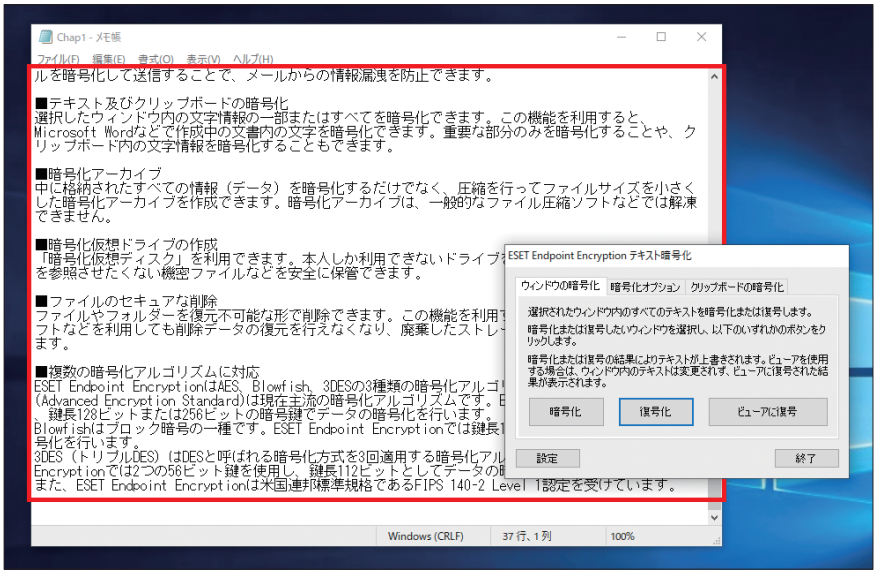


2 テキスト暗号化ダイアログが開きます。文書全体を復号したいときは、メモ帳をアクティブにして、❶［ウィンドウの暗号化］をクリックし、❷［復号化］ボタンをクリックします。



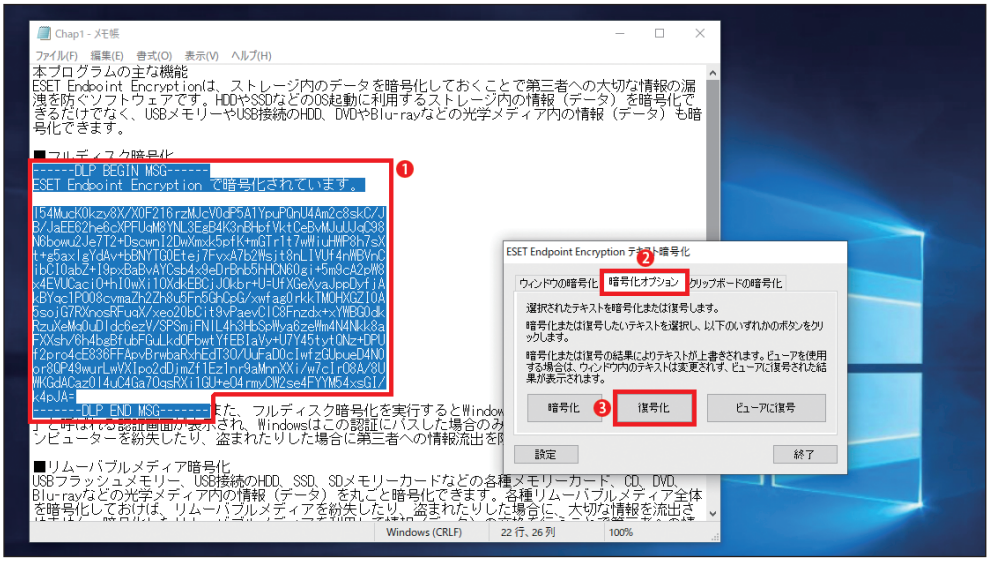
続く

❸ 文書が復号されます。



選択した文字情報のみを復号する

文書内の特定の文字情報のみを復号したいときは、❶復号したい文字情報（「------DLP BEGIN MSG------」から「------DLP END MSG------」まで）を選択し、❷テキスト暗号化ダイアログの［暗号化オプション］をクリックします。❸［暗号化］ボタンをクリックします。



2.8 暗号化アーカイブを利用する

ここでは、ファイルやフォルダーを圧縮するだけでなく、暗号化して保存する「暗号化アーカイブ」の利用手順を説明します。

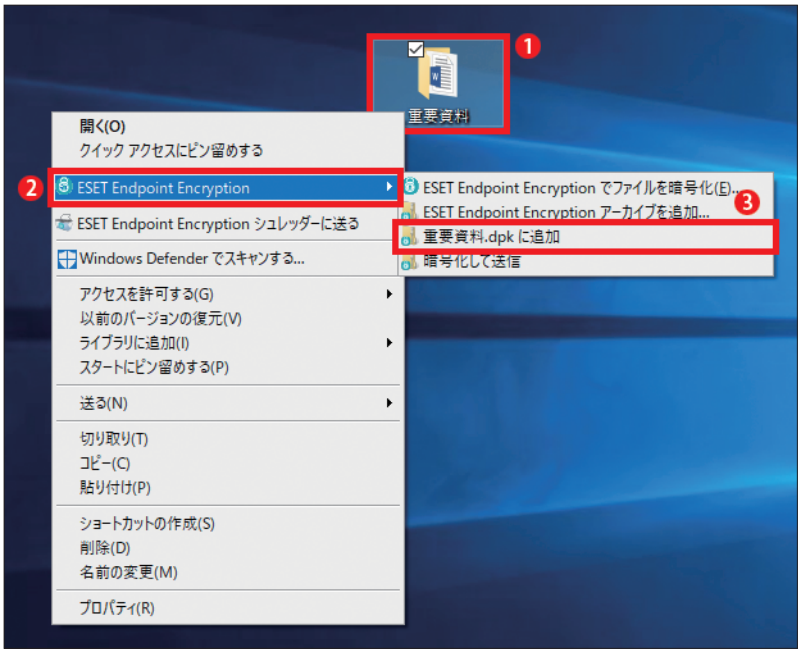
2.8.1 暗号化アーカイブの利用イメージ

暗号化アーカイブによって作成された圧縮ファイルは、ESET Endpoint Encryption がインストールされたパソコン以外では解凍できないファイルです。データは暗号化されているので、ファイルを紛失しても第三者にその内容が漏洩することはありません。たとえば、メールに大切なファイルを添付したいときに利用すると、情報漏洩を防止できます。

2.8.2 暗号化アーカイブを作成する

操作手順

1 ❶暗号化アーカイブを作成したいファイル／フォルダーを右クリックし、❷［ESET Endpoint Encryption］→❸［ファイル／フォルダー名 .dpk（本マニュアルでは、「重要資料 .dpk」）に追加］とクリックします。



ワンポイント

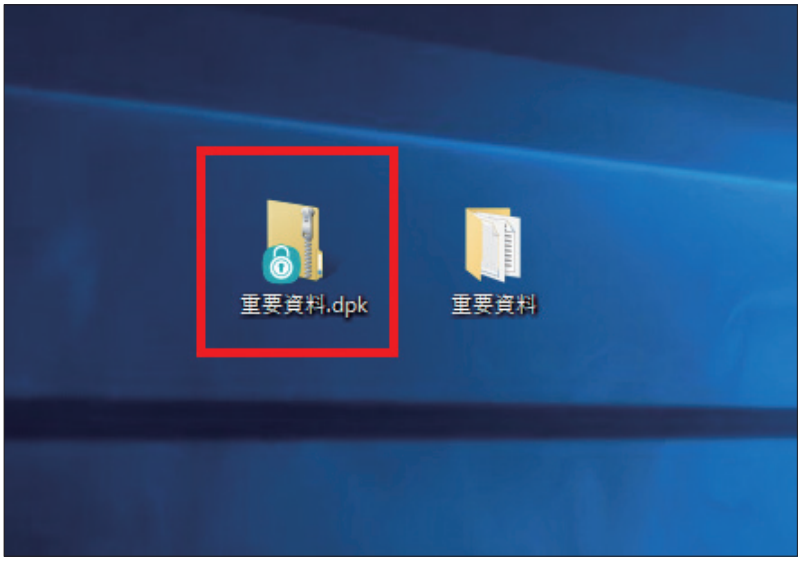
［ESET Endpoint Encryption アーカイブを追加］をクリックすると、保存先やファイル名を指定できます。

続く

2 ❶暗号化に利用する暗号化キーをクリックし、❷［OK］ボタンをクリックします。



3 暗号化アーカイブが作成されます。作成された暗号化アーカイブをダブルクリックします。

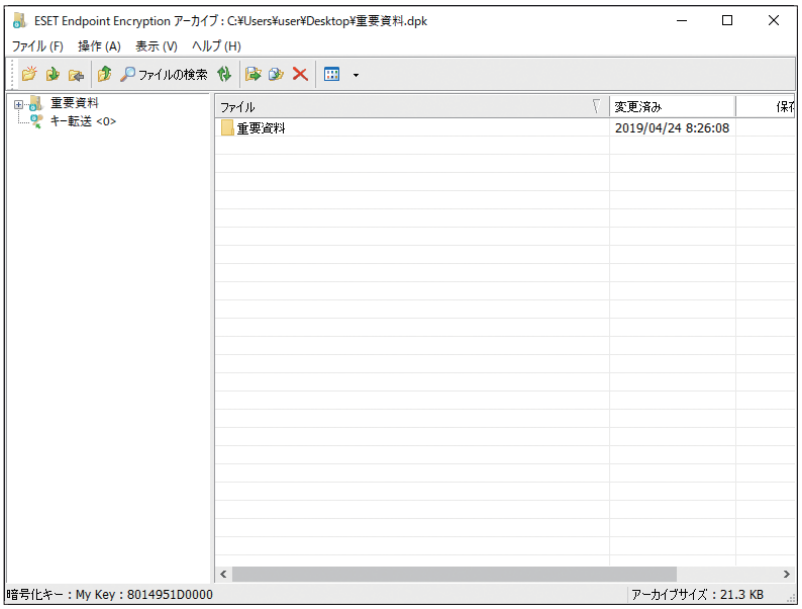


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption で作成する暗号化アーカイブは、拡張子に「dpk」が付けられたファイルとなります。

続く

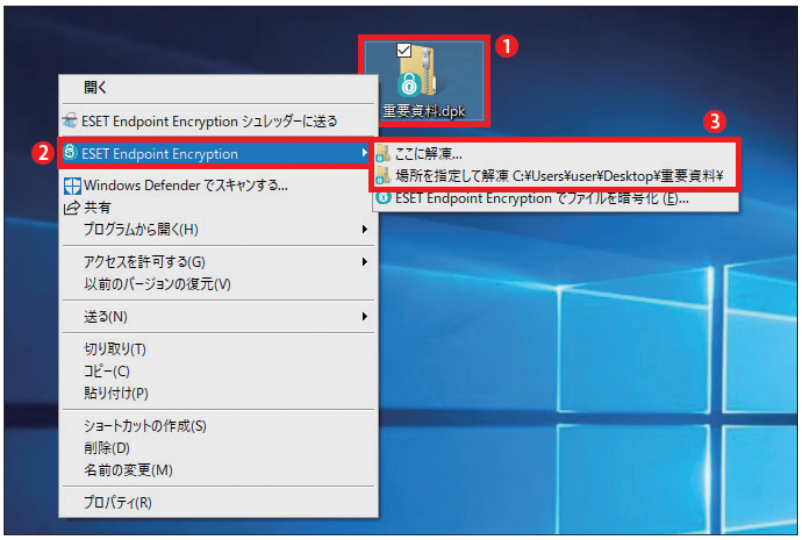
4 暗号化アーカイブの内容が専用ソフトで表示されます。このウィンドウにファイル／フォルダーをドラッグ＆ドロップするとそれらを暗号化アーカイブに追加できます。



2.8.3 暗号化アーカイブを解凍する

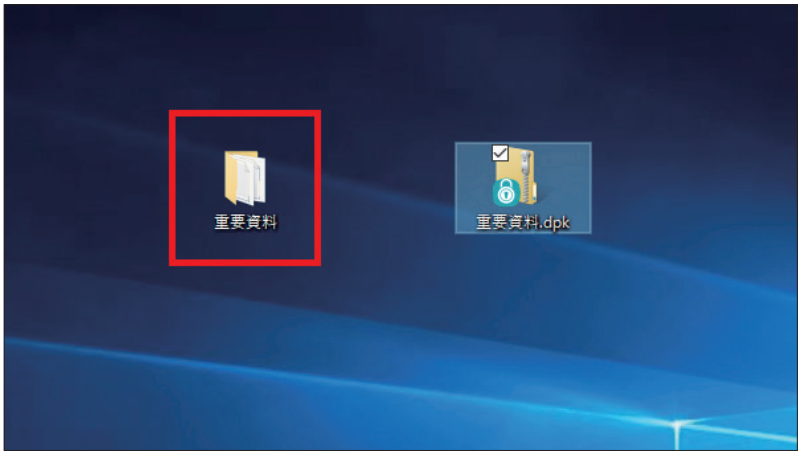
操作手順

1 ❶暗号化アーカイブを右クリックし、❷［ESET Endpoint Endpoint］を選択し、❸［ここに解凍］または［場所を指定して解凍］（ここでは、［ここに解凍］）をクリックします。



続く

2 暗号化アーカイブが解凍されます。



2.9 暗号化仮想ディスクを利用する

ここでは、「暗号化仮想ディスク」の利用手順を説明します。

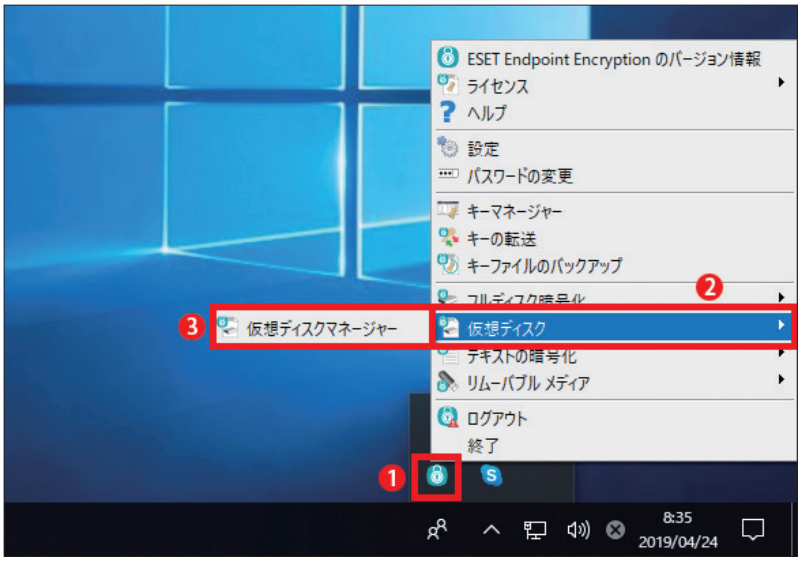
2.9.1 暗号化仮想ディスクの利用イメージ

暗号化仮想ディスクは、イメージファイルと呼ばれる 1 つのファイルをソフトウェアでエミュレートすることで作成される仮想ストレージです。HDD や SSD などと同じ感覚でエクスプローラーから利用できる点が特徴です。仮想ストレージ内に保存されるデータはすべて暗号化されます。暗号化仮想ディスクを利用すると、本人しか利用できない専用ドライブを作成できるので、他人に中身を参照させたくない機密ファイルなどを安全に保管できます。

2.9.2 暗号化仮想ディスクを作成する

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［仮想ディスク］→❸［仮想ディスクマネージャー］とクリックします。

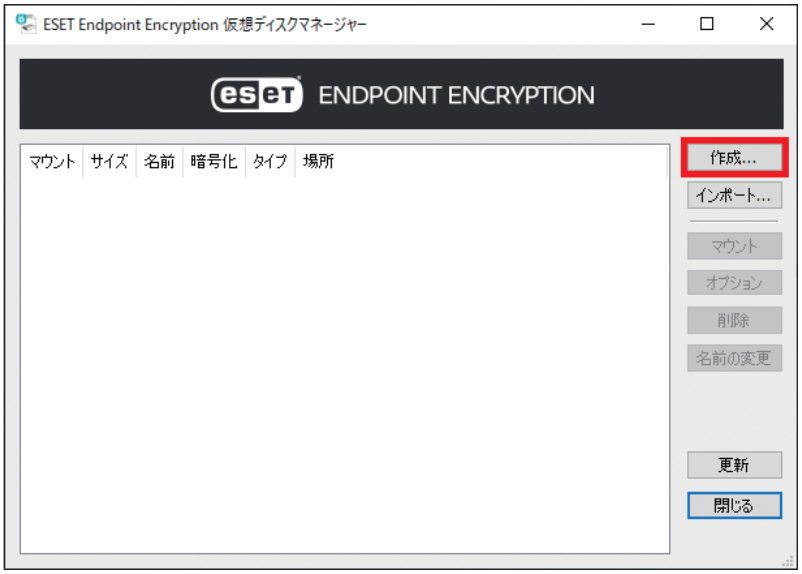


ワンポイント

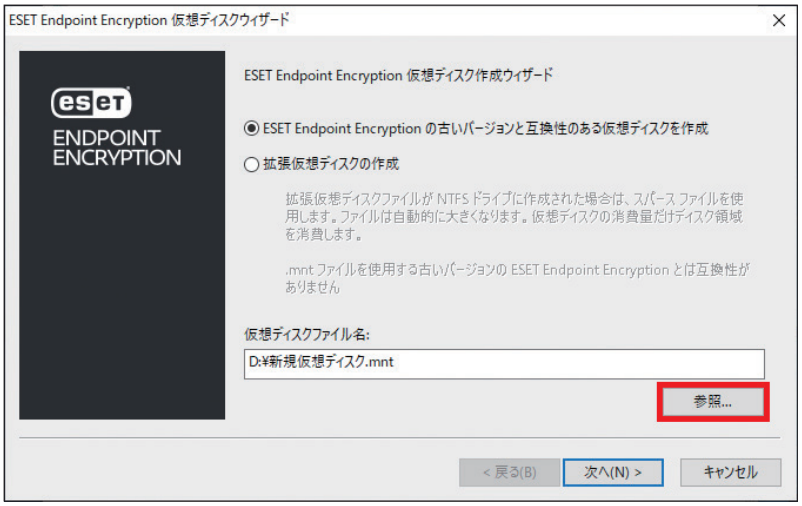
ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します]ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

2 仮想ディスクマネージャーが起動します。［作成］ボタンをクリックします。

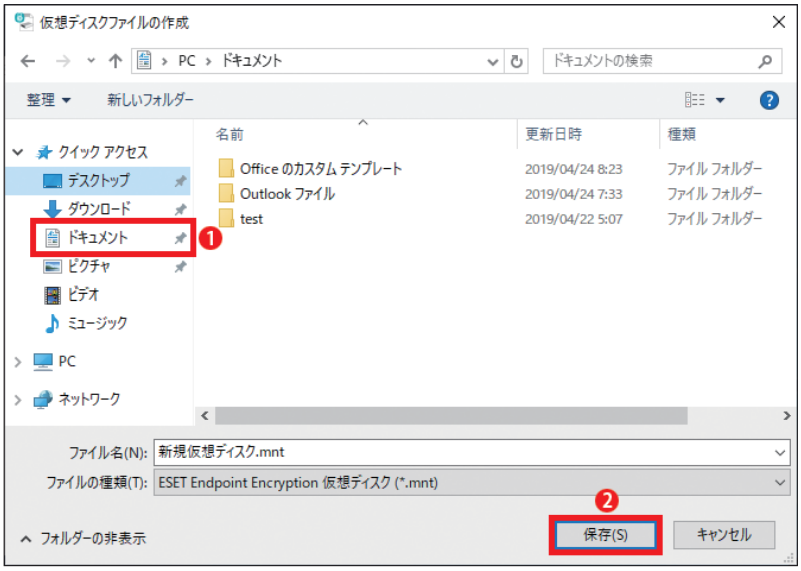


3 ［参照］ボタンをクリックします。

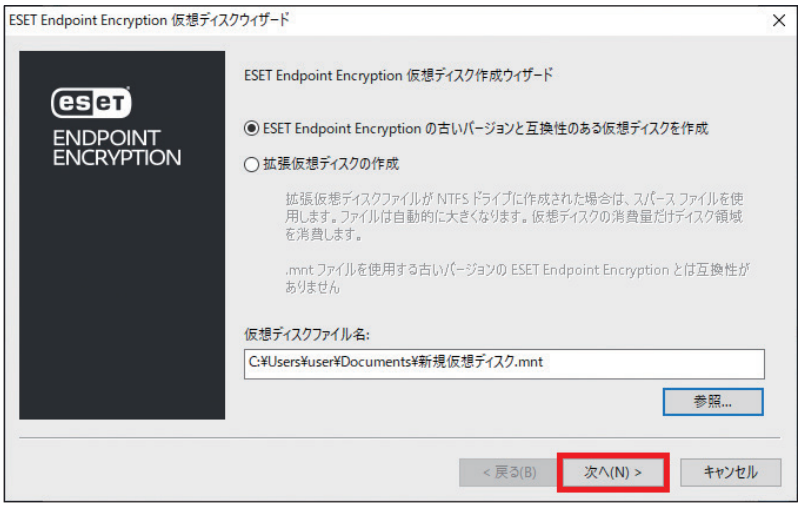


続く

4 ❶仮想ディスクを作成したいフォルダーを選択し、❷［保存］ボタンをクリックます。



5 ［次へ］をクリックします。

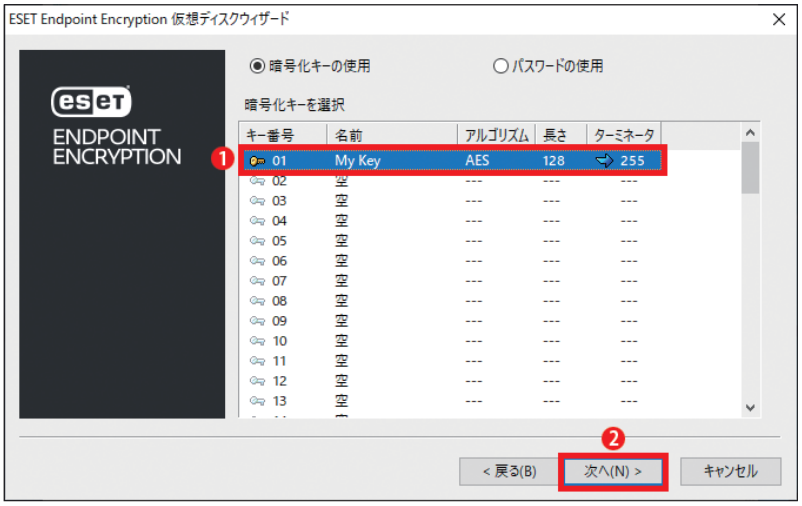


6 ❶作成したい仮想ディスクの容量を入力し、❷［次へ］ボタンをクリックします。



続く

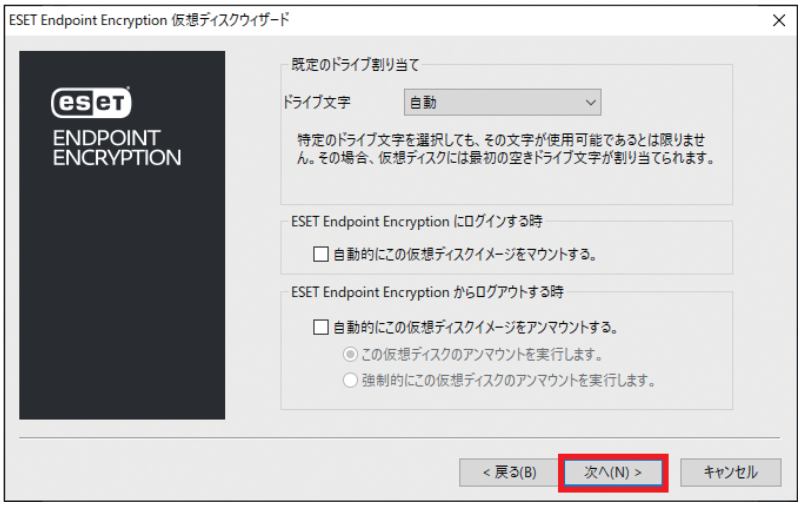
7 ❶暗号化に利用する暗号化キーをクリックし、❷［次へ］ボタンをクリックします。



ワンポイント

手順❼では、暗号化キーを利用して暗号化を行っていますが、［パスワードの使用］を選択すると、パスワードを利用した暗号化を行えます。

8 ［次へ］ボタンをクリックします。

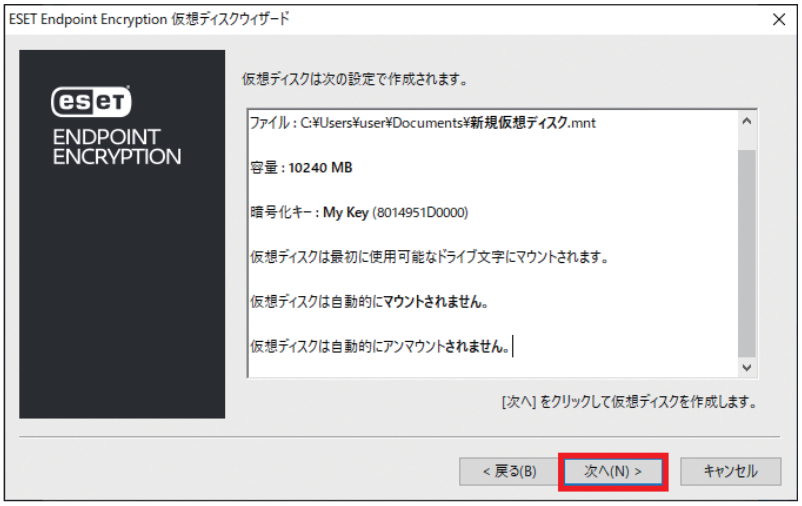


ワンポイント

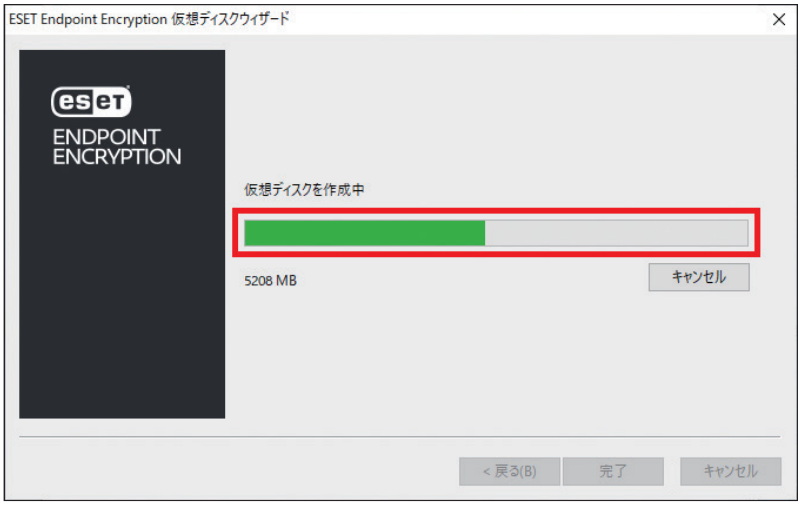
［自動的にこの仮想ディスクイメージをマウントする。］のチェックボックスをチェックすると、ESET Endpoint Encryption にログインしたときに自動的に仮想ディスクを利用可能な状態（マウント）にします。また、［自動的にこの仮想ディスクイメージをアンマウントする。］のチェックボックスをチェックすると、ESET Endpoint Encryption からログアウトしたときに自動的に仮想ディスクを利用不可の状態（アンマウント）にします。

続く

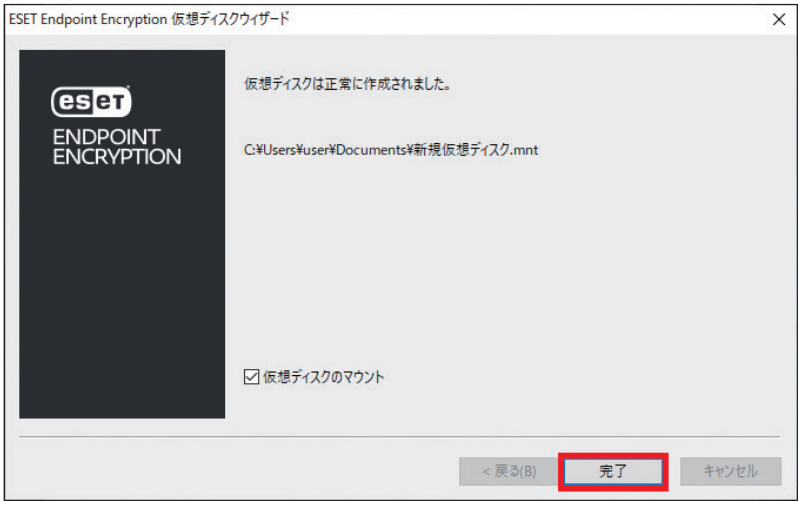
9 ［次へ］ボタンをクリックすると、仮想ディスクイメージの作成がはじまります。



10 仮想ディスクの作成が開始され、その進捗状況が表示されます。

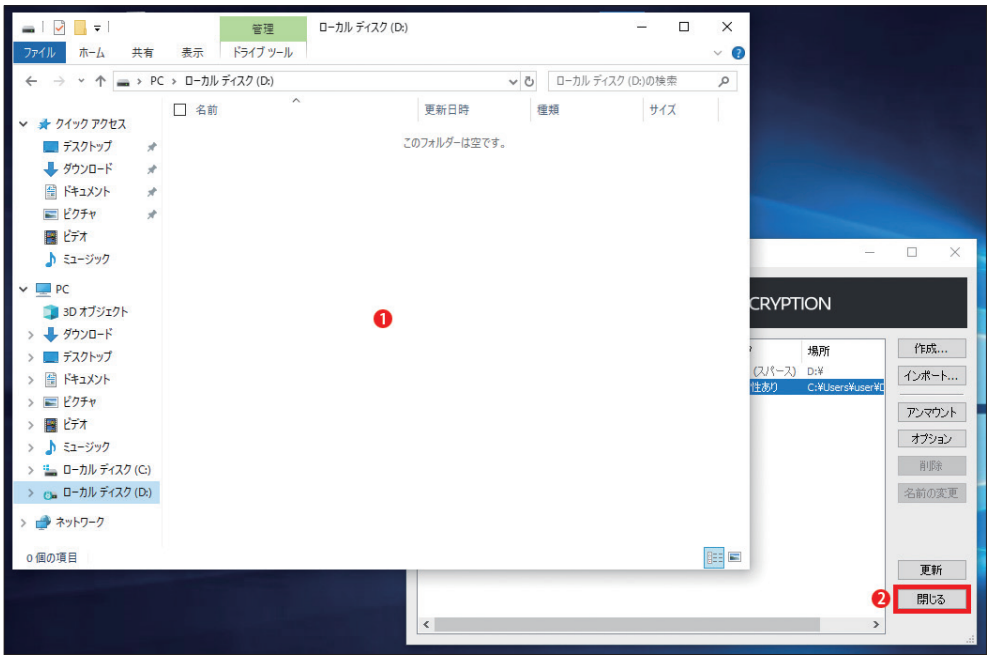


11 仮想ディスクイメージの作成が完了されたら、［完了］ボタンをクリックします。



続く

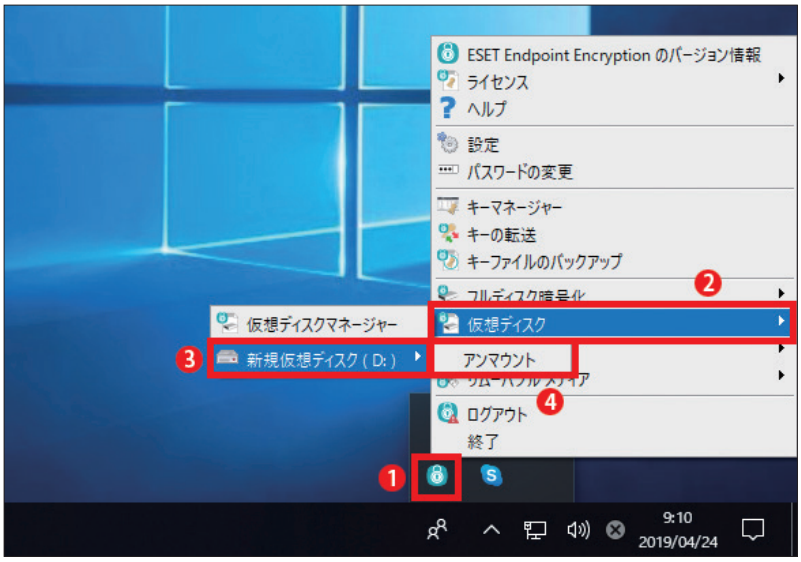
⑫ ❶作成した仮想ディスクがマウントされ、エクスプローラーで開かれます。仮想ディスクマネージャーの❷［閉じる］ボタンをクリックします。



2.9.3 暗号化仮想ディスクをマウント／アンマウントする

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［仮想ディスク］→❸［新規仮想ディスク］→❹［マウント］（または［アンマウント］）とクリックすると、仮想ディスクのマウント／アンマウントを切り替えることができます。

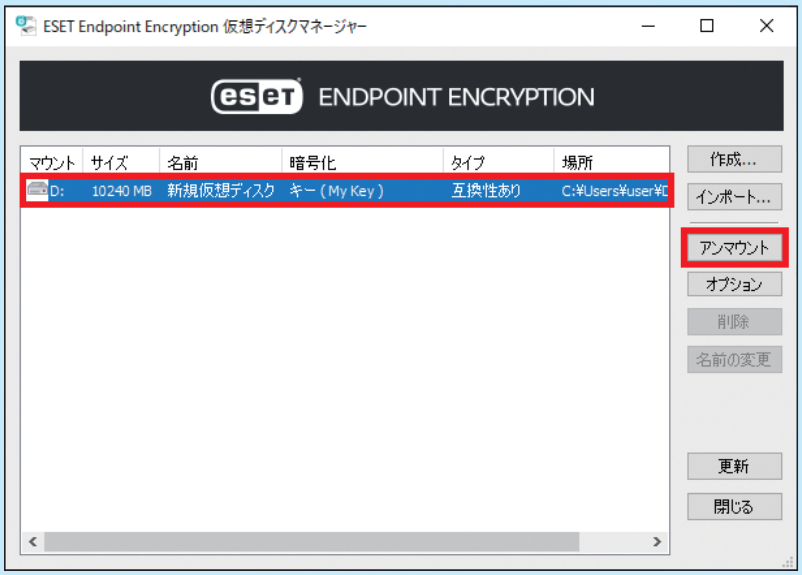


ワンポイント

仮想ディスクを利用可能な状態にすることを「マウント」と呼びます。逆にマウント中の仮想ディスクを利用不可の状態にすることを「アンマウント」と呼びます。

ワンポイント

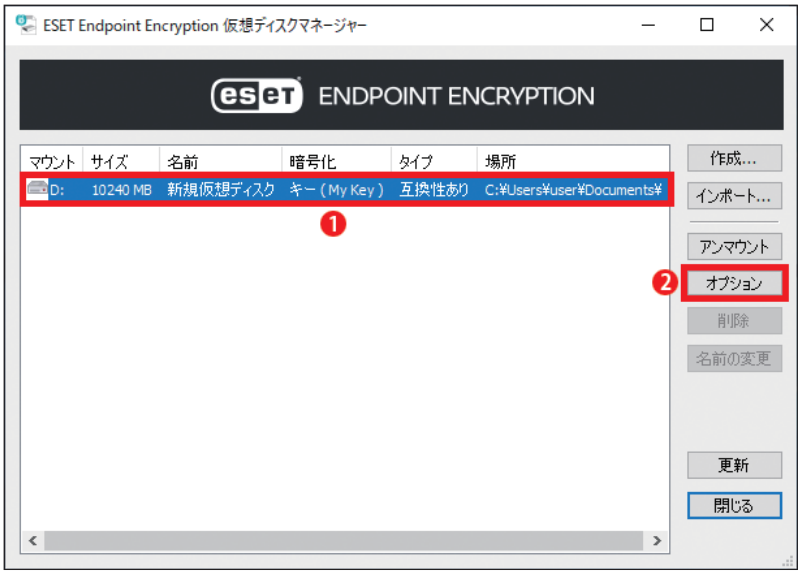
仮想ディスクのマウント／アンマウントの操作は、仮想ディスクマネージャーからも行えます。



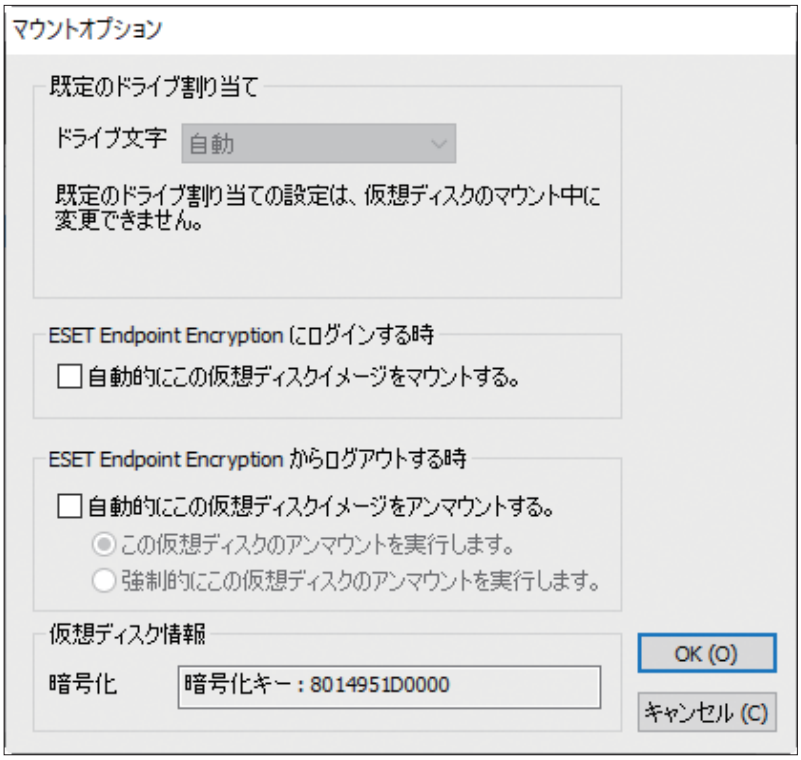
2.9.4　暗号化仮想ディスクの各種設定を行う

操作手順

1. 86 ページの「2.9.2　暗号化仮想ディスクを作成する」の手順❶を参考に仮想ディスクマネージャーを起動します。❶設定を行いたい仮想ディスクをクリックし、❷［オプション］ボタンをクリックします。



2. オプション画面が表示されるので、各種設定を行います。

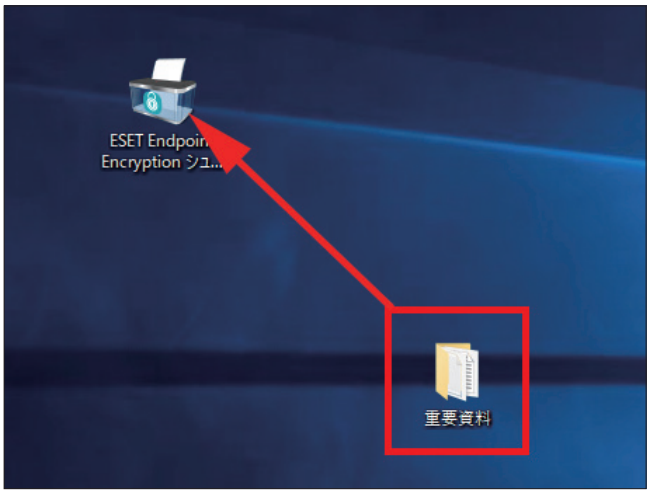


2.10　ファイルのセキュアな削除を行う

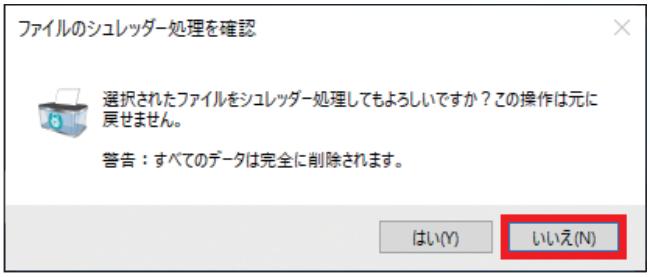
ここでは、ESET Endpoint Encryption でファイルやフォルダーのセキュアな削除を行う手順を説明します。この機能を利用すると、ファイルやフォルダーが復元不可能な形で削除され、市販のファイル復元ソフトなどを利用しても削除データの復元を行えなくなります。
これによって、廃棄したストレージからの情報漏洩を防止できます。

操作手順

1. セキュアな削除を行いたいファイル／フォルダーを「ESET Endpoint Encryption　シュレッダー」アイコンにドラッグ & ドロップします。



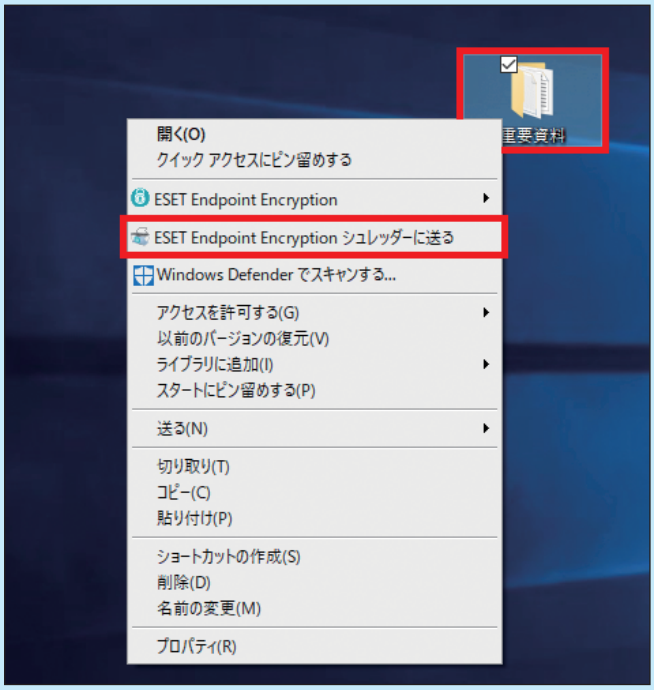
2. ダイアログが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、ファイル／フォルダーのセキュアな削除が実行されます。



続く

ワンポイント

ファイルやフォルダーのセキュアな削除は、削除したいファイルやフォルダーを右クリックし、[ESET Endpoint Encryption シュレッダーに送る] をクリックすることでも行えます。



Chapter 3 ESET Endpoint Encryption の運用とメンテナンス

3.1　他のユーザーと暗号化データをやり取りする①―暗号化キーマネージャーの利用方法

暗号化に利用される「暗号化キー」の管理を行うのが、暗号化キーマネージャーです。ここでは、ESET Endpoint Encryption Server を利用していない ESET Endpoint Encryption での暗号化キーマネージャーの利用方法について説明します。

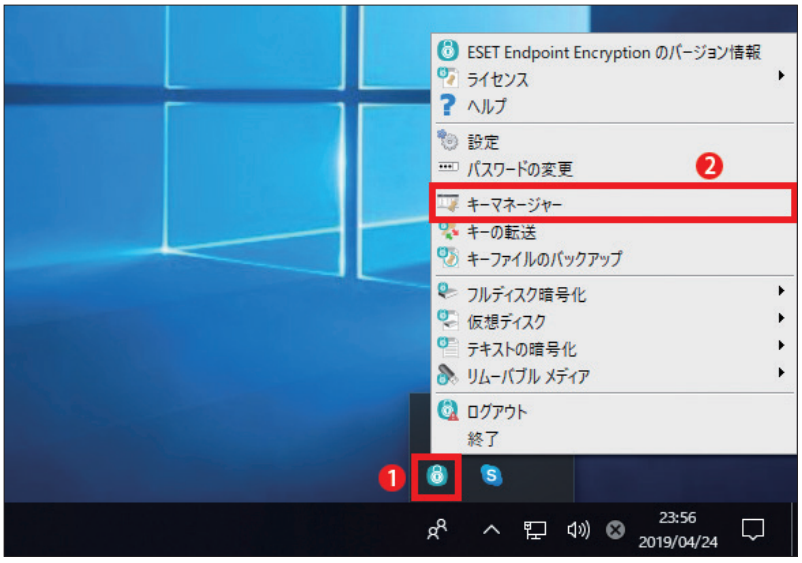
ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用している ESET Endpoint Encryption へのキーの配分については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

3.1.1　暗号化キーマネージャーの起動方法

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［キーマネージャー］をクリックします。

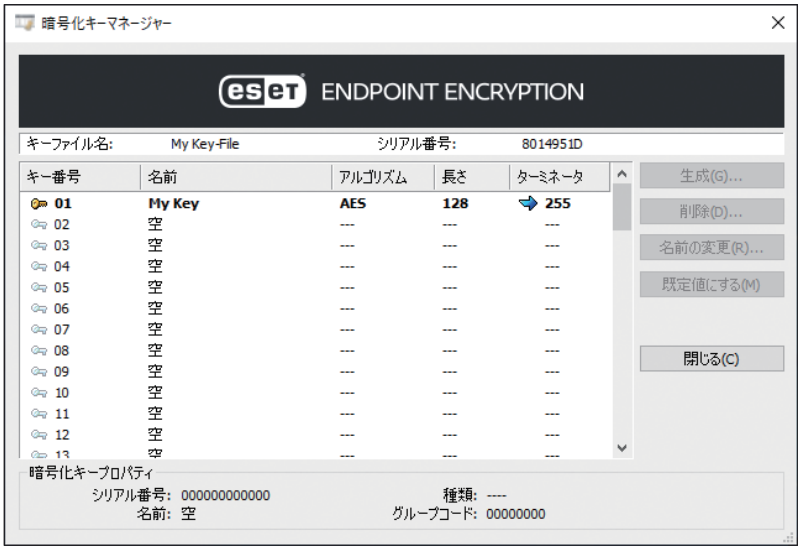


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します]ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

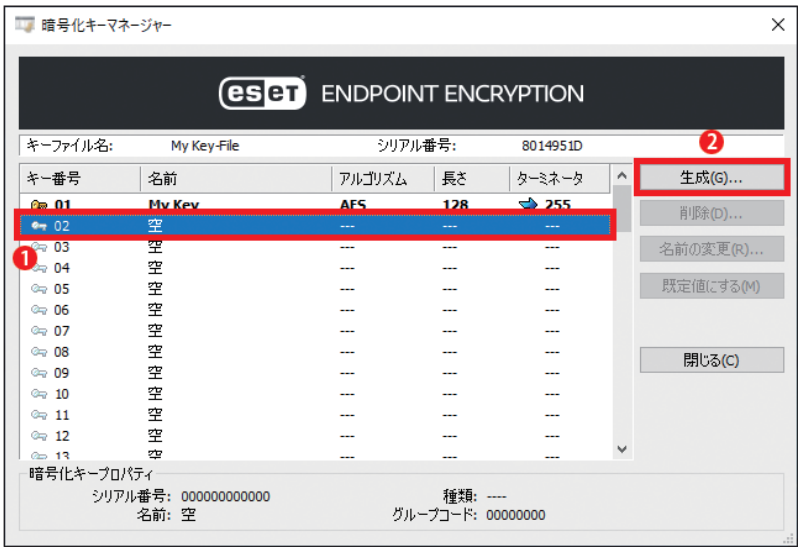
❷ 暗号化キーマネージャーが起動します。



3.1.2 新しい暗号化キーの作成

操作手順

❶ 96 ページの「3.1.1 暗号化キーマネージャーの起動方法」の手順を参考に暗号化キーマネージャーを起動します。❶新しい暗号化キーを登録したい場所をクリックし、❷［生成］ボタンをクリックします。

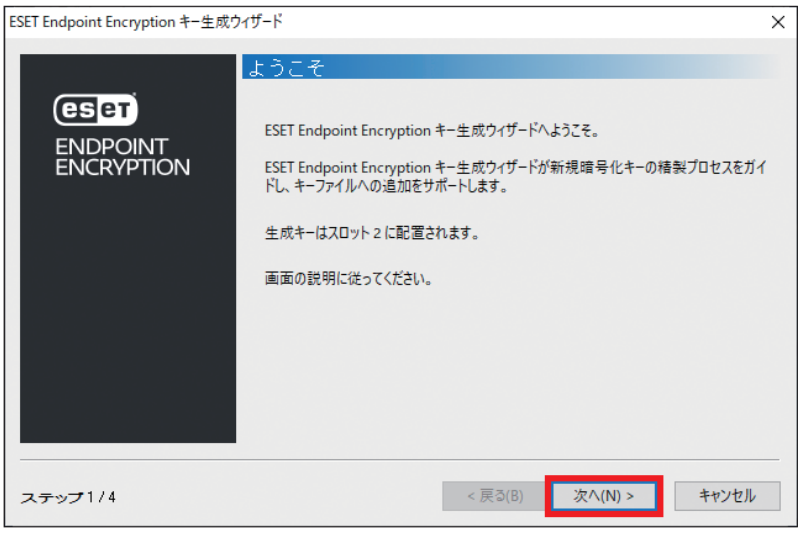


! 重 要

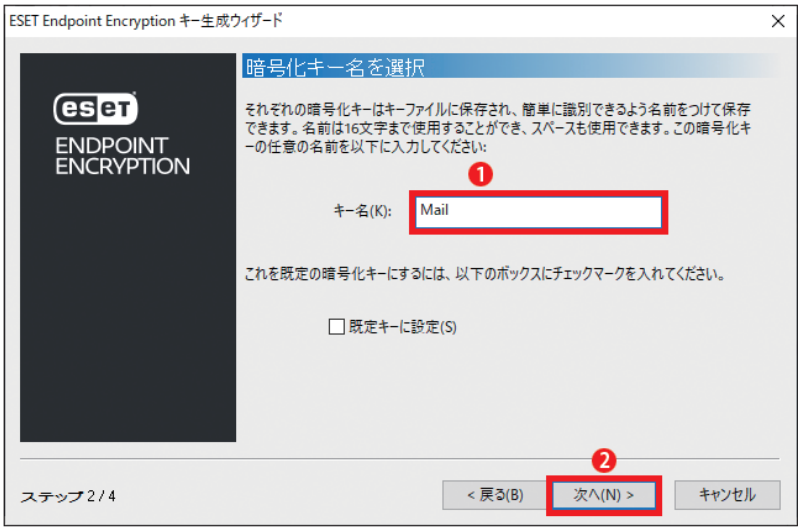
すでに登録しているキーを上書きしないよう注意してください。登録しているキーを上書きすると、既存のキーで暗号化したデータが復号できなくなります。

続く

② ESET Endpoint Encryption キー生成ウィザードが起動します。［次へ］ボタンをクリックします。



③ ❶キー名（ここでは、［Mail］）を入力し、❷［次へ］ボタンをクリックします。

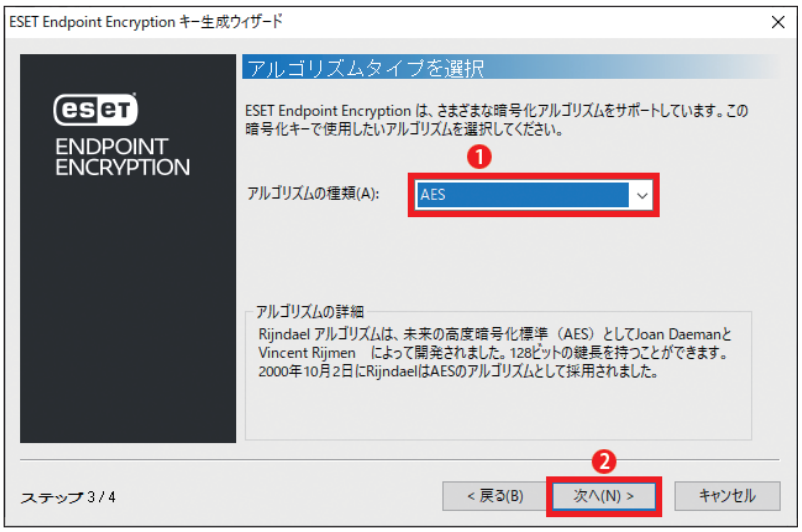


ワンポイント

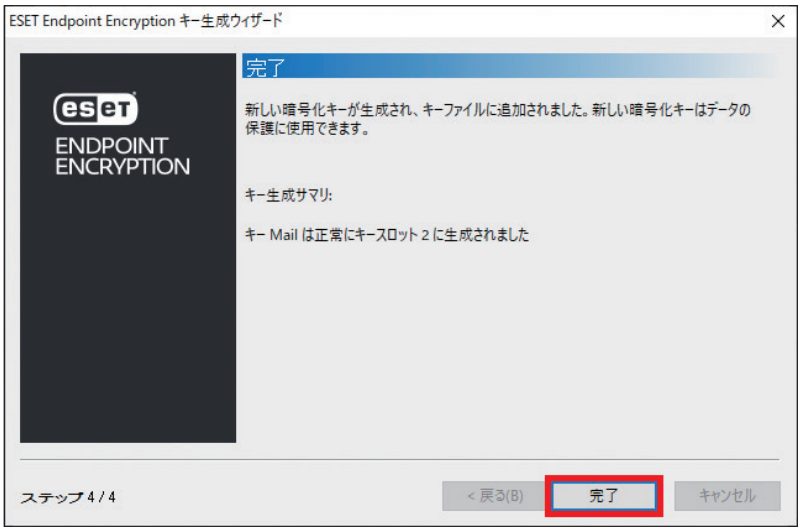
キー名には、漢字やかななどのマルチバイト文字を使用できます。

続く

4 ❶暗号アルゴリズム（ここでは、［AES］）を選択し、❷［次へ］ボタンをクリックします。

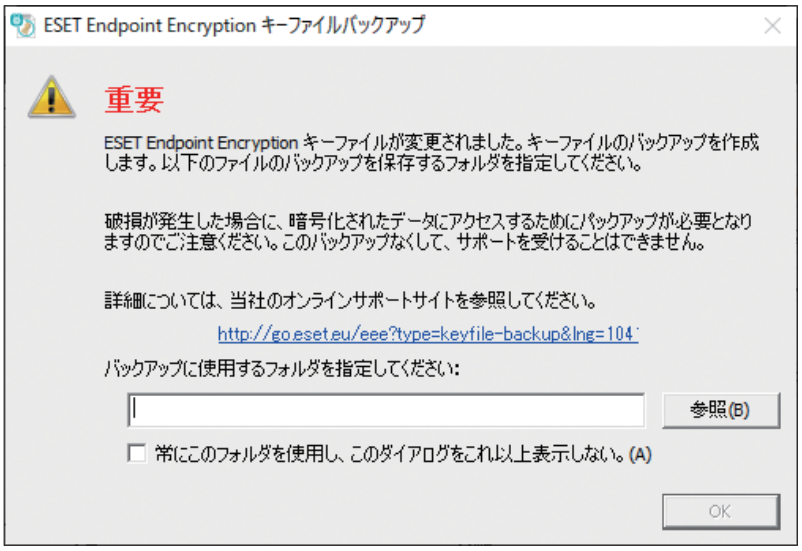


5 ［完了］ボタンをクリックします。

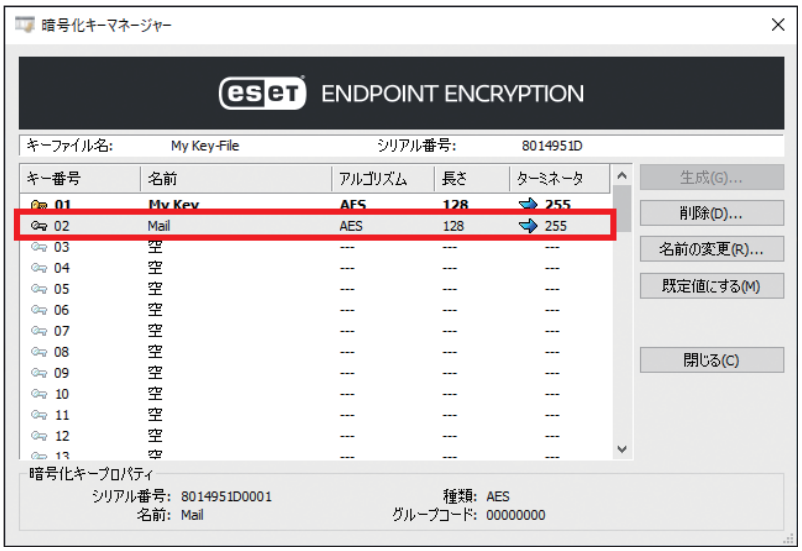


続く

6 キーファイルのバックアップ画面が表示されます。110 ページの「3.3 暗号化キーのバックアップを行う」の手順を参考に暗号化キーのバックアップを行います。



7 暗号化キーマネージャーに追加した暗号化キーが登録されます。



ワンポイント

暗号化キーは、最大 64 個まで登録できます。

3.2 他のユーザーと暗号化データをやり取りする②—暗号化キーの共有（キーの転送）

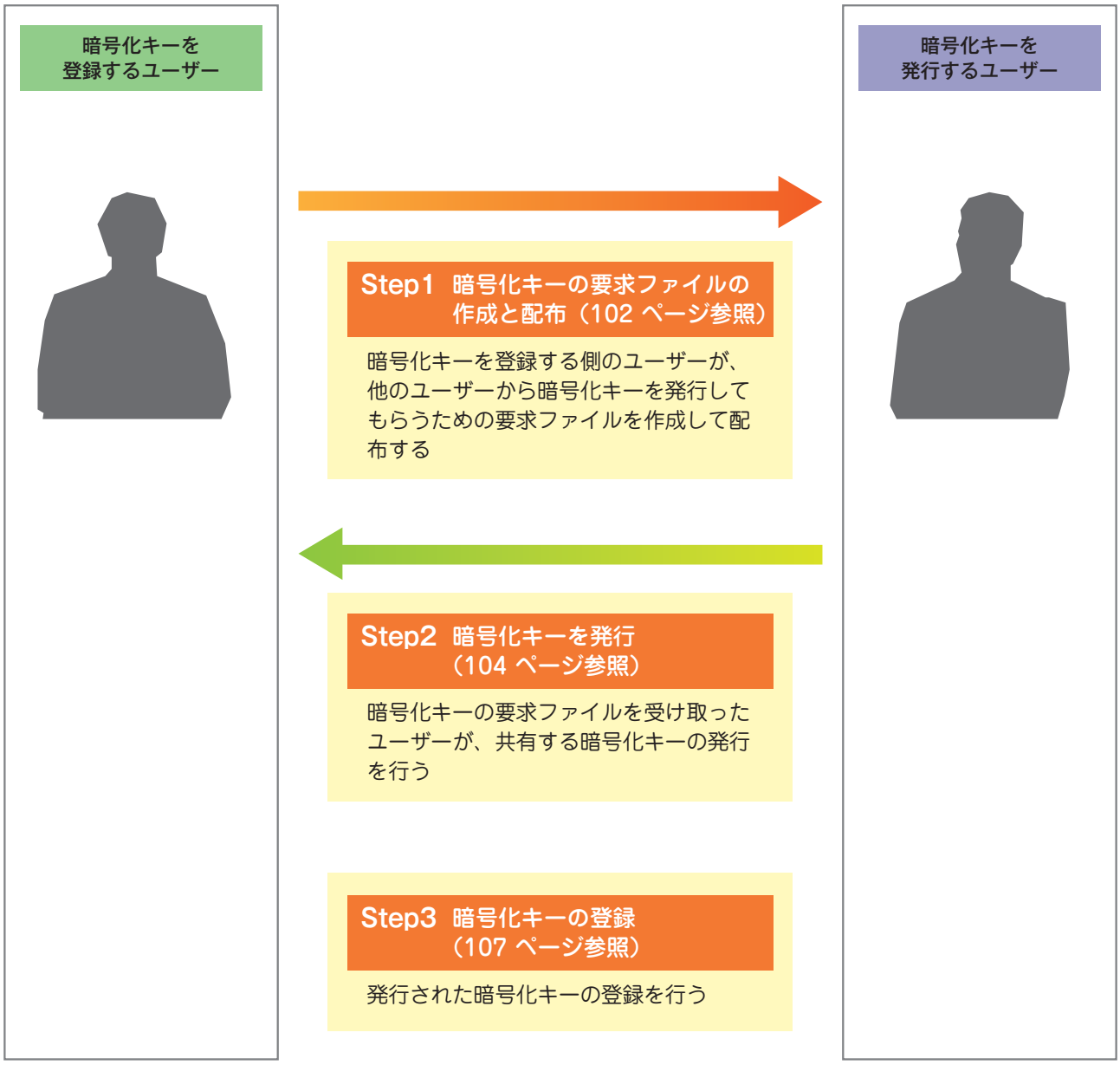
ESET Endpoint Encryption は、自分が利用している暗号化キーを他のユーザーに発行する機能および他のユーザーが発行した暗号化キーを登録する機能を備えています。他のユーザーと暗号化キーを共有することで、暗号化したデータのやり取りを簡単に行えます。ここでは、暗号化キーの共有について説明します。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用している ESET Endpoint Encryption へのキーの配分については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

3.2.1 暗号化キーの共有の流れ

ESET Endpoint Encryption では、「キー転送ウィザード」を利用することで、暗号化キーを他のユーザーと共有できます。キー転送ウィザードを利用した暗号化キーの共有は、以下のような流れで作業します。

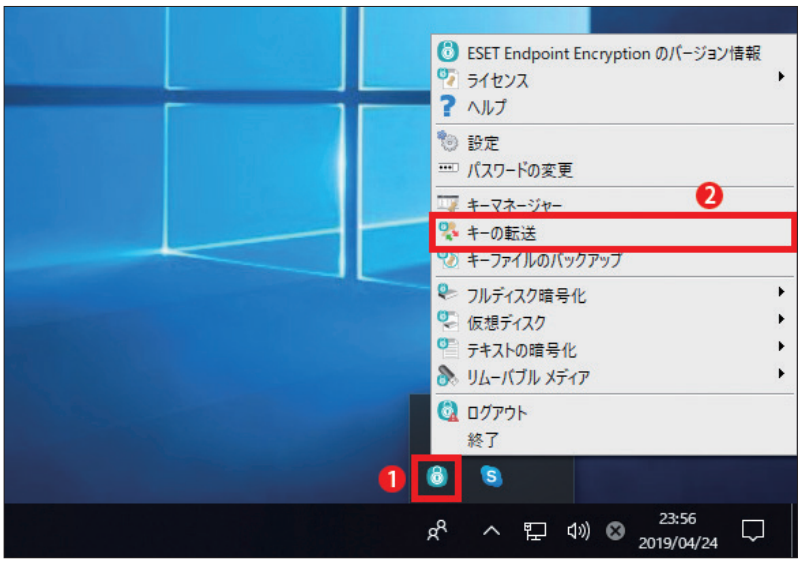


3.2.2　暗号化キーの要求ファイルを作成する

ここで行う作業は、暗号化キーの登録を行う側のユーザーが行います。

操作手順

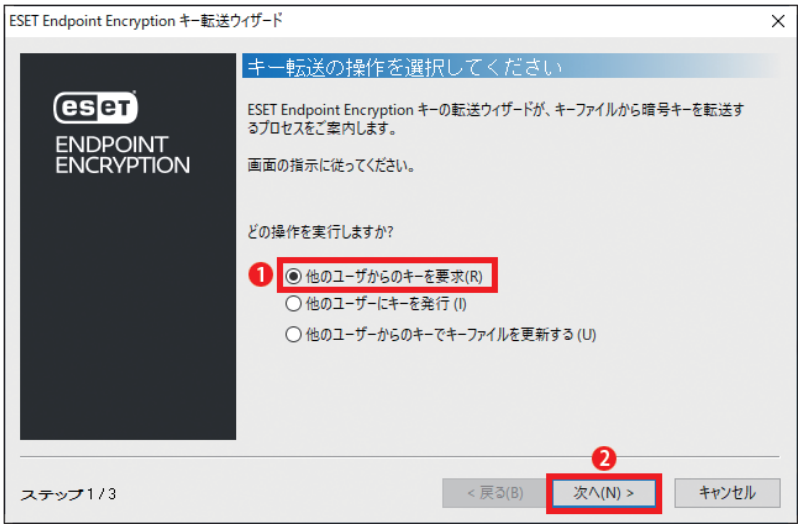
1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［キーの転送］をクリックします。



ワンポイント

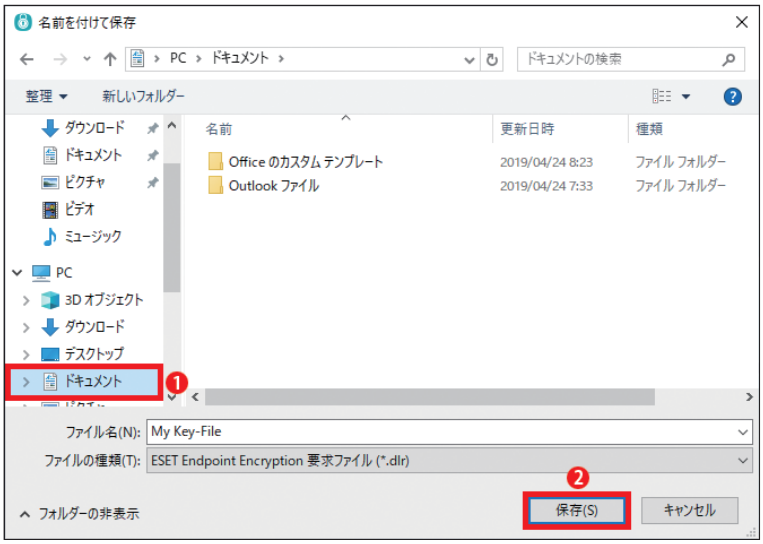
ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します]ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

2 ESET Endpoint Encryption キー転送ウィザードが起動します。❶［他のユーザーからのキーを要求］にチェックを入れ、❷［次へ］ボタンをクリックします。

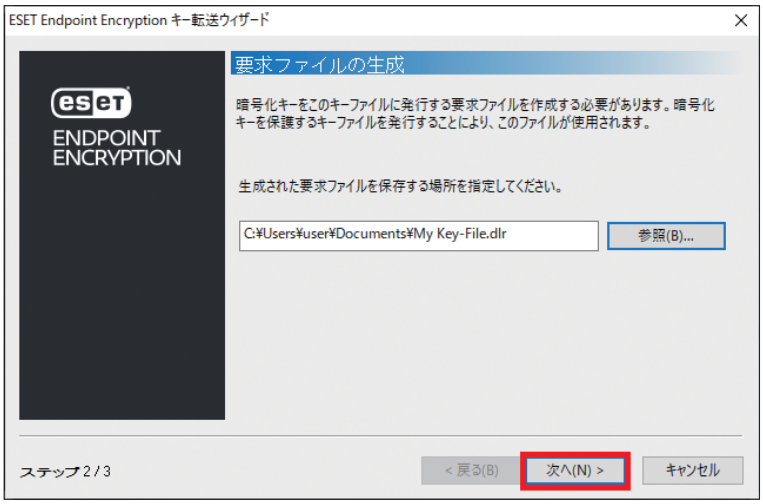


続く

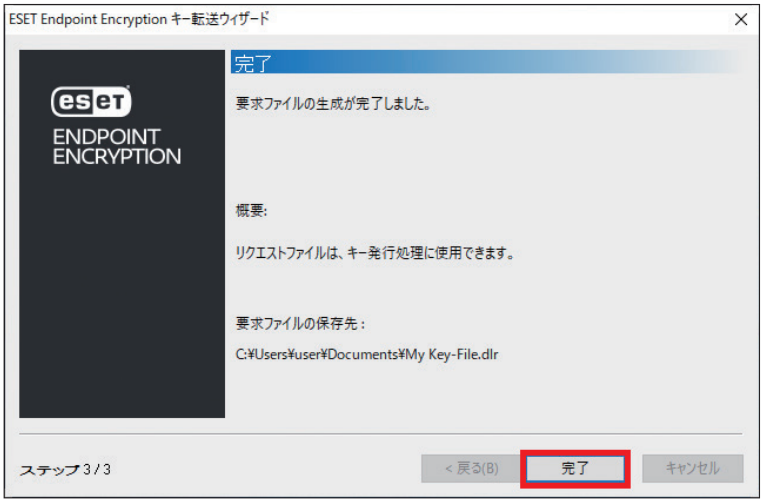
3 ❶暗号化キー要求ファイルの保存先を選択し、❷［保存］ボタンをクリックします。本手順ではファイル名が［My Key-File］と表示されています。



4 ［次へ］ボタンをクリックすると、暗号化キーの要求ファイルが作成されます。



5 ［完了］ボタンをクリックします。



続く

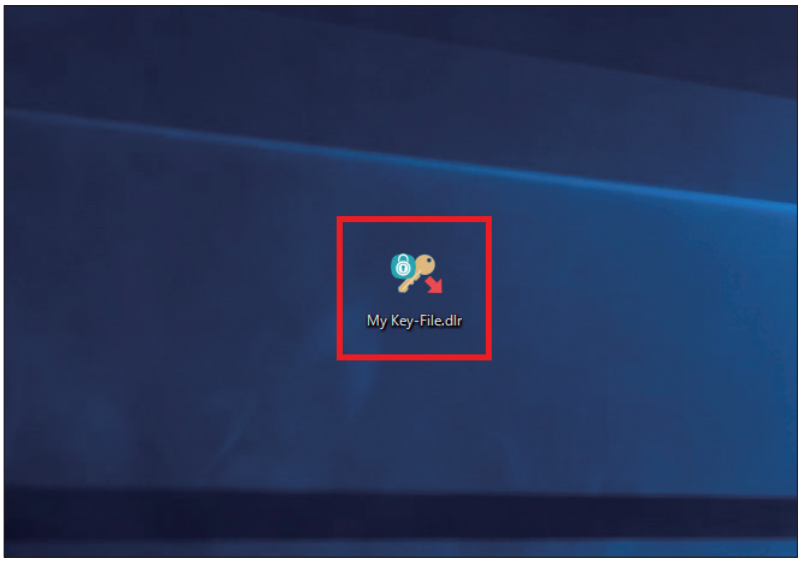
6 暗号化キーの発行を行うユーザーに、暗号化キーの要求ファイル（本手順では［My Key-File.dlr］）をメール、USB メモリー、ファイル共有などの手段で配布します。

3.2.3 暗号化キーの発行を行う

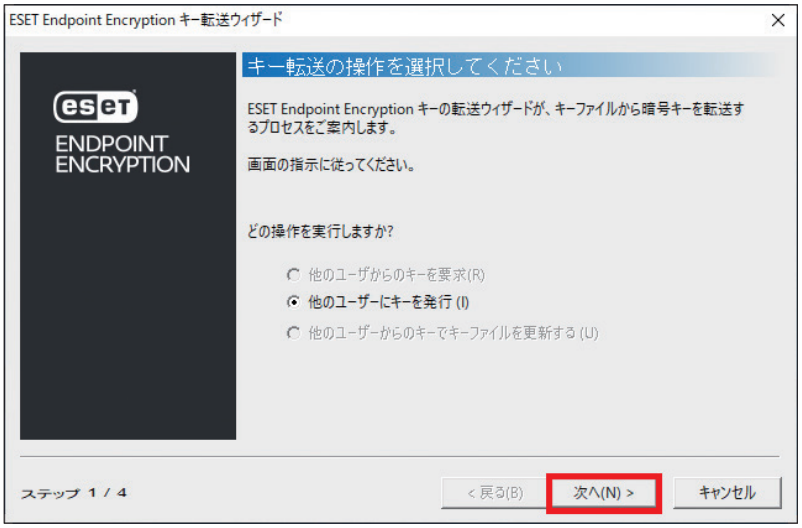
ここで行う作業は、共有する暗号化キーを発行する側のユーザーが行います。また、暗号化キーの要求ファイルを作成したユーザーは、メールや USB メモリー、ファイル共有などの手段を使って、暗号化キーの要求ファイルを、暗号化キーを発行するユーザーへ渡しておく必要があります。

操作手順

1 受け取った暗号化キーの要求ファイル（本手順では［My Key-File.dlr］）をダブルクリックします。

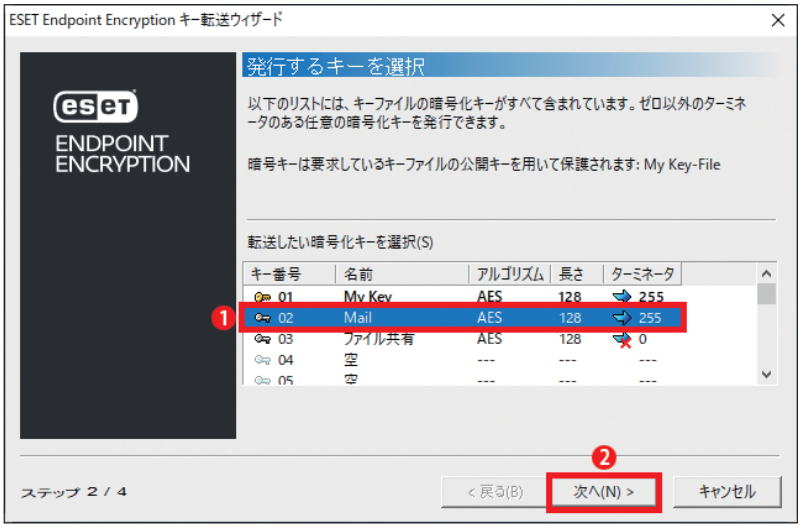


2 ESET Endpoint Encryption キー転送ウィザードが起動します。［次へ］ボタンをクリックします。



続く

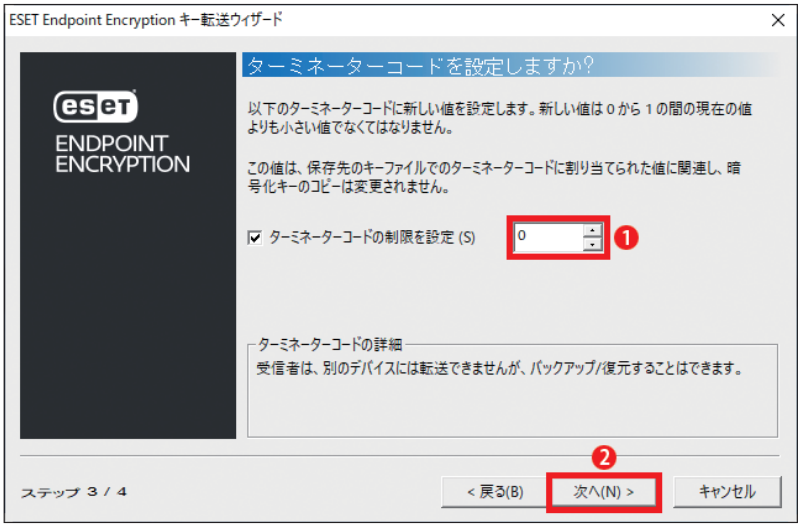
3 ❶他のユーザーと共有する暗号化キーをクリックし、❷［次へ］ボタンをクリックします。



!重　要

ターミネーターコードに「0」が設定されている暗号化キーは、他のユーザーと共有できません。他のユーザーと共有する暗号化キーは、ターミネーターコードに「0」以外が設定されている暗号化キーを選択してください。ターミネータコードの詳細については、手順4のワンポイントを参照してください。

4 ❶ターミネーターコードの制限を設定し、❷［次へ］ボタンをクリックします。

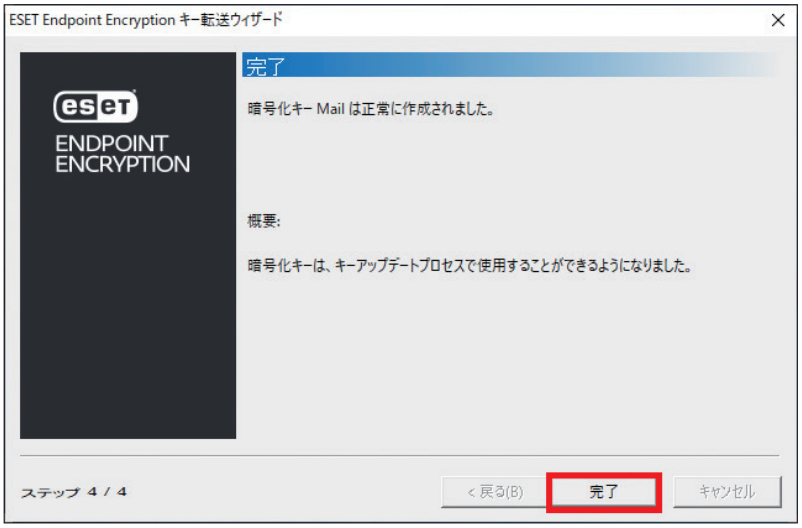


ワンポイント

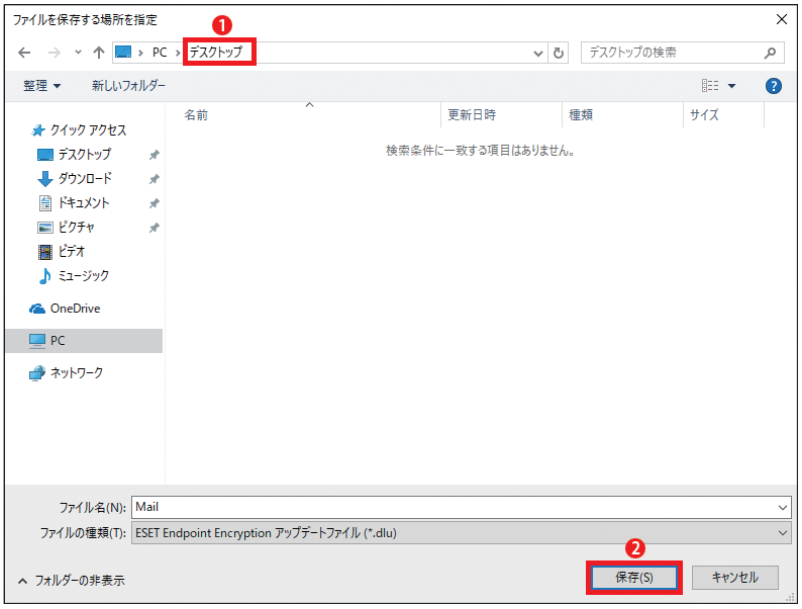
ターミネーターコードの設定は、受け取った暗号化キーの取り扱い権限に関する設定です。「0（既定値）」を設定すると、バックアップ／復元は行えますが、別の機器に転送することはできません。「1」以上の値を設定すると、値の数だけ別の機器への転送、バックアップ／復元のいずれの操作も行えます。

続く

5 ［完了］ボタンをクリックします。



6 ❶保存先を選択し、❷［保存］ボタンをクリックすると、手順❸で選択した暗号化キーが発行され、ファイルが作成されます。本手順ではファイル名が［Mail］と表示されています。



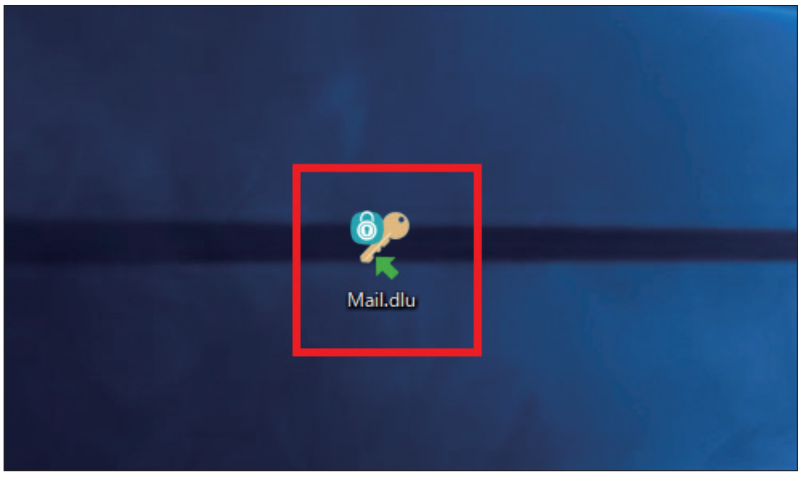
7 作成されたファイル（本手順では［Mail.dlu］）を、暗号化キーの要求ファイルを作成したユーザーに、メール、USB メモリー、ファイル共有などの手段で渡します。

3.2.4　発行された暗号化キーを登録する

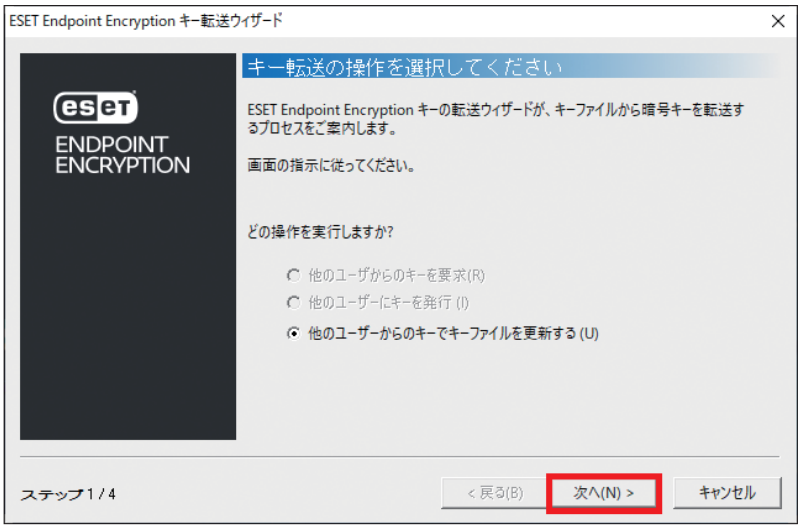
ここで行う作業は、暗号化キーの要求ファイルを作成したユーザー（暗号化キーを登録するユーザー）が行います。また、暗号化キーを発行したユーザーは、発行した暗号化キーを、メールや USB メモリー、ファイル共有などなんらかの手段を使って、暗号化キーの要求ファイルの作成したユーザーに渡しておく必要があります。

操作手順

1. 受け取った暗号化キーのファイル（本手順では［Mail.dlu］）をダブルクリックします。



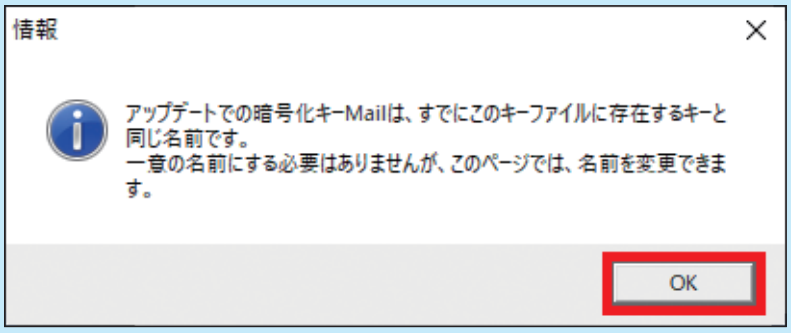
2. ESET Endpoint Encryption キー転送ウィザードが起動します。［次へ］ボタンをクリックします。



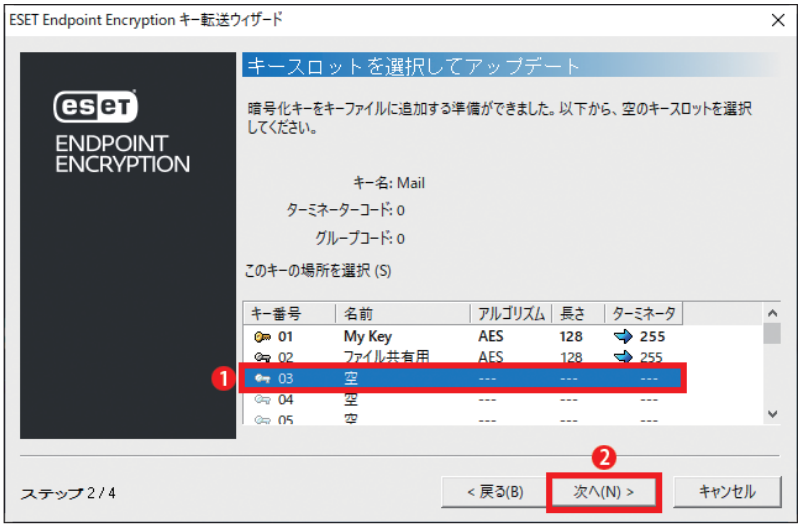
続く

ワンポイント

同じ名前の暗号化キーがすでに登録されているときは、手順❷の後に以下のダイアログボックスが表示されます。［OK］ボタンをクリックし、次の画面で登録する暗号化キーの名称を入力して、［次へ］ボタンをクリックすると、手順❸の画面が表示されます。



❸ ❶受け取った暗号化キーを登録したい場所をクリックし、❷［次へ］ボタンをクリックします。

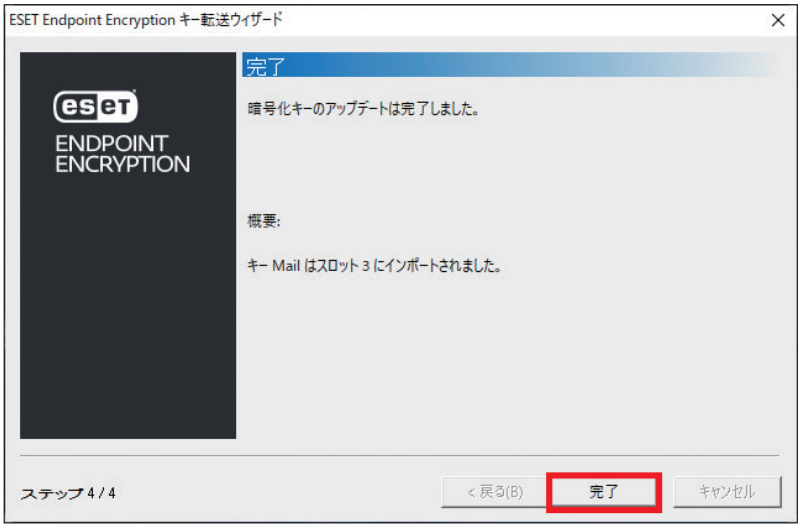


ワンポイント

暗号化キーを登録する場所は、必ず、「空」の場所を選択してください。すでに暗号化キーが登録済みの場所を選択すると、その暗号化キーが登録しようとしている新しい暗号化キーに置き換えられます。暗号化キーが更新されると、前の暗号化キーで暗号化したデータの復号が行えなくなります。

続く

4 受け取った暗号化キーが登録されます。［完了］ボタンをクリックします。



5 キーファイルのバックアップ画面が表示されます。110 ページの「3.3 暗号化キーのバックアップを行う」の手順を参考に暗号化キーのバックアップを行います。



3.3 暗号化キーのバックアップを行う

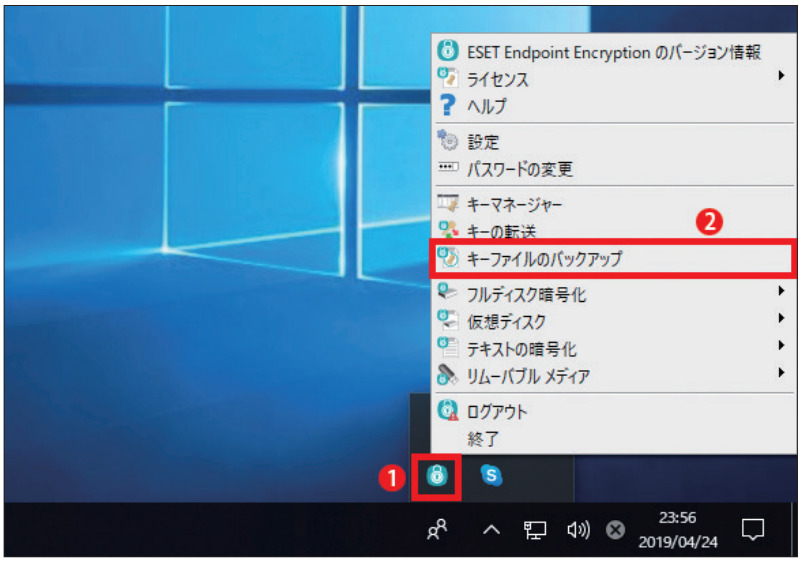
ESET Endpoint Encryption では、暗号化キーの情報が失われるとその暗号化キーを利用して暗号化されたデータにアクセスできなくなります。暗号化キーの情報は、必ず、USB メモリーやネットワーク上の共有フォルダーなどにバックアップを作成しておいてください。
ここでは、暗号化キーのバックアップ手順を説明します。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用している ESET Endpoint Encryption へのキーの配分については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷[キーファイルのバックアップ] をクリックします。

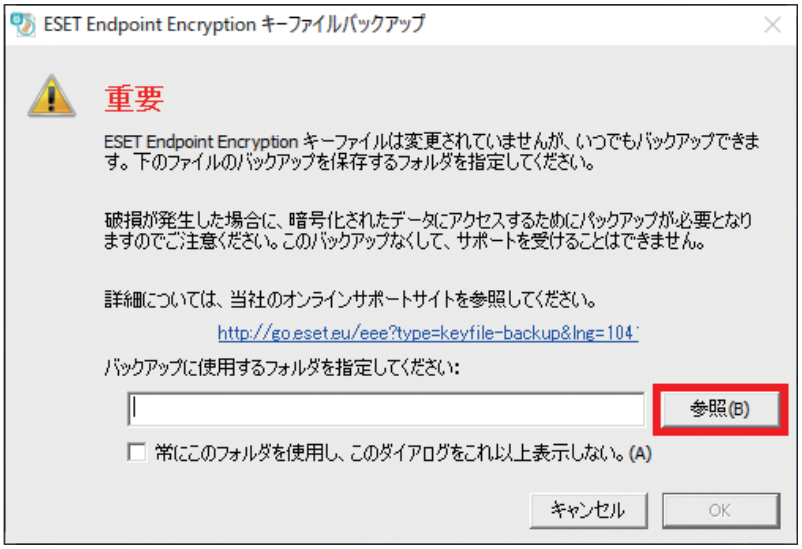


ワンポイント

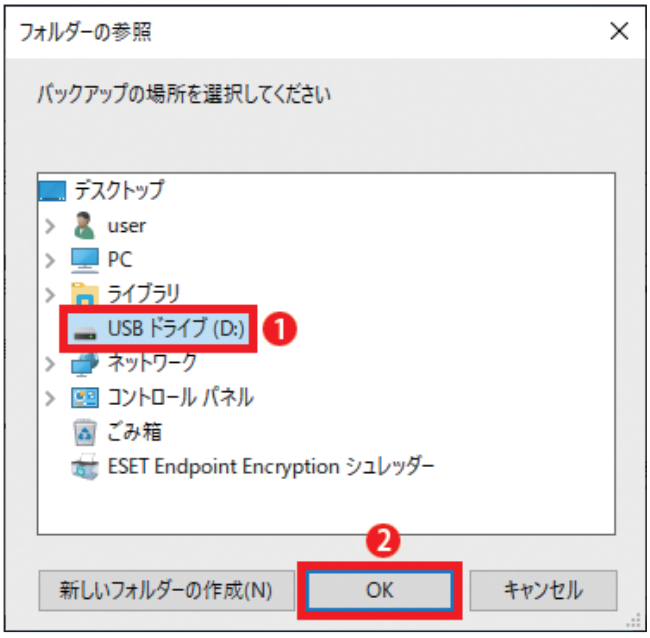
ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します] ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

❷ キーファイルバックアップ画面が表示されます。［参照］ボタンをクリックします。



❸ ❶暗号化キーのバックアップ先を選択し、❷［OK］ボタンをクリックします。



ワンポイント

暗号化キーのバックアップ先は、暗号化されていない USB メモリーやネットワーク上の共有フォルダーを選択することをお勧めします。
バックアップ先に暗号化されたストレージを選択すると、暗号化キーが失われたときにアクセスできなくなるので、選択しないでください。

続く

4 [OK] ボタンをクリックすると、暗号化キーを選択した場所に保存します。



5 バックアップが完了すると、ダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



3.4 暗号化キーのリストアを行う

ここでは、暗号化キーをリストア（復元）する方法について説明します。

! 重 要

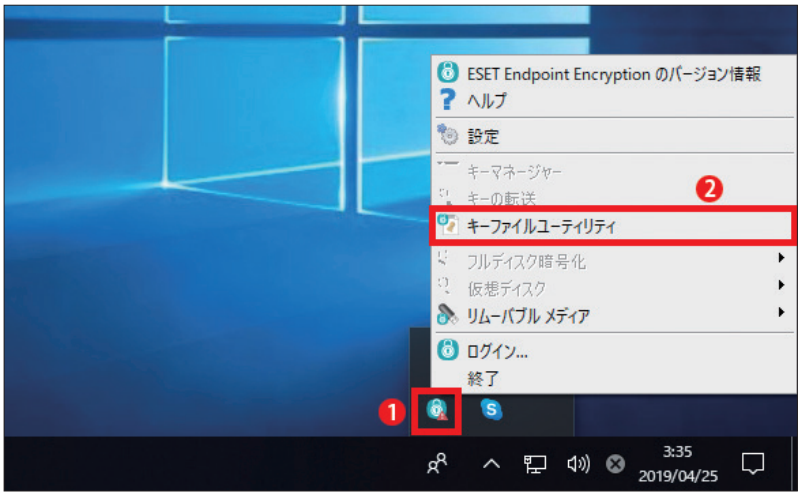
バックアップ後に変更した情報は失われます。必ず最新のバックアップであることを確認してください。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用している ESET Endpoint Encryption へのキーの配分については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［キーファイルユーティリティ］をクリックします。



ワンポイント

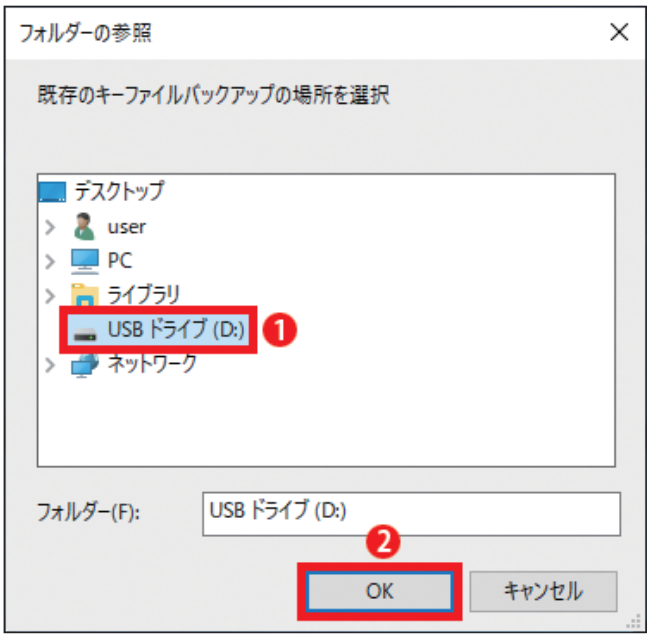
ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します]ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

2 ESET Endpoint Encryption キーファイルユーティリティ画面が表示されます。❶［キーファイルをバックアップから復元する］を選択し、❷［復元］ボタンをクリックします。



3 ❶暗号化キーのバックアップ場所を選択し、❷［OK］ボタンをクリックします。



続く

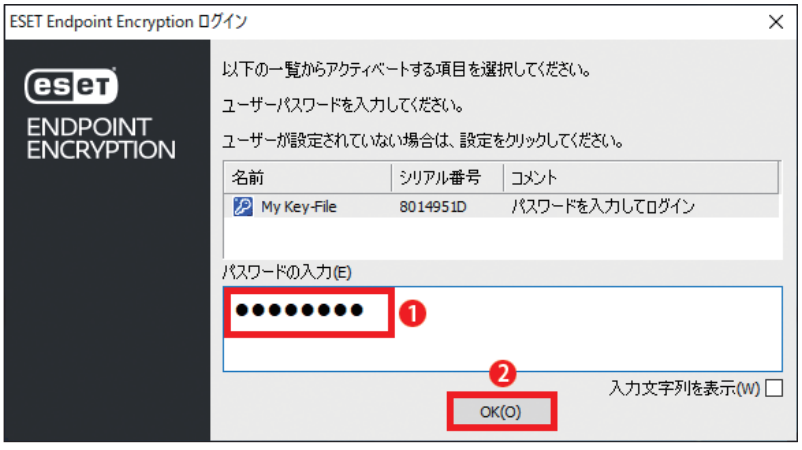
4 ［はい］ボタンをクリックすると、バックアップしたキーファイルが上書きされます。



5 リストアが完了すると、ダイアログが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



6 ログイン画面が表示されたら、❶パスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



3.5 ESET Endpoint Encryption を新しい PC に移行する

ここでは、それまで利用していた ESET Endpoint Encryption を新しい PC に移行する手順を説明します。ESET Endpoint Encryption は、暗号化キーを利用してファイルやフォルダー、USB メモリーなどの暗号化を行っています。暗号化キーを新しい PC に移行すれば、古い PC で暗号化を行ったファイルやフォルダー、USB メモリーなどを新しい PC でも継続して利用できます。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用している ESET Endpoint Encryption へのキーの配分については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

3.5.1 ESET Endpoint Encryption の新しい PC への移行手順

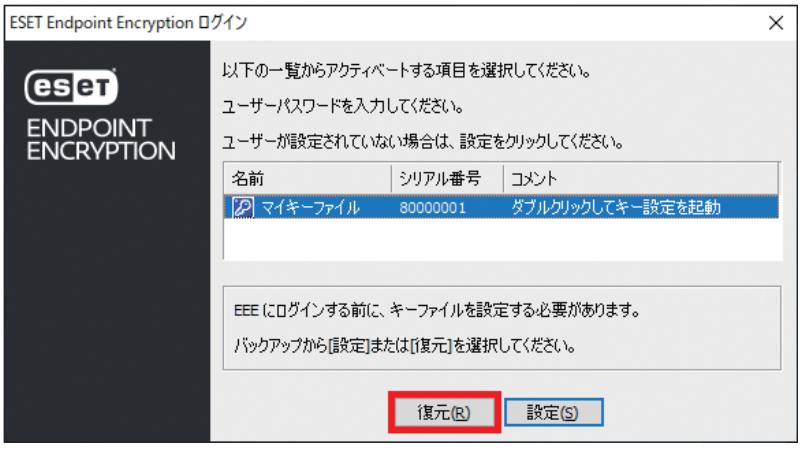
ESET Endpoint Encryption を新しい PC に移行するには、最初に古い PC で暗号化キーのバックアップを行います。次に新しい PC に ESET Endpoint Encryption をインストールし、古い PC で利用していた暗号化キーを新しい PC に復元します。

操作手順

1. 110 ページの「3.3 暗号化キーのバックアップを行う」の手順を参考に、古い PC の暗号化キーのバックアップを USB メモリーやネットワーク上の共有フォルダーなどに作成します。

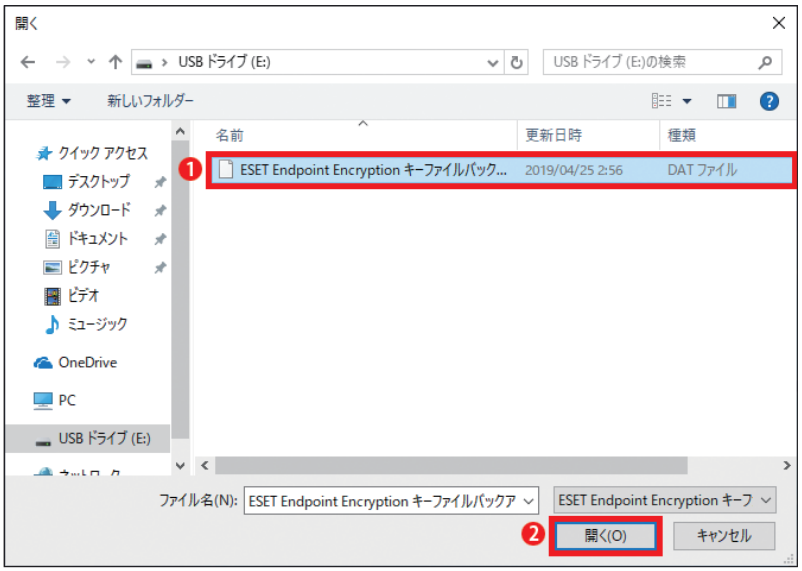
2. 新しい PC に ESET Endpoint Encryption をインストールします。インストールが完了され次第、PC を再起動します。

3. パソコンの再起動後、ESET Endpoint Encryption の設定ウィザードが起動します。手順❶で暗号化キーのバックアップを行ったストレージをパソコンに接続し、［復元］ボタンをクリックします。

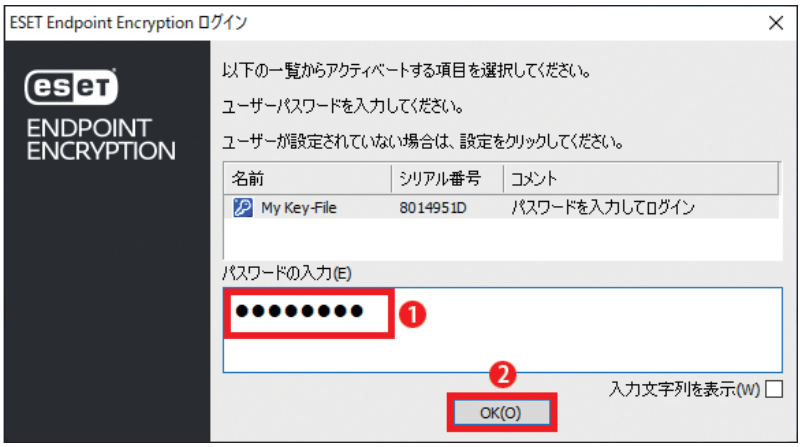


続く

4 ❶暗号化キーのバックアップを選択し、❷［開く］ボタンをクリックします。暗号化キーが読み込まれます。



5 ESET Endpoint Encryption のログイン画面が表示されます。❶パスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



!重　要

複数の Windows ユーザーを設定している場合、すべての Windows ユーザーで移行が必要です。

3.6 ESET Endpoint Encryption Reader を利用する

ESET Endpoint Encryption Reader は、ESET Endpoint Encryption でパスワードを利用して暗号化を行った文字列やファイルを復号するソフトウェアです。ESET Endpoint Encryption Reader を利用すると、ESET Endpoint Encryption がインストールされていないパソコンでも暗号化された文字情報（テキスト）やファイルを復号できます。

! 重 要

ESET Endpoint Encryption Reader では、暗号化キーで暗号化された文字列やファイルを復号できません。

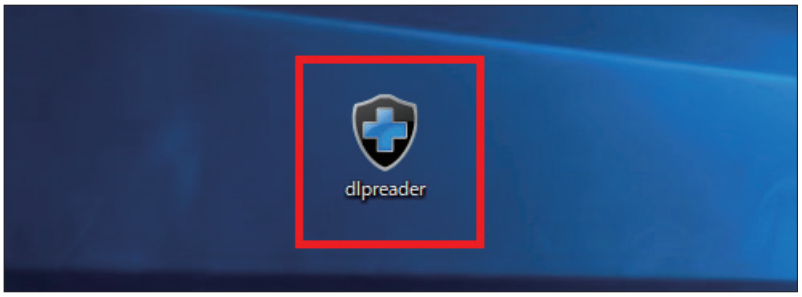
3.6.1 暗号化ファイルの復号

ここでは、ESET Endpoint Encryption によりパスワードで暗号化されたファイルを復号する手順を説明します。テキストファイルだけでなく、バイナリファイルの復号も可能です。

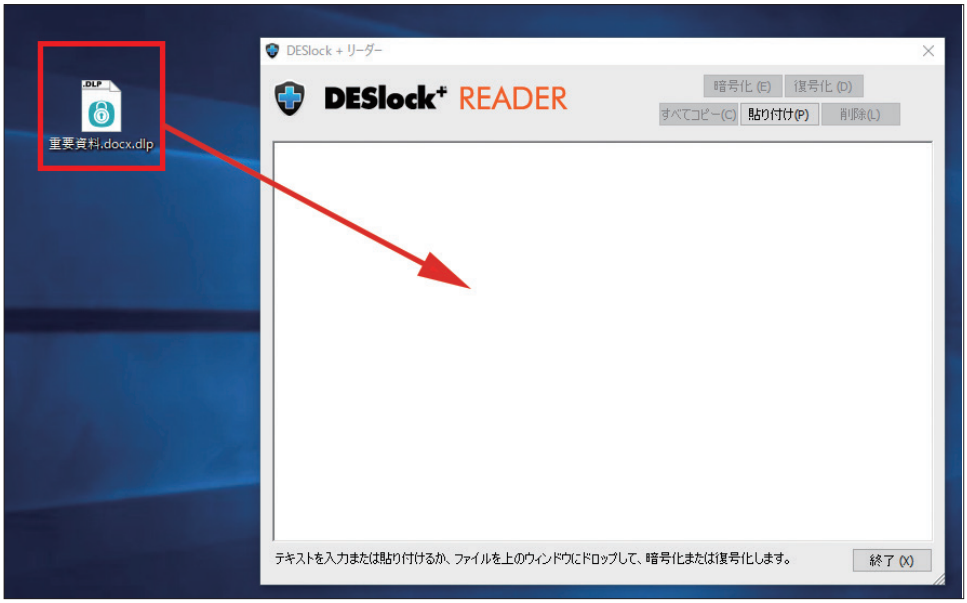
操作手順

1. ESET Endpoint Encryption Reader を「https://canon-its.jp/eset/dl-enc-reader/」からダウンロードしておきます。

2. ESET Endpoint Encryption Reader をダブルクリックして起動します。



3. 暗号化ファイルを ESET Endpoint Encryption Reader 上にドラッグアンドドロップします。

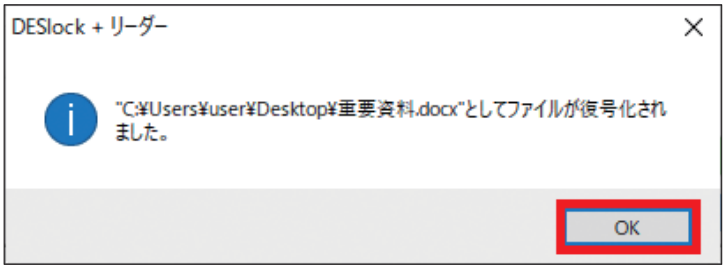


続く

4 ❶ファイルを暗号化した際に設定したパスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



5 暗号化ファイルと同一フォルダー上に復号されたファイルが保存されます。［OK］ボタンをクリックします。



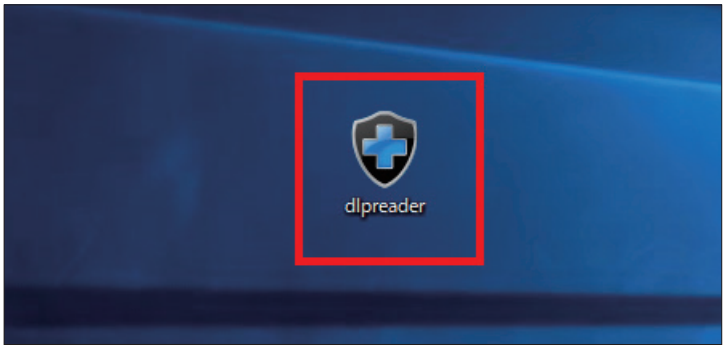
3.6.2 暗号化テキストの復号

ここでは、ESET Endpoint Encryption Reader を利用し、文字情報（テキスト）を復号する手順を説明します。

操作手順

1 ESET Endpoint Encryption Reader を「https://canon-its.jp/eset/dl-enc-reader/」からダウンロードしておきます。

2 ダウンロードした ESET Endpoint Encryption Reader をダブルクリックして起動します。

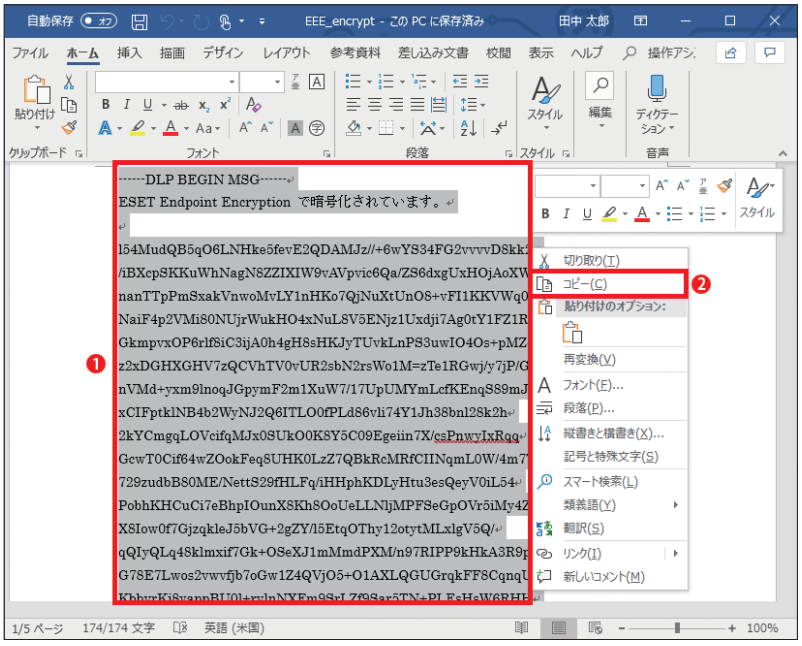


ワンポイント

セキュリティの警告画面が表示されたときは、［実行］ボタンをクリックしてください。

続く

3 文字情報（テキスト）が暗号化されたファイルを開きます。 ❶「------DLP BEGIN MSG------」と書かれた部分から「------DLP END MSG------」と書かれた部分までを選択し、右クリックして表示されるメニューから、❷［コピー］を選択します。



4 ESET Endpoint Encryption Reader の［貼り付け］ボタンをクリックします。

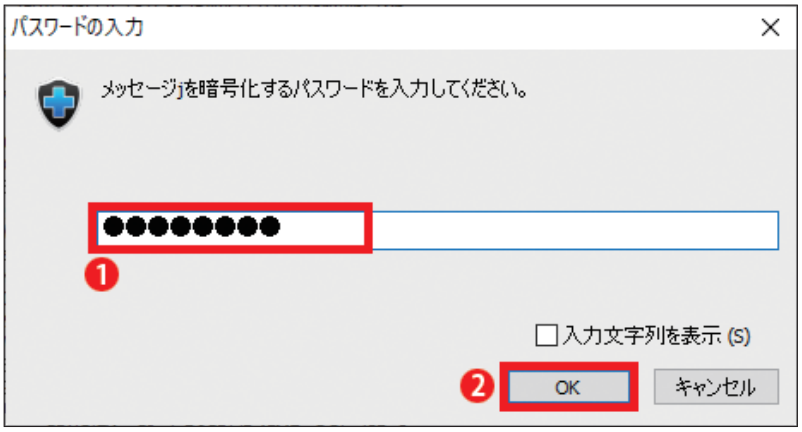


続く

5 ❶コピーした文字情報がペーストされます。❷［復号化］ボタンをクリックします。



6 ❶パスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックします。



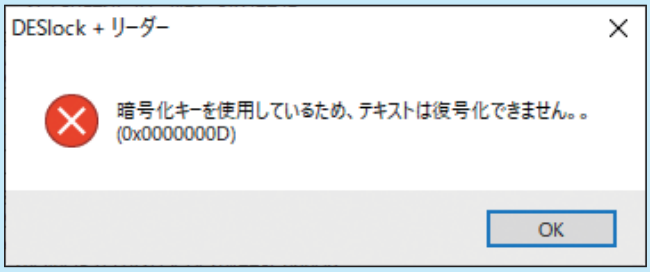
続く

7 選択した文字情報が復号されます。



ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Reader では、暗号化キーで暗号化された文字列は復号できません。暗号化キーで暗号化された文字列を復号しようとすると、以下のダイアログが表示されます。



3.7　プリブート認証用のパスワードの変更、ユーザー追加と削除

ここでは、ESET Endpoint Encryption Server を利用しない ESET Endpoint Encryption でのプリブート認証用のパスワードの変更やユーザーの追加と削除方法を説明します。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用する ESET Endpoint Encryption でのユーザーの追加と削除方法については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

3.7.1　プリブート認証用のパスワードの変更

ここでは、プリブート認証でログインした現在のユーザーのパスワードの変更手順を説明します。一般ユーザーと管理者ユーザーでは、変更手順が異なります。それぞれのログインパスワードを変更したいときは、この手順を参考に作業します。

3.7.1.1　一般ユーザーのパスワード変更

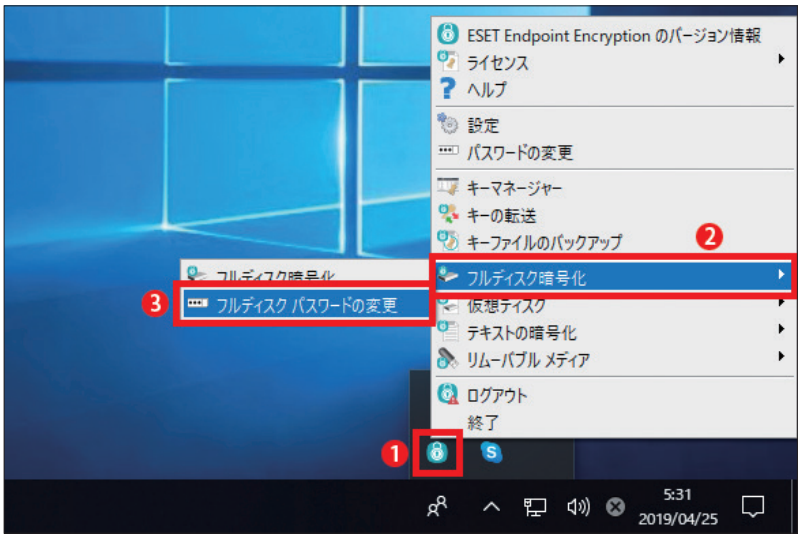
操作手順

1. Windows を再起動し、プリブート認証画面で一般ユーザーのアカウントでログインし、Windows へログオンします。



続く

2 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［フルディスク暗号化］→❸［フルディスクパスワードの変更］とクリックします。



ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します]ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

3 パスワードの変更画面が起動します。❶現在のパスワードを入力し、❷新しいパスワードを入力します。❸❷で入力した新しいパスワードを再入力します。❹［変更］ボタンをクリックします。

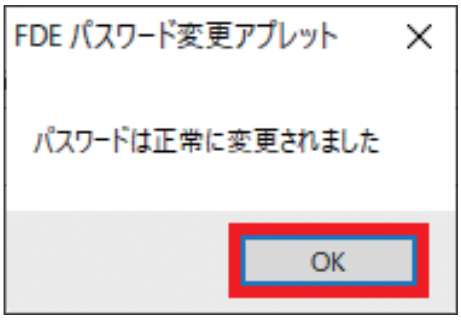


ワンポイント

パスワードには半角英数字と記号のみ利用可能です。漢字やかな等のマルチバイト文字は利用できません。さらに UEFI 環境で動作している OS で、日本語キーボードを使用している場合、UEFI の仕様上、プリブート認証時にパスワードとしてアンダースコア（_）、円マーク（¥）、縦パイプ（|）が入力できませんので、設定しないでください。

続く

4 ダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。次回のプリブート認証のログイン時には、新たに設定したパスワードでログインができます。



3.7.1.2　管理者ユーザーのパスワード変更

管理者ユーザーのパスワードは、ESET Endpoint Encryption が自動生成します。管理者ユーザーのパスワードは、ユーザーが作成した任意のパスワードに変更できません。

操作手順

1 管理者ユーザーである「admin」のパスワード変更をします。Windows を再起動し、プリブート認証画面で「admin」アカウントでログインし、Windows にログオンします。

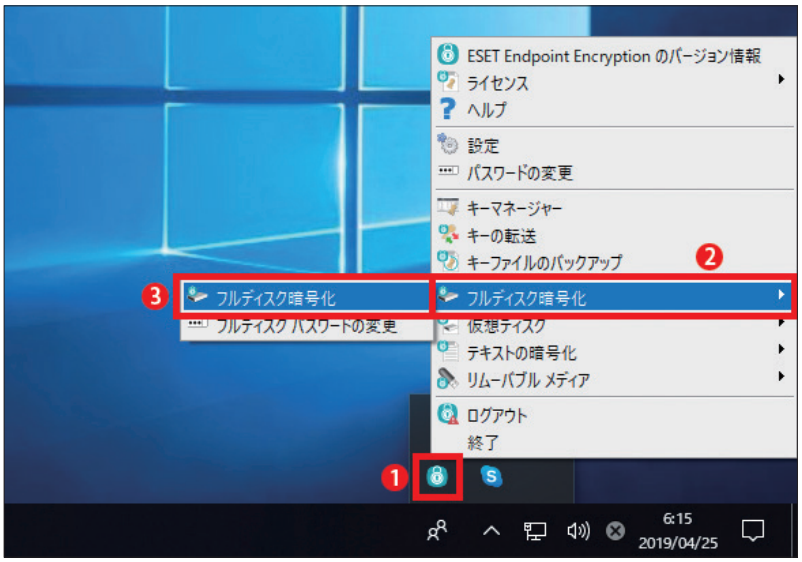


ワンポイント

管理者ユーザーのパスワードは、15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓫～⓭でバックアップした管理者パスワードの html ファイルで確認できます。

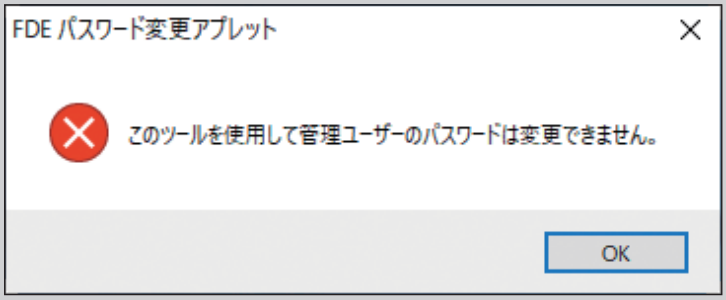
続く

2 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［フルディスク暗号化］→❸［フルディスク暗号化］とクリックします。

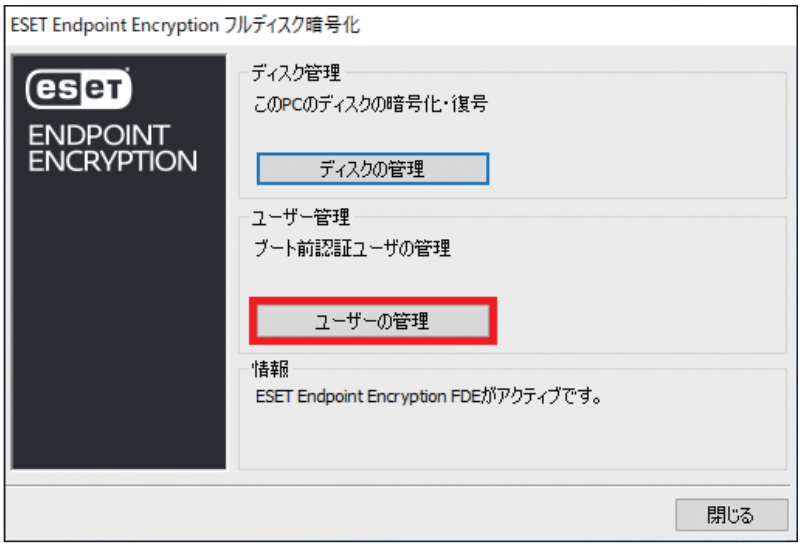


！重　要

管理者パスワードは、手順❷で［フルディスクパスワードの変更］をクリックしても変更できません。［フルディスクパスワードの変更］で変更できるのは、一般ユーザーのパスワードのみです。



3 ［ユーザーの管理］ボタンをクリックします。



続く

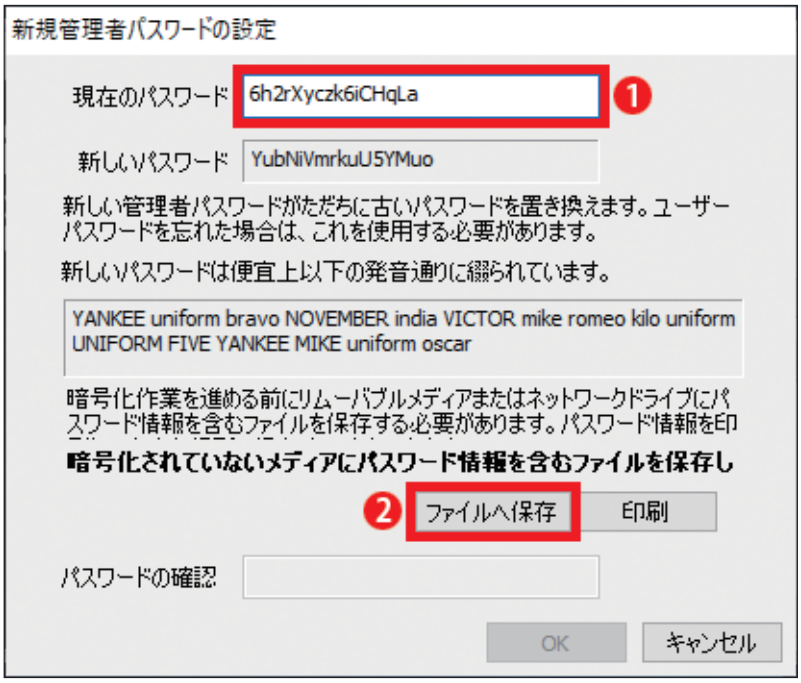
4 ［管理者パスワードの変更］ボタンをクリックします。



！重　要

プリブート認証で、一般ユーザーによりログインし、ユーザー管理画面を開いた場合、［管理者パスワードの変更］ボタンは表示されません。

5 ❶現在の admin のパスワードを入力します。新しい管理者パスワードを含む html 形式のファイルを保存します。❷［ファイルへ保存］ボタンをクリックします。

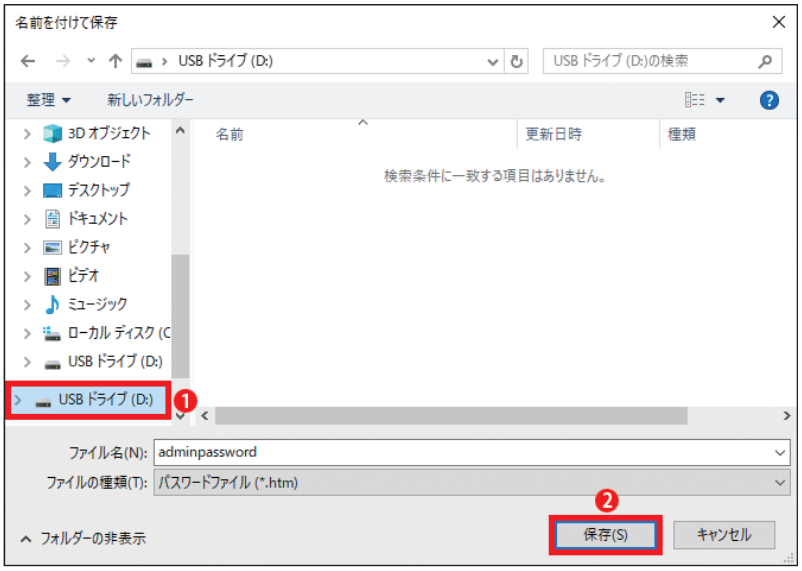


ワンポイント

管理者ユーザーの新しいパスワードは、ESET Endpoint Encryption によって自動生成されます。ユーザーが作成した任意のパスワードには変更できません。

続く

6 ❶管理者パスワードのバックアップ先を選択し、❷［保存］ボタンをクリックします。



!重　要

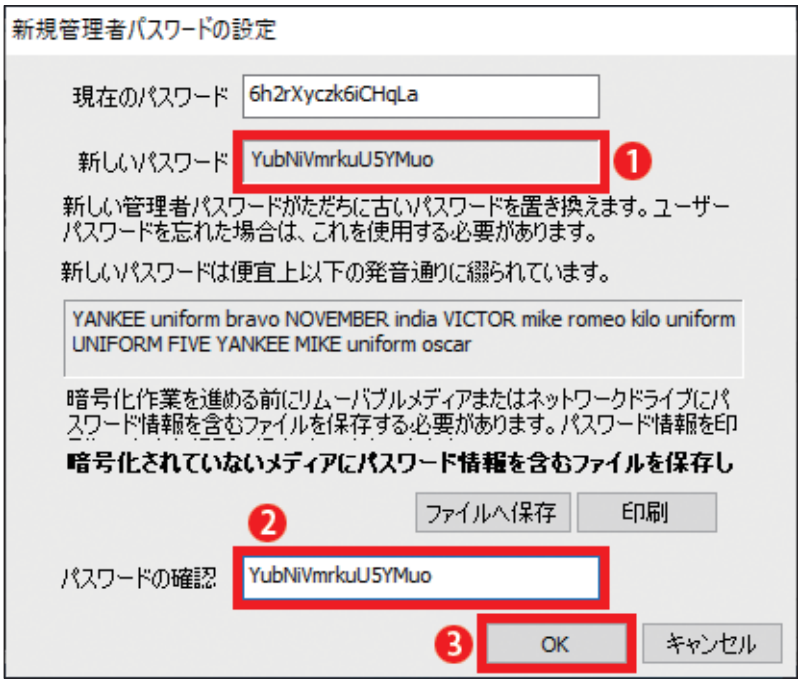
管理者パスワードは、内蔵の HDD/SSD および光学ドライブには保存できません。保存先は、ネットワーク上の共有フォルダーや USB メモリーなどの外部ドライブを選択する必要があります。

7 管理者パスワードが保存されるとダイアログが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。

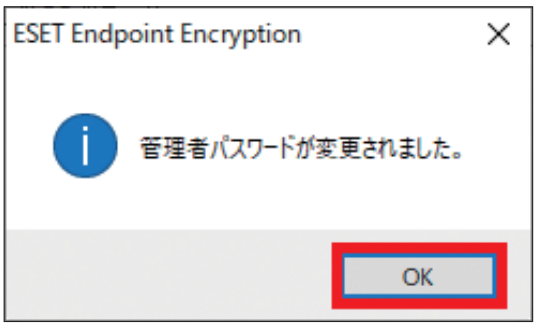


続く

❽ ❶新しいパスワードに記述されているパスワードを❷［パスワードの確認］のテキストボックスに入力し、❸［OK］ボタンをクリックします。



❾ 管理者パスワードが変更されるとダイアログが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



❿ ［閉じる］ボタンをクリックして、ユーザー管理画面を閉じ、フルディスク暗号化画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

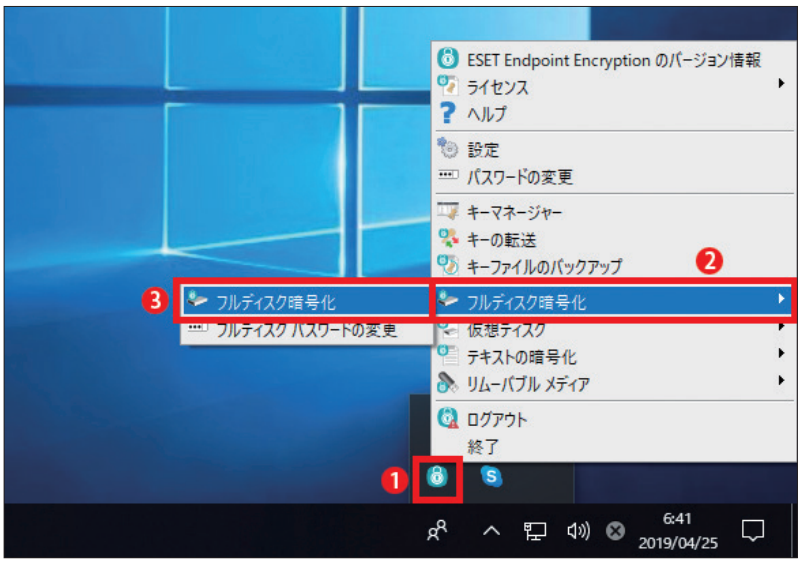


3.7.2　プリブート認証用ユーザーを追加する

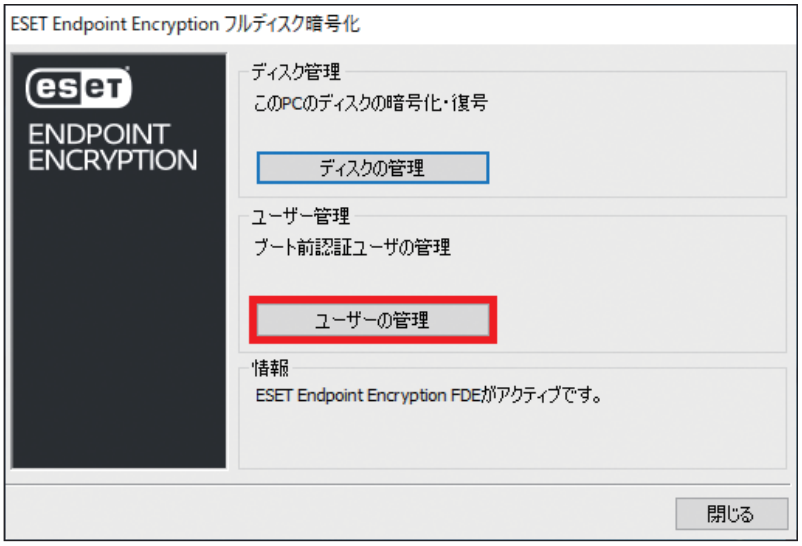
ここでは、プリブート認証用のユーザーの追加と削除方法を説明します。プリブート認証用のユーザーは、一般ユーザーのみが追加できます。管理者ユーザーは、1 ユーザーのみと決められており、追加することできません。

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［フルディスク暗号化］→❸［フルディスク暗号化］とクリックします。



2 ［ユーザーの管理］ボタンをクリックします。

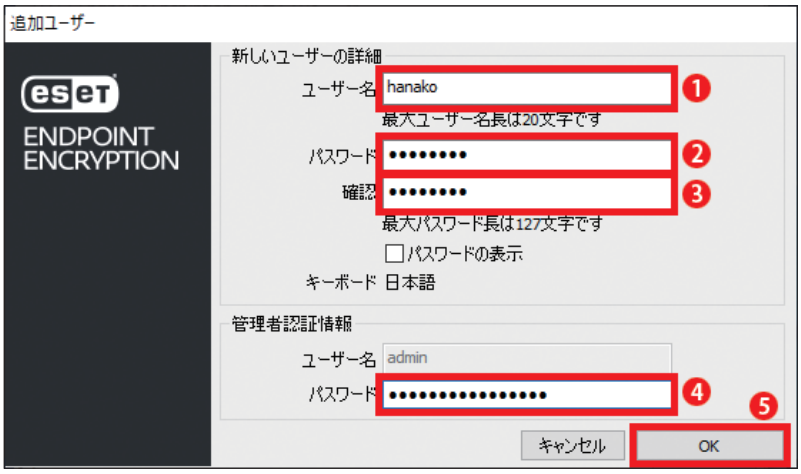


続く

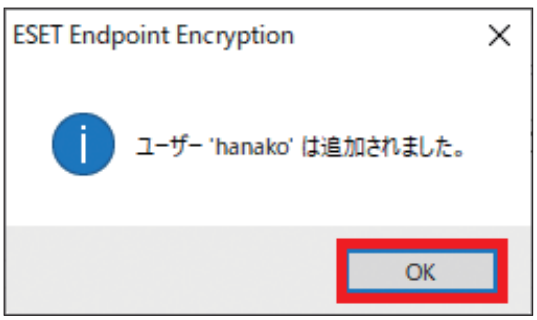
❸［追加］ボタンをクリックします。



❹プリブート認証で入力する❶新たなユーザー名を入力し、❷任意のパスワードを入力します。❸❷で入力したパスワードを再入力します。❹管理者のパスワードを入力し、❺［OK］ボタンをクリックします。

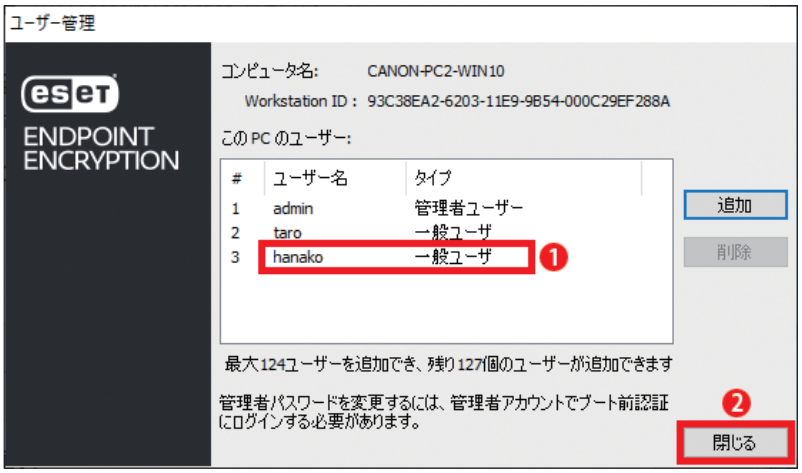


❺ユーザーが追加されるとダイアログボックスが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



続く

6 ❶一覧に手順❹で追加したユーザー（ここでは「hanako」）が一般ユーザーとして追加されます。❷［閉じる］ボタンをクリックします。



ワンポイント

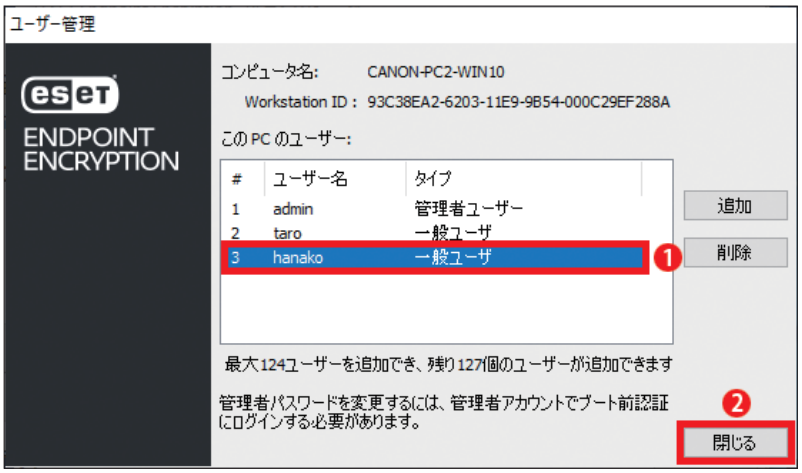
複数のユーザーが追加するときは、手順❸以降の操作を繰り返し行います。

3.7.3　プリブート認証用ユーザーを削除する

操作手順

1 130 ページの「3.7.2　プリブート認証用ユーザーを追加する」の手順❶と❷を参考にユーザー管理画面を表示します。

2 ユーザー一覧から❶削除したいユーザーを選択し、❷［削除］ボタンをクリックします。

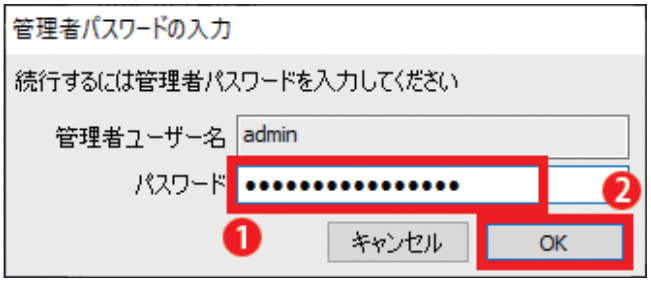


ワンポイント

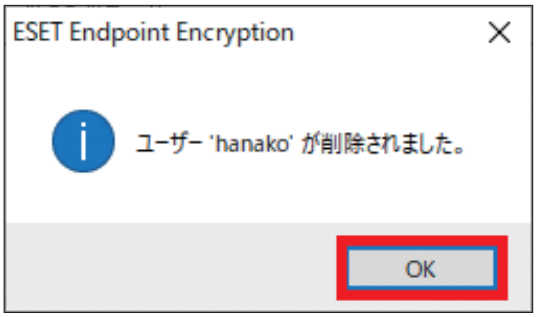
管理者ユーザーの「admin」は削除できません。ユーザー一覧から「admin」を選択した場合、［削除］ボタンがグレーアウトします。

続く

3 ❶管理者ユーザーのパスワードを入力し、❷［OK］ボタンをクリックます。



4 ユーザーが削除されるとダイアログボックスが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



5 手順❷で選択したユーザーがユーザー一覧から削除されます。［閉じる］ボタンをクリックします。



3.8 ESET Endpoint Encryption の各種設定を行う

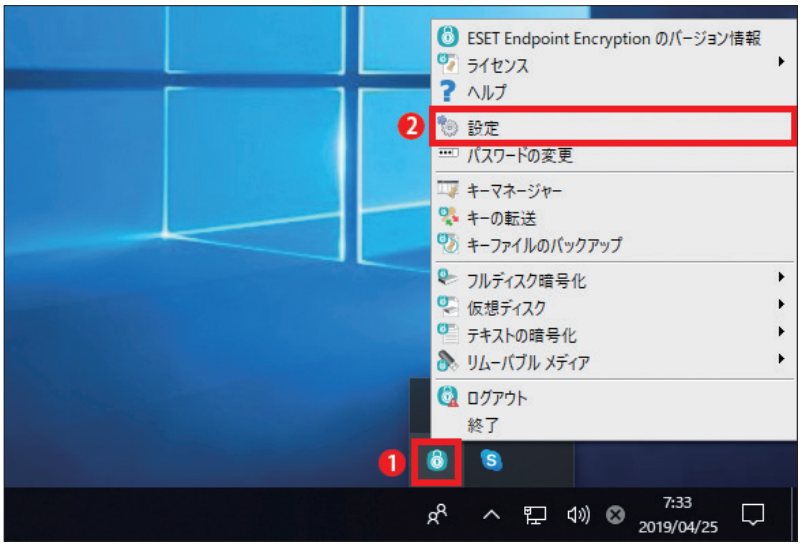
ESET Endpoint Encryption は、「設定」画面を開くことで各種設定を行えます。ここでは、ESET Endpoint Encryption の各種設定を行う方法を説明します。

! 重 要

ESET Endpoint Encryption Server で ESET Endpoint Encryption の管理を行っている場合、設定画面に表示される項目が異なる場合があります。また、ESET Endpoint Encryption Server の設定によっては、「設定」メニューを表示できない場合があります。

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［設定］をクリックします。

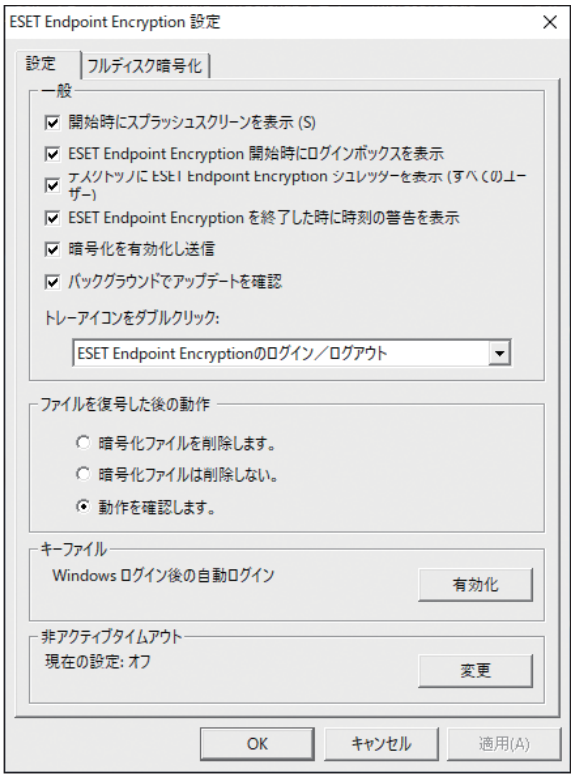


ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します] ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

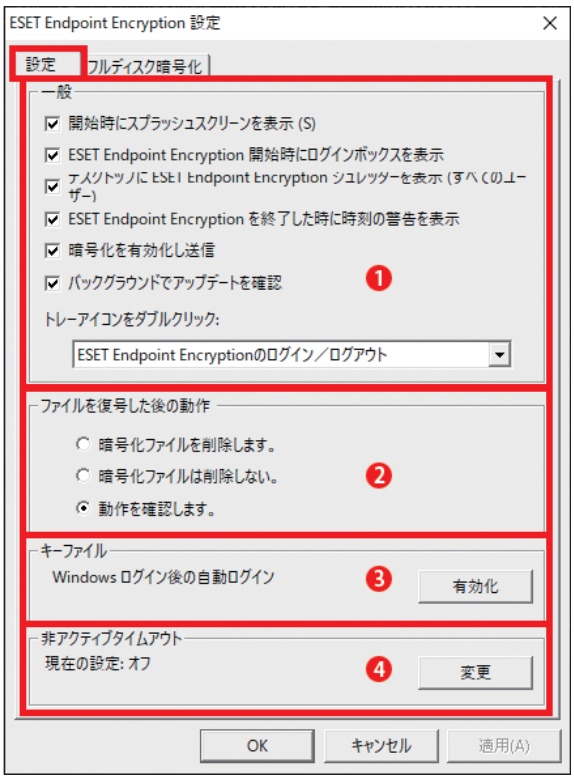
2



ESET Endpoint Encryption の設定画面が表示されます。設定画面は、［設定］タブと［フルディスク暗号化］タブの 2 つのタブから構成されています。［設定］タブでは、ESET Endpoint Encryption の各種詳細な設定を行えます。［フルディスク暗号化］タブでは、HDD/SSD フルディスク暗号化に関する管理が行えます。

続く

❸



［設定］タブでは、❶一般、❷ファイルを復号した後の動作、❸キーファイル、❹非アクティブタイムアウトに関する以下のような設定が行えます。

❶一般

開始時にスプラッシュスクリーンを表示	Windows のログオン時に、ESET Endpoint Encryption のスプラッシュの表示を設定します。
ESET Endpoint Encryption 開始時にログインボックスを表示	自動ログインが無効な場合、Windows のログオン時に、ログインボックスの表示を設定します。
デスクトップに ESET Endpoint Encryption シュレッダーを表示（すべてのユーザー）	デスクトップ上への ESET Endpoint Encryption シュレッダーアイコンの表示を設定します。この設定は、最初にアクティベーションしたユーザーでのみ設定が行えます。同一 PC 上で複数ユーザーがアクティベーションしている場合、最初にアクティベーションしたユーザーの設定が二人目以降のユーザーに反映されます。二人目のユーザーでは、この設定項目がグレーアウトし、設定変更を行えません。
ESET Endpoint Encryption を終了した時に時刻の警告を表示	ESET Endpoint Encryption を終了（ログアウトではない）させた際、以下のダイアログが表示され、終了まで 10 秒間の猶予を与えます。
暗号化を有効化し送信	ファイルやフォルダーを暗号化する際、コンテキストメニューに「暗号化して送信」の項目を追加します。コンテキストメニューでこの項目を選択すると、ファイルやフォルダーの暗号化後、Microsoft Outlook により、暗号化ファイルを送信します。

続く

<table>
<tr><td>バックグラウンドで
アップデートを確認</td><td>バックグラウンドで定期的に ESET Endpoint Encryption の最新バージョンをチェックします。日本語版では、このオプションは利用できません。</td></tr>
<tr><td>トレーアイコンを
ダブルクリック</td><td>タスクトレー上の ESET Endpoint Encryption アイコンをダブルクリックしたときの動作を設定します。なお、ESET Endpoint Encryption にログインしていない場合、「何もしない」と「ESET Endpoint Encryption のログアウト」以外の設定では、ログインボックスが表示されます。
<table>
<tr><td>ESET Endpoint Encryption
のログイン／ログアウト</td><td>ESET Endpoint Encryption のログインとログアウトをします。</td></tr>
<tr><td>ESET Endpoint Encryption
のログアウト</td><td>ESET Endpoint Encryption からログアウトします。</td></tr>
<tr><td>設定の起動</td><td>設定画面が起動します。
ESET Endpoint Encryption メニューから［設定］を選択した動作と同じです。</td></tr>
<tr><td>キーマネージャーの起動</td><td>キーマネージャーが起動します。
ESET Endpoint Encryption メニューから［キーマネージャー］を選択した動作と同じです。</td></tr>
<tr><td>キー転送ウィザードの
起動</td><td>キー転送ウィザードが起動します。
ESET Endpoint Encryption メニューから［キー転送］を選択した動作と同じです。</td></tr>
<tr><td>仮想ディスクマネー
ジャーの起動</td><td>仮想ディスクマネージャーが起動します。
ESET Endpoint Encryption メニューから［仮想ディスク］→［仮想ディスクマネージャー］を選択した動作と同じです。</td></tr>
<tr><td>何もしない</td><td>トレイアイコンをダブルクリックしても何の動作も行いません。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

❷ファイルを復号した後の動作

暗号化されたファイルを復号したとき、暗号化ファイルの取り扱いを設定します。

暗号化ファイルを削除します。	暗号化されたファイルの復号時に、復号元の暗号化ファイルを削除します。
暗号化ファイルを削除しない。	暗号化されたファイルの復号時に、復号元の暗号化ファイルは、削除されません。
動作を確認します。	暗号化されたファイルの復号時に、復号元の暗号化ファイルの取り扱いを確認するダイアログが表示されます。

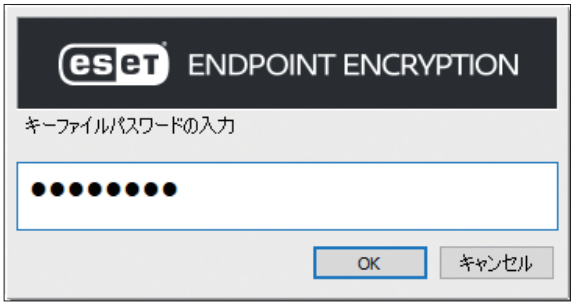
ワンポイント

「ファイルを復号した後の動作」の設定は、暗号化されたフォルダーの復号には、影響は与えません。

続く

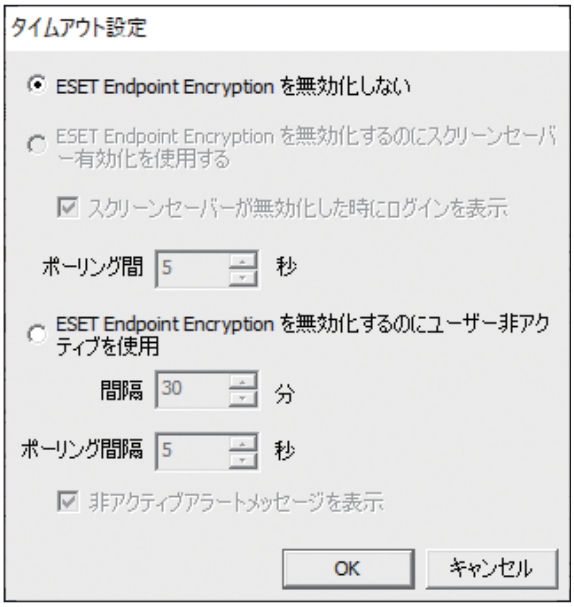
❸キーファイル

Windows へのログイン後、ESET Endpoint Encryption へ自動ログインを行うかどうかを設定します。［有効化］ボタンが表示されているときは ESET Endpoint Encryption へ自動ログインが無効に設定されています。［有効化］ボタンをクリックすると、キーファイルのパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックすると、自動ログインが有効になり、表示されるボタンが［無効化］に変わります。［無効化］ボタンをクリックすると、ESET Endpoint Encryption へ自動ログインが無効に設定されます。



❹非アクティブタイムアウト

この設定は、一定時間、Windows の操作が行われなかったときの ESET Endpoint Encryption の動作を設定します。この設定は、自動ログインが有効な場合、動作しません。［変更］ボタンをクリックすると、タイムアウト画面が表示され、以下の項目について設定できます。

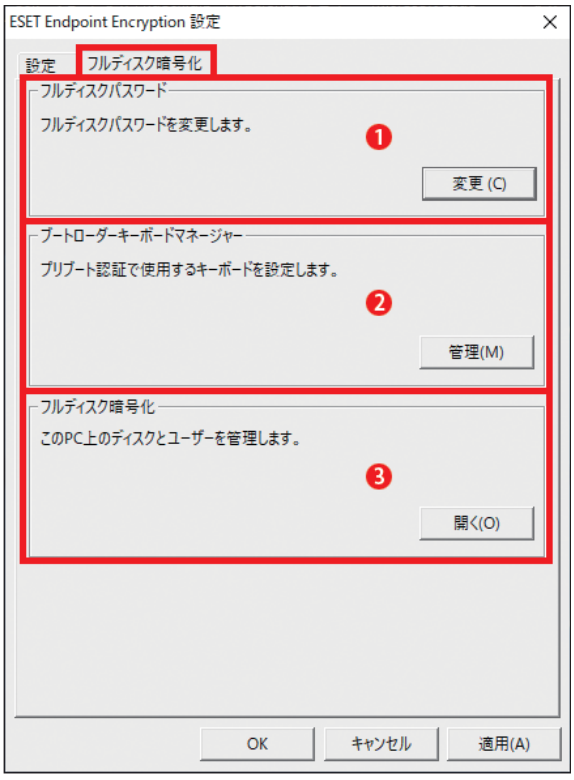


ESET Endpoint Encryption を無効化しない	ESET Endpoint Encryption は、自動でログアウトされません。
ESET Endpoint Encryption を無効化するのにスクリーンセーバー有効化を使用する	このオプションが選択された場合、スクリーンセーバーが稼働すると ESET Endpoint Encryption が自動でログアウトします。「スクリーンセーバーが無効化した時にログインを表示」にチェックを入れると、スクリーンセーバーからの復帰後、ESET Endpoint Encryption のログインボックスが表示されます。ポーリング間隔は、ESET Endpoint Encryption がスクリーンセーバーの稼働を確認する間隔の設定です。1 秒から 60 秒までの値を設定できます。これらの設定は、スクリーンセーバーが有効化されている場合のみ設定できます。

続く

ESET Endpoint Encryption を無効化するのにユーザー非アクティブを使用	このオプションを選択すると、［間隔］で設定した時間、ユーザーがなにも操作を行わないときに自動的に ESET Endpoint Encryption からログアウトします。無操作の間隔は、1 分～ 60 分までの間で設定できます。また、ポーリング間隔は、ESET Endpoint Encryption が無操作を確認する間隔の設定です。1 秒～ 60 秒までの値を設定できます。また、「非アクティブアラートメッセージを表示」にチェックを入れると、ESET Endpoint Encryption が無効化された時に、以下のようなダイアログが表示されます。 

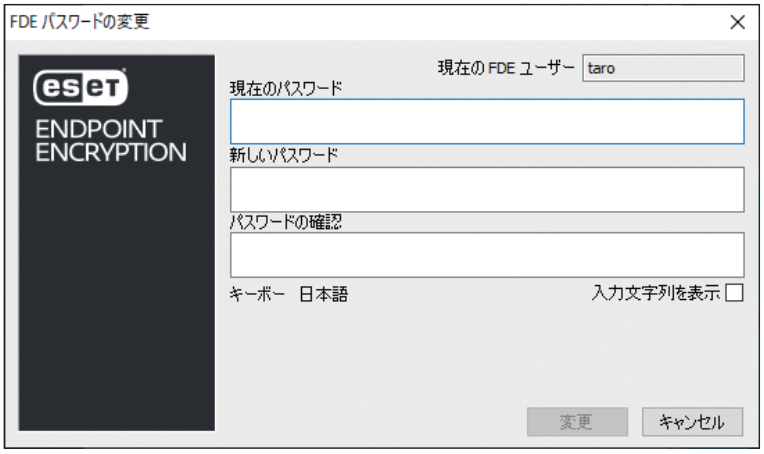
4



［フルディスク暗号化］タブでは、❶フルディスクパスワード、❷ブートローダーキーボードマネージャー、❸フルディスク暗号化に関する以下のような設定が行えます。

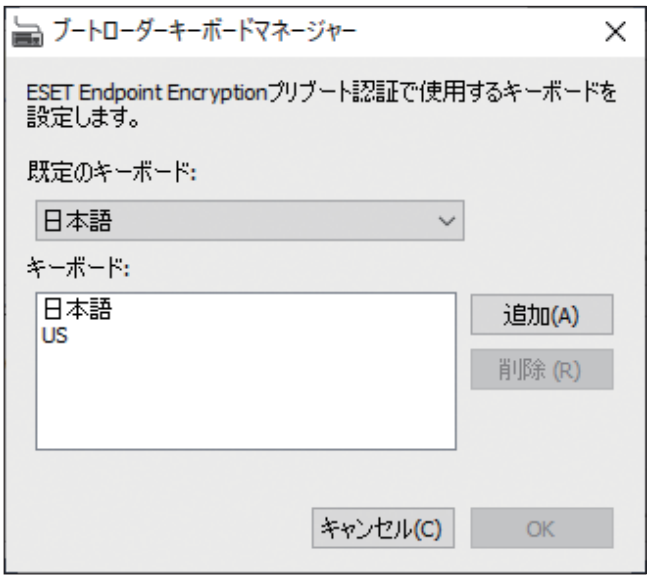
❶フルディスクパスワード

プリブート認証を通過した一般ユーザーのパスワードが変更できます。［変更］ボタンをクリックすると、123 ページの「3.7.1.1　一般ユーザーのパスワード変更」の手順❸の画面が表示されます。管理者ユーザーでログインしている場合には、エラーとなり、パスワード変更できません。



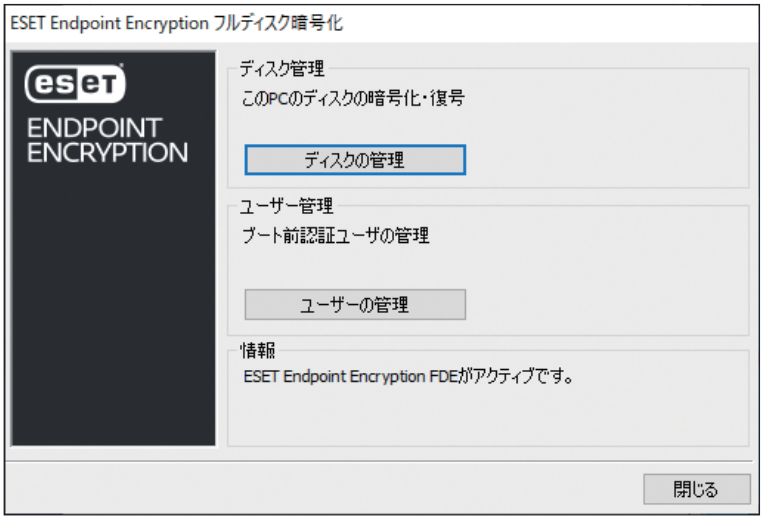
❷ブートローダーキーボードマネージャー

プリブート認証時のキーボードの設定が可能になります。弊社サポートセンターからの指示以外、この画面から設定変更は行わないでください。



❸フルディスク暗号化

フルディスク暗号化を管理できます。［開く］ボタンをクリックすると、125 ページの「3.7.1.2　管理者ユーザーのパスワード変更」の手順❸の画面が表示されます。この画面からは、フルディスク暗号化のディスクの管理やプリブート認証のユーザー管理が行えます。

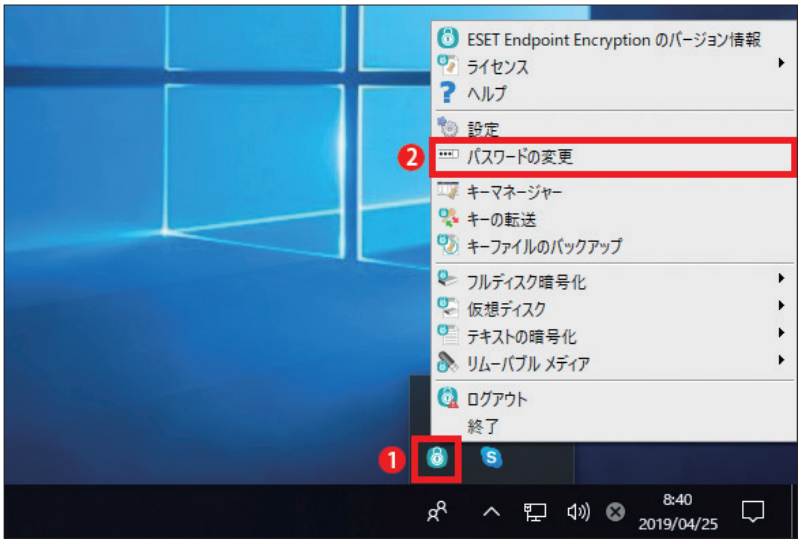


3.9 ESET Endpoint Encryption のログインパスワードを変更する

ここでは、ESET Endpoint Encryption のログインパスワード（キーファイルのパスワード）の変更手順を説明します。ログインパスワードを変更したいときは、この手順を参考に作業します。

操作手順

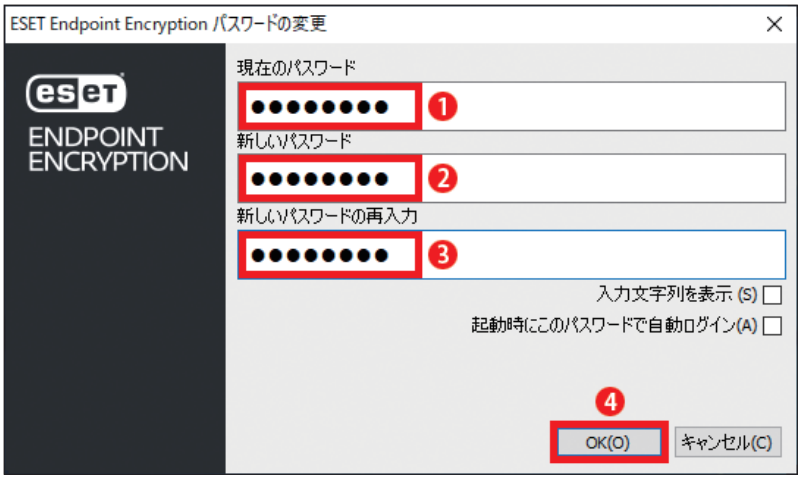
1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［パスワードの変更］をクリックします。



ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します]ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

2 パスワードの変更画面が起動します。❶現在のパスワードを入力し、❷新しいパスワードを入力します。❸❷で入力した新しいパスワードを再入力します。❹［OK］ボタンをクリックします。

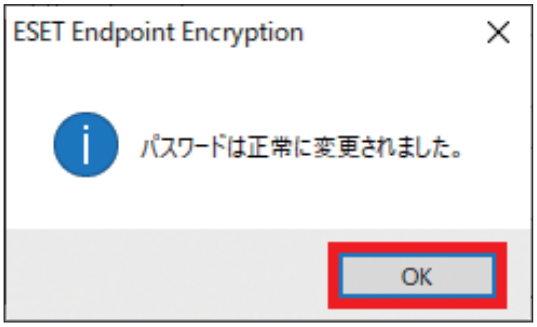


ワンポイント

［起動時にこのパスワードで自動ログイン］のチェックをオンにすると、Windows 起動時にパスワードを入力しなくても自動的に ESET Endpoint Encryption にログインします。パスワードにマルチバイト文字（漢字やひらがな等）は設定できません。

続く

3 ダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



4 キーファイルのバックアップ画面が表示されます。110 ページの「3.3 暗号化キーのバックアップを行う」の手順を参考に暗号化キーのバックアップを行います。



3.10　ESET Endpoint Encryption をアンインストールする

ここでは、ESET Endpoint Encryption のアンインストール手順を説明します。なお、HDD/SSD が暗号化された状態でアンインストールを実施することはできません。HDD/SSD が暗号化されている場合は、あらかじめ HDD/SSD を復号した状態で実施ください。

ワンポイント

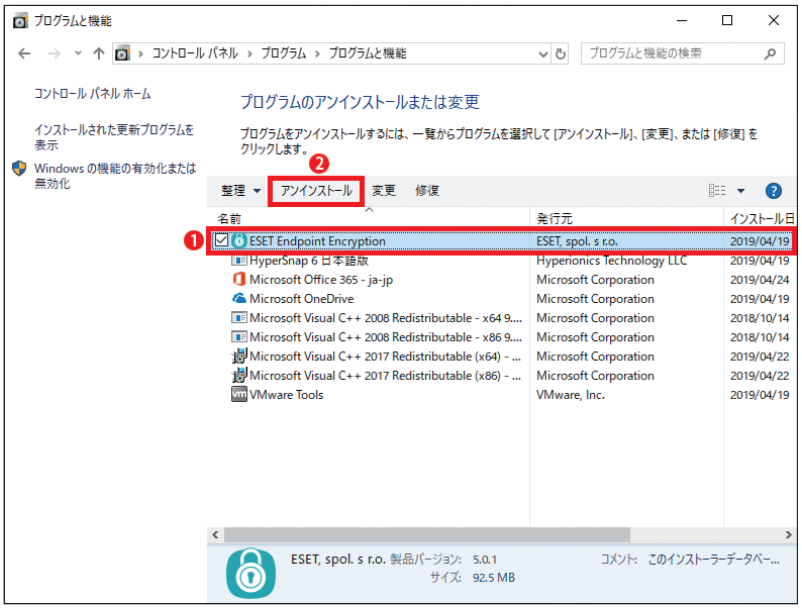
ESET Endpoint Encryption Server で ESET Endpoint Encryption の管理を行っている場合、ESET Endpoint Encryption のアンインストール時にアンインストールコードの入力を求められる場合があります。アンインストールコードを求められる場合の ESET Endpoint Encryption のアンイントール手順については、「ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアル」を参照してください。

操作手順

1 Windows のコントロールパネルを開き、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

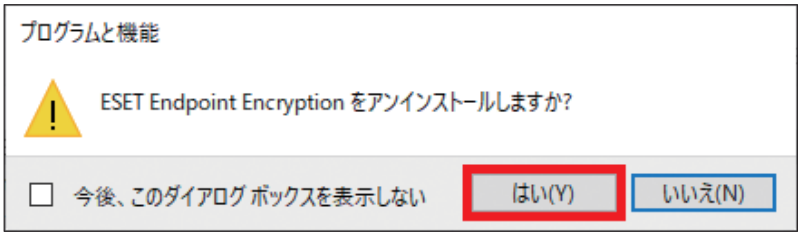


2 ❶［ESET Endpoint Encryption］をクリックし、❷［アンインストール］をクリックします。



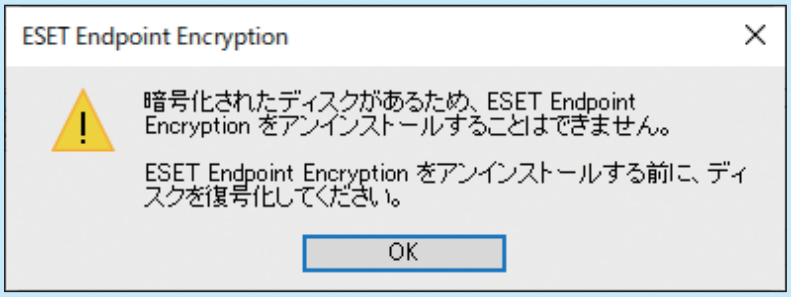
続く

❸ ダイアログが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。アンインストール作業が実施されます。



ワンポイント

フルディスク暗号化によって HDD/SSD が暗号化されている場合、手順❸の後に以下の画面が表示されます。フルディスク暗号化の復号を行ってから、アンインストール作業をやり直してください。



ワンポイント

アンインストール中にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されたら、［はい」ボタンまたは［続行］ボタンをクリックします。

❹ アンインストール作業が完了後、ダイアログが表示されます。［はい］ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。

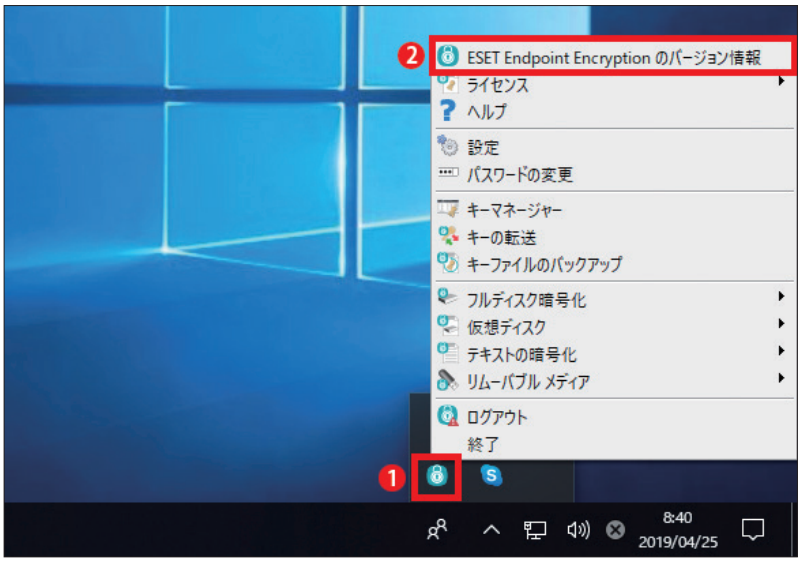


3.11　バージョン情報を確認する

ここでは、バージョン情報の確認手順を説明します。サポートセンターへのご質問の際には、本製品のバージョン情報が必要になる場合があります。

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［ESET Endpoint Encryption のバージョン情報］をクリックします。



ワンポイント

ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、［隠れているインジケーターを表示します］ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

2 ESET Endpoint Encryption の製品情報とバージョン情報が表示されます。［詳細］ボタンをクリックします。



続く

3 ❶製品 ID などのより詳細な情報が表示されます。❷［OK］ボタンをクリックすると、この画面を終了します（サポートからの依頼などにより、バージョン以外の詳細情報を確認する必要がある場合は本手順を実施してください）。



3.12　トラブルシューティング

ここでは、ESET Endpoint Encryption のログインパスワード（キーファイルパスワード）やプリブート認証のユーザー名 / パスワードを忘れてしまったり、フルディスク暗号化を行ったパソコンが起動しなくなったりしたときの対処方法を説明します。

3.12.1　ログインパスワードを忘れてしまったときは？

ESET Endpoint Encryption は、暗号化キーのリストア（復元）を行うことで、そのときに利用していたログインパスワードに戻すことができます。ログインパスワード（キーファイルパスワード）を忘れてしまった場合は、ログインパスワードを覚えている古い暗号化キーのバックアップが残されていないかを確認し、残されていたときは、古い暗号化キーをリストア（復元）することで問題を解決できます。古い暗号化キーのリストアは、以下の「キーファイルをリセットする」の手順でキーファイルをリセットし、113 ページの「3.4　暗号化キーのリストアを行う」の手順を参考に暗号化キーのリストア（復元）を行います。

また、パスワードを覚えている古い暗号化キーのバックアップが残されていなかったときは、キーファイルのリセットを行うと、ログインパスワードも同時にリセットできます。ただし、キーファイルのリセットは、ライセンス情報やすべての暗号化キーを削除します。このため、リセット前に使用していた暗号化キーで作成した暗号化ファイルなどを復号できなくなります。キーファイルのリセットは、以下の手順で行えます。

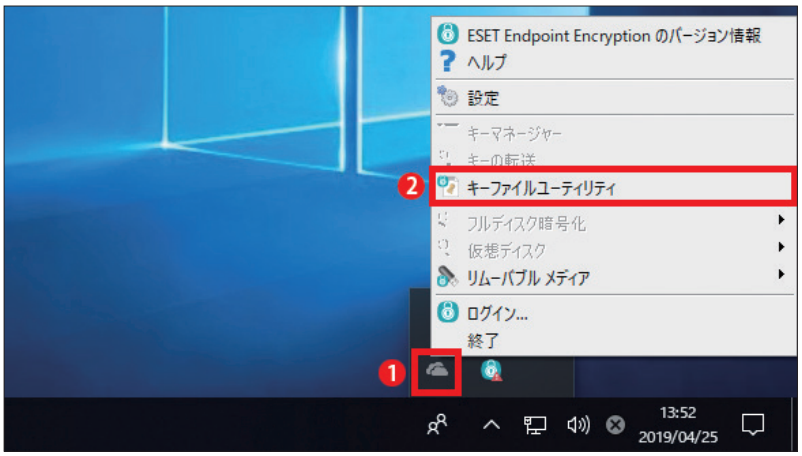
●キーファイルをリセットする

！重　要

キーファイルのリセットを行うと、ライセンス情報やすべての暗号化キーが削除され、それまで利用していた暗号化キーで作成した暗号化ファイルなどを復号できなくなります。

操作手順

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［キーファイルユーティリティ］をクリックします。

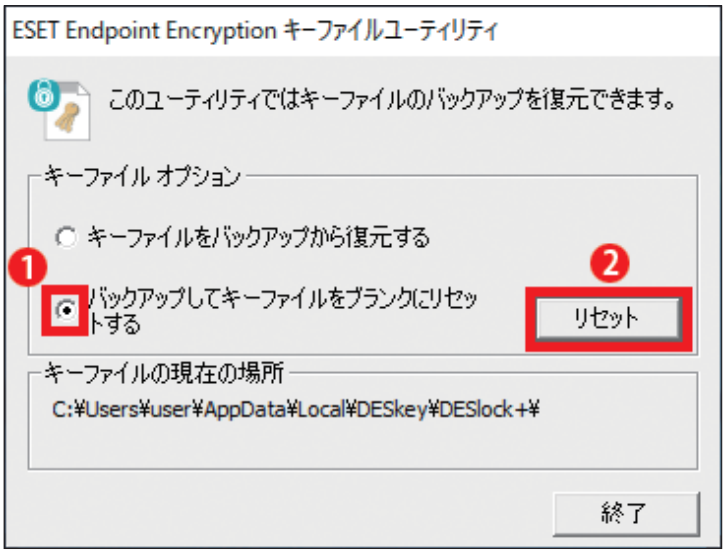


ワンポイント

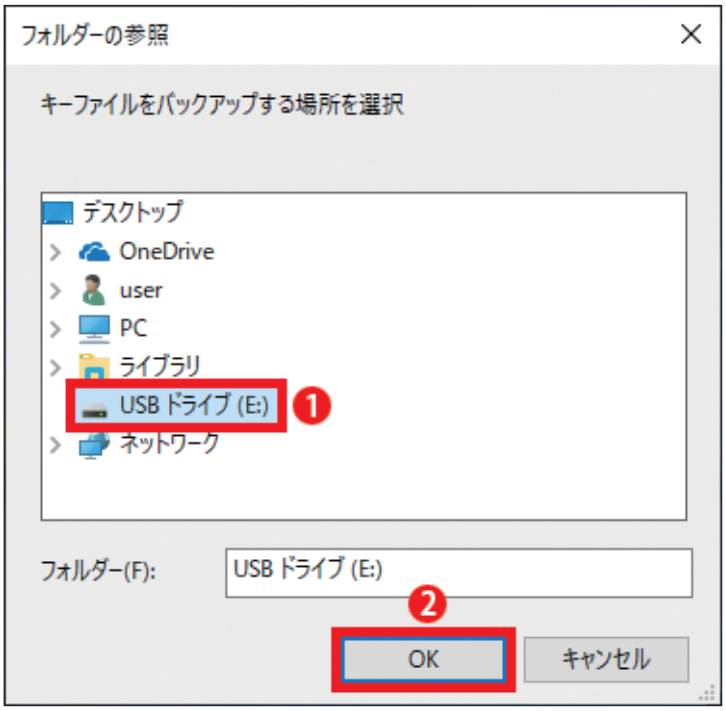
キーファイルのリセットは、ESET Endpoint Encryption にログインしている状態では行えません。手順❶のメニューに［キーファイルユーティリティ］がないときは、ESET Endpoint Encryption からログアウトしてください。

続く

2 ❶［バックアップしてキーファイルをブランクにリセットする］にチェックを入れ、❷［リセット］ボタンをクリックします。



3 ❶現在のキーファイルのバックアップを保存するフォルダを選択し、❷［OK］ボタンをクリックします。



続く

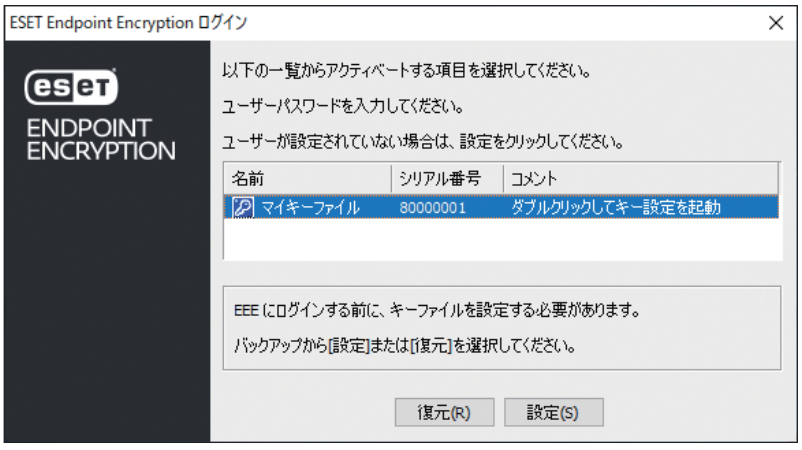
4 ダイアログボックスが表示されます。［はい］ボタンをクリックします。



5 ダイアログボックスが表示され、❶「ESET Endpoint Encryption は白紙状態にリセットされました。」と表示されます。❷［OK］ボタンをクリックします。



6 キーファイルがリセットされ、ESET Endpoint Encryption をインストール後と同じ状態になります。



3.12.2　プリブート認証のユーザー名 / パスワードを忘れたときは？

ESET Endpoint Encryption Server を利用しない ESET Endpoint Encryption でのプリブート認証のユーザー名やパスワードを忘れてしまったときは、「admin」アカウントと管理者パスワードを用いてプリブート認証を行います。「admin」アカウントと管理者パスワードを用いたプリブート認証は、以下の手順で行います。

ワンポイント

ESET Endpoint Encryption Server を利用した ESET Endpoint Encryption でのパスワードを忘れたときのリセット方法は、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

！重　要

管理者アカウントでプリブート認証を行うには、管理者ユーザーのパスワードが必要です。管理者ユーザーのパスワードは、15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓫～⓭でバックアップした管理者パスワードの html ファイルで確認できます。

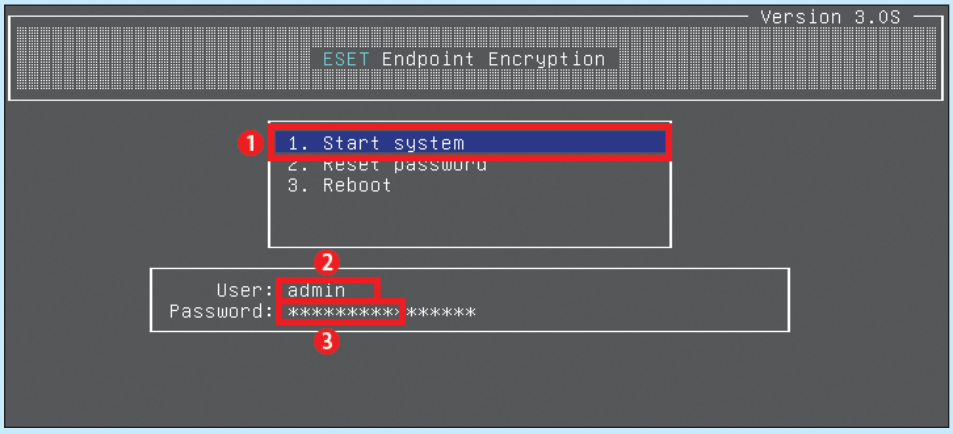
操作手順

1 ❶プリブート認証画面でユーザー名に［admin］と入力し、❷パスワードに管理者パスワードを入力して、［Enter］キーを押し、ログインします。



ワンポイント

MBR 環境で起動している Windows でフルディスク暗号化を行った場合は、以下のようなプリブート認証画面が表示されます。この画面が表示されたときは、❶［Start system］で［Enter］キーを押し、❷ User: に［admin］と入力し、❸ Password：に管理者パスワードを入力して、［Enter］キーを押し、ログインします。



続く

2 Windows にログインし、ESET Endpoint Encryption にログインしたら、132 ページの「3.7.3　プリブート認証用ユーザーを削除する」の手順を参考にパスワードがわからなくなったユーザーを削除します。

3 ユーザーの削除を行ったら、130 ページの「3.7.2　プリブート認証用ユーザーを追加する」を参考にプリブート認証用のユーザーを新たに追加します。

3.12.3　Windows が起動できない場合の対処法

プリブート認証通過後に Windows が起動しなくなった場合、HDD/SSD が暗号化されていると Windows の修復を行えません。このような状況に陥ったときは、HDD/SSD の復号とプリブート認証の削除を行ってください。HDD/SSD の復号とプリブート認証の削除は、ESET Endpoint Encryption Recovery Utility を利用する方法と Linux のディストリビューション「Ubuntu」を利用する方法があります。ESET Endpoint Encryption Recovery Utility は、MBR 環境で Windows を起動しているときのみ利用できます。Ubuntu は、UEFT/MBR どちらの環境で Windows を起動しているときでも利用できます。

3.12.3.1　ESET Endpoint Encryption Recovery Utility で復号する

操作手順

1 ESET Endpoint Encryption Recovery Utility を以下の URL からダウンロードします。ダウンロードしたファイルを CD/DVD などの光学メディアに記録するか、ダウンロードしたファイルから起動可能な USB メモリーを作成します。

ESET Endpoint Encryption Recovery Utility のダウンロード URL
http://canon-its.jp/eset/dl-dprecovery

! 重　要

ESET Endpoint Encryption Recovery Utility は UEFI ブートモードでは動作しません。ブートモードを Legacy ブートモードに切り替えてご利用ください。機種によっては「BIOS ブートモード」や「UEFI を利用しない」、「CSM」の「Enable（有効化）」など呼び名が異なります。ブートモードの切り替え設定については、メーカー・機種によりさまざまですので、ご利用中の PC メーカーのサポートセンターにご確認ください。

ワンポイント

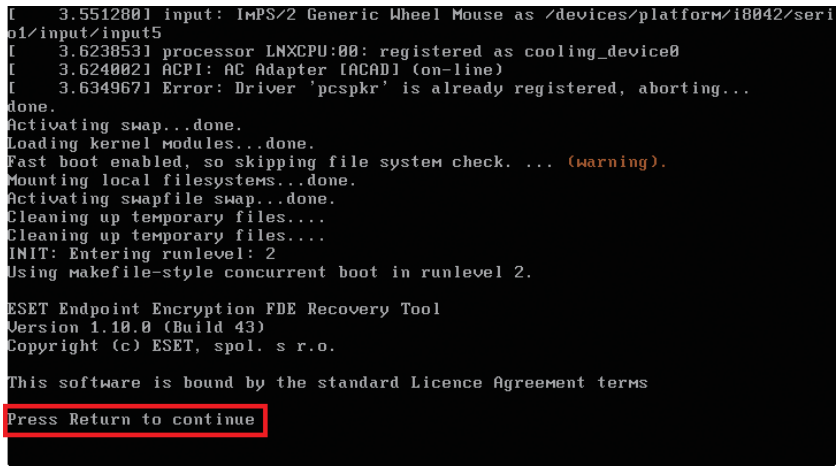
ESET Endpoint Encryption Server で ESET Endpoint Encryption の管理を行っている場合、ESET Endpoint Encryption Recovery Utility を ESET Endpoint Encryption Server からダウンロードできます。詳細については、ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアルを参照してください。

続く

2 ESET Endpoint Encryption Recovery Utility を記録した光学メディア /USB メモリーを利用して、パソコンを起動します。以下の画面が表示されたら、［Enter］キーを押すか 10 秒経過すると ESET Endpoint Encryption Recovery Utility が起動します。

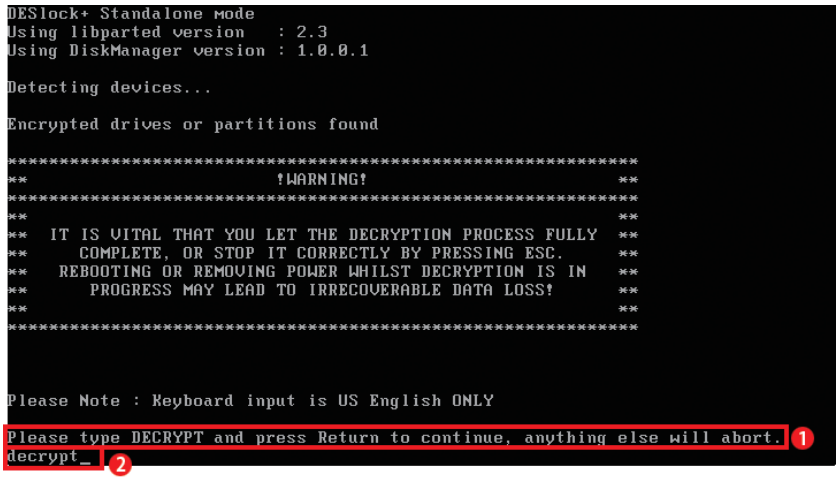


3 画面に「Press Return to continue」と表示されるので、［Enter］キーを押します。

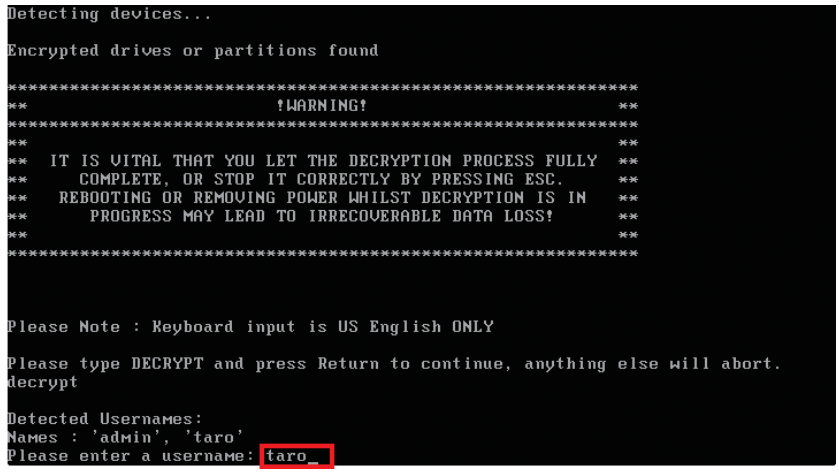


続く

4 ❶画面に「Please type DECRYPT and press Enter to continue, anything else will abort.」と表示されるので、❷「decrypt」と入力し、［Enter］キーを押します。

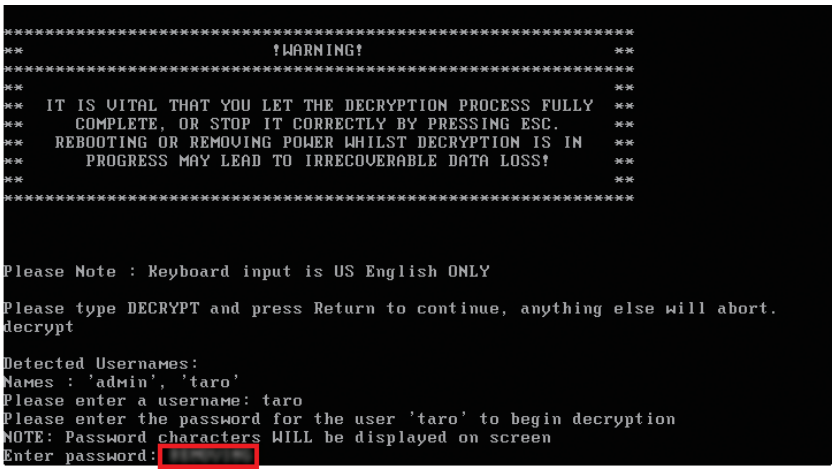


5 画面に「Please enter a username」と表示されるので「admin」もしくはプリブート認証に用いるユーザー名（ここでは「taro」）を入力し、「Enter」キーを押します。



続く

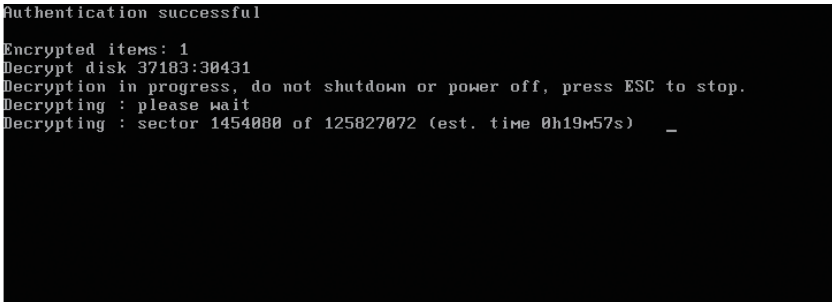
6 画面に「Enter password」と表示されるので、対応したユーザーのパスワードを入力し、「Enter」キーを押します。



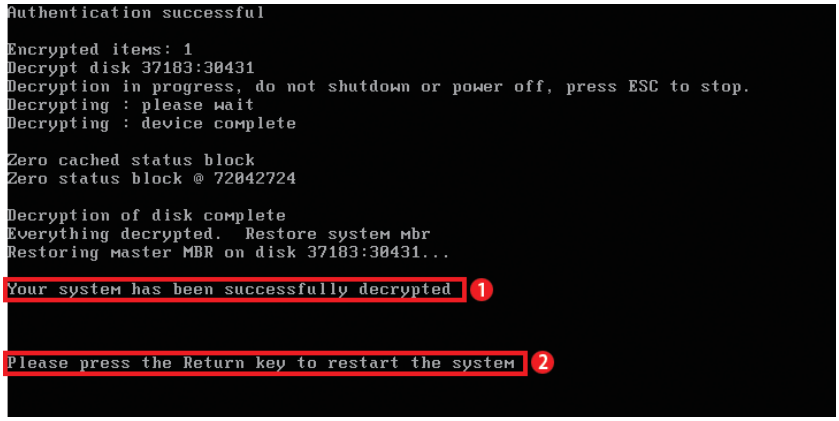
ワンポイント

手順5でユーザー名に「admin」を入力したときは、フルディスク暗号化を実施したときに保存しておいた管理者ユーザーのパスワードが必要になります。管理者ユーザーのパスワードは、15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順11～13でバックアップした管理者パスワードの html ファイルで確認できます。

7 復号およびプリブート認証の削除が開始されます。複数の HDD/SSD を暗号化しているときは、すべてのドライブの復号が実施されます。復号が完了するまでしばらくお待ちください。



8 ❶復号が完了すると画面に「Your system has been successfully decrypted」と表示されるので［Enter］キーを押します。❷「Please press the Return key to restart the system」と表示されるので、光学メディアまたは USB メモリーを取り出し、［Enter］キーを押します。パソコンが再起動し、その後、正常に Windows が起動します。

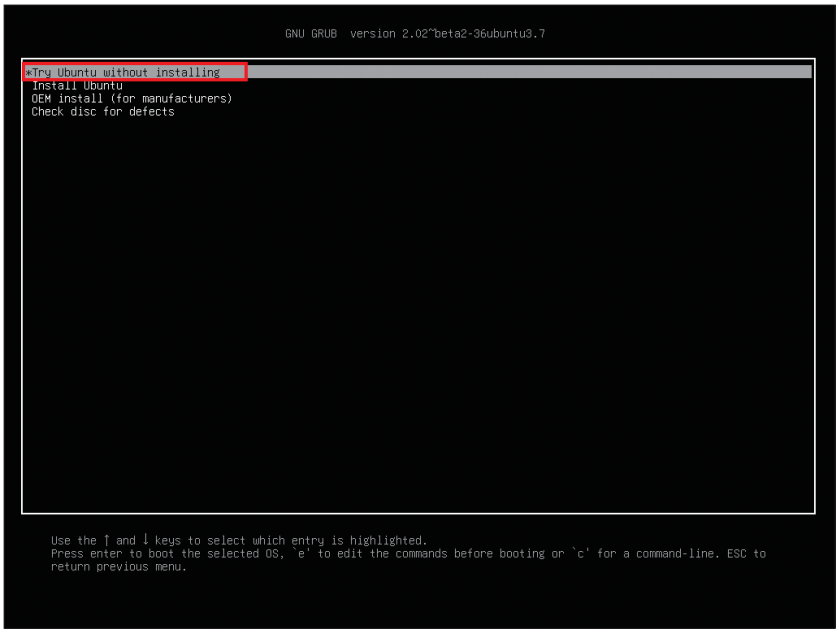


3.12.3.2　Ubuntu で復号する

操作手順

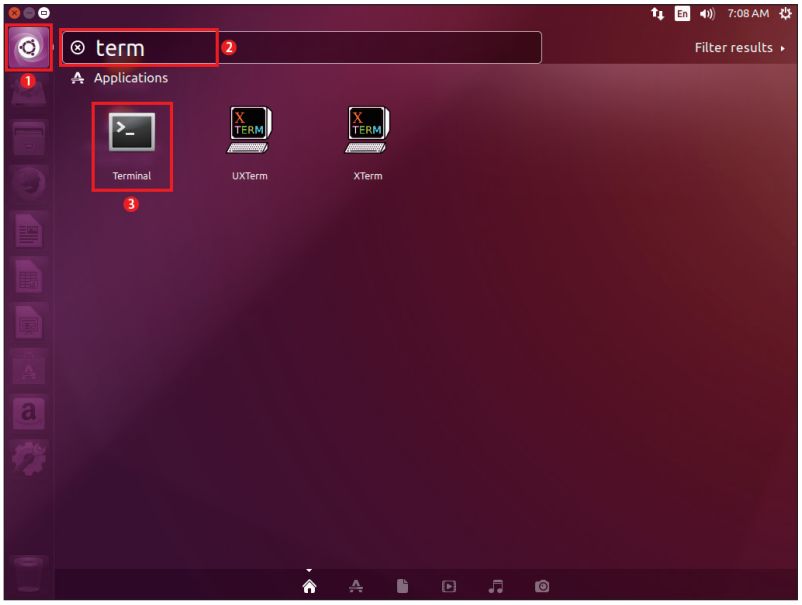
1. Ubuntu の ISO ファイルをインターネット等からダウンロードします。ダウンロードした ISO ファイルを CD/DVD などの光学メディアに記録するか、ISO ファイルから起動可能な USB メモリーを作成します。

2. Ubuntu を記録した光学メディア /USB メモリーを利用して、パソコンを起動します。以下の画面が表示されたら、［Try Ubuntu without installing］を選択して、［Enter］キーを押します。



続く

3 Ubuntu が起動します。❶ をクリックして、❷「term」と入力し、❸［Terminal］をクリックします。



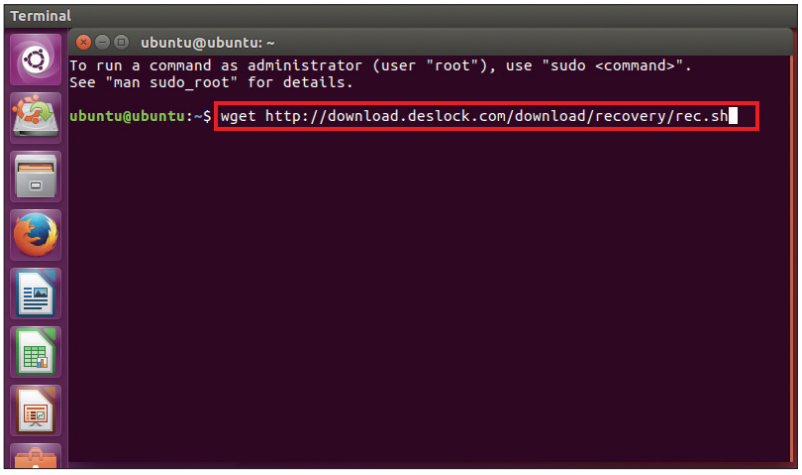
ワンポイント

Terminal の起動は、［Ctrl］＋［Alt］＋［T］キーを押すことでも行えます。

! 重　要

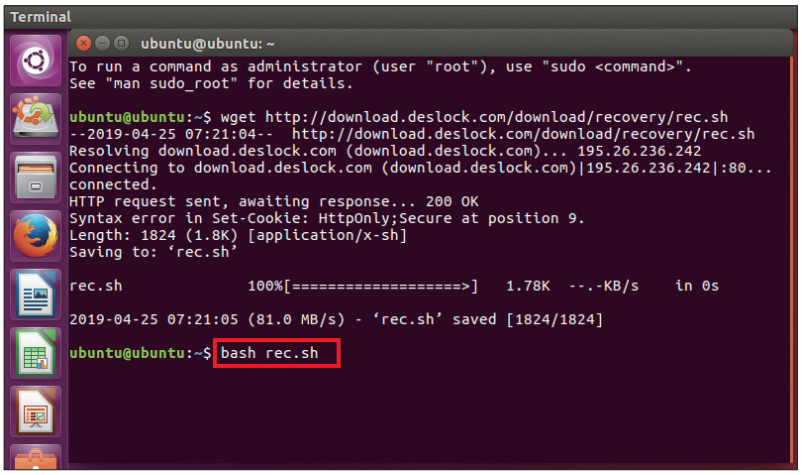
Ubuntu を利用して復号を行うには、インターネット接続環境が必要です。Wi-Fi 環境のみのパソコンの場合、接続先アクセスポイントなどの設定を行い、インターネットを利用できるように設定してください。

4 Terminal が起動します。「wget http://download.deslock.com/download/recovery/rec.sh」と入力し、［Enter］キーを押します。

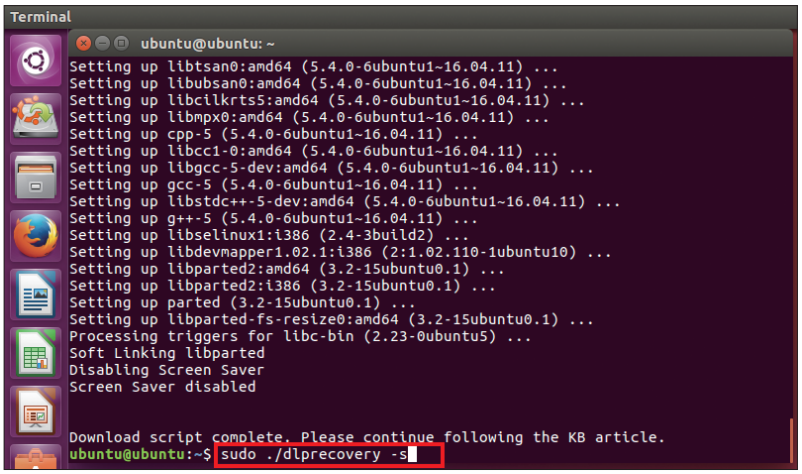


続く

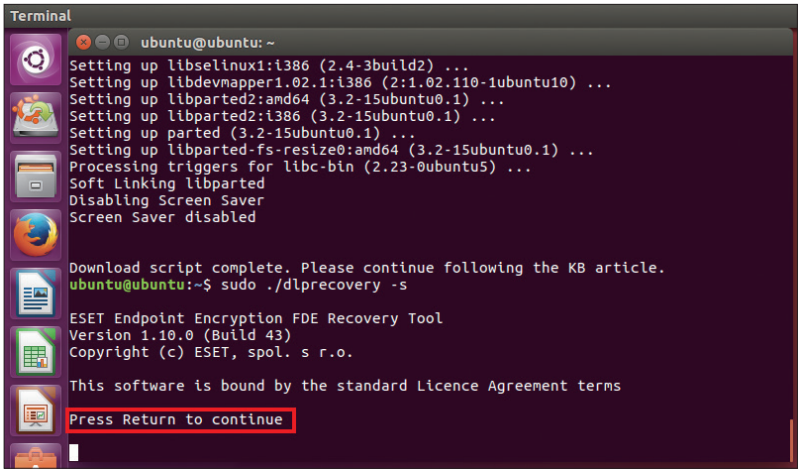
5 ファイルがダウンロードされます。❶「'rec.sh' saved」と表示されたら、❷「bash rec.sh」と入力し、Enter キーを押します。



6 Recovery Tool がインストールされます。❶「Download script complete」と表示されたらインストールは成功です。❷「sudo ./dlprecovery -s」と入力し、Enter キーを押します。

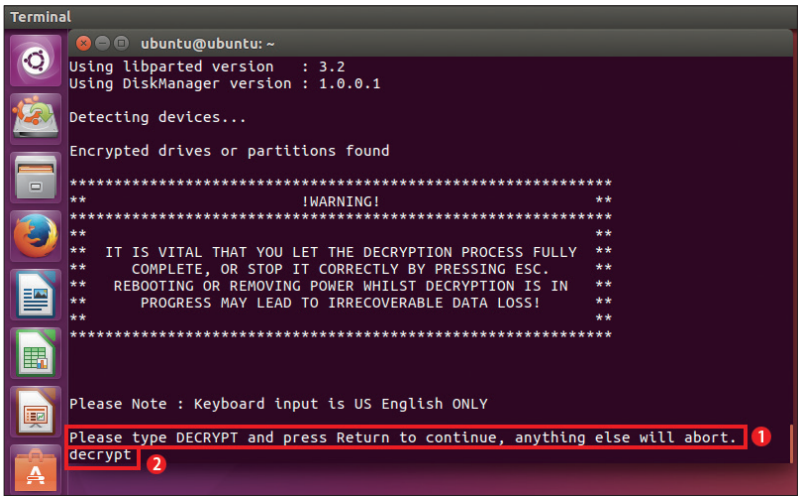


7 画面に「Press Return to continue」と表示されますので、［Enter］キーを押します。

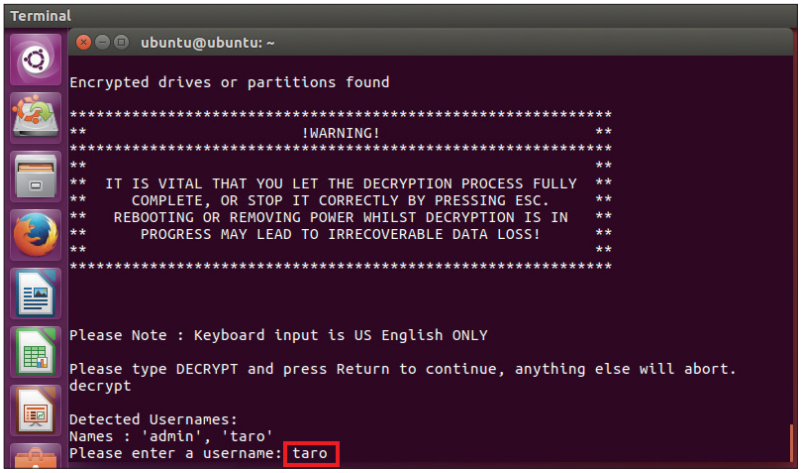


続く

8 ❶画面に「Please type DECRYPT and press Return to continue, anything else will abort.」と表示されるので、❷「decrypt」と入力し、［Enter］キーを押します。

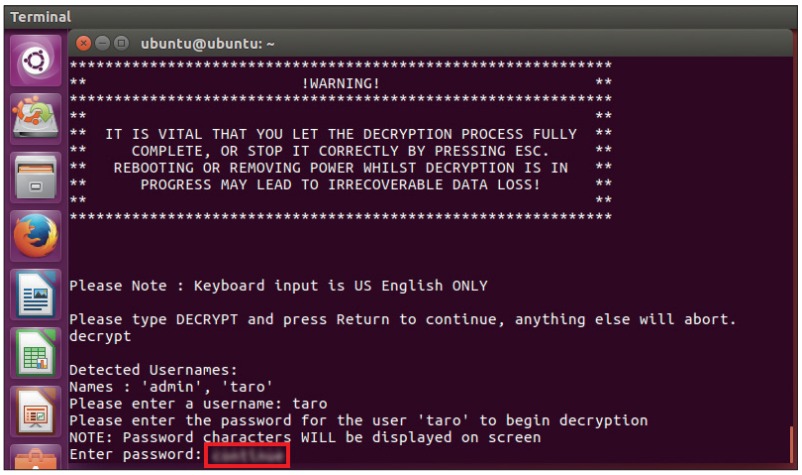


9 画面に「Please enter a username」と表示されるので「admin」もしくはプリブート認証に用いるユーザー名（ここでは「taro」）を入力し、「Enter」キーを押します。



続く

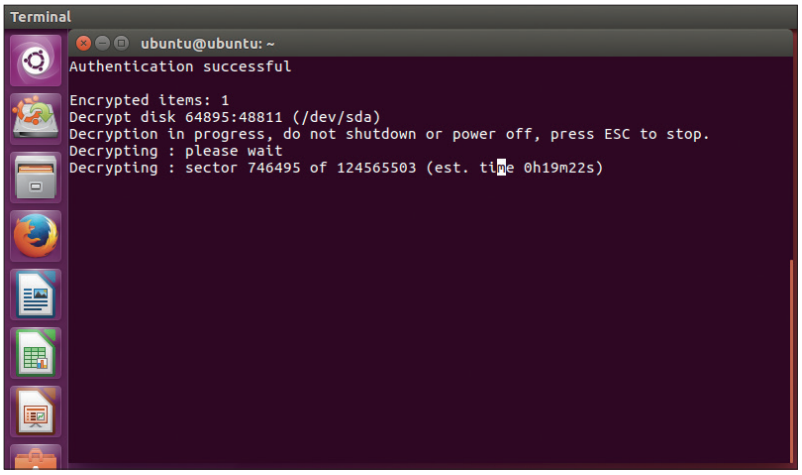
⑩ 画面に「Enter　password」と表示されるので、対応したユーザーのパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。



ワンポイント

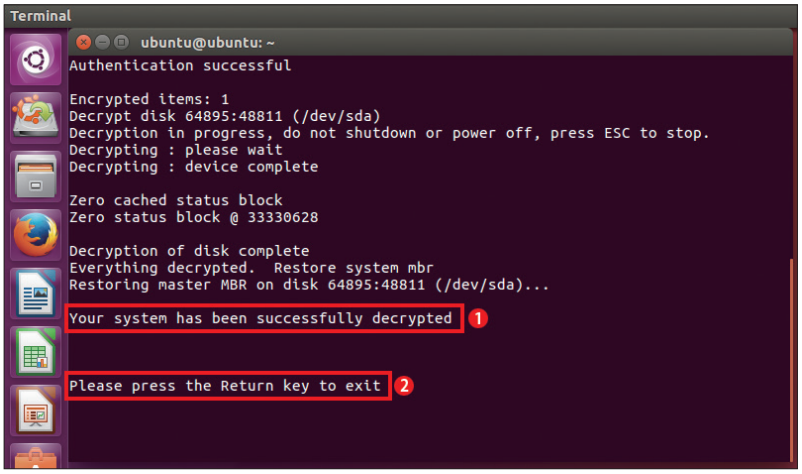
手順❾でユーザー名に「admin」を入力したときは、フルディスク暗号化を実施したときに保存しておいた管理者ユーザーのパスワードが必要になります。管理者ユーザーのパスワードは、15 ページの「2.3.2　フルディスク暗号化を行う」の手順⓫～⓭でバックアップした管理者パスワードの html ファイルで確認できます。

⑪ 復号およびプリブート認証の削除が開始されます。複数の HDD/SSD を暗号化しているときは、すべてのドライブの復号が実施されます。復号が完了するまでしばらくお待ちください。



続く

⑫ ❶復号が完了すると画面に「Your system has been successfully decrypted」と表示されるので［Enter］キーを押します。❷「Please press the Return key to exit」と表示されるので、［Enter］キーを押します。Ubuntu を再起動します。



3.13　ライセンスを更新する

ここでは、ESET Endpoint Encryption Server を利用していない場合の ESET Endpoint Encryption のライセンスを更新する手順を説明します。

! 重　要

本手順は、ESET Endpoint Encryption 製品のライセンスの更新手続きを完了させた後で実施します。
ライセンス製品の更新手続きを実施していない場合は、弊社下記 WEB ページを参考に更新手続きを完了してください。
また、パッケージ / ダウンロード製品をご利用中の場合も同様に、事前に更新パッケージ / ダウンロード製品を購入いただき、弊社下記 WEB ページを参考にオンラインユーザー登録を完了してください。

■ライセンス製品の更新手続きについて
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4994?site_domain=encryption

■パッケージ / ダウンロード製品の更新手続きについて
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/5372?site_domain=encryption

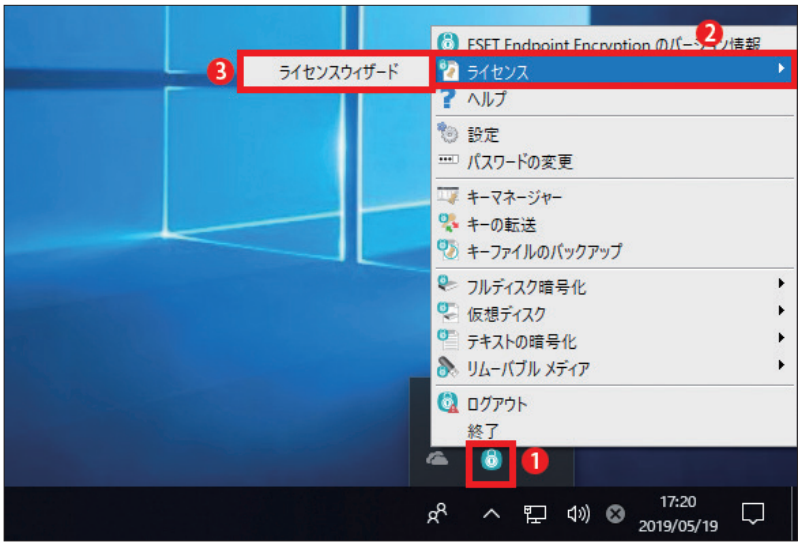
! 重　要

ESET Endpoint Encryption Server を利用している場合のライセンスの更新手順については、「ESET Endpoint Encryption Server ユーザーズマニュアル」の「2.4.3　ライセンスの更新を行う」を参照してください。

操作手順

ライセンスの更新は、インターネット接続が行える環境で行う必要があります。

1 ❶通知領域にある ESET Endpoint Encryption のアイコンを右クリックし、❷［ライセンス］→❸［ライセンスウィザード］とクリックします。



ワンポイント

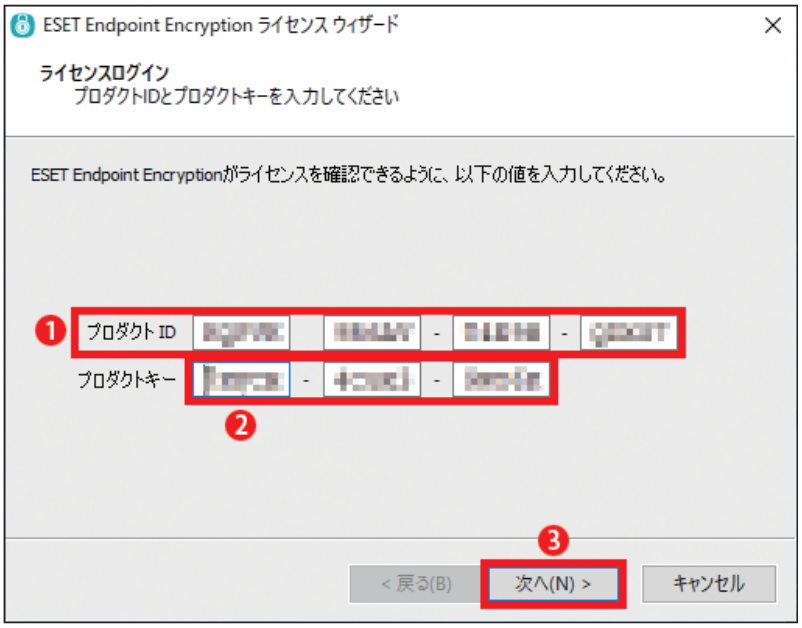
ESET Endpoint Encryption のアイコンが通知領域に表示されていないときは、[隠れているインジケーターを表示します] ボタンをクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。

続く

2 「ESET Endpoint Encryption ライセンスウィザード」が起動します。［次へ］ボタンをクリックします。



3 ❶プロダクト ID が入力された状態で、「ライセンスログイン」画面が表示されます。❷プロダクトキーを入力し、❸［次へ］ボタンをクリックします。アクティベーションサーバーとの通信が行われます。完了までしばらくお待ちください。



続く

4 アクティベーションが完了すると、❶「ライセンスの詳細」画面が表示されます。❷「次へ」をクリックします。



5 [完了] ボタンをクリックします。



続く

6 キーファイルのバックアップ画面が表示されます。110 ページの「3.3　暗号化キーのバックアップを行う」の手順を参考に暗号化キーのバックアップを行います。



3.14　サポートサービスについて

ユーザーズガイド、ヘルプ、ホームページなどをご覧いただいても問題が解決しない場合は、シリアル番号をご用意の上、弊社お問い合わせ窓口（サポートセンター）までご相談ください。お問い合わせ窓口（サポートセンター）では、以下のお問い合わせにお答えしています。ご相談は、電話・Web フォームにて受け付けております。

対象製品

ESET Endpoint Encryption パッケージ製品
ESET Endpoint Encryption ライセンス製品
ESET Endpoint Encryption ダウンロード製品

対象プログラム

ESET Endpoint Encryption
ESET Endpoint Encryption Server

サポートサービス内容

- 製品ご購入前のお問い合わせ
- 製品ご購入後の利用・操作方法
- トラブル等に関するお問い合わせ

サポート対象外となる作業

- お客さまの元にご訪問してのサポート対応（オンサイト保守）
- お客さまの PC をお預かりしての原因調査
- 本製品導入端末のデータ復旧

■サポートページ

最新情報やお問い合わせの多いご質問などを掲載しております。
URL　https://eset-support.canon-its.jp/?site_domain=encryption

■お問い合わせ窓口（サポートセンター）

電話によるお問い合わせが集中すると、つながりにくい場合があります。しばらくしてからおかけ直しください。また、Web フォームでのお問い合わせも受け付けておりますので、こちらもご利用ください。

Web フォームよるお問い合わせ	お問い合わせフォーム https://canon-its.jp/cgi-bin/ssform_show_input.cgi?fcd=FCD0092
電話によるお問い合わせ	電話番号：03-6701-3444 営業日：月～金曜日（祝日、夏期・年末年始などの休業日を除く） 受付時間　9：00 ～ 17：00 ※お問い合わせの際には、電話番号をご確認の上、おかけ間違いにご注意ください。

■その他

サポートセンターからお客さまへ、調査のために情報の取得をお願いする場合があります。情報の取得手順については以下の URL を参照してください。

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/3313?site_domain=encryption